

2020年度

共通科目

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	HJ1-K01
授業科目名			授業形態		学科・コース
コミュニケーション活動 I			演習		全学科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	クラス担任
授業の目的・目標					
入学式やオリエンテーション、健康診断など入学後スムーズに学校生活をスタートできるよう、また、年間を通して様々なイベントを実施し、校内校外問わずチームワークに必要なコミュニケーション力や集団行動のマナーを身に付ける。					
授業の概要					
各種行事（入学式・始業式・終業式・遠足・企業見学・展示会見学など）を、授業科目として実施する。					
成績評価の方法					
出欠席状況にて評価する。					出欠席 100%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 入学式			4		
2. オリエンテーション・健康診断			4		
3. 遠足			10		
4. 始業式・終業式・避難訓練			4		
5. 各科イベント			8		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	HJ2-K02
授業科目名			授業形態	学科・コース	
コミュニケーション活動Ⅱ			演習	全学科 (ゲームクリエイト科・国際ITビジネス科除く)	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	1	クラス担任
授業の目的・目標					
年間を通して様々なイベントを実施し、校内校外問わずチームワークに必要なコミュニケーション力や集団行動のマナーを身に付ける。					
授業の概要					
各種行事(始業式・終業式・遠足・修学旅行・企業見学・展示会見学など)を、授業科目として実施する。					
成績評価の方法					
出欠席状況にて評価する。					出欠席 100%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	始業式・終業式・避難訓練・健康診断		10		
2.	遠足		10		
3.	各科イベント		40		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	GR2-K02
授業科目名			授業形態		学科・コース
コミュニケーション活動Ⅱ			演習		ゲームクリエイト科 国際ITビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	クラス担任
授業の目的・目標					
年間を通して様々なイベントを実施し、校内校外問わずチームワークに必要なコミュニケーション力や集団行動のマナーを身に付ける。					
授業の概要					
各種行事（始業式・終業式・遠足・企業見学・展示会見学など）を、授業科目として実施する。					
成績評価の方法					
出欠席状況にて評価する。					出欠席 100%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 始業式・終業式・避難訓練・健康診断			10		
2. 遠足			10		
3. 各科イベント			10		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	GA3-K03
授業科目名			授業形態		学科・コース
コミュニケーション活動Ⅲ			演習		ゲームクリエイト科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	2	クラス担任
授業の目的・目標					
年間を通して様々なイベントを実施し、校内校外問わずチームワークに必要なコミュニケーション力や集団行動のマナーを身に付ける。					
授業の概要					
各種行事（始業式・終業式・遠足・修学旅行・企業見学・展示会見学など）を、授業科目として実施する。					
成績評価の方法					
出欠席状況にて評価する。					出欠席 100%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 始業式・終業式・避難訓練・健康診断			10		
2. 遠足			10		
3. 各科イベント			40		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	KR3-K03
授業科目名			授業形態		学科・コース
コミュニケーション活動Ⅲ			演習		こども保育科 国際ITビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	1	クラス担任
授業の目的・目標					
年間を通して様々なイベントを実施し、校内校外問わずチームワークに必要なコミュニケーション力や集団行動のマナーを身に付ける。					
授業の概要					
各種行事(卒業式・始業式・終業式・遠足・企業見学・展示会見学など)を、授業科目として実施する。					
成績評価の方法					
出欠席状況にて評価する。					出欠席 100%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 卒業式・前日準備			6		
2. 始業式・終業式・避難訓練・健康診断			4		
3. 各科イベント			20		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	HJ1-K03
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Job preparation 1 就職活動準備講座 I		演習		全学科 (ゲームクリエイト科・医療事務科・ こども保育科・国際ITビジネス科以外)	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	井本 美希 河西 陽二
授業の目的・目標					
目的：社会で喜ばれ役立つ人になるために必要なヒューマンスキル（人間力）の向上と就職活動準備 目標：各自が目指す業界・企業から内定をもらい、社会人として最低限わきまえたいビジネスマナー のポイントを各自で意識し、挨拶・コミュニケーション力等実践できるレベルまで引き上げる。					
授業の概要					
現在の自分の常識力及び考え方や行動特性を把握して、就職活動に向けて準備を進める。ペアワークや グループワークを通じて自己表現力や周囲の人と上手く付き合い人間関係構築が可能なコミュニケーション スキルを演習を通じて向上させる。興味を持つことの大切さや状況に応じて判断・選択・決断・行 動へと自分で考動できるだけでなく、周囲に気遣いのできる人になるための基礎力を養成する。					
成績評価の方法					
期末試験の結果と課題内容及び提出状況、授業の出欠席状況および取り組みの姿勢 を加味して成績評価を行う。				期末試験	50%
				課題提出	20%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・就職の手引き・自己分析ワークブック（浜松情報専門学校発行）・プリント教材・映像資料等 ・新社会人の教科書（株式会社学研プラス）・社会人の常識 敬語ドリル（株式会社語研） 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション		2			
2. 基礎力確認チェックテスト		2			
3. アセスメントツールの実施と解説		6			
4. 自己分析・自己PR準備と作成		6			
5. 履歴書・エントリーシート準備と作成		6			
6. ビジネスマナー・敬語の使い方		8			
7. 面接対策・模擬面接トレーニング		10			
8. グループワーク（業界&企業研究）		8			
9. インターンシップ		4			
10. 自己PR等 発表トレーニング		6			
11. まとめ		2			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	GI1-K03
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Job preparation 1 就職活動準備講座 I		演習		ゲームクリエイト科・医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	クラス担当
授業の目的・目標					
目的：社会で喜ばれ役立つ人になるために必要なヒューマンスキル（人間力）の向上と就職活動準備 目標：各自が目指す業界・企業から内定をもらい、社会人として最低限わきまえたいビジネスマナーのポイントを各自で意識し、挨拶・コミュニケーション力等実践できるレベルまで引き上げる。					
授業の概要					
現在の自分の常識力及び考え方や行動特性を把握して、就職活動に向けて準備を進める。ペアワークやグループワークを通じて自己表現力や周囲の人と上手く付き合い人間関係構築が可能なコミュニケーションスキルを演習を通じて向上させる。興味を持つことの大切さや状況に応じて判断・選択・決断・行動へと自分で考動できるだけでなく、周囲に気遣いのできる人になるための基礎力を養成する。					
成績評価の方法					
期末試験の結果と課題内容及び提出状況、授業の出欠席状況および取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				期末試験	50%
				課題提出	20%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・就職の手引き・自己分析ワークブック（浜松情報専門学校発行）・プリント教材・映像資料等 ・新社会人の教科書（株式会社学研プラス）・社会人の常識 敬語ドリル（株式会社語研） 					
授業内容・授業計画					
		時間数	時間数		
1. オリエンテーション		1			
2. 基礎力確認チェックテスト		1			
3. アセスメントツールの実施と解説		3			
4. 自己分析・自己PR準備と作成		3			
5. 履歴書・エントリーシート準備と作成		3			
6. ビジネスマナー・敬語の使い方		4			
7. 面接対策・模擬面接トレーニング		5			
8. グループワーク（業界&企業研究）		4			
9. インターンシップ		2			
10. 自己PR等 発表トレーニング		3			
11. まとめ		1			
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	HJ2-K04
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Job preparation 2 就職活動準備講座Ⅱ			演習	全学科 (ゲームクリエイイト科・国際ITビジネス科以外)	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	クラス担当
授業の目的・目標					
在籍する学生ひとり一人が希望する進路先に進むことを前提に、そのために具体的にどのような準備が必要であるか、またどうすれば効果的かつ実践的な準備を進めることができるのか、留意点に気づいてもらえるように個別に支援していく。在籍学生全員が納得のいく進路決定を目標とする。					
授業の概要					
昨今の就職事情は改善傾向にあり売り手市場であるといわれているが、どの企業においても「二極化」「厳選採用」の色は否めない。各自が志望する企業にとって求める人物像に近づけるよう準備をして、採用試験に臨みたいところである。個別の進捗状況に配慮しつつ一日でも早く内々定を得られるように講師自ら親身の支援を実践する。時期を見ながら入社後に役立つビジネスマナーの確認や社会人としての心構え等の準備をしていく。					
成績評価の方法					
筆記試験の結果と課題内容及び提出状況、学習意欲等取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				期末試験	50%
				課題提出	35%
				学習意欲	15%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・就職の手引き (浜松情報専門学校発行) 各種新聞・就職に役立つ関連情報 (映像資料含む) ・各種アセスメントツール (自己成長エゴグラム・性格傾向診断テスト等) 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. オリエンテーション・就職活動進捗状況の把握			2		
2. 就職活動支援キャリアカウンセリング			8		
3. 面接試験対策			8		
4. 自己分析・企業研究			2		
5. 履歴書・エントリーシート作成			4		
6. 入社後に役立つビジネスマナー			4		
7. まとめ			2		
その他			関連科目		
			・就職活動準備講座Ⅰ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G2-K05
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Job preparation 2 就職活動準備講座Ⅱ		演習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	井本 美希 河西 陽二
授業の目的・目標					
目的：社会で喜ばれ役立つ人になるために必要なヒューマンスキル（人間力）の向上と就職活動準備 目標：各自が目指す業界・企業から内定をもらい、社会人として最低限わきまえたいビジネスマナーのポイントを各自で意識し、挨拶・コミュニケーション力等実践できるレベルまで引き上げる。					
授業の概要					
現在の自分の常識力及び考え方や行動特性を把握して、就職活動に向けて準備を進める。ペアワークやグループワークを通じて自己表現力や周囲の人と上手く付き合い人間関係構築が可能なコミュニケーションスキルを演習を通じて向上させる。興味を持つことの大切さや状況に応じて判断・選択・決断・行動へと自分で考動できるだけでなく、周囲に気遣いのできる人になるための基礎力を養成する。					
成績評価の方法					
期末試験の結果と課題内容及び提出状況、授業の出欠席状況および取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				期末試験	50%
				課題提出	20%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・就職の手引き・自己分析ワークブック（浜松情報専門学校発行）・プリント教材・映像資料等 ・新社会人の教科書（株式会社学研プラス）・社会人の常識 敬語ドリル（株式会社語研） 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション		2			
2. 基礎力確認チェックテスト		2			
3. アセスメントツールの実施と解説		6			
4. 自己分析・自己PR準備と作成		6			
5. 履歴書・エントリーシート準備と作成		6			
6. ビジネスマナー・敬語の使い方		8			
7. 面接対策・模擬面接トレーニング		10			
8. グループワーク（業界&企業研究）		8			
9. インターンシップ		4			
10. 自己PR等 発表トレーニング		6			
11. まとめ		2			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G3-K06
授業科目名		授業形態		学科・コース	
就職実践		演習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	クラス担当
授業の目的・目標					
在籍する学生ひとり一人が希望する進路先に進むことを前提に、そのために具体的にどのような準備が必要であるか、またどうすれば効果的かつ実践的な準備を進めることができるのか、留意点に気づいてもらえるように個別に支援していく。在籍学生全員が納得のいく進路決定を目標とする。					
授業の概要					
昨今の就職事情は改善傾向にあり売り手市場であるといわれているが、どの企業においても「二極化」「厳選採用」の色は否めない。各自が志望する企業にとって求める人物像に近づけるよう準備をして、採用試験に臨みたいところである。個別の進捗状況に配慮しつつ一日でも早く内々定を得られるように講師自ら親身の支援を実践する。時期を見ながら入社後に役立つビジネスマナーの確認や社会人としての心構え等の準備をしていく。					
成績評価の方法					
筆記試験の結果と課題内容及び提出状況、学習意欲等取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				期末試験	50%
				課題提出	35%
				学習意欲	15%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・就職の手引き (浜松情報専門学校発行) 各種新聞・就職に役立つ関連情報 (映像資料含む) ・各種アセスメントツール (自己成長エゴグラム・性格傾向診断テスト等) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション・就職活動進捗状況の把握		2			
2. 就職活動支援キャリアカウンセリング		8			
3. 面接試験対策		8			
4. 自己分析・企業研究		2			
5. 履歴書・エントリーシート作成		4			
6. 入社後に役立つビジネスマナー		4			
7. まとめ		2			
その他			関連科目		
			・就職活動準備講座ⅠⅡ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度				
				科目コード	HJ7-K05				
授業科目名			授業形態	学科・コース					
ワープロ・表計算基礎			演習	全学科 (国際ITビジネス科除く)					
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員				
1	通年	必修	60	2	井本 美希 クラス担当				
授業の目的・目標									
WORDでは、作表を含むビジネス文書の作成や差し込み文書、複数ページの文書の作成等ができるようになる。EXCELでは、数式、グラフ、データベース機能等を使い業務で扱われるさまざまなデータの分析ができるようになる。									
授業の概要									
<p>タイピングに重点を置き、ホームポジションを確立する。「WORD」の基本的機能についても学び、入力速度と文書作成能力を図る日本語ワープロ検定試験の取得を目指す。</p> <p>「EXCEL」では計算・並べ替え・抽出・グラフ作成など様々な機能を学習し、表計算ソフトの有効な利用を通じて、情報処理能力検定試験(表計算)の取得を目指す。</p>									
成績評価の方法									
課題提出、認定試験にて評価					<table border="1"> <tr> <td>課題</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>認定試験</td> <td>60%</td> </tr> </table>	課題	40%	認定試験	60%
課題	40%								
認定試験	60%								
使用テキスト・教材									
授業内容・授業計画									
Word	時間数				時間数				
1. 入力と変換、文節長の変更	2	編集・削除			2				
2. 保存とフォルダ	2	書式設定、列幅行高			2				
3. 複写・移動・削除	2	四則演算、数式のコピー			2				
4. 書式設定	2	統計関数(SUM,AVERAGE)			2				
5. 作表	2	絶対参照			2				
6. ビジネス文書	2	RANK 関数			2				
7. 画像挿入、図形描画	2	IF 関数			2				
8. インデント	2	IF 関数の入れ子			2				
9. セクション	2	グラフ			2				
10. スタイルと目次	4	VLOOKUP 関数			2				
11. 差込印刷	4	データベース機能(フィルタ、ソート)			2				
12. 認定試験	2	シートの連携、串刺し集計			2				
Excel		データベース機能(ピボットテーブル)			2				
入力とマウスポインタ	2	小計とアウトライン			2				
		認定試験			2				
その他		関連科目							

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				HJ1-K06	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Presentation Basics プレゼンテーション基礎			講義・演習		全学科 (こども保育科・国際ITビジネス科除く)
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	中村住子 クラス担当
授業の目的・目標					
PowerPoint の操作技術習得及びプレゼンの基礎知識を習得する。グループ発表と個人発表を設題テーマに沿ってプレゼンを作成、決められた時間内におこなう。					
授業の概要					
テキストに沿ってプレゼンの作り方、PowerPoint の基本操作を実習する。テキスト内容終了後にグループでの作成と発表、個人での作成と発表をおこなう。					
成績評価の方法					
提出課題及び発表で評価する。完成度と制作意欲を併せて判定する。テキスト実習課題の提出も加味する。				プレゼン1	40%
				プレゼン2	40%
				提出課題他	20%
使用テキスト・教材					
30時間でマスター プレゼンテーション+ PowerPoint2016 実教出版					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. プレゼンテーションとは(1) プレゼンテーション種類、概要、活用			2	7. プレゼン課題 グループ グループ作成・発表	
2. プレゼンテーションとは(2) ストーリー作り、情報収集			2	8. プレゼン課題 個人	
3. プレゼンテーションとは(3) 視覚資料の作成、プレゼンの実際			2		
4. PowerPoint の資料作成(1) 「クイズ」			2		
5. PowerPoint の資料作成(2) 「情報化が与える影響」			4		
6. プレゼンテーションのテクニック 「情報化が与える影響」、実習			6		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	HJ1-K08
授業科目名			授業形態		学科・コース
選択講座 I			講義		全学科 (国際ITビジネス科除く)
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	選択授業担当講師
授業の目的・目標					
専門科目や一般科目の種類に関係なく、学生自身の視野を広げるため、各科通常の授業では学習することができない講座を複数種類開講し、学生個人の希望により1講座選択し受講する。					
授業の概要					
「CAD」「MOS対策」「漢字検定」「茶道」「作法」「運転免許」「音楽(ピアノ)」「ワープロ」「ネイル」「表計算」「英会話」「体育(フットサル)」「体育(バレーボール)」「ゼミナール」の講座の中から1つ選択し受講する。					
成績評価の方法					
出欠席状況にて評価する。					出欠席 100%
使用テキスト・教材					
各選択講座により指定あり。					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. オリエンテーション・講座			2		
2. 講座			26		
3. まとめ			2		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)					年度	2020年度
時間数は45分換算					科目コード	HJ1-K09
授業科目名			授業形態		学科・コース	
選択講座Ⅱ			講義		全学科 (国際ITビジネス科除く)	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	2	選択授業担当講師	
授業の目的・目標						
専門科目や一般科目の種類に関係なく、学生自身の視野を広げるため、各科通常の授業では学習することができない講座を複数種類開講し、学生個人の希望により1講座選択し受講する。						
授業の概要						
「CAD」「MOS対策」「漢字検定」「茶道」「作法」「運転免許」「音楽(ピアノ)」「ワープロ」「ネイル」「SPI」「英会話」「体育(フットサル)」「体育(バレーボール)」「ゼミナール」の講座の中から1つ選択し受講する。						
成績評価の方法						
出欠席状況にて評価する。					出欠席	100%
使用テキスト・教材						
各選択講座により指定あり。						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション・講座			2			
2. 講座			26			
3. まとめ			2			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)					年度	2020年度
時間数は45分換算					科目コード	HJ2-K10
授業科目名			授業形態		学科・コース	
選択講座Ⅲ			講義		全学科 (国際ITビジネス科除く)	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	2	選択授業担当講師	
授業の目的・目標						
専門科目や一般科目の種類に関係なく、学生自身の視野を広げるため、各科通常の授業では学習することができない講座を複数種類開講し、学生個人の希望により1講座選択し受講する。						
授業の概要						
「CAD」「MOS対策」「漢字検定」「茶道」「作法」「運転免許」「音楽(ピアノ)」「ワープロ」「ネイル」「表計算」「英会話」「体育(フットサル)」「体育(バレーボール)」「ゼミナール」の講座の中から1つ選択し受講する。						
成績評価の方法						
出欠席状況にて評価する。					出欠席	100%
使用テキスト・教材						
各選択講座により指定あり。						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション・講座			2			
2. 講座			26			
3. まとめ			2			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	HJ2-K11
授業科目名			授業形態		学科・コース
選択講座IV			講義		全学科 (国際ITビジネス科除く)
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	2	選択授業担当講師
授業の目的・目標					
専門科目や一般科目の種類に関係なく、学生自身の視野を広げるため、各科通常の授業では学習することができない講座を複数種類開講し、学生個人の希望により1講座選択し受講する。					
授業の概要					
「CAD」「MOS対策」「漢字検定」「茶道」「作法」「運転免許」「音楽(ピアノ)」「ワープロ」「ネイル」「SPI」「英会話」「体育(フットサル)」「体育(バレーボール)」「ゼミナール」の講座の中から1つ選択し受講する。					
成績評価の方法					
出欠席状況にて評価する。					出欠席 100%
使用テキスト・教材					
各選択講座により指定あり。					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. オリエンテーション・講座			2		
2. 講座			26		
3. まとめ			2		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)					年度	2020年度
時間数は45分換算					科目コード	HJ3-K12
授業科目名			授業形態		学科・コース	
選択講座V			講義		ゲームクリエイト科 こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	30	2	選択授業担当講師	
授業の目的・目標						
専門科目や一般科目の種類に関係なく、学生自身の視野を広げるため、各科通常の授業では学習することができない講座を複数種類開講し、学生個人の希望により1講座選択し受講する。						
授業の概要						
「CAD」「MOS対策」「漢字検定」「茶道」「作法」「運転免許」「音楽(ピアノ)」「ワープロ」「ネイル」「表計算」「英会話」「体育(フットサル)」「体育(バレーボール)」「ゼミナール」の講座の中から1つ選択し受講する。						
成績評価の方法						
出欠席状況にて評価する。					出欠席	100%
使用テキスト・教材						
各選択講座により指定あり。						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション・講座			2			
2. 講座			26			
3. まとめ			2			
その他				関連科目		

2020年度

セキュリティネットワーク科

1年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)					年度	
					2020年度	
					科目コード	
					S1-K06	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Business manner ビジネスマナー			演習		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	寺尾 寿樹	
授業の目的・目標						
<p>授業の目的：社会で喜ばれ役立つ人になるために必要なヒューマンスキル（人間力）向上のため 授業の目標：就職活動するためだけでなく社会人として最低限おさえておきたいビジネスマナーの ポイントを意識しすると同時に伝える力（自己表現力）を実践レベルまで引き上げる。</p>						
授業の概要						
<p>就活する前に現在の自身の常識力や把握しておくべきビジネスマナーを確認する。また社会で働く上で 必要なコミュニケーションスキル向上に磨きをかけるべく演習をおこなう。グループワークやプレゼン テーションなど授業での課題を通じて、自分は何をするべきか？できることは何か？を自分で考え行動 できる人になるための基礎力を養成する。</p>						
成績評価の方法						
<p>期末試験の結果と課題内容及び提出状況、授業の出席状況及び取り組む姿勢を加味 して成績評価を行う。</p>					期末試験	50%
					課題提出	30%
					出欠状況	20%
使用テキスト・教材						
新社会人の教科書 その他自作プリント教材、視聴覚教材等						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション 授業の目的・授業内容			2	12. セルフカウンセリングと アセスメント		2
2. 新社会人の7つの新習慣			2	13. 自己理解と他者理解		2
3. 上手くいく仕事の基本と進め方			2	14. 期末試験		2
4. 社会人の敬語と言葉遣い			2	15. ふりかえりとまとめ		2
5. 他社訪問のルール			2			
6. おもてなしの心			2			
7. 電話・メール・文書のコツ			2			
8. 仕事で成功する秘訣			2			
9. 知っておきたいお金の基本			2			
10. グループワーク・グループ討論			2			
11. プレゼンテーション・自己表現・伝達力			2			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S1-K08
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Business accounting ----- 企業会計		講義		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	宮木 孝
授業の目的・目標					
企業をとりまく世界について理解するために、企業とは何か、関連する様々な法規、経営目標を達成するための経営戦略及び経営戦略を具体化する情報戦略などの立案方法などを習得する。情報セキュリティマネジメント試験のストラテジ系の中心科目となる。					
授業の概要					
現代の経営管理では、情報システムが多く利活用されている。本講座では、企業・組織についてと経営に関する知識について、コンピュータがどのように利活用されているのかを学習する。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、授業の出欠席状況および取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				期末試験	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・出るとこだけ！情報セキュリティマネジメント テキスト&問題集 (株式会社翔泳社)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. システム戦略					
1-1. クラウドサービス		2			
1-2. 情報システム戦略		2			
2. システム企画					
2-1. 要求分析/要求定義		2			
2-2. セキュリティバイデザイン		2			
2-3. 調達		2			
3. 企業活動					
3-1. 組織形態		2			
3-2. 事業継続計画		2			
3-3. 企業会計		2			
4. 暗号と認証		8			
5. 情報セキュリティ製品		6			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S1-K14
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Information basis 情報基礎理論		講義		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	4	星野 亜季
授業の目的・目標					
コンピュータを構成する主要装置や周辺装置の種類と動作原理、情報処置システムの基本構成、オペレーティングシステムや情報の処理方法など、システム管理に必要な知識を習得する。					
授業の概要					
コンピュータの基本となるハードウェアや情報処理システム、ソフトウェアの基礎知識を学習する。コンピュータを構成する機器やオペレーティングシステムについては、実機を用いた演習により理解を深めて欲しい。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、授業の出欠席状況および取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				期末試験	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・いまどきパソコン&Windows10はこんなふうに行っている (技術評論社) ・自作PCバイブル2020 (株式会社晋遊社) ※予定 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. ソフトウェア基礎			3. PC組立演習		12
1-1.	ソフトウェア概要	2	4. PC構成演習・見積書作成		8
1-2.	OSの基本操作・設定 (Windows10)	6	5. まとめ		2
1-3.	ファイルについて	4			
1-4.	メンテナンス	4			
2. ハードウェア基礎					
2-1.	ハードウェア概要	8			
2-2.	CPU・記憶装置	2			
2-3.	補助記憶装置	2			
2-4.	入力装置	2			
2-5.	出力装置	2			
2-6.	インターフェース	2			
2-7.	性能評価	4			
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S1-K15
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Network system ネットワークシステム概論		講義		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	宮木 孝、上田 達也
授業の目的・目標					
<p>スモールオフィス程度の小規模ネットワークの構築、運用について学習する。また、WindowsOSのネットワーク設定及びWiFiルータ、スイッチなどのネットワーク機器の用途と設定に必要な知識を習得する。</p>					
授業の概要					
<p>ノートパソコンと市販のブロードバンドルーター、スイッチングハブなどの実機を使い、ネットワークケーブルの制作や配線からネットワーク機器とWindows10の基本設定を演習中心に学習する。また、サーバーなどに使われるパソコンを構成する各部品についても実機を使い学習する。</p>					
成績評価の方法					
演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。評価は、課題の要求仕様の達成度によって判定する。				課題提出	90%
				出欠状況	10%
使用テキスト・教材					
<p>・使える力が身につく ネットワークがよくわかる教科書 (ソフトバンククリエイティブ)</p>					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. コンピュータネットワークの基礎知識			4. 無線LANの基礎知識		
1-1. プロトコルの階層化		2	4-1. 無線通信の規格/SSID		2
1-2. 通信方式とアドレス		2	4-2. MIMO/セキュリティ		2
1-3. ネットワークを構成する要素		2	5. IP電話の接続演習		4
1-4. 単位と数の表し方		2	6. まとめ		2
2. 有線LANの基礎知識					
2-1. イーサネットの仕様と種類		2			
2-2. スイッチとハブ		2			
2-3. ルータ		2			
3. ネットワークサービス					
3-1. アクセス回線/ドメイン名		2			
3-2. DNS/DHCP		2			
3-3. Web/メール		2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S1-K16
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Database basics データベース基礎理論		講義		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	宮木 孝
授業の目的・目標					
データベースとは、データを整理統合し、コンピュータによる効率的な検索や更新ができるように構造化されたファイルのことである。本講座ではSQLインジェクションなどの攻撃に対する対策を施したデータベースサーバ構築のための基礎知識を習得する。					
授業の概要					
データベースの基礎知識、正規化、SQL、運用方法などについて学習する。データベースの設計からSQLの各単元の演習を通してデータベース基本操作を習得する。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、授業の出欠席状況および取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				期末試験	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・データベースとSQL (株式会社インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. データベースの概要/管理システム	2	13. まとめ			2
2. データモデル/主キーと外部キー/設計	2				
3. データベースの定義	2				
4. SELECT文	2				
5. 集合関数とグループ集計/整列	2				
6. データの挿入/削除/更新	2				
7. 複数のテーブル操作	2				
8. ビュー	2				
9. 副参照/条件分岐	2				
10. トランザクション管理	2				
11. 総合演習1	4				
12. 総合演習2	4				
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S1-K17
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Network basics ネットワーク基礎理論		講義		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	山崎 靖晃
授業の目的・目標					
コンピュータやモバイル端末ではネットワーク接続が欠かせないものとなっている。本講座ではインターネットの仕組みやLANにおける各装置の動作原理、通信プロトコルなどネットワーク構築に必要な基礎知識を習得する。					
授業の概要					
有線LANや無線LAN、LAN間装置の基本動作（スイッチングやルーティング）、アドレス計算やアプリケーション層で動作する各種プロトコルの仕組みなど、ネットワークの基本的な技術について学習する。小規模なネットワーク構築演習を通してネットワーク構築に実用的なツールの使い方とネットワークの動作について理解を深める。また学習した知識を活かしてネットワーク構成を設計・提案する演習を行う。					
成績評価の方法					
提出課題の完成度及び提出状況に、授業へ取り組む姿勢を加味し、成績評価する。				課題提出	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・徹底攻略 Cisco CCENT/CCNA Routing & Switching 教科書 ICND1 編 (株式会社インプレス)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1	ネットワークの基礎	8	6	L3 ネットワークの理解	
2	OSI 参照モデルとネットワーク機器	2	6.1	TCP/IP の基礎	8
3	ネットワーク構築実務ツールの演習	4	6.2	IP アドレス	4
4	L1 ネットワークの理解		6.3	LAN と WAN の基礎	4
	4.1 RJ45 UTP ケーブルの基礎	2	7	アプリケーション	
5	L2 ネットワークの理解		7.1	ネットワークサービス	4
	5.1 イーサネットフレーム、MAC アドレス	4	8	ネットワーク構築演習	4
	5.2 スイッチの基礎	4	9	ネットワーク構築提案	
	5.3 VLAN の基礎	4	9.1	小規模ネットワーク構築提案	4
	5.4 無線LAN の基礎と構築	4			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S1-K18
授業科目名		授業形態		学科・コース	
System design システム設計概論		講義		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	宮木 孝
授業の目的・目標					
アプリケーション開発やWebシステム開発で必要となる様々なシステムの開発技法やプロジェクトマネジメントの考え方などシステム設計手法の基礎知識を習得する。また、情報セキュリティマネジメント試験のマネジメント系の中心科目となる。					
授業の概要					
情報システムの企画、設計や実装、評価や保守、廃棄までのシステム開発サイクル及び開発プロジェクトを進める上で必要なプロジェクトマネジメントやシステム管理に使えるサービスマネジメントの考え方を学習する。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、授業の出欠席状況および取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				期末試験	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・出るとこだけ！情報セキュリティマネジメント テキスト&問題集 (株式会社翔泳社)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. プロジェクトマネジメント			3. システム監査		
1-1. 総合/ステークホルダマネジメント		2	3-1. システム監査		2
1-2. スコープ/資源マネジメント		2	3-2. 情報セキュリティ監査		2
1-3. タイムマ/コストマネジメント		2	3-3. 内部統制/IT 統制		2
1-4. リスク/品質マネジメント		2	3-4. IT ガバナンス		2
1-5. 調達/コミュニケーションマネジメント		2	4. まとめ		2
1-6. アローダイアグラム		2			
2. サーマネジメント					
2-1. サーマネジメント		2			
2-2. サーマネジメントプロセス		2			
2-3. ファシリティアネジメント		2			
2-4. サービスデスク		2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度	
				科目コード	S1-K19	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Data models ----- データモデル概論			演習		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	海野 萌	
授業の目的・目標						
ある問題を解決するための手順や考え方をアルゴリズムという。本講座では、アルゴリズムの図的表現であるフローチャートの書き方を学習し、効率的で分かりやすいアルゴリズムの技法を習得する。						
授業の概要						
基本的なアルゴリズムとデータ構造を学習する。「バブルソート」「選択ソート」「挿入ソート」の他に、より高速な整列アルゴリズムである「シェルソート」「クイックソート」などを学習する。						
成績評価の方法						
期末試験の得点、授業の出欠席状況および取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。					期末試験 80% 学習意欲 20%	
使用テキスト・教材						
・新・明解 Python で学ぶアルゴリズムとデータ構造 (SB クリエイティブ)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. アルゴリズムとは			2	13. 木構造		2
2. フローチャート記号の書き方			2	14. 擬似言語		2
3. 繰り返し処理			2	15. まとめ		2
4. データ構造と配列			2			
5. 多次元並列処理			2			
6. 配列探索処理			2			
7. 配列整列処理			2			
8. 高速整列処理			2			
9. 文字列処理			2			
10. 探索アルゴリズムとは			2			
11. リスト構造とハッシュ			2			
12. キューとスタック構造			2			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)	時間数は45分換算	年度	2020年度
		科目コード	S1-K20

授業科目名		授業形態		学科・コース	
Machine learning basics 機械学習基礎理論		演習		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	海野 萌
授業の目的・目標					
近年、ビックデータ等の大量なデータを解析し、見えないものを予測するための機械学習がビジネスに活用されている。本講座では、機械学習の演習を通して活用技術を体験し、機械学習の基礎知識を習得する。					
授業の概要					
機械学習モデルの作り方からデータの予測、精度の向上方法、統計分類の利用、データの可視化など機械学習の基本知識を学習する。					
成績評価の方法					
提出課題の完成度及び提出状況、授業の出欠席状況および取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				課題提出	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・パソコンで楽しむ自分で動かす人工知能 (インプレス)					

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
1. 機械学習とは	1		
2. 機械学習の種類とビジネス活用事例	1		
3. モデリング	1		
4. 線形回帰モデルによる予測： 勾配降下法 過学習	5		
5. ロジスティック回帰	4		
6. クラスタリング	4		
7. 主成分分析：次元削減	4		
8. 決定木	4		
9. ニューラルネットワーク	4		
10. まとめ	2		
その他		関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S1-K21
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Information security introduction 情報セキュリティ概論		講義		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	宮木 孝
授業の目的・目標					
ネットワークやインターネットの急速な発展にともない情報セキュリティに対する重要性も増大している。情報セキュリティで実施される対策の技術と管理の両面から情報セキュリティ全般の知識を習得する。情報セキュリティマネジメント試験のテクノロジ系の中心科目となる。					
授業の概要					
情報セキュリティの基礎知識を学習する。暗号・認証技術から、サイバー攻撃等の脅威やマルウェア、セキュリティ対策技術、国際標準規格や関連する法規、ガイドラインまでの幅広い分野の理解を深める。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、授業の出欠席状況および取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				期末試験	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・出るとこだけ！情報セキュリティマネジメント テキスト&問題集 (株式会社翔泳社)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. サイバー攻撃の手法			3-2. 人的セキュリティ対策		2
1-1. サイバー攻撃		2	3-3. 技術的セキュリティ対策		4
1-2. マルウェア		2	3-4. 物理的セキュリティ対策		2
1-3. 不正アクセス/なりすまし		2	4. まとめ		2
1-4. DOS 攻撃/Web 攻撃		2			
1-5. スクリプト攻撃/その他の攻撃		2			
1-6. 標的型攻撃		2			
2. 情報セキュリティ管理					
2-1. 情報セキュリティポリシー		2			
2-2. リスクマネジメント		2			
2-3. 情報セキュリティ管理の実践		2			
3. 情報セキュリティ対策					
3-1. 脅威		2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・ネットワーク基礎理論		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S1-K22
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Information security technology 情報セキュリティ技術論		講義		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	杉山 悦男
授業の目的・目標					
ITの進化とともに、サイバー攻撃も多様・高度化している。そのような攻撃を受けないようにするには、どのように対策したら良いか知る必要がある。主に技術的観点から脅威に対しての危険性や対策方法の理解を深める。					
授業の概要					
情報セキュリティの基本的なサイバー攻撃の仕組みを知り、セキュリティ対策技術を学習する。演習問題を通して理解を深めて欲しい。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、授業の出欠席状況および取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				期末試験	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・情報セキュリティの基礎知識 (技術評論社)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 情報セキュリティの基礎		4			
2. 情報セキュリティの基礎技術		8			
3. サイバー攻撃のしくみ		2			
4. 脆弱性とインシデント対応		2			
5. 総仕上げ問題1		6			
6. 総仕上げ問題2		6			
7. まとめ		2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・情報セキュリティ概論		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S1-K25
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Web technology basics Web 技術基礎		演習		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	星野 亜季
授業の目的・目標					
攻撃者の多くは Web 技術を使って攻撃してくる。防御するためには、Web の仕組みを正しく理解することが重要となる。本講座では、HTML と CSS を使って Web ページを作成し、Web サイトの仕組みの理解を深める。					
授業の概要					
Web サイト作成に必要な HTML と CSS の基礎技術を学習する。基本的な Web ページからスマートフォンに対応したレスポンシブ Web デザインを作成する。					
成績評価の方法					
提出課題の完成度及び提出状況に、授業へ取り組む姿勢を加味し、成績評価する。				課題提出	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・スラスラわかる HTML&CSS のきほん 第2版 (SB クリエイティブ)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. Web サイト作成準備			2		
2. HTML の基礎			6		
3. CSS の基礎			6		
4. フォームの作成			4		
5. モバイル端末対応の基礎			4		
6. Web サイト公開の基礎			2		
7. 課題制作			6		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S1-K26
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Web technology application Web 技術応用		演習		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	星野 亜季
授業の目的・目標					
現在のWebサイトの多くは、アニメーション効果で動きを付けたり、インタラクティブ性を持たせている。本講座では、プログラム言語を使って、Webページを作成し、動きのあるWebサイトの仕組みの理解を深める。					
授業の概要					
動的なサイトを作るために必要なプログラム言語の基礎知識を学習する。Webサイトの作成を通して、JavaScriptを使った動きのあるサイト構築を段階的に学ぶ。					
成績評価の方法					
提出課題の完成度及び提出状況に、授業へ取り組む姿勢を加味し、成績評価する。				課題提出	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・確かな力が身につくJavaScript「超」入門 第2版 (SBクリエイティブ)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. JavaScript の基礎					
1-1. JavaScript とは		2			
1-2. JavaScript の基礎的文法		6			
2. JavaScript の文法					
2-1. 基本文法、ミニゲーム作成		14			
2-2. フォーム・データ加工		6			
3. 実践に近いプログラムの作成					
プルダウンメニュー・スライドショー等		14			
4. jQuery 入門		8			
5. 外部データ活用法 (位置情報等)		8			
6. まとめ		2			
その他		関連科目			
		・Web 技術基礎			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S1-K27
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Cloud technology basics クラウド技術基礎		講義		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	川嶋 一寿
授業の目的・目標					
近年、メールやオフィス機能、オンラインストレージなどのクラウドサービスが普及している。今や生活に欠かせない存在になりつつあるクラウドの基礎知識を習得し、クラウドサービスの比較検討ができるようになる。					
授業の概要					
クラウドサービスの種類や特徴、クラウドを支える基本技術や導入・運用に関するコストやリスクなどの基礎知識について学習する。メールやオフィス機能、オンラインストレージなどのクラウドサービスの操作を行い、知識を深める。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、授業の出欠席状況および取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				期末試験	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・ Cloud Essentials テキスト&問題集 (TAC 出版)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. クラウドの基本特性		2	12. 演習		
2. サービスモデル・配置モデル		2	12-1. 準備 (AWS、Github)		2
3. 分散処理・仮想化技術		2	12-2. ポートフォリオの作成		4
4. データ連携・標準化		2	・ S3		
5. アウトソーシング・ビジネスの特徴		2	・ Lambda		
6. IT サービスマネジメント		2	・ Dynamo DB		
7. 導入検討・導入コスト		2	・ API Gateway		
8. 技術リスク・利用リスク		2	・ Route53		
9. コンプライアンス・セキュリティ		2	12-3. 配備		2
10. 商業サービス・ホスティングサービス		2	・ Github		
11. クラウドストレージ		2	・ Github Actions		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S1-K28
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Cloud technology application クラウド技術応用		講義		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	川嶋 一寿
授業の目的・目標					
クラウド技術基礎で習得した基礎知識を基に、クラウド導入にあたっての検討事項や成功のためのポイントや導入に関するリスクなどの理解を深める。					
授業の概要					
クラウドサービスを支える技術の概要を学習し、実際にサービスに触ってみることで、クラウドのスキルを取得する。 また、負荷試験の方法を通して、クラウドでのシステム運用の概要を学習する。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、授業の出欠席状況および取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				期末試験	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・AWS 公式ドキュメント ・Amazon Web Services 負荷試験入門 (推奨) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. クラウドを支える技術			3. 可用性		
1-1. コンピューティング		2	3-1. バックアップ		2
1-2. ネットワーキング		2	3-2. モニタリング		2
1-3. ストレージ		2	3-3. 演習		2
1-4. コンテナ		2	4. キャパシティプランニング		
1-5. 演習		2	4-1. 負荷試験の基本知識		2
2. セキュリティ			4-2. 負荷試験のツール		2
2-1. クラウド・セキュリティ		2	4-3. 負荷試験の実施・評価		4
2-2. 攻撃・防御		2			
2-3. 演習		2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・クラウド技術基礎		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S1-K29
授業科目名		授業形態		学科・コース	
特別講義 I		講義		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	宮木 孝
授業の目的・目標					
情報セキュリティマネジメント試験合格を目指す。資格試験の対策講座であり、問題演習及び傾向対策を重点的に行う。					
授業の概要					
10月の情報セキュリティマネジメント試験に向けての対策授業。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、授業の出欠席状況および取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				期末試験	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュマネ試験 要点&問題集、解説解答 (株式会社インフォテックサーブ) ・出るとこだけ!情報セキュリティマネジメント テキスト&問題集 (株式会社翔泳社) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. セキュリティ全般					
1-1. サイバー攻撃の種類		2			
1-2. 人的脅威/物理的脅威		2			
1-3. 暗号化技術		2			
1-4. 認証技術		2			
1-5. デジタル署名		2			
2. セキュリティ対策		6			
3. セキュリティ管理					
3-1. ISMS		2			
3-2. リスクマネジメント		2			
4. セキュリティ関連法規		4			
5. 午後問題対策		6			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S1-K31
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Smart system development 1 スマートシステム開発演習 I		演習		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	石丸 清登
授業の目的・目標					
AI などを使ったスマートなセキュリティシステムの構築に必要な OS の構成、基本操作、運用について学習する。					
授業の概要					
Linux 基本的な構成要素 (ファイルシステム、プロセス、アドレス空間などの抽象実体) とシェルスクリプト、パッケージ管理、ユーザー管理、サービス管理、ネットワーク接続、各種サーバーを学ぶ。					
成績評価の方法					
演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。評価は、課題の達成度によって判定する。				課題提出	90%
				出欠状況	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・CentOS 徹底入門 第4版 (翔泳社) ・プリント教材・課題 (講師作成) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1	Linux とは		5	システムの起動とサービス管理	
	1.1 ディストリビューション、GUI 環境、X11	2	5.1 システムの起動プロセス		2
	1.2 インストール	2	5.2 systemd によるサービス管理		2
			5.3 ブートローダーGRUB		2
2	基本操作		6	システム管理	
	2.1 コマンド操作の基本	2	6.1 ユーザー管理とグループ管理		2
	2.2 シェルとコマンド	2	6.2 プロセス管理		2
	2.3 シェルの基本操作	4	6.3 ジョブスケジューリング		1
	2.4 エディタ	4	6.4 言語と日時の設定		1
	2.5 ドキュメント	2	7 各種サーバー設定と運用		
3	ファイルシステムの管理		7.1 DNS		6
	3.1 パーMISSIONの管理	2	7.2 Web サーバー		4
	3.2 基本的なファイル管理	2	7.3 Samba サーバー		4
	3.3 ファイルの検索	2	7.4 SSH サーバー		2
4	ネットワークの設定		7.5 データベースサーバー		4
	4.1 サーバー運用に必要なネットワークの知識	2			
	4.2 ネットワークの基本設定	2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S1-K33
授業科目名		授業形態		学科・コース	
System planning and design システム企画設計演習		演習		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	中村 真
授業の目的・目標					
企業活動をする上で必要となる関連知識を総合的に学習する。ビジネスのシステム及び人間の脳と行動の仕組みを理解することで、社会人に求められる基礎的な力の習得を目指し、日常生活におけるセルフコントロールと、企業内の人間関係や身近な人との関わり方を効果的なものにする方法を学び身に付けていくことで、早期離職につながる思い違いや人間関係のトラブルに対応する能力を養う。					
授業の概要					
講義とグループ実習でビジネスに必要なシステム思考を理解し実践する。実習課題については、苦勞しても自分で達成することが重要である。					
成績評価の方法					
提出レポート、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。課題の評価は、要求された機能の完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。				提出レポート	50%
				演習課題	50%
使用テキスト・教材					
・プリント資料、演習課題（講師作成）					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1	オリエンテーション	2	9.	マネタイズを考える	2
	1.1 学習する内容		9.1	サービスプランブラッシュアップ	
2	お金と時間を定義する	2	9.2	プレゼンテーション準備	
3	成果をあげる計画	2	10.	システム思考を身につける	4
	3.1 パレートの法則		10.1	コントロールの可否分析	
	3.2 プライオリティマネジメント		10.2	事実と現実を分類する	
4	共同作業能力を養う	4	10.3	関係構築と破壊の習慣	
	4.1 グループディスカッションワークショップ		10.4	人間のシステム	
	4.2 共同作業実習 (MapGame)		11.	グループ対抗プレゼンテーション	2
5	商品企画と企業(株式会社)の仕組み	2	12.	マネジメントケーススタディ	4
6	マーケティングリサーチ実習	2	12.1	セルフコントロール (行為と思考のコントロール)	
7	ディベートと Trial&error の違い	2	12.2	チーム達成ワーク	
8	商品企画実習	2	12.3	キャリアデザイン中長期計画表とまとめ	
	8.1 グループディスカッションワークショップ				
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S1-K35
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Multi-device application 1 マルチデバイスアプリ開発演習 I		演習		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	宮木 孝
授業の目的・目標					
情報セキュリティにおいて重要となる、Web、暗号、ネットワークなどについて、プログラミング言語による実装を行うことで、攻撃手法や防御技術の原理を学習する。本講座では、Python によるプログラミング演習を通して、情報セキュリティの理解を深める。					
授業の概要					
ポートスキャン、ping や ARP などのネットワークコマンド、XSS、CSRF、クリックジャッキングなどの代表的なサイバー攻撃、様々な無線技術のセキュリティを Python による実装を通して、段階的に学習する。					
成績評価の方法					
提出課題の完成度及び提出状況に、授業へ取り組む姿勢を加味し、成績評価する。				課題提出	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・つくりながら学ぶ! Python セキュリティプログラミング (マイナビ出版)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 環境構築		2	5. Webセキュリティ		
2. Python チュートリアル			5-1. XSS		4
2-1. 算術演算		2	5-2. CSRF		4
2-2. 変数/文字列リスト		2	5-3. クリックジャッキング		4
2-3. 関数/クラス		2	6. 暗号		
2-4. 組み込み関数/メソッド		2	6-1. 共通鍵暗号		4
2-5. フロー制御		4	6-2. 公開鍵暗号		4
2-6. まとめ		2	7. ファジング		4
3. ネットワークに関する基礎知識		4	8. 無線技術とセキュリティ		4
4. ネットワークセキュリティ			9. 仮想化技術とセキュリティ		4
4-1. 情報収集		4			
4-2. 内部探索		4			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

2020年度

セキュリティネットワーク科

2年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S2-K09
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Business English basic ビジネス英会話入門		演習		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	杉森 沙奈恵
授業の目的・目標					
IT 関連業務において必要な英語の資料読解、簡単な口頭およびメールや書面でのコミュニケーションができる程度の基礎レベルの英語知識を習得し、実践できるようにする。英会話を基本として、色々な状況にあった英語表現を学ぶ。会話表現だけではなく、簡単な文章が読めて理解できるようになる。					
授業の概要					
1コマ1コマ、状況にあった英語表現を学ぶ。日常の場面だが、就職した際、自分の職場でどのようにその表現が活用できるのか考えさせる。(病院で症状を聞く→活用→パソコンの状態を聞く)					
成績評価の方法					
期末試験の得点、授業の出欠席状況および取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。取り組み姿勢には、出席率、積極性、授業態度が含まれる。				期末試験	50%
				出欠状況	40%
				授業態度	10%
使用テキスト・教材					
・接客英会話 ワークブック 基礎編 (CASIO)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. ウォームアップ (英語で自己紹介)	2	11. ウォームアップ	2		
2. 受付業務	2	(英語で自己紹介)			
3. 会計案内	2	12. 案内業務	2		
4. 商品案内	2	13. 今までの表現を使い会話作成、	2		
5. 飲食店	2	デモ			
6. まちかど、地図案内	2	14. 13での会話を使い国際IT	2		
7. 落とし物	2	と交流			
8. クレーム対応	2	15. まとめ	2		
9. 注文の確認、返品対応	2				
10. 電話対応	2				
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。 ※最後に学んだ表現を使って国際ITと交流する。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S2-K23
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Information security measures 情報セキュリティ対策論		講義		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	杉山 悦男
授業の目的・目標					
組織や企業を脅かすリスクには様々なものがある。これらのリスクを把握し、必要な対策を講じる必要がある。基本的なサイバー攻撃に対する防御技術を、演習を通して身につける。					
授業の概要					
基本的なサイバー攻撃の仕組みと防御技術を学習する。防御技術演習では、実機を使った演習を行う。					
成績評価の方法					
提出課題の完成度及び提出状況に、授業へ取り組む姿勢を加味し、成績評価する。				課題提出	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティ標準テキスト (オーム社) プリント教材・課題 (講師作成) 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 情報セキュリティの考え方			2		
2. 不正攻撃について			4		
3. ウィルスについて			2		
4. UTM			2		
5. 暗号化			2		
6. 認証			2		
7. 監査			4		
8. セキュリティポリシー			2		
7 防御技術演習 (UTM 設定)			10		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・情報セキュリティ技術論		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S2-K24
授業科目名		授業形態		学科・コース	
UI Design UIデザイン論		演習		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	宮木 孝
授業の目的・目標					
情報セキュリティを脅かす脅威は、外部からの攻撃だけではない。操作ミスなどからの情報漏洩も大きな脅威になる。本講座では、ユーザインタフェースの重要性と設計に必要な基礎知識を学習する。					
授業の概要					
UIにおけるハード及びソフトによる制約、人間の心理による影響、デザインを形にする方法を学習する。「わかりやすさ」と「使いやすさ」の要点を理解し、ユーザが迷わない、最適なUIを検討します。					
成績評価の方法					
提出課題の完成度及び提出状況に、授業へ取り組む姿勢を加味し、成績評価する。				課題提出	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・UIデザインの教科書 [新版] マルチデバイス時代のインターフェース設計 (翔泳社)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. デザインの目的とUI/UX		2			
2. 入力手段の違い		2			
3. 画面の違い・iPhone と Android		2			
4. ソフトウェアの影響		4			
5. 人間の認知特性		6			
6. グループワーク (認知特性)		4			
7. 階層と構造		2			
8. グループワーク (階層と構造)		2			
9. ナビゲーションとインタラクション		6			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S2-K30
授業科目名		授業形態		学科・コース	
特別講義II		講義		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	240	16	宮木 孝
授業の目的・目標					
情報セキュリティマネジメント試験、工事担任者 DD3 種合格を目指す。資格試験の対策講座であり、問題演習及び傾向対策を重点的に行う。					
授業の概要					
4月、10月の情報セキュリティマネジメント試験、5月の工事担任者 DD3 種に向けての対策授業。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、授業の出欠席状況および取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				期末試験	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュマネ試験 要点&問題集、解説解答 (株式会社インフォテックサーブ) ・工事担任者 DD3 種標準テキスト 第5版 (リックテレコム) 					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
1. リスクの発生/脅威と脆弱性の種類	6	11. TCP/IP	8		
2. リスクマネジメント/アセスメント	8	12. LAN 間接続装置	8		
3. リスク対応	8	13. アプリケーション層のプロトコル	8		
4. 脅威とサイバー攻撃手法	16	14. 無線 LAN	4		
5. 対策技術	18	15. 国際標準	4		
6. 信頼性の向上	8	16. 国内ガイドライン	6		
6. 暗号	6	17. 法令	4		
7. 認証	8	18. 模擬問題・過去問題実施			
7. セキュリティマネジメント (ISMS)	6	18-1. 模擬問題解答・解説	30		
8. セキュリティシステム	8	18-2. 過去問題解答・解説	60		
9. システム監査	8				
10. ソフトウェア開発技術とセキュリティ	8				
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S2-K32
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Smart system development 2 スマートシステム開発演習Ⅱ		演習		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	石丸 清登
授業の目的・目標					
サーバーを防衛するためのOSのセキュリティ基礎知識と各種サーバー（DNS、Web、メールサーバー、FTP、SSH）の安全な設定手法、セキュリティ侵害を感知するためのシステムログの管理手法を学習する。AIなどを使ったスマートなセキュリティシステムの構築に必要なOSの運用技術を習得する。					
授業の概要					
各種サーバー設定手法やシステムログの管理手法習得を通じて、OSのセキュリティ対策やセキュリティリスクとその対処方法を学習する。					
成績評価の方法					
演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。評価は、課題の達成度によって判定する。				課題提出	90%
				出欠状況	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・Linux サーバセキュリティ徹底入門（株式会社翔泳社） ・プリント教材・課題（講師作成） 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1	情報セキュリティの概要	2	7	セキュリティチェックと侵入検知	
2	情報セキュリティ技術	2	7.1	ポートスキャンとパケットキャプチャ	2
3	セキュリティ攻撃の種類	2	7.2	Tripwire	2
4	セキュアサーバーのクイックセットアップ	2	7.3	RootkitHunter	2
5	Linuxのセキュリティ対策		8	各種サーバーの安全設定とログ	
5.1	ファイルシステムのセキュリティ	2	8.1	DNSサーバー	4
5.2	ネットワークのセキュリティ	6	8.2	Webサーバー	4
5.3	SELinux	6	8.3	メールサーバー	6
6	システムログの管理		8.4	FTPサーバー	2
6.1	システムログの概要	4	8.5	SSHサーバー	2
6.2	ログの監視	4	8.6	データベースサーバ	4
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・スマートシステム開発演習Ⅰ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S2-K34
授業科目名		授業形態		学科・コース	
LAN construction LAN構築演習		演習		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	山崎 靖晃
授業の目的・目標					
一年次に学習したネットワークの知識を基に、スイッチングハブとルーターを利用した有線LANの設計・配線ができるようになる。TCP/IP、スイッチング、VLAN、ルーティングなどは実機での演習を通して動作理解を深める。また現場で実用的な構築ツールや提案力を身につける。					
授業の概要					
有線LANやスイッチングやルーティングなど、通信ネットワークの基本的な技術について学習する。ネットワーク設計に求められる冗長化構成や最新の無線LAN技術の基礎なども学習する。また学習した知識を活かして、仮想の案件でのネットワーク構築提案をグループワークで行い、プロジェクト遂行の模擬演習を行う。時間や予算などを考慮できるプロジェクトマネージャーとしての基礎も学ぶ。					
成績評価の方法					
提出課題の完成度及び提出状況に、授業へ取り組む姿勢を加味し、成績評価する。				課題提出	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・徹底攻略 Cisco CCENT/CCNA Routing & Switching 教科書 ICND1 編 (株式会社インプレス)					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
1	OSI 参照モデルとネットワーク機器	2	5	L3 ネットワークの理解	4
2	ネットワーク構築実務ツールの演習	4	5.1	TCP/IP、3WAY ハンドシェイクの基礎	4
3	L1 ネットワークの理解		5.2	IP アドレスの基礎、設計	4
	3.1 RJ45 UTP ケーブルの基礎	2	5.3	冗長化構成 (VRRP、マルチホーミング) の基礎	4
4	L2 ネットワークの理解		5.4	ルーティング技術	4
	4.1 MAC アドレスと ARP	4	5.5	動的ルーティングネットワーク構築	
	4.2 VLAN の基礎、構築	4	6	ネットワーク構築演習	8
	4.3 冗長化構成 (STP、EtherChannel) の基礎	4	7	ネットワーク構築提案	
	4.4 無線 LAN の基礎	4	7.1	小規模ネットワーク構築提案	2
			7.2	中規模ネットワーク構築提案	2
			7.3	大規模ネットワーク構築提案	4
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・ネットワーク基礎理論		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S2-K36
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Multi-device application 2 マルチデバイスアプリ開発演習Ⅱ		演習		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	90	3	星野 亜季
授業の目的・目標					
PHP の脆弱性を狙ったサイバー攻撃は、日々進化を続け、後を絶たない。本講座では、PHP と MySQL (データベース) の基本知識を習得し、Web サイトのセキュリティ対策ができるようになる。					
授業の概要					
動的なサイトを作るために必要な PHP とデータベースにアクセスするための SQL の基礎知識を学習する。ショッピングサイトの作成を通して、PHP を使ったサイト構築を段階的に学ぶ。					
成績評価の方法					
提出課題の完成度及び提出状況に、授業へ取り組む姿勢を加味し、成績評価する。				課題提出	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・気づけばプロ並み PHP 改訂版--ゼロから作れる人になる! (リックテレコム)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. PHP とは?システム開発準備		4			
2. データベース作成					
2-1. データベースの基礎、追加、削除		12			
2-2. チェック画面作成、画像挿入		10			
3. ログイン画面作成		8			
4. 安全対策、ショートプログラム作成		8			
5. ショッピングカート作成		14			
6. 注文フォーム作成		14			
7. データベース管理		8			
8. 会員登録画面作成		10			
9. まとめ		2			
その他			関連科目		
			・ Web 技術応用		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S2-K37
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Cloud construction クラウド構築演習		演習		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	川嶋 一寿
授業の目的・目標					
一年次に学習したネットワーク、データベース、クラウドの知識を基に、仮想環境上に各種サーバ機能を構築する演習を行うことで、クラウドの導入から運用までの理解を深める。					
授業の概要					
AWSのサービスを利用し、クラウドでのシステム的设计・構築・運用技術を学習する。 以下の手順をおって演習することで、クラウドでのシステムの構築方法を学習する。 ・オンプレを仮想化したシステムの構築 → フルマネージドサービスへの置き換え					
成績評価の方法					
提出課題の完成度及び提出状況に、授業へ取り組む姿勢を加味し、成績評価する。				課題提出	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・AWS公式ドキュメント ・サイトリライアビリティエンジニアリング (推奨) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. AWS利用準備		2	6. ストレージ		6
1-1. AWS Console の利用方法概要			6-1. マネージドサービスの利用		
1-2. AWS CLI の利用方法概要			7. システム構築の自動化		8
2. 3階層システムの構築		6	7-1. Ansible		
2-1. Web/App/DBサーバ構築			7-2. CloudFormation		
3. ユーザー管理		4	8. CI/CD		6
3-1. IAMユーザー			9. モニタリング		6
3-2. IAMロール			9-1. CloudWatch		
4. ネットワーク管理		6	10. 高可用性		6
4-1. VPC/Subnet/SG			10-1. MultiAZ		
4-2. Bastionサーバ構築			10-2. DR		
5. スケールするシステムの構築		6	11. サーバレスアーキテクチャ		4
5-1. ELB/Auto Scaling					
5-2. Stress Test					
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	S2-K38
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Database construction データベース構築演習		演習		セキュリティネットワーク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	伊藤 清香
授業の目的・目標					
業務システムで多く利用されているユーザ管理や在庫管理などのデータベースを活用したシステムを実際に設計し、構築する。データベースの構築手順と活用技術の理解を深める。					
授業の概要					
Microsoft Access を使って、リレーショナルデータベース (RDB) や SQL の基本を学び、データベースを使った簡単なシステムの作り方を習得する。「SELECT *文」や「ORDER BY 句」などの SQL を記述して、データベースの行 (レコード) を条件に合わせて抽出する方法やレコードを追加、更新、削除する方法を解説し演習する。					
成績評価の方法					
提出課題の完成度及び提出状況に、授業へ取り組む姿勢を加味し、成績評価する。				課題提出	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・自作演習プリント ・Access によるシステム構築問題集 (ムゲンダイ出版) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1 Microsoft Access とは テーブルの作成他		2	4 売上管理システム開発 ・テーブルの作成		8
2 SQL 文のクエリを作成・編集する		4	・商品登録フォームの作成		
3 住所管理システムの開発 ・テーブル作成 ・オートフォーム機能を用いたフォームの作成 ・データの入力 ・レコードの操作 ・オートレポート機能を用いたレポートの作成		6	・商品情報データの入力 ・各種クエリの作成 ・売上データ入力フォームの作成 ・レシートレポートの作成 ・売上状況レポートの作成 ・売上データ入力フォームの変更 ・メインメニューの作成		
			5 総合問題 レンタル DVD システムの開発		10
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・データベース基礎理論		

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				S2-K39	
授業科目名			授業形態		学科・コース
卒業研究			演習		セキュリティネットワーク科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	240	8	宮木 孝
授業の目的・目標					
2年間の学習成果を残すための制作演習を行う。セキュリティまたはネットワークについての学習を目に見えるものとして作品を残す。					
授業の概要					
個人またはグループごとに研究テーマを決め、決められた期間内に仕様書、システム構築、完成モデルを作成する。1月下旬から2月上旬に研究発表会を学外の会場で実施する。					
成績評価の方法					
作品提出 (完成度、技術度)、卒業研究論文、出欠席状況、授業態度				作品	50%
				論文	30%
				出欠席	20%
使用テキスト・教材					
研究テーマごとの参考文献等					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. プレゼンテーションの基礎	4	12. グループ作業	40		
2. 論文・レポート作成の基礎	4	12. 発表準備	20		
3. 企画書・仕様書の作成の基礎	4	13. 卒業研究発表	2		
4. グループ決め	2	14. 論文作成	8		
5. テーマ選定。役割分担決め	6				
6. テーマプレゼン	6				
7. テーマ詳細検討	4				
8. 企画書作成	6				
9. 企画書レビュー	2				
10. グループ作業	40				
11. 中間発表	2				
その他			関連科目		
			・履修した全科目		

2020年度

コンピュータ科

1年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	C1-K10
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Hardware ハードウェア			講義		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	60	4	岡田 靖志		
授業の目的・目標							
基本情報技術者試験のハードウェア分野を学習する。基数変換、CPUの働き、論理演算、アドレッシング及び情報処理システムのいろいろな計算方法を重点的に理解する。							
授業の概要							
ハードウェアの知識を持つことで、効率の良いプログラムが可能になる。2進数や基数変換などの計算はコンピュータ技術に関わる者の基本となる。何度も計算して、確実に理解して欲しい。							
成績評価の方法							
複数回の筆記試験と出席状況					筆記試験	90%	
					出席状況	10%	
使用テキスト・教材							
ITワールド・サブノート (インフォテックサーブ) 基本情報技術者午前問題集 (インフォテックサーブ)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. コンピュータの基本構成			2	7. 情報処理システムの処理形態			2
2. コンピュータのデータ表現				8. 高信頼化システムの構成			2
(1) データ表現			8	9. 情報処理システムの評価			
(2) 基数と基数変換			8	(1) 処理能力の評価			4
3. データ表現・総合・応用問題			8	(2) 信頼性の評価			4
4. 中央処理装置と主記憶装置				10. ヒューマンインタフェース			2
(1) 中央処理装置と主記憶装置の構成			3	11. マルチメディア			2
(2) 命令とアドレッシング			4				
(3) ALUの構成回路			2				
(4) 高速化技術			4				
5. 補助記憶装置			3				
6. 入出力装置			2				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。				基本ソフトウェア ネットワーク			

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				C1-K11		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
基本ソフトウェア			講義		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必須	30	2	内山 泰伸	
授業の目的・目標						
基本情報技術者試験の出題範囲にあるソフトウェア分野を学習し、試験合格を目指す。						
授業の概要						
テキスト内容に沿って講義形式で学習する。オペレーティングシステム操作など必要に応じてパソコンを用いた実習を行う。						
成績評価の方法						
期末試験 (マークシート方式)					期末試験 100%	
使用テキスト・教材						
ITワールド 基本情報技術者試験午前問題集						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. ソフトウェアの体系による分類1 制御プログラム、サービスプログラム等			2	11. ファイルとレコード、ファイルの アクセス方式		2
1. ソフトウェアの体系による分類2 ミドルウェア、応用ソフトウェア、OS等			2	12. ファイル編成方式		2
3. ソフトウェアライセンスによる分類			2	13. 小型コンピュータのファイル管理 とバックアップ		2
4. OSの機能と構成			2	14. まとめ、演習問題		2
5. OSの管理機能 ジョブ管理			2	15. 期末試験		2
6. OSの管理機能 タスク管理			2			
7. OSの管理機能 記憶管理			2			
8. OSの管理機能 その他の管理機能			2			
9. プログラム言語の分類			2			
10. 言語プロセッサとプログラムの属性			2			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。				ハードウェア、データベース、C言語		

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年度	2020年度
					科目コード	C1-K12
授業科目名			授業形態		学科・コース	
アルゴリズムとデータ構造			講義		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必須	30	2	伊藤 清香・石森 寛章	
授業の目的・目標						
プログラムは一般的に「アルゴリズムとデータ構造」で構成されていると言われている。プログラムを作成する上で必要となる、代表的な処理方法、データ構造を学習する。更に流れ図や疑似言語の読み解き方、組み立て方を学習する。情報処理技術者試験でも中心となる分野である。						
授業の概要						
基本的には、講義と演習で授業を進める。テキストに掲載されている例を元に、説明を板書し解説を行う。アルゴリズムの流れ図や疑似言語で様式化したものを読み解く、記述する授業を展開する。基本的な知識を身に付け、それをプログラミングしながら授業を進めていく。						
成績評価の方法						
中間試験（筆記試験）と期末試験（筆記試験）、小テストの結果、出欠状況で評価					授業態度	20%
					中間試験	40%
					期末試験	40%
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・はじめてのアルゴリズム（インフォテック・サーブ） ・基本情報技術者試験午前問題集 						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. アルゴリズムの基本 三つの基本構造			4	5. 探索アルゴリズム 線形探索 二分探索		4
2. 基本データ処理 変数と定数 カウンタ、集計 繰り返し 複合条件			6	6. 整列アルゴリズム 基本選択法、基本交換法 基本挿入法、クイックソート		4
3. 配列操作 一次元配列の基本 多次元配列			4	7. 疑似言語 主プログラムと副プログラム 疑似言語の問題の考え方		4
4. 文字操作 文字とは 文字型配列			4			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。				C言語		

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	C1-K13
授業科目名			授業形態		学科・コース		
システム開発基礎			講義		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	30	2	伊藤 清香・石森 寛章		
授業の目的・目標							
基本情報技術者試験の午前免除試験の合格を目指す。情報システム戦略、システム開発技術、ソフトウェア開発技術、システム開発環境、Web アプリケーション開発について学習する。							
授業の概要							
システム構想から開発、運用、保守、廃棄に至るまでのシステムライフサイクルを通じて必要となる用語や作業内容などの基本的な知識を習得する。							
成績評価の方法							
期末試験、小テストの結果、ノート提出、出欠状況で評価					筆記試験	70%	
					提出物	10%	
					出欠席	20%	
使用テキスト・教材							
IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ)、IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ) 自作プリント							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 開発技術				4. システム監査と内部統制			
(1) システム開発技術			6	(1) システム監査			2
(2) ソフトウェア開発技術			4	(2) 内部統制			2
(3) システム開発環境			4	5. まとめ・演習問題			2
(4) Web アプリケーション開発			4				
2. プロジェクトマネジメント							
(1) プロジェクトマネジメントの概要			2				
(2) サブジェクトグループのマネジメント			2				
3. サービスマネジメント							
(1) サービスマネジメントの概要			1				
(2) サービスマネジメントの手法			1				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。				情報処理システム、ソフトウェア			

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	C1-K14
授業科目名			授業形態		学科・コース		
システム設計演習			演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	30	1	伊藤 清香・石森 寛章		
授業の目的・目標							
企業の販売管理や会員管理など比較的イメージしやすい題材をもとに、設計からシステムの実装までを学習するものとする。							
授業の概要							
システム設計基礎及びC言語で習得した知識を基に、システム開発全体の流れを実習で経験する。システム設計の基本的な手法を学ぶと共に、アドバイスを受けながら簡易なシステムの設計ができることを目標とする。							
成績評価の方法							
課題提出の結果、ノート提出、出欠状況で評価						課題	70%
						提出物	20%
						出欠状況	10%
使用テキスト・教材							
IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ)、IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ) 自作プリント							
授業内容・授業計画							
1. システムの調査・分析			時間数	2. 外部設計			時間数
(1) 現状分析			4	(1) 出力設計			2
①システムテーマ②会社の概要				①出力概要定義書			
③現業務の概要④現業務の問題点				(2) 入力設計			2
⑤改善案				②入力概要定義書			
(2) 要求定義			4	(3) 画面設計			2
⑥要求定義書				③画面設計書④画面全体図			
(3) 基本設計			8	(4) ファイル設計			2
⑦新システムの概要				⑤ファイル要求定義書			
⑧階層構想図・基本モデル				(5) コード設計			2
⑨システム構成図⑩入出力分析				⑥コード設計書			
⑪データ項目関連図				⑦画面プロトタイプ			
(4) まとめ・設計書1次提出			2	(6) まとめ・設計書2次提出			2
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。				情報処理システム、ソフトウェア			

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				C1-K15	
授業科目名			授業形態		学科・コース
データベース			講義		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必須	30	2	内山 泰伸
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験で必要とされるデータベース分野について学ぶ。 SQL言語を用いて関係データベースの構築・操作ができるようになる。					
授業の概要					
実際の企業で多く利用されているオラクルデータベースソフトを利用して、関係データベースの機能やSQL言語を学ぶ。					
成績評価の方法					
期末試験 (マークシート方式)					期末試験 100%
使用テキスト・教材					
ITワールド (インフォテック・サーブ) 基本情報技術者試験午前問題集					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. データベースとファイルの違い			2	13. ビックデータ	
2. データベースの種類			2	14. その他の関連技術	
3. 関係データベース			2	15. 期末試験	
4. データベースの設計			2		
5. 正規化			2		
6. SQL言語とは			2		
7. SQL言語 (定義)			2		
8. SQL言語 (操作1)			2		
9. SQL言語 (操作2)			2		
10. SQL言語 (操作3)			2		
11. 分散データベース			2		
12. データウェアハウス			2		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。				ソフトウェア、ハードウェア	

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C1-K16	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Network ----- ネットワーク			講義		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	中田 誠
授業の目的・目標					
ネットワークの基本的な技術に関して学習し、情報処理技術者試験（基本情報）のネットワークの範囲における知識を習得する。					
授業の概要					
テキストの内容に沿ってネットワーク技術を学ぶと共に、情報処理技術者試験問題を実際に解きながら、ネットワーク技術を理解していく。					
成績評価の方法					
前期末に行なう試験による。					期末試験 100%
使用テキスト・教材					
・ITワールド（インフォテック・サーブ）					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ネットワークの基本構成、変調方式			2		
2. 同期方式、誤り検出方式、交換方式			2		
3. 通信方式、多重化			2		
4. 伝送制御、ベーシック手順			2		
5. HDLC手順			2		
6. ネットワークアーキテクチャ、OSI、TCP/IP			2		
7. LAN、アクセス制御			2		
8. LAN間接続			2		
9. IPアドレスとサブネットマスク			2		
10. インターネット			2		
11. 期末試験			2		
12. 情報処理技術者試験の問題			8		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。				・LAN技術	

シラバス (授業概要)					年度	
					2020年度	
					科目コード	
					C1-K17	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
I T戦略			講義		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	2	伊藤 清香・石森 寛章	
授業の目的・目標						
情報システムが利用されている背景には、コンピュータによる経営管理が世の中の基本だからである。この科目では、企業・組織についてと経営に関する知識について、コンピュータがどの様に活用されているのかを学ぶ。						
授業の概要						
経営戦略や会計、法務、マーケティング戦略など、広くビジネスの視点から企業活動とITの関わりを学習する。						
成績評価の方法						
期末試験、小テストの結果、ノート等の提出物、出欠状況で総合的に評価する					期末試験	60%
					提出物	20%
					出欠状況	20%
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・ I T戦略とマネジメント、サブノート (インフォテックサーブ) ・ 基本情報技術者午前午後問題集 (インフォテックサーブ) 						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 企業と法務				3. 経営戦略		
(1) 企業活動			2	(1) 経営戦略マネジメント		2
(2) 企業会計			6	(2) 技術戦略マネジメント		2
(3) 経営科学				(3) ビジネスインダストリ		2
(4) 法務と標準			2			
2. 経営科学						
(1) 応用数学			2			
(2) OR			4			
(3) 経営工学分析手法			2			
(4) QC手法			4			
(5) 業務分析			2			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。				ハードウェア、基本ソフトウェア ネットワーク		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C1-K18
授業科目名		授業形態		学科・コース	
HTML/CSS Programing ホームページ作成基礎		演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	伊藤 清香
授業の目的・目標					
Webの仕組みと制作技術（HTML・CSS）を理解し、演習問題を中心に構成、デザイン等を自分で考え計画的に期限を厳守した実践的なWeb制作を行うことができる。					
授業の概要					
ウェブサイトの仕組みとWebページ制作技術（HTML・CSS）を学ぶ。本講義では、機能ごとに設けられた演習を通して、文法を中心に基本事項を習得する。演習の一部は、クラス全員の理解を深めることを目的にアクティブラーニング形式で行うこととする。					
成績評価の方法					
演習課題の評価点・提出状況と出席状況を総合評価したうえで決定する。課題の評価は、要求された機能の完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。				課題	80%
				出欠席	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> 「HTML5&CSS3 ワークブック」 カットシステム 演習課題（自作） 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. ホームページの仕組みを知る		2	6. 画像の表示		2
2. ホームページを作る準備		2	7. 表を使って項目を見やすくする		2
3. 表示する文章		2	8. ホームページ全体の構成を考える		4
4. リンクを張ってホームページを繋げる		4	9. 最終課題制作		8
5. スタイルシートでデザインを整える		4			
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				C1-K20	
授業科目名			授業形態		学科・コース
C言語			演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	150	5	伊藤 清香・石森 寛章
授業の目的・目標					
基本制御構造、関数、配列、ポインタ、構造体、ファイル処理等細かい内容を段階的に学習し、プログラムの作成が可能な能力を身につける。基本情報技術者試験に必要な知識の習得。サーティファイC言語プログラミング能力認定試験3級～2級受験に知識の習得。					
授業の概要					
授業では、パソコンで実際にプログラムを作成することを重視します。テキストに問題がたくさん載っているため、これらを自分で順番に解いていくことで実力が付きます。地道に一つひとつの問題を解いてください。プログラムを読む力、考える力、表現できる力を身に付けます。					
成績評価の方法					
中間試験（筆記試験）と期末試験（筆記試験）、小テストの結果及び実習課題の提出状況、出欠状況で評価				授業態度	40%
				中間試験	30%
				期末試験	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・Cプログラミング（インフォテック・サーブ） ・演習問題（自作プリント） 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. C言語の基礎			6	10. ファイル処理	
2. データの入力と出力			10	11. 標準関数	
3. プログラムの基本構造			30	12. プリプロセッサ	
(1) 分岐				13. 演習課題	
(2) 繰り返し					
4. 演習課題・中間試験			6		
5. ユーザ関数			14		
6. 記憶クラスと通用範囲			8		
7. 配列			14		
8. ポインタ			16		
9. 構造体と共用体			14		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			アルゴリズムとデータ構造、ハードウェア		

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	C1-K22
授業科目名			授業形態		学科・コース		
制御プログラミング I			演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	30	1	岡田 靖志		
授業の目的・目標							
家電や自動車など身近な製品にマイクロコンピュータが組み込まれている。組込み制御の基本プログラムを、マイコン回路を見ながらの作成する方法を学習する。							
授業の概要							
実習用マイコンボードの回路図を見ながら、入出力機器の制御プログラムを作成する。作成したプログラムを実習ボードに転送して動作の確認を行う。アセンブラ言語とC言語を使用する。							
成績評価の方法							
期末試験、課題提出					期末試験	50%	
					課題	50%	
使用テキスト・教材							
テキスト：図解PICマイコン実習 教材等：パソコン、MPLAB、マイコンボード							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. マイコンプログラム開発環境の構築 MPLABのインストールと設定			2	5. プログラム作成演習 ソフトウェアタイマの制作			6
2. アセンブラプログラムの開発方法と シミュレーション及びデバッグ方法			2	6. ビットLEDの制御 マイコンボードのハードウェア と入出力命令			2
3. PICマイコンのハードウェア構成 各種レジスタの働き			2	7. LED点灯制御プログラムの制作と 動作確認			6
4. アセンブラ命令語の解説と演習							
(1) 転送命令と加減算命令			2				
(2) 分岐処理			2				
(3) ループ処理			6				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。				ハードウェア			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C1-K24
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Java 言語 I		実習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	石森 寛章
授業の目的・目標					
Java を使用したプログラミングを通して、オブジェクト指向の考え方を理解すると共に、Java プログラミングの基本を習得する。					
授業の概要					
テキストの例題プログラムの内容を学び、自分のPCで実際にプログラムを動かすことによって、オブジェクト指向プログラミングを習得する。					
成績評価の方法					
期末試験 (筆記試験)、実習課題の提出状況、出欠状況で評価				授業態度	30%
				期末試験	70%
使用テキスト・教材					
・Java 入門編、実践編 (翔泳社)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オブジェクト指向概要		2	11. CUIアプリケーション		4
2. Javaプログラミングの基本		3	12. 期末試験		2
3. クラス・フィールド・メソッド		3			
4. コンストラクタ		2			
5. 継承		3			
6. オーバーライド		3			
7. 抽象クラス		2			
8. インターフェース		2			
9. スレッド		2			
10. ファイル入出力		2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・Java 言語		

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年度	2020年度
					科目コード	C1-K26
授業科目名			授業形態		学科・コース	
security 情報セキュリティ			講義		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	4	宮木 孝	
授業の目的・目標						
情報セキュリティの概念や情報セキュリティ技術、管理の仕方を習得し、さらにネットワークセキュリティや、データベースセキュリティ、アプリケーションセキュリティについても学習する。情報処理技術者試験でも中心となる分野である。						
授業の概要						
インターネットの技術を含め、情報セキュリティの基礎知識を学習する。機密性、信頼性、可用性などセキュリティの基本事項を習得する。						
成績評価の方法						
中間試験と期末試験、小テストの結果及びノート提出状況、検定取得状況、出欠状況で評価。					筆記試験	80%
					提出物	10%
					出席状況	10%
使用テキスト・教材						
IT ワールド (インフォテック・サーブ)、IT ワールドサブノート (インフォテック・サーブ) 自作プリント						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 情報セキュリティの概念				(2) 情報セキュリティ評価基準		1
(1) 情報セキュリティの管理対象			2	5. 物理的セキュリティ対策		1
(2) マルウェア			1	6. 人的セキュリティ対策		1
(3) 攻撃手法			3	7. 技術的セキュリティ対策		2
2. 情報セキュリティ技術				8. セキュリティ実装技術		
(1) 暗号化技術			4	(1) セキュリティプロトコル		2
(2) 認証技術			3	(2) ネットワークセキュリティ		3
3. 情報セキュリティ管理				(3) データベースセキュリティ		1
(1) 情報セキュリティマネジメント			2	(4) アプリケーションセキュリティ		1
(2) リスクマネジメント			1	(5) セキュア OS		1
4. 情報セキュリティ機関・評価基準						
(1) 情報セキュリティ機関			1			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。				基本ソフトウェア、データベース、ネットワーク		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C1-K29
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ネットワークプロトコル		講義		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	宮木 孝
授業の目的・目標					
コンピュータやモバイル端末ではネットワーク接続が欠かせないものとなっている。本講座ではインターネットの仕組みやLANにおける各装置の動作原理、通信プロトコルなどネットワーク構築に必要な基礎知識を習得する。また、MTA ネットワーク試験合格を目指す。					
授業の概要					
有線LANや無線LAN、LAN間装置の基本動作（スイッチングやルーティング）、アドレス計算やアプリケーション層で動作する各種プロトコルの仕組みなど、ネットワークの基本的な技術について学習する。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、授業の出欠席状況および取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				期末試験	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・IT ワールド、サブノート (株式会社インフォテック・サーブ) ・徹底攻略 MTA ネットワーク問題集[98-366]対応 (株式会社インプレス) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. MTA ネットワーク					
1-1. ネットワーク基礎		2			
1-2. プロトコルと OSI 参照モデル		4			
1-3. LAN と WAN		6			
1-4. TCP/IP		6			
1-5. ネットワークサービス		6			
2. 総合問題		6			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				C1-K33	
授業科目名			授業形態		学科・コース
制作演習			演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	伊藤 清香・石森 寛章
授業の目的・目標					
学習したシステム開発基礎やプログラム言語をもとに、身近なテーマで設計からC言語によるプログラミング、テストまで行う。					
授業の概要					
1年間の成果を残すための制作演習(グループ単位)を行う。C言語、フローチャート、ファイル入出力、設計書についての学習を目に見えるものとして作品を制作する。					
成績評価の方法					
作品提出(完成度、技術度)、出欠席状況、授業態度で評価					課題 80%
					出欠席 20%
使用テキスト・教材					
IT戦略とマネジメント(インフォテック・サーブ)、入門ANSI-C(実教出版) C言語プログラミング能力認定試験1級受験者リファレンス・サンプル問題					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 制作演習オリエンテーション			4	4. 作品制作	
(1) システム設計演習の振り返り含む				5. 作品発表	
2. C言語の復習			12		
(1) ポインタ					
(2) 構造体					
(3) ファイル入出力					
3. ソフトウェア開発技法の基本			4		
4. ソフトウェア開発			6		
(1) 要求定義					
(2) 仕様書・設計書					
(3) 仕様書・設計書に関する調査・作成					
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。				情報処理システム、ソフトウェア	

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	C1-K34
授業科目名			授業形態		学科・コース		
資格講座 I			演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	150	5	伊藤 清香・石森 寛章		
授業の目的・目標							
基本情報技術者試験、C言語プログラミング能力認定試験合格を目指す。各種検定試験に行う対策講座であり、問題演習及び傾向対策を重点的に行う。							
授業の概要							
10月の基本情報技術者試験に向けて、午前免除試験・秋期情報処理対策授業及びC言語プログラミング能力認定試験3級・2級取得に向けての対策授業。							
成績評価の方法							
試験対策期間中の模擬試験や資格試験結果及び出欠席状況、授業態度					試験結果	50%	
					出欠席	30%	
					授業態度	20%	
使用テキスト・教材							
基本情報技術者午前・午後問題集、C言語プログラミング能力認定試験過去問題							
授業内容・授業計画							
1.			時間数				時間数
2. 基本情報技術者試験午前免除対策 7月実施			10				
3. C言語プログラミング能力認定試験 3級 9月実施			10				
4. 基本情報技術者試験対策 10月実施			120				
5. C言語プログラミング能力認定試験 2級 2月実施			10				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

2020年度

コンピュータ科

2年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C2-K19
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Web+DB programming ----- Web+DB プログラミング		演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	2	海野 萌
授業の目的・目標					
PHPプログラミングで使う基本的な命令を一通り使えるようになる。 データベースの基本的な知識を身につける。					
授業の概要					
ホームページ作成基礎、その他プログラミングの学習を基に、Webサーバ上で動作するサーバサイドのプログラムを作成する。またサーバ側でデータベースを検索し、その結果をブラウザに返す技術についても学習する。					
成績評価の方法					
提出課題の完成度、提出状況に授業への取り組み姿勢を加味して成績評価する。				課題提出	80%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
・気づけばプロ並み PHP 改訂版--ゼロから作れる人になる! リックテレコム					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 開発環境を整える		4			
2. データベース設計～作成		6			
3. マスタ管理プログラムの作成		6			
4. ログイン認証について		6			
5. 簡易プログラムの作成		4			
6. ショッピングカートシステムの構築					
6-1. データベース設計		4			
6-2. 登録画面作成		6			
6-3. ログイン画面作成		6			
6-4. 機能作成		10			
6-5. 総合テスト		8			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	C2-K21
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Windows プログラミング			演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必修	90	3	システムコラボ・マネジメント		
授業の目的・目標							
実企業を対象にした基幹系システムの概要を理解し、販売管理システム、購買管理システム、生産管理システムについて基本的なシステム開発を実際に行うことで、IT企業に就職後に即戦力で活躍できる知識とスキルを習得する。							
授業の概要							
前半は、実企業の業務を模擬体験できるケーキ店のビジネスゲームを行い、マネジメントに必要な知識と要件を理解する。次に、簡単なゲーム作成を通じて、C#言語の文法を習得する。 後半は、ビジネスゲームの題材にしたケーキ店の基幹系システムを販売管理システム、購買管理システムの順で開発を行っていく。							
成績評価の方法							
提出課題を評価することによって行う。						課題 100%	
使用テキスト・教材							
オリジナルテキストを配布する。							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. ビジネスゲーム①			4	13. システム開発応用編②			4
2. ビジネスゲーム②			4	14. システム開発応用編③			4
3. システム開発基礎編①			4	15. システム開発応用編④			4
4. システム開発基礎編②			4	16. システム開発応用編⑤			4
5. システム開発基礎編③			4	17. システム開発応用編⑥			4
6. システム開発基礎編④			4	18. システム開発応用編⑦			4
7. システム開発基礎編⑤			4	19. システム開発応用編⑧			4
8. システム開発基礎編⑥			4	20. システム開発応用編⑨			4
9. システム開発基礎編⑦			4	21. システム開発応用編⑩			4
10. オリジナルゲーム作成①			4	22. システム開発応用編⑪			4
11. オリジナルゲーム作成②			4	23. まとめ			2
12. システム開発応用編①			4				
その他				関連科目			
スキルの高い受講者は自由度の高い開発も可能である。※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				C2-K23	
授業科目名			授業形態		学科・コース
制御プログラミングⅡ			演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	岡田 靖志
授業の目的・目標					
組込み制御の基礎技術となる割込み制御、A/D変換制御を中心にプログラム作成実習を行う。					
授業の概要					
1年次に学習したアセンブラ言語とC言語で、スイッチや光、音、温度などの各種センサからの入力情報をPICマイコンで処理し、LEDやモータなどを制御するプログラムを作成する。					
成績評価の方法					
筆記試験・課題提出など				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
テキスト：図解PICマイコン実習 教材等：パソコン、MPLAB、マイコンボード					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ソフトウェアタイマの制作			6	4. 割込み制御	
2. ビットLEDの制御				スイッチによる割込み処理	
(1) マイコンボードのハードウェアと入出力命令			2	5. A/D変換プログラム	
(2) LED点滅プログラムの開発と動作確認			6	(1) VR位置の状態表示プログラム	
3. 7セグLEDの制御				(2) VR位置の状態表示プログラム	
(1) 1桁7セグLEDの点灯制御プログラムの開発と動作確認			4	LED編	
(2) 2桁7セグLEDの点灯制御プログラムの開発と動作確認 (ダイナミック点灯)			10	(3) 温度の7セグ表示編	
				12	
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			制御プログラミング2 ハードウェア		

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				C2-K25		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Java 言語Ⅱ			演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	60	2	中田 誠	
授業の目的・目標						
JavaでGUIアプリケーションの作成の仕方を学び、簡単なGUIアプリケーションを自分で考え、作成できることを目標とする。						
授業の概要						
サンプルプログラムからGUIアプリケーションの作成方法を学び、実際にサンプルプログラムを自分のPCで動作させる。つぎにサンプルプログラムに機能を追加した課題プログラムを自分の力で作成することで、プログラミング能力を身につけていく。						
成績評価の方法						
作成した課題プログラムを評価する。					課題 100%	
使用テキスト・教材						
・Java入門編、実践編 (翔泳社)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. Java fx、ウィンドウ			2	14. 課題		6
2. GUIコンポーネント			2	15. シェイプの描画		2
3. 複数オブジェクト			2	16. キャンバスへの描画		2
4. GUIレイアウト			6	17. マウスイベント処理		4
5. 複雑なGUIレイアウト			2	18. 課題		4
6. イベント処理			4	19. 自由課題		10
7. アプリケーション (簡易加算器)			2			
8. 画像表示・切り替え			2			
9. ラジオボタンによる選択			2			
10. チェックボタンによる選択			2			
11. アプリケーション (ファイル編集)			2			
12. アプリケーション (クイズプログラム)			2			
13. アプリケーション (英単語テスト)			2			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。				・Androidプログラミング		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	C2-K27
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Network Server Construction サーバ構築技術		演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	石丸清登
授業の目的・目標					
コンピュータネットワーク上で提供するスマートシステムに必須となるサーバ環境を構築する。					
授業の概要					
OSの基本的な構成要素であるファイルシステム、プロセス、アドレス空間などの抽象実体、そして、シェルスクリプトの学習後、パッケージ管理、ユーザ管理、サービス管理、ネットワーク接続などの技術を習得する。					
成績評価の方法					
演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。評価は、課題の要求仕様の達成度によって判定する。				出席	10%
				課題	90%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・CentOS サーバ徹底構築 株式会社ソーテック社 ・課題 (自作) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. サーバ構築の基本知識			5. DNSサーバの構築		
1.1 Linux ディストリビューション、GUI環境とX11	1		1.1 BINDの設置	3	
1.2 サーバの設置方法とネットワークの基礎知識	1		1.2 クライアントの設定変更	1	
2. CentOS 7のインストール	1		6. FTPサーバの構築		
3. Linux操作の基本			1.1 FTPサーバの稼働	2	
1.1 コマンド操作とroot権限	4		1.2 FTPサーバへの接続	1	
1.2 テキスト編集	2		7. メールサーバの構築		
1.3 サービスの管理	2		1.1 メールサーバの稼働	2	
1.4 ユーザ・グループとアクセス権限	1		1.2 メール送受信のテスト	1	
4. ネットワークの設定			8. Webサーバの構築		
1.1 サーバ運用のためのネットワーク設定	1		1.1 Webサーバの稼働	1	
1.2 外部公開のためのルータ設定	1		1.2 ユーザ認証機能の設定	1	
			1.3 SSLによる暗号化と電子証明	1	
			9. データベースサーバの構築		
			1.1 データベースの稼働	1	
			1.2 データベースの基本操作	1	
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C2-K28	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Android Programming Android プログラミング		実習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	2	中田 誠
授業の目的・目標					
Java を使用して Android プログラミング技術を習得する。					
授業の概要					
開発環境 (Android Studio) を利用し、Android 端末で動作するプログラムを作成する。エミュレータを使用して、その上でプログラムが正常に動作するかを確認しながら、プログラミング技術を学んでいく。					
成績評価の方法					
作成した課題プログラムを評価する。					課題 100%
使用テキスト・教材					
・ Android アプリ開発超入門 (技術評論社)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 開発環境の設定	2	15. 画面タッチによる画像の移動	2		
2. 仮想デバイスの作成	2	16. 画面タッチによる画像の切り替え	2		
3. プロジェクト作成 (Hello World)	2	17. 画像の直線運動	2		
4. レイアウト作成	2	18. 画像の回転運動	2		
5. ボタンのイベント処理	2	19. 複数画像の落下運動	2		
6. 画像表示	2	20. 複数図形のランダム方向落下	2		
7. ラジオボタンとチェックボックス	2	21. フリックによる画像の移動	4		
8. アプリ (簡易メモ帳)	2	22. アプリ (フリックゲーム)	8		
9. 音声再生	2	23. 自由課題	6		
10. インテントによる画面遷移	2				
11. インテントによるデータの受け渡し	2				
12. インテントによる画像選択	2				
13. 図形描画	4				
14. 画面タッチによる図形の移動	2				
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。		・ Java 言語 II			

シラバス (授業概要)	時間数は45分換算	年度	2020年度
		科目コード	C2-K30

授業科目名		授業形態		学科・コース	
LAN		演習		コンピュータ科	
LAN 技術					
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	宮木 孝
授業の目的・目標					
TCP/IPのネットワークに関する知識と技術を身に付け、シスコ技術者認定試験であるCCENTに合格できる実力をつける。					
授業の概要					
CCENTのテキストを用いて、TCP/IPのネットワークの知識を習得する。またネットワーク実習を通してネットワーク技術に対する理解を深める。					
成績評価の方法					
中間試験と期末試験及びノート提出状況、出欠状況で評価。				筆記試験	80%
				提出物	10%
				出席状況	10%
使用テキスト・教材					
・CCENT/CCNA Routing & Switching 教科書 (インプレスジャパン)					

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
1. ネットワークの基礎、OSI参照モデル	4	14. ルータの基本設定	4
2. イーサネット	4	15. ルーティングの基礎	4
3. ネットワーク機器 (L2SW)	2	16. 実習 (VLAN)	4
4. TCP/IPプロトコルスタック	4	17. インターネット接続 (NAT)	2
5. 実習 (ARP、ICMPコマンド他)	4	18. IPv6の導入	4
6. アプリケーション層プロトコル	2		
7. 実習 (DHCP、DNS)	4		
8. 実習 (TELNET、SSH)	2		
9. IPv4アドレスとサブネットワーク	4		
10. 演習問題	4		
11. Cisco IOS ソフトウェア	2		
12. スイッチの基本設定	4		
13. MACアドレステーブル	2		
その他	関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。	・ネットワーク		

シラバス (授業概要)	時間数は45分換算	年度	2020年度
		科目コード	C2-K31

授業科目名		授業形態		学科・コース	
Machine learning 機械学習		講義		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	海野 萌
授業の目的・目標					
近年、ビックデータ等の大量なデータを解析し、見えないものを予測するための機械学習がビジネスに活用されている。本講座では、機械学習の演習を通して活用技術を体験し、機械学習の基礎知識を習得する。					
授業の概要					
機械学習モデルの作り方からデータの予測、精度の向上方法、統計分類の利用、データの可視化など機械学習の基本知識を学習する。					
成績評価の方法					
提出課題の完成度及び提出状況、授業の出欠席状況および取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				課題提出	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・プリント教材・課題（講師作成）					

授業内容・授業計画			
	時間数		時間数
1. 機械学習を始めるには	2	11. まとめ	2
2. データの集め方：オープンデータの活用	2		
3. 機械学習モデルの作り方： 学習モデルの構成と種類	4		
4. 回帰分析を使ってデータを予測する	4		
5. 学習済みモデルを使って予測する	4		
6. 精度を向上する方法	4		
7. 統計分類とは	2		
8. 統計分類で学習する機械分類モデル を作る	2		
9. 学習結果の確認と検討	2		
10. データを可視化する	2		
その他		関連科目	

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				C2-K32	
授業科目名			授業形態		学科・コース
企業会計			講義		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	朝倉 将貴
授業の目的・目標					
企業の経営活動とその結果について、記録および報告（財務諸表、計算方法など）がどのように実施されるのかの学習を通じて、企業の基幹業務の概要について理解することを目標とする。					
授業の概要					
簿記の基本原理を学び、次いで企業財産の変動について記録・計算・整理する一連の手続き体系と報告体系について学習する。なお、簿記は情報処理の関連知識としても重要な教科である。					
成績評価の方法					
前期末試験、課題提出、出欠席状況、授業態度					筆記試験 80%
					出欠態度 20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・簿記会計基礎論 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 企業会計とは（イントロダクション）		2	12. 管理会計③		2
2. 会計の構造① 財務会計と管理会計		2	原価の計算方法、原価計算の種類		
3. 会計の構造② 会計監査と税務調査		2	13. 管理会計④		2
4. 内部統制① 内部統制の基本的要件		2	原価管理システムの機能		
5. 内部統制② IT 統制		2	14. 確認テスト		2
6. 確認テスト		2	15. まとめ		2
7. 財務会計① 会計システムの概要		2			
8. 財務会計② 損益計算書と貸借対照表		2			
9. 財務会計③ 棚卸資産評価		2			
固定資産管理					
10. 管理会計① 損益分岐点分析		2			
目標利益売上高					
11. 管理会計②		2			
原価計算の目的と原価要素					
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				C2-K35	
授業科目名			授業形態		学科・コース
資格講座Ⅱ			演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	210	7	伊藤 清香・石森 寛章
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験、応用情報技術者試験合格を目指す。各種検定試験に行う対策講座であり、問題演習及び傾向対策を重点的に行う。					
授業の概要					
4月・10月の情報処理技術者試験に向けて、春期・秋期情報処理対策授業及びC言語プログラミング能力認定試験2級取得に向けての対策授業。					
成績評価の方法					
試験対策期間中の模擬試験や資格試験結果及び出欠席状況、授業態度				試験結果	50%
				出欠席	30%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
基本情報技術者午前・午後問題集、C言語プログラミング能力認定試験過去問題					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 春期情報処理技術者試験対策 4月実施			90		
2. C言語プログラミング能力認定試験 2級 9月実施			30		
3. 秋期情報処理技術者試験対策 10月実施			90		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				C2-K36	
授業科目名			授業形態		学科・コース
卒業研究			実習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	150	5	岡田 靖志
授業の目的・目標					
2年間の学習成果を残すための制作演習を行う。プログラミングまたはネットワークについての学習を目に見えるものとして作品を残す。					
授業の概要					
個人またはグループごとに研究テーマを決め、決められた期間内に仕様書、プログラム、完成モデルを作成する。1月下旬から2月上旬に研究発表会を学外の会場で実施する。					
成績評価の方法					
卒業研究論文					論文 100%
使用テキスト・教材					
研究テーマごとの参考文献等					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. テーマ選定			2		
2. 研究スケジュール作成			2		
3. テーマ研究			86		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。				履修した全科目	

2020年度

ゲームクリエイト科

1年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				G1-K08	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Presentation Basics プレゼンテーション基礎			演習		ゲームクリエイト科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	中村 住子
授業の目的・目標					
PowerPoint の操作技術習得及びプレゼンの基礎知識を習得する。グループ発表と個人発表を設題テーマに沿ってプレゼンを作成、決められた時間内におこなう。					
授業の概要					
テキストに沿ってプレゼンの作り方、PowerPoint の基本操作を実習する。テキスト内容終了後にグループでの作成と発表、個人での作成と発表をおこなう。					
成績評価の方法					
提出課題及び発表で評価する。完成度と制作意欲を併せて判定する。テキスト実習課題の提出も加味する。				プレゼン1	40%
				プレゼン2	40%
				提出課題他	20%
使用テキスト・教材					
30時間でマスター プレゼンテーション+ PowerPoint2016 実教出版					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. プレゼンテーションとは(1) プレゼンテーション種類、概要、活用			2	7. プレゼン課題 グループ グループ作成・発表	
2. プレゼンテーションとは(2) ストーリー作り、情報収集			2	8. プレゼン課題 個人	
3. プレゼンテーションとは(3) 視覚資料の作成、プレゼンの実際			2		
4. PowerPoint の資料作成(1) 「クイズ」			2		
5. PowerPoint の資料作成(2) 「情報化が与える影響」			4		
6. プレゼンテーションのテクニック 「情報化が与える影響」、実習			6		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	G1-K15
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Hardware ハードウェア			講義		ゲームクリエイト科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	60	4	岡田 靖志		
授業の目的・目標							
基本情報技術者試験のハードウェア分野を学習する。基数変換、CPUの働き、論理演算、アドレッシング及び情報処理システムのいろいろな計算方法を重点的に理解する。							
授業の概要							
ハードウェアの知識を持つことで、効率の良いプログラムが可能になる。2進数や基数変換などの計算はコンピュータ技術に関わる者の基本となる。何度も計算して、確実に理解して欲しい。							
成績評価の方法							
複数回の筆記試験と出席状況					筆記試験	90%	
					出席状況	10%	
使用テキスト・教材							
ITワールド・サブノート (インフォテックサーブ) 基本情報技術者午前問題集 (インフォテックサーブ)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. コンピュータの基本構成			2	7. 情報処理システムの処理形態			2
2. コンピュータのデータ表現				8. 高信頼化システムの構成			2
(1) データ表現			8	9. 情報処理システムの評価			
(2) 基数と基数変換			8	(1) 処理能力の評価			4
3. データ表現・総合・応用問題			8	(2) 信頼性の評価			4
4. 中央処理装置と主記憶装置				10. ヒューマンインタフェース			2
(1) 中央処理装置と主記憶装置の構成			3	11. マルチメディア			2
(2) 命令とアドレッシング			4				
(3) ALUの構成回路			2				
(4) 高速化技術			4				
5. 補助記憶装置			3				
6. 入出力装置			2				
その他				関連科目			
				基本ソフトウェア ネットワーク			

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				G1-K16		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Software ソフトウェア			講義		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必須	30	2	内山 泰伸	
授業の目的・目標						
基本情報技術者試験の出題範囲にあるソフトウェア分野を学習し、試験合格を目指す。						
授業の概要						
テキスト内容に沿って講義形式で学習する。オペレーティングシステム操作など必要に応じてパソコンを用いた実習を行う。						
成績評価の方法						
期末試験 (マークシート方式)					期末試験 100%	
使用テキスト・教材						
ITワールド 基本情報技術者試験午前問題集						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. ソフトウェアの体系による分類1 制御プログラム、サービスプログラム等			1	11. ファイルとレコード、ファイルの アクセス方式		1
1. ソフトウェアの体系による分類2 ミドルウェア、応用ソフトウェア、OS等			1	12. ファイル編成方式		1
3. ソフトウェアライセンスによる分類			1	13. 小型コンピュータのファイル管理 とバックアップ		1
4. OSの機能と構成			1	14. まとめ、演習問題		1
5. OSの管理機能 ジョブ管理			1	15. 期末試験		1
6. OSの管理機能 タスク管理			1			
7. OSの管理機能 記憶管理			1			
8. OSの管理機能 その他の管理機能			1			
9. プログラム言語の分類			1			
10. 言語プロセッサとプログラムの属性			1			
その他				関連科目		
				ハードウェア、データベース、C言語		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G1-K17
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Algorithm and Data structure アルゴリズムとデータ構造		講義		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	内山 泰伸
授業の目的・目標					
プログラムは一般的に、「アルゴリズムとデータ構造」で構成されると言われている。プログラムを考察するための、代表的な処理方法、データ構造を学習する。更に、流れ図や擬似言語の読み解き方、組み立て方を学習することで、基本情報技術者試験の対策授業としても機能する。					
授業の概要					
基本的には、講義と演習で授業を進める。テキストに掲載されている例を元に、白板へ説明を板書し、解説を行う。アルゴリズムの流れ図や擬似言語で模式化したものを読み解く・記述する授業を展開する。基礎的な知識を身につけることで、今後のプログラミング能力の基礎の一つになるような授業を行う。					
成績評価の方法					
授業の出席状況や態度、中間試験(筆記試験)、期末試験(筆記試験)を総合的に判断した上で決定する。				授業態度	20%
				中間試験	30%
				期末試験	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・2大シミュレータで学ぶアルゴリズムとデータ構造 ムイスリ出版 ・アルゴリズム図鑑 絵で見てわかる26のアルゴリズム 翔泳社 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. データ構造とアルゴリズムの概要		1	4. 中間試験		2
2. データ構造			5. 擬似言語		
2-1. リスト・変数・配列		1	5-1. 擬似言語の基礎		4
2-2. スタック・キュー		2	5-2. 探索アルゴリズム		2
2-3. 木構造・ハッシュ		2	5-3. 整列アルゴリズム		2
3. 流れ図			5-4. 高速整列アルゴリズム		2
3-1. 流れ図の基礎		2	5-4. 文字列アルゴリズム		2
3-2. 構造化プログラミング		2	6. 科目のまとめ		
3-3. 退避・集計・合計・平均 最大・最小・ユークリッドの互除法		2			
3-4. 時間と日数に関する計算		2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G1-K18
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Network ----- ネットワーク			講義	ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	中田 誠
授業の目的・目標					
ネットワークの基本的な技術に関して学習し、情報処理技術者試験（基本情報）のネットワークの範囲における知識を習得する。					
授業の概要					
テキストの内容に沿ってネットワーク技術を学ぶと共に、情報処理技術者試験問題を実際に解きながら、ネットワーク技術を理解していく。					
成績評価の方法					
後期末に行なう試験による。					期末試験 100%
使用テキスト・教材					
・ITワールド（インフォテック・サーブ）					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	ネットワークの基本構成、変調方式		2		
2.	同期方式、誤り検出方式、交換方式		2		
3.	通信方式、多重化		2		
4.	伝送制御、ベーシック手順		2		
5.	HDLC手順		2		
6.	ネットワークアーキテクチャ、OSI、TCP/IP		2		
7.	LAN、アクセス制御		2		
8.	LAN間接続		2		
9.	IPアドレスとサブネットマスク		2		
10.	インターネット		2		
11.	情報処理技術者試験の問題		8		
12.	期末試験		2		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				G1-K19	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Database データベース			演習		ゲームクリエイト科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	松川 麻美
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験の午前免除試験の合格を目指す。企業活動、企業会計、標準化、関連法規、経営戦略、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントについて学習する。					
授業の概要					
基本的なデータベースの理論や正規化、SQLなどについて学習する。					
成績評価の方法					
期末試験、小テストの結果、ノートなどの提出物、出欠状況で総合的に評価する。				出欠席	20%
				提出物	20%
				小テスト	20%
				期末試験	40%
使用テキスト・教材					
IT ワールド (インフォテック・サーブ)、IT ワールドサブノート (インフォテック・サーブ) 自作プリント					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 企業と法務					
(1) 企業活動			4		
(2) 企業会計			10		
(3) 経営科学					
(4) 法務と標準化			6		
2. 経営戦略					
(1) 経営戦略マネジメント			2		
(2) 技術戦略マネジメント			2		
(3) ビジネスインダストリ			2		
3. 情報システム戦略					
(1) 情報システム戦略の概要			2		
(2) 情報システム企画			2		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	G1-K20
授業科目名			授業形態		学科・コース		
System development basics システム開発基礎			講義		ゲームクリエイト科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	30	2	中田 誠		
授業の目的・目標							
基本情報技術者試験の午前免除試験の合格を目指す。情報システム戦略、システム開発技術、ソフトウェア開発技術、システム開発環境、Web アプリケーション開発について学習する。							
授業の概要							
システム構想から開発、運用、保守、廃棄に至るまでのシステムライフサイクルを通じて必要となる用語や作業内容などの基本的な知識を習得する。							
成績評価の方法							
期末試験、小テストの結果、ノートなどの提出物、出欠状況で総合的に評価する。					出欠席	20%	
					提出物	20%	
					小テスト	20%	
					期末試験	40%	
使用テキスト・教材							
IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ)、IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ) 自作プリント							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 開発技術				4. システム監査と内部統制			
(1) システム開発技術			6	(1) システム監査			2
(2) ソフトウェア開発技術			4	(2) 内部統制			2
(3) システム開発環境			4	5. まとめ・演習問題			2
(4) Web アプリケーション開発			4				
2. プロジェクトマネジメント							
(1) プロジェクトマネジメントの概要			2				
(2) サブジェクトグループのマネジメント			2				
3. サービスマネジメント							
(1) サービスマネジメントの概要			1				
(2) サービスマネジメントの手法			1				
その他				関連科目			
				情報処理システム、ソフトウェア			

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	G1-K21
授業科目名			授業形態		学科・コース		
IT strategy IT戦略			講義		ゲームクリエイト科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	30	2	伊藤 清香		
授業の目的・目標							
基本情報技術者試験の午前免除試験の合格を目指す。企業活動、企業会計、標準化、関連法規、経営戦略、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントについて学習する。							
授業の概要							
経営戦略や会計、法務、マーケティング戦略など、広くビジネスの視点から企業活動とITの関わりを学習する。							
成績評価の方法							
期末試験、小テストの結果、ノートなどの提出物、出欠状況で総合的に評価する。						出欠咳	20%
						提出物	20%
						小テスト	20%
						期末試験	40%
使用テキスト・教材							
IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ)、IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ) 自作プリント							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 企業と法務							
(1) 企業活動			4				
(2) 企業会計			10				
(3) 経営科学							
(4) 法務と標準化			6				
2. 経営戦略							
(1) 経営戦略マネジメント			2				
(2) 技術戦略マネジメント			2				
(3) ビジネスインダストリ			2				
3. 情報システム戦略							
(1) 情報システム戦略の概要			2				
(2) 情報システム企画			2				
その他				関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G1-K22
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Information management 情報マネジメント		講義		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	中田 誠
授業の目的・目標					
情報処理技術者に必要な経営科学に関する知識を学び、情報処理技術者試験（基本情報）に合格する実力をつける。					
授業の概要					
テキストの内容に沿って経営科学に関する知識を学ぶと共に、情報処理技術者試験問題を実際に解きながら、経営科学の手法を理解する。					
成績評価の方法					
前期末に行なう試験による。				期末試験 100%	
使用テキスト・教材					
・IT戦略とマネジメント（インフォテック・サーブ）					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. 集合			2		
2. 論理演算			2		
3. 場合の数			2		
4. 順列と組み合わせ			2		
5. 確率			2		
6. 統計			2		
7. 待ち行列			4		
8. 線形計画			2		
9. ゲームの理論			2		
10. QC手法			2		
11. 情報処理技術者試験の問題			6		
12. 期末試験			2		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)					年度	
					2020年度	
					科目コード	
					G1-K23	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
C Language C言語			演習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	120	4	鈴木 祥輝	
授業の目的・目標						
C言語の学習を通じて、プログラミングの基礎を習得する。演習課題を通じて、プログラムを考え、読み解く力を身につける。ゲームクリエイト科の3年間の基盤を作り、ゲーム制作の根幹に繋がる授業でもある。C言語プログラミング能力認定試験 3級以上の合格を目指す。						
授業の概要						
基本的には、講義と演習で授業を進める。テキストに掲載されている例を元に、白板へ説明を板書し、解説を行う。自作の演習課題を通じて、プログラムを読む力、考える力、表現できる力を身につける。学習者自身のPCを使用するため、基礎的なPC操作や知識も合わせて、習得してもらいたい。						
成績評価の方法						
授業の出席状況や態度、中間試験(筆記試験)、期末試験(筆記試験)を総合的に判断した上で決定する。					授業態度	20%
					中間試験	30%
					期末試験	50%
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・Cプログラミング インフォテックサーブ出版 ・演習課題 (自作) 						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. C言語の基礎			1	8. 中間試験		1
2. PCの環境設定と操作			2	9. 関数		10
3. 変数と定数			5	10. 配列		
4. 画面への入出力			5	10-1. 一次元配列		3
5. 算術演算子			4	10-2. 二次元配列		3
6. 分岐				10-3. 多次元配列		1
6-1. if文			5	11. ポインタ		
6-2. 論理演算子			1	11-1. ポインタ変数の基礎		10
6-3. switch文			5	11-2. ポインタ変数の利用		10
7. 繰り返し				12. 構造体と共用体		8
7-1. for文			5	13. ファイル処理		10
7-2. while文			5	14. CUIゲーム作成		20
7-3. do-while文			5	15. 科目のまとめ		1
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G1-K24
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Game Programming I ゲームプログラミング I		演習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	90	3	鈴木 祥輝
授業の目的・目標					
Windows プログラムの基礎を学び、Win32 API プログラムの手法を学ぶ。ウィンドウの表示、キー入力、マウス入力、画像表示、音再生、コントロール部品の使用方法などを学習し、Windows の API を使用した 2D ゲームを作成する。					
授業の概要					
1 年時に学習した C 言語を基礎に、Windows プログラミングを学習する。ミニゲームをする上で、Windows アプリケーションの仕組みを理解する。簡単なミニゲームを作成することで、ゲームプログラミングに対する理解度や、今後のゲーム制作への意欲を高めてもらいたい。					
成績評価の方法					
授業の出席状況や態度、中間課題提出、最終課題提出を総合的に判断した上で決定する。				授業態度	20%
				中間提出	30%
				最終提出	50%
使用テキスト・教材					
・演習課題 (自作)					
授業内容・授業計画					
		時間数			
1. ゲームプログラミング I の概要	2	4. WinAPI 応用			
2. WinAPI の基礎		4-1. Double Buffering	6		
2-1. API と開発環境設定	4	4-2. Frame Per Second	6		
2-2. ウィンドウ生成	8	4-3. シーン遷移	6		
2-3. ウィンドウプロシージャ	8	4-4. ミニゲーム制作	12		
2-4. メッセージ処理	6	5. 最終課題提出	2		
2-5. キー入力・マウス入力	6				
2-6. 画像読込・再生・破棄	8				
2-7. 音楽読込・再生・破棄	6				
2-8. コントロールの使用	8				
3. 中間課題提出	2				
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G1-K30
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Computer Graphics I ----- コンピュータグラフィックス I		演習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	夏目 岳彦
授業の目的・目標					
画像編集ソフトを使用して、デジタル画像の編集、加工技術について学び、技術習得を目標とする。併せて、コンピュータを用いて絵を描く画像の描画技術についても習得を目指す。					
授業の概要					
まず、画像編集ソフト (Photoshop) の操作について、講義と演習にて技術習得を行う。操作技術を習得した後、画像の編集・加工ができるよう演習を中心に技術指導を行う。最終的には、ペイント機能を用いて、コンピュータで絵が描けるよう、作品制作の演習を通して技術習得を行う。					
成績評価の方法					
前後期の期末を含め、数回の課題提出を求め、それを評価する。評価基準は、まず必要な技術が習得できているかに重点を置いて評価し、そのうえで作品の芸術性やエンターテインメント性を加算していく。				期末課題	50%
				小課題	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・Photoshop トレーニングブック ・演習課題 (自作) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. インターフェース		4	8. ブラシ		6
2. レイヤー		6	9. パス		10
3. さまざまな選択方法			10. 描画モード		4
3-1. 選択ツール		2	11. 作品制作演習		10
3-2. レイヤーマスク		2			
4. 調整レイヤー					
4-1. 選択ツール		2			
4-2. レイヤーマスク		2			
5. フィルタ		2			
6. その他のツール		2			
7. 作品制作演習		8			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・コンピュータグラフィックスII		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G1-K33
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Color theory 色彩理論		講義		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	夏目 岳彦
授業の目的・目標					
色彩検定3級の取得と、ゲームコンテンツ制作時に配色を活用できるようになることを目標とする。					
授業の概要					
公益社団法人色彩検定協会主催の色彩検定3級の内容を基に、体系的な色に関する知識の講義や、配色の実践的な演習を行う。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。課題の評価は、要求された機能の完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・色彩検定公式テキスト・公式問題集 ・演習課題（自作） 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション・概要説明		2	12. 試験解説		2
2. 光と色・照明		2			
3. 混色、色の表示		2			
4. PCCS					
4-1. 色相環		2			
4-2. トーン		2			
5. 色名、色の心理的効果		2			
6. 対比と同化		2			
7. 配色（色相環とトーンを使って）		6			
8. 色彩効果		2			
9. ファッション・インテリア		2			
10. 検定の傾向と対策		2			
11. 模擬試験		2			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は90分換算		年度	2020年度
				科目コード	G1-K35
授業科目名			授業形態		学科・コース
Drawing デッサン			演習		ゲームクリエイト科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	小池 敏彦
授業の目的・目標					
ゲームコンテンツの制作に必要な描画力、観察力の基礎を身に付けることを目的とする。鉛筆などの筆記具を使って、観察したものや想像したものを描く基礎力を身に付けることを目標に、講義・演習を行う。					
授業の概要					
高校時代、デッサンを学んでいないことを前提に、描画技術の初歩から講義・演習を行う。技術の上達度に応じて段階的にモチーフの難易度を上げ、静物、風景等を描写する。					
成績評価の方法					
授業態度、作品の完成度にて評価する。					課題 80%
					授業 20%
使用テキスト・教材					
・スケッチブック、鉛筆 (4B、2B)、練り消しゴム					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 夏休みの思い出を描く ※ 予備知識なしで描いてみる			2		
2. デッサン用具の使い方			2		
3. 立方体・直線表現			2		
4. 大きさ・位置の把握			2		
5. 身近なものを描く			4		
6. 自分の手を描く			4		
7. 乗り物を描く			4		
8. 友人の顔を描く			4		
9. 冬休みの思い出を描く			6		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)					年度	2020年度
時間数は45分換算					科目コード	G1-K36
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Game Math ゲーム数学			講義		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	4	三浦 千尋	
授業の目的・目標						
普段から楽しんでいるゲームには、数学と物理学の考え方が多く含まれている。ゲームプログラミングの基本となる数学、物理学の学習を通じて、ゲーム上での動きと数式を結びつける。式の暗記ではなく公式を利用し、自分で解が導き出せる能力を身に着ける。						
授業の概要						
高校までの数学・物理の復習をしながら、それとコンピュータ、ゲームとの関連を学ぶ。基礎的な公式を理解し、解を求められるようになった後、プログラミングに反映し、その動きを確認し、理解を深める。						
成績評価の方法						
授業の出席状況や態度、授業の記録状況の提出、期末試験(筆記試験)を総合的に判断した上で決定する。					授業態度	20%
					課題提出	30%
					期末試験	50%
使用テキスト・教材						
・『ゲームを動かす 数学・物理』(SB クリエイティブ)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. ゲーム数学の概要			2	6. 運動		4
2. 整数・小数・演算			2	7. 3次元		2
3. 2次元			2	8. マトリクス		4
4. 角度①(三角関数)			4	9. 衝突		4
5. 時間			2	10. 乱数		2
				11. まとめ		2
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G1-K37
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Game Planning I ゲームプランニング I		講義		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	小池 敏彦
授業の目的・目標					
ゲームの企画書を制作する上で必要な、発想力と描写力を培うことを目的に、さまざまなモチーフについて描画し、理解を深める。					
授業の概要					
ゲームの企画書を制作するとき、ストーリー、シナリオ、世界観などに合わせてキャラクタ、背景、メカ（乗り物）、建物などを描画できるよう、それぞれの構造、描画の仕方を解説する。学生は企画書の作成し、その制作物（課題）について適宜フィードバックを行い、理解を深める。					
成績評価の方法					
授業の取り組み、各課題の完成度にて評価する。				課題	80%
				授業	20%
使用テキスト・教材					
・スケッチブック、鉛筆（4B、2B）、練り消しゴム					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	この授業について（ガイダンス）		2		
2.	企画書にあった描画の仕方について		2		
	ストーリー・シナリオ・世界観の設定の仕方について		4		
3.	メカなどの無機物の描画について		2		
4.	建物のパースの取り方について		2		
5.	風景・背景制作について		2		
6.	室内・パースと背景について		2		
7.	顔の構造・解剖学的解説		2		
8.	ゲームの企画書を作成する		8		
9.	発表		4		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度	
				科目コード	G1-K43	
授業科目名		授業形態		学科・コース		
Mobile Contents I ----- モバイルコンテンツ I		演習		ゲームクリエイト科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	夏目 岳彦	
授業の目的・目標						
HTML/CSS の概要を学び、簡易的な Web ページを制作するために必要な技術を習得する。						
授業の概要						
まず、インターネットや Web ブラウザの機能、HTML と CSS の仕組みなどを、講義にて学ぶ。その後、テキストエディタを利用して、HTML で文書を構造化し、CSS で HTML を装飾する技術を、実習にて習得する。						
成績評価の方法						
前後期の期末を含め、数回の課題提出を求め、それを評価する。評価基準は、まず必要な技術が習得できているかに重点を置いて評価し、そのうえで作品の芸術性やエンターテインメント性を加算していく。				期末課題	50%	
				小課題	50%	
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・自作の教材データ (HTML・CSS) ・適宜プリントを配布 						
授業内容・授業計画						
		時間数			時間数	
1. インターネットとブラウザ		2	5. Web ページ制作		6	
2. HTML と CSS (概要)		2				
3. HTML						
3-1. 設定<head>		2				
3-2. 文書の構造化		4				
3-3. インライン要素・ボックス要素		2				
3-4. レイアウト		2				
4. CSS						
3-1. リンク、設定		2				
3-2. それぞれの要素に装飾		4				
3-3. CSS3		4				
その他			関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要)					年度	
					2020年度	
					科目コード	
					G1-K46	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Work Creation I 作品制作 I			実習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	60	2	鈴木 祥輝	
授業の目的・目標						
Windows プログラムの応用として、Windows 用の2D ミニゲームを自ら制作できることを目標とする。ゲーム制作を行う中で、画像処理ソフトの操作方法や、プログラミング技術の復習を行う側面も持つ。1年次の学習の総まとめとして、提示するテーマに沿ったミニゲームを自分の作品として制作する。						
授業の概要						
制作するゲームのテーマは、担当教員が提示する。提示するテーマは、1年次の学習でも十分制作できるよう、留意する。グループ作品ではなく、個人の作品のため、基本的には個人で制作を進める。制作では、課題解決力の向上、コミュニケーション能力向上にも努めてもらいたい。						
成績評価の方法						
授業の出席状況や態度、中間作品提出、最終作品提出を総合的に判断した上で決定する。					授業態度	20%
					中間提出	30%
					最終提出	50%
使用テキスト・教材						
・ 作品課題 (自作)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 作品制作 I 概要説明			2	5. 作品制作②		
2. 作品テーマ発表・テーマ説明			2	5-1. 素材修正		6
3. 作品制作①				5-2. シナリオ修正		4
3-1. 素材作成・収集			6	5-3. プログラム修正		10
3-2. シナリオ作成			4	5-4. テストプレイ・バグ解消		6
3-3. プログラム作成			10	6. 最終作品提出		2
3-4. テストプレイ・バグ解消			6			
4. 中間作品提出			2			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G1-K51
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Qualifications special courses I 資格特別講座 I		講義		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	90	3	夏目 岳彦
授業の目的・目標					
ゲーム制作に必要なコンピュータグラフィックスの知識の習得を目的に、CG エンジニア検定ベーシックの内容に則して学習し、CG エンジニア検定ベーシックの取得を目標とする。					
授業の概要					
公益社団法人画像情報教育振興協会主催のCG エンジニア検定ベーシックの内容を基に、体系的にコンピュータグラフィックスに関する知識の講義を行う。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。課題の評価は、要求された機能の完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアル情報処理 (CG-ARTS) ・課題 (自作) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. デジタルカメラモデル		3			
2. モデリング		3			
3. レンダリング		3			
4. アニメーション		3			
5. 画像の濃淡		3			
6. ビジュアル情報処理システム		3			
7. 知的財産と情報セキュリティ		4			
8. 模擬試験		4			
9. 試験解説		4			
その他		関連科目			

2020年度

ゲームクリエイト科

2年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G2-K25
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Game Programming II ゲームプログラミングII		演習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	150	5	鈴木 祥輝
授業の目的・目標					
現在のゲームの主流は3Dになりつつある。3Dゲーム制作の基礎を学習することで、最近の主流であるゲームエンジンを使用した制作への知識の礎にする。3Dゲームならではの独特な考え方を学習する。					
授業の概要					
ゲームライブラリやAPIを使用しながら、Windowsで動作する3DゲームをC言語、C++で制作する。2Dゲーム制作より高度な知識が要求されるが、2Dの知識を基礎に学習すると分かりやすい部分もある。1年時、2年時に学習してきた科目の知識を十分に活用しながら講義・演習をして頂きたい。					
成績評価の方法					
授業の出席状況や態度、中間課題提出、最終課題提出を総合的に判断した上で決定する。				授業態度	20%
				中間提出	30%
				最終提出	50%
使用テキスト・教材					
・演習課題 (自作)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. ゲームプログラミングIIの概要		2	4-5. 2D 当たり判定		10
2. 開発環境の準備		6	4-6. ミニゲーム制作		22
3. ゲームの中心部制作			5. 中間課題提出		2
3-1. ウィンドウ		6	6. 3D ゲーム制作		
3-2. キー入力		4	6-1. ウィンドウ		6
3-3. FPS		4	6-2. 3D 基本図形描画		6
3-4. シーン遷移		4	6-3. 3D 読み込み・描画・破棄		6
4. 2D ゲーム制作			6-4. 3D アニメーション		6
4-1. 画像読み込み・表示・破棄		6	6-5. カメラ		6
4-2. 音楽読み込み・表示・破棄		6	6-6. 3D 当たり判定		10
4-3. フォント読み込み・表示・破棄		6	6-7. ミニゲーム制作		24
4-4. データ読み込み		6	7. 最終課題提出		2
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G2-K27
授業科目名		授業形態		学科・コース	
オブジェクト指向プログラミング C++言語		演習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	90	3	齋藤 正寛
授業の目的・目標					
C++言語を用いてオブジェクト指向プログラミングの基礎を学習する。 クラス概念、派生概念、仮想関数の概念を通してオブジェクト指向の3大要素「カプセル化」「継承」「ポリモーフィズム」を理解することを目標にする。					
授業の概要					
C++言語は現行の主流言語の中で最も難解な言語であり細かな仕様を1つ1つ確実に理解していく必要がある。授業ではサンプルプログラムを通して1つ1つ正確に説明していくため、これを元に実際にプログラムを書いて動作させて理解していくことが重要である。また、実習課題を通して理解を確実なものにしていく。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、実習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。課題の評価は、要求された機能の完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。				期末試験	60%
				課題	40%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・C++ の絵本 翔泳社 ・実習課題 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. C++ の基本 歴史・クラス・オブジェクト・メンバ アクセス制御・コンストラクタ等 ★実習課題	16	5. クラスの構築 new・delete・コンストラクタ	10		
2. C++ プログラムの書き方 コメント・プロトタイプ変数/定数宣言	8	6. クラスの継承 継承とは・派生クラス・規定クラス 仮想関数・純粋仮想関数	10		
3. C++ の機能 デフォルト引数・オーバーロード ストリーム・スコープ解決演算子	10	7. オブジェクトとメンバー ★実習課題	10		
4. 参照 参照とは・値渡し・参照渡し ★実習課題	10	8. C++上級編 演算子オーバーロード STL	12		
	1	9. 期末試験	1		
その他		関連科目			
※実習課題を3回以上実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G2-K29
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ネットワークプログラミング		演習		ゲームクリエイト科	
ネットワークプログラミング (C言語)					
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	齋藤 正寛
授業の目的・目標					
インターネットにおける主なプロトコルの理解とソケットによる TCP/UDP 通信プログラミングスキルを取得することを目標にする。					
授業の概要					
ネットワークプログラミングとして NetBIOS、WinSock、WinInet を使用して MAC アドレスの取得、IP アドレスの取得、ホスト情報の取得から FTP/HTTP/SNTP といった馴染みの深いプロトコルの通信プログラムと WinSock によるチャットプログラム (同期/非同期) を学習する。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、実習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。課題の評価は、要求された機能の完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。				期末試験	60%
				課題	40%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・個別に用意したパワーポイントによるテキスト ・実習課題 					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
1. OSI 参照モデルとインターネット構成	2	10-1. WinSock CUI プログラム	4		
2. コマンドラインパラメータ取得	2	10-2. WinInet CUI プログラム	4		
3. PC の IP アドレス取得	2	10-3. WinInet GUI プログラム	4		
4. ホストの IP アドレス取得		11. FTP 通信プログラム			
4-1. CUI プログラム	2	11-1. WinInet CUI プログラム	3		
4-2. GUI プログラム	2	11-2. WinInet GUI プログラム	4		
5. lookup プログラム	2	12. WinSock プログラム			
6. MAC アドレス取得プログラム	2	12-1. TCP 同期/非同期チャット	6		
7. ipconfig プログラム	2	★実習課題	2		
8. Well known Port 列挙プログラム	2	12-2. UDP 同期/非同期チャット	4		
★実習課題	2	13. SNTP 通信プログラム	4		
9. ホストサービス名取得プログラム	2	14. SMTP AUTH 通信プログラム	2		
10. HTTP 通信プログラム	2	15. 期末試験	1		
その他	関連科目				
※実習課題を2回以上実施する。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G2-K31
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Computer Graphics II コンピュータグラフィックスII		演習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	夏目 岳彦
授業の目的・目標					
3次元コンピュータグラフィックス(3DCG)モデリングソフトを利用し、キャラクターや乗り物、機械など、ゲームコンテンツで利用できる3DCGモデルの制作技術の習得を目標とする。					
授業の概要					
初めに、3DCGモデリングソフト(メタセコイア)の操作について、講義と演習で技術指導を行う。操作技術を習得した後、実際の3DCGモデルの制作を行う。基本図形を組み合わせてモデルを制作するところから始め、ポリゴンモデリングを利用して、考えたものを3DCGもでるとして自由に制作できるよう、作品制作の演習を通して段階的に技術習得していく。					
成績評価の方法					
前後期の期末を含め、数回の課題提出を求め、それを評価する。評価基準は、まず必要な技術が習得できているかに重点を置いて評価し、そのうえで作品の芸術性やエンターテインメント性を加算していく。				期末課題	50%
				小課題	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・3DCG日和 ・演習課題(自作) 					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
1. インターフェース		4	12. テクスチャペイント		2
2. 基本図形		2	13. オリジナルキャラクター制作		10
3. 押し出し		2			
4. ナイフ		2			
5. UV展開		8			
6. キャラクター(ローポリ)制作 (前期終了)		12			
7. 下絵の制作と配置		2			
8. キャラクター頭部モデリング		4			
9. キャラクター体モデリング		4			
10. キャラクター髪部モデリング		4			
11. UV展開		4			
その他			関連科目		
			・コンピュータグラフィックスIII		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G2-K34
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Character Design キャラクタデザイン		講義・演習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	90	3	小池 敏彦
授業の目的・目標					
制作するゲーム内で使用するキャラクタを自分で作れることを目的に、様々なキャラクタの制作する方法を学習する。					
授業の概要					
毎回ごとにテーマを設定し、キャラクタについて性格や背景など設定を考える。それを基に、手描きでラフスケッチを作成、修正を行う。手描きでの下絵が完成したら、ベクターツール (Illustrator) を用いてデジタルし、ゲームで使用可能な状態にする。					
成績評価の方法					
普段の授業での取り組み、および各課題の作品の完成度にて評価する。				課題	80%
				授業	20%
使用テキスト・教材					
・ adobe illustrator					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. キャラクタとは? キャラクタの基礎		8	8. Illustrator の操作		20
2. 基本図形の描画練習 既存のキャラクタを参考に		8	9. Illustrator を使って制作 Illustrator の機能を使って、オリジナルキャラクタのデザインをする		14
3. 服装によるキャラクタの描き分け1 職業別、制服やユニホームなど		8			
4. 服装によるキャラクタの描き分け2 普段着 (Tシャツ、ワンピース)		8			
5. 性別によるキャラクタの描き分け 男女の学生を描く		8			
6. デフォルメキャラクタを作成しよう 友人をデフォルメ		8			
7. ゆるキャラを考案し描く		8			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G2-K38
授業科目名			授業形態		学科・コース
Game Planning II ゲームプランニングII			演習		ゲームクリエイト科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	小池 敏彦
授業の目的・目標					
ゲーム開発を行う上で必要となる設計書の書き方を習得することを目標として、実習をメインに知識・技術の習得を行う。					
授業の概要					
まず、ゲームのアイデアに合わせて時代背景、キャラクタ、世界観を設定する。次に、それに合わせてパラメータ、イベント、などを設定し、ゲーム利用できる展開を考える。最後に、ゲームとしてプレイすることができるプログラムに落とし込む。この設計書の制作手順を実習を通して学習する。					
成績評価の方法					
授業の出席状況や態度、中間作品提出、最終作品提出を総合的に判断した上で決定する。				授業態度	20%
				中間提出	30%
				最終提出	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・参考資料 (自作・抜粋) ・演習課題 (自作) 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. オリエンテーション			2		
2. ゲーム (テーマ) 設定					
2-1. 時代背景			2		
2-2. 世界観			2		
2-3. キャラ、その他			2		
3. ゲームへの展開を考える					
3-1. イベント			4		
3-2. パラメータ、その他の設定			4		
中間発表、相談			4		
4. プログラムへ落とし込み・設計書完成					
4-1. プログラムへの落とし込み			8		
4-2. 設計書完成・発表			2		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G2-K40
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Web Programming Webプログラミング		演習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	夏目 岳彦
授業の目的・目標					
1年次に学んだHTML/CSSの知識、技術に加え、JavaScriptなどのWeb制作に必要なプログラミング言語を習得し、高度なWebサイト制作ができる技術を習得する。					
授業の概要					
まず、1年次で到達できなかったHTML/CSSの知識を学び、Webサイト制作の演習を通してHTML/CSSのより高度で実践的な制作技術を習得する。その後、JavaScriptの基礎知識を学び、小規模なアプリ制作の演習を通して、JavaScriptによるプログラミング技術を習得する。					
成績評価の方法					
前後期の期末を含め、数回の課題提出を求め、それを評価する。評価基準は、まず必要な技術が習得できているかに重点を置いて評価し、そのうえで作品の芸術性やエンターテインメント性を加算していく。				期末課題	50%
				小課題	50%
使用テキスト・教材					
・自作の教材データ					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. HTML5・CSS3			5. JavaScript		
1-1. タグ		4	4-1. 変数		2
1-2. フォーム		4	4-2. 分岐		4
1-3. CSSプロパティ		4	4-3. 繰り返し		4
1-4. デザイン (カンパ)		2	4-4. 配列		2
2. Webサイト制作演習		6	6. Webアプリ制作演習		4
3. レスポンシブWeb			7. jQuery		2
3-1. メディアクエリ		6			
3-2. モバイルファーストでデザイン		6			
3-3. デザイン (モバイル用)		4			
4. Webサイト制作演習		6			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・モバイルコンテンツ I		

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	G2-K41
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Web Game 1 Web ゲーム I			演習		ゲームクリエイト科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	30	1	鈴木 祥輝		
授業の目的・目標							
ゲームのプラットフォームの1つに、Webブラウザで遊べる「ブラウザゲーム」が存在する。ブラウザゲームの開発は、「フロントエンド」「サーバサイド」の2種類に大別されるが、今授業では「フロントエンド」に必要な知識・技術の基礎を学習する。							
授業の概要							
Webブラウザゲームを開発するためのプログラミング分野として、Javascriptの学習を行う。Javascriptの文法、独自の考え方の基礎を習得し、HTMLとCSSの仕組みを用いながら、簡単なミニゲームを制作する。ミニゲーム開発を通して、フロントエンドエンジニアの仕事イメージを掴んでもらいたい。							
成績評価の方法							
授業の出席状況や態度、中間課題提出、最終課題提出を総合的に判断した上で決定する。					授業態度	20%	
					中間提出	30%	
					最終提出	50%	
使用テキスト・教材							
<ul style="list-style-type: none"> ・JavaScriptの絵本 第2版 (株)アंक出版 ・演習課題 (自作) 							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 授業の概要・環境の設定			2	5. ミニゲーム制作概要・環境設定			2
2. Javascriptの文法				6. ミニゲーム制作			12
2-1. オブジェクト			2	7. 最終課題提出			1
2-2. 変数と演算子			2				
2-3. 制御文			2				
2-4. 関数			2				
3. Javascriptの考え方							
3-1. 一般的なオブジェクト			2				
3-2. ブラウザのオブジェクト			2				
4. 中間課題提出			1				
その他				関連科目			

シラバス (授業概要)					年度	2020年度
時間数は45分換算					科目コード	G2-K47
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Work Creation II 作品制作II			実習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	60	2	鈴木 祥輝	
授業の目的・目標						
学習した2Dのゲーム制作の知識を基に、自らの力で2Dゲームが制作できる能力を伸ばす科目である。シューティングやアクション、シミュレーションなど、2Dで制作できるゲームのジャンルを学習し、制作する。2Dゲーム制作でのプログラミング技術の基礎を締めくくる科目である。						
授業の概要						
いくつかのゲームサンプルプログラムを参考に、各ジャンルのゲームを制作する。ゲームライブラリはDxLibを想定している。Windowsで動作し、C言語を利用してゲーム制作する。サンプルプログラムは簡易なものを想定しているため、この科目の作品を、今後の制作の参考にして頂きたい。						
成績評価の方法						
授業の出席状況や態度、中間作品提出、最終作品提出を総合的に判断した上で決定する。					授業態度	20%
					中間提出	30%
					最終提出	50%
使用テキスト・教材						
・演習課題 (自作)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 作品制作II概要説明			2	5. 開発管理		
2. 開発環境設定			2	5-1. 開発管理手法の基礎		4
3. 企画書作成				5-2. 開発管理手法の応用		6
3-1. 企画書研究			6	6. 制作練習		
3-2. 企画書案作成			8	5-1. プログラム開発		8
3-3. 企画書作成			12	5-2. 開発管理		8
4. 中間課題提出			2	7. 最終課題提出		2
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)					年度	
					2020年度	
					科目コード	
					G2-K48	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Work Creation 3 作品制作Ⅲ			実習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	90	3	鈴木 祥輝	
授業の目的・目標						
2年次までに得た知識や技術を基礎に、ゲーム制作を行う。大規模なゲームを、未完成のまま終わってしまうことが、残念ながら多々発生してしまうため、小規模なゲームでも、必ず完成させることを目標とする。結果として、ゲーム制作後の達成感や自信に繋げてほしい。						
授業の概要						
科目の概要では、科目の説明以外にも、プロジェクトマネジメントの基礎も講義する。その後、自身のスコープとスケジュールを設定し、提出日までに作品を制作する。小規模なゲームを、自らの力で作成し、スケジュール管理を行いながら、自身のゲームクリエイト能力を伸ばしてもらいたい。						
成績評価の方法						
授業の出席状況や態度、開発管理、作品提出を総合的に判断した上で決定する。					授業態度	20%
					進捗管理	30%
					最終提出	50%
使用テキスト・教材						
・演習課題 (自作)						
授業内容・授業計画						
			時間数			
1. 作品制作Ⅱ概要説明			2			
2. 作品制作						
2-1. スコープ決定			4			
2-2. スケジュール決定			6			
2-3. 制作・開発管理(進捗)			76			
2-4. 作品提出			2			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)					年度	2020年度
時間数は45分換算					科目コード	G2-K52
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Qualifications courses II 資格特別講座II			講義		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	120	4	鈴木 祥輝	
授業の目的・目標						
春期に行われる、経済産業省主催 基本情報技術者試験 合格を目標とした、資格試験対策講座である。就職活動時、IT企業では、この試験に合格することで、ある一定の学力を持つと判断する場合がある。講座では、1年次の学習の成果と共に、より深いIT技術の知識を獲得して頂きたい。						
授業の概要						
担当教員は、午後の問題の解き方、考え方を、実際の問題を使用して解説する。状況により、午前の問題を復習として解かせる。模擬問題を使用した模擬試験では、受験者は、客観的な現在の実力を確かめることができる。問題の読み解き方以外にも、資格勉強の仕方、モチベーションの保ち方を学んでいく。						
成績評価の方法						
出欠席状況、授業態度、模擬試験の結果、試験当日の結果、等を総合的に判断した上で決定する。					出欠席	30%
					授業態度	30%
					試験結果	40%
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> 基本情報技術者 午前 / 午後 問題集 インフォテックサーブ 各種模擬試験 						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 資格特別講座概要説明			2	3. 資格対策講座 (模擬試験)		
2. 資格対策講座 (過去問題)				・模擬試験 実施		8
・過去問題 実施				・模擬試験 解説		8
・テクノロジー系			40	4. 受験		2
・マネジメント系			4			
・ストラテジ系			6			
・過去問題 解説						
・テクノロジー系			40			
・マネジメント系			4			
・ストラテジ系			6			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G2-K53
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Game production special course ゲーム制作特別講座		演習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	2	夏目 岳彦
授業の目的・目標					
ゲーム制作に必要なゲームエンジンの基礎的な利用方法を身に付けることを目的に、ゲームエンジンの基礎的な知識と技術について講義と演習を行う。					
授業の概要					
まず、インターネットやWebブラウザの機能、HTMLとCSSの仕組みなどを、講義にて学ぶ。その後、テキストエディタを利用して、HTMLで文書を構造化し、CSSでHTMLを装飾する技術を、実習にて習得する。					
成績評価の方法					
進捗に応じて、授業内で小課題を出題し、評価する。期末の課題では、必要な技術が習得できているかに重点を置いて評価し、そのうえで作品の芸術性やエンターテインメント性を加点していく。				期末課題	50%
				小課題	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・自作の教材データ ・適宜プリントを配布 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. Unityのセットアップ	2	1 1. UIの設定	2		
2. Unityの基本操作	2	1 2. 演出効果・パーティクル	2		
3. 3Dで簡単なレイアウト	2	1 3. 課題制作	6		
4. 重量とコライダー	2				
5. コライダーの詳細	2				
6. インタラクション	2				
7. サウンド	2				
8. プレイヤーの設定	2				
9. リプレイの設定	2				
10. ゲームのゴール	2				
その他		関連科目			

2020年度

ゲームクリエイト科

3年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G3-K14
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Communication technique コミュニケーション技法		演習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	30	1	夏目 岳彦
授業の目的・目標					
プレゼンテーション基礎、コミュニケーション技法 I で学習した発表に関する知識や PowerPoint に関する技術を基礎に、卒業制作発表において自己の成果を適切で効果的に発表できることを目標に、プレゼンテーションに関する講義・演習を行う。					
授業の概要					
卒業制作発表についての概要を説明し、それに則ってスライドと発表原稿を作成する。プロットの作成、スライドの作成、発表の仕方については講義を行い、個別の制作状況に合わせて適宜面談・確認をしながら卒業制作発表のためのスライドと発表原稿を作成していく。					
成績評価の方法					
作成したスライドと発表の内容で評価する。				スライド	50%
				発表	50%
使用テキスト・教材					
・適宜、資料を作成し配布					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	卒業制作発表について		2		
2.	発表項目の抽出		2		
3.	プロットの作成について		2		
4.	プロット制作 (適宜、個別に確認)		2		
5.	スライドの作成について		2		
6.	スライド作成 (適宜、個別に確認)		2		
7.	発表の仕方について		2		
	・ 発表練習		2		
	・ 相互に意見交換		2		
	・ 修正		2		
8.	リハーサル		2		
その他			関連科目		
適宜、個別に進捗の確認を行う。 作成したスライドは、卒業制作発表で使用する。			プレゼンテーション基礎 コミュニケーション技法 I		

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				G3-K26	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Game Programming 3 ゲームプログラミングⅢ			演習		ゲームクリエイト科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	120	4	齋藤 正寛・鈴木 祥輝
授業の目的・目標					
ゲーム制作の応用として、オブジェクト指向プログラミングを意識したプログラミングを学ぶ。オブジェクト指向プログラミングでは、主にC++やC#を学習し、ゲームエンジンにも考え方を流用することで、様々なゲーム開発に対応できる技術の基盤を固める。					
授業の概要					
C系のオブジェクト指向プログラミングの学習を行う。主流のゲームエンジンのプログラム分野で制作することを意識して、講義を行う。1年次・2年次の知識を使用しながら、オブジェクト指向としてゲームを考えることで、開発の高速化や、再利用性などのメリットを感じてほしい。					
成績評価の方法					
授業の出席状況や態度、中間課題提出、最終課題提出を総合的に判断した上で決定する。				授業態度	20%
				中間提出	30%
				最終提出	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・演習課題 (自作) ・C#の絵本 株式会社アंक 出版 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ゲームプログラミングⅢの概要			2	4. オブジェクト指向の応用	
2. オブジェクト指向プログラミング				4-1. ゲームクラス	
2-1. 開発環境設定			4	4-2. キーボードクラス	
2-2. 基本的なプログラム			4	4-3. FPSクラス	
2-3. 演算子			4	4-4. シーン管理クラス	
2-4. 制御文			6	4-5. タイトルクラス	
2-5. クラス			8	4-6. プレイクラス	
2-6. クラスの継承・実習課題			8	4-7. エンドクラス	
2-7. クラスの応用			8	4-8. マップクラス	
2-8. FileStream			8	4-9. プレイヤークラス	
2-9. 文字列の応用・実習課題			6	4-10. 敵クラス	
3. 中間課題提出			2	4-11. その他のクラス	
				5. 最終課題提出	
その他			関連科目		
※実習課題を2回以上実施する。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G3-K28
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Object Programming II オブジェクト指向プログラミング II		実習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	90	3	中田 誠
授業の目的・目標					
Javaを使用したプログラミングを通して、オブジェクト指向の考え方を理解すると共に、Javaプログラミング技術を習得する。					
授業の概要					
テキストの例題プログラムの内容を学び、自分のPCで実際にプログラムを動かすことによって、オブジェクト指向プログラミングを習得する。キャラクターベースのプログラムからGUIのプログラムを作成してゆく。					
成績評価の方法					
作成した課題プログラムを評価する。					課題 100%
使用テキスト・教材					
・Java入門編、実践編 (翔泳社)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オブジェクト指向概要		4	15. GUIコンポーネント, レイアウト		4
2. Javaプログラミングの基本		4	16. イベント処理		4
3. クラス・フィールド・メソッド		4	17. GUIアプリ (簡易電卓)		2
4. コンストラクタ		4	18. ラジオボタン・チェックボタン		2
5. 継承		4	19. GUIアプリ (ファイル編集)		2
6. オーバーライド		4	20. GUIアプリ (クイズ)		2
7. 抽象クラス		4	21. GUIアプリ課題		4
8. インターフェース		4	22. シェイプの描画		2
9. スレッド		4	23. キャンバスへの描画		4
10. 例外処理		4	24. マウスイベント処理		4
11. ファイル入出力		4	25. プログラミング制作課題		4
12. ソケットとデータ送受信		4			
13. CUIアプリ課題		4			
14. Java fxパッケージ、ウィンドウ		4			
その他			関連科目		
			・モバイルコンテンツ II		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G3-K32
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Computer Graphics III コンピュータグラフィックスIII		演習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	2	夏目 岳彦
授業の目的・目標					
三次元コンピュータグラフィックス (3DCG) 統合ソフトを利用して、ゲーム制作に必要なアセットを制作できる技術を習得する。					
授業の概要					
まず、業界で3DCG統合ソフト (3dsMax および Maya) の操作について、演習にて技術習得を行う。全般的な操作習得の後、アニメーション、リギング、スキニング、マテリアル、テクスチャ制作を中心に、ゲーム制作で必要なコンテンツが制作できるよう、演習を通して技術習得を行う。					
成績評価の方法					
前後期の期末を含め、数回の課題提出を求め、それを評価する。評価基準は、まず必要な技術が習得できているかに重点を置いて評価し、そのうえで作品の芸術性やエンターテインメント性を加算していく。				期末課題	50%
				小課題	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・演習課題 (自作) ・Autodesk 公式サイト掲載のチュートリアル 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. ユーザインタフェース	4	10. 作品制作演習	(キャラクターアニメーション)		10
2. オブジェクト操作					
2-1. サブオブジェクト	2				
2-2. 基点操作	2				
3. モディファイヤ	8				
4. キーフレームアニメーション	4				
5. リグ	8				
6. スキニング	6				
7. マテリアル・テクスチャ	4				
8. ゲームエンジンへのコンバート方法	2				
9. ゲームエンジンでの設定	10				
その他		関連科目			
		・コンピュータグラフィックス I・II			

シラバス (授業概要)		時間数は90分換算		年度	2020年度
				科目コード	G3-K39
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Game PlanningⅢ ゲームプランニングⅢ		演習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	2	小池 敏彦
授業の目的・目標					
ゲーム制作に必要なシナリオや設定を、個人で作成できることを目標にする。また、3年後期に行われる卒業制作（ゲーム制作）の基礎演習になることを目的とする。					
授業の概要					
ゲームプランニングⅠ、Ⅱで学習した内容を踏まえて、ゲーム制作に必要なシナリオや世界観、キャラクターの設定などを行う。					
成績評価の方法					
授業態度、作品の完成度にて評価する。				課題	80%
				授業	20%
使用テキスト・教材					
・適宜プリントや自作の教材を配布					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. コンセプトの作成 個別に学生・教員が確認		4			
2. プロットの作成 個別に学生・教員が確認		4			
3. 世界観、キャラクター設定の作成(ラフ) 個別に学生・教員が確認 ※ 確認が済み次第個人で制作開始		4			
4. ゲームシナリオ・設定の作成 適宜、学生・教員が確認		14			
5. 発表		4			
その他		関連科目			
		ゲームプランニングⅠ、Ⅱ			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G3-K42
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Web Game Programing II		演習		ゲームクリエイト科	
Web ゲームII					
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	60	2	夏目 岳彦
授業の目的・目標					
Web ゲーム I 制作の基礎として、オブジェクト指向プログラミングを理解し、Unity と Visual Studio を用いてオリジナルゲームが制作できることを目指す。					
授業の概要					
プログラミング学習のための講義や演習は、クラス全体でテキストを利用して行う。ゲームの企画から制作、発表まで、各自で行う。授業を通して、クラス全員の理解を深めることを目的に、中間発表だけでなく、細かく進捗の確認を行う。					
成績評価の方法					
授業への取り組み、演習課題の評価点を総合的に評価する。最終演習課題の評価は、計画、途中経過、クラス内プレゼンテーション、制作データ、などの完成度評価と学習意欲を併せて判定する。					課題 100 %
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・自作のテキスト・演習課題 ・無料のオンライン教材 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. ガイダンス		2	8. ゲーム制作		12
1-1.授業概要、目標、評価基準			9. クラス内プレゼンテーション		4
1-2.開発環境の使い方 (Unity)					
2. Web ゲーム I で学んだ内容の確認		4			
3. オブジェクト指向プログラミング		8			
4. アセットの連携		8			
5. ゲーム企画 (個々でヒアリング)		6			
6. ゲーム制作 (学生各自進める)		12			
7. 中間発表 学生相互にゲーム制作の進捗を確認 意見を交換する		4			
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G3-K44
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Mobile Content II ----- モバイルコンテンツII		実習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	60	2	中田 誠
授業の目的・目標					
Java を使用して Android プログラミング技術を習得する。					
授業の概要					
開発環境 (Android Studio) を利用し、Android 端末で動作するプログラムを作成する。エミュレータを使用して、その上でプログラムが正常に動作するかを確認しながら、プログラミング技術を学んでいく。					
成績評価の方法					
作成した課題プログラムを評価する。					課題 100%
使用テキスト・教材					
・ Android アプリ開発超入門 (技術評論社)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 開発環境の設定		2	15. 画面タッチによる画像の移動		2
2. 仮想デバイスの作成		2	16. 画面タッチによる画像の切り替え		2
3. プロジェクト作成 (Hello World)		2	17. 画像の直線運動		2
4. レイアウト作成		2	18. 画像の回転運動		2
5. ボタンのイベント処理		2	19. 複数画像の落下運動		2
6. 画像表示		2	20. 複数図形のランダム方向落下		2
7. ラジオボタンとチェックボックス		2	21. フリックによる画像の移動		4
8. アプリ (簡易メモ帳)		2	22. アプリ (フリックゲーム)		8
9. 音声再生		2	23. 自由課題		6
10. インテントによる画面遷移		2			
11. インテントによるデータの受け渡し		2			
12. インテントによる画像選択		2			
13. 図形描画		4			
14. 画面タッチによる図形の移動		2			
その他		関連科目			
		・ オブジェクト指向プログラミング II			

シラバス (授業概要)					年度		
					2020年度		
					科目コード		
					G3-K45		
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Linux			演習		ゲームクリエイト科		
Linux							
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	前期	選択	60	2	宮木 孝		
授業の目的・目標							
オンラインゲームでは、プレイヤー側のゲーム画面制作だけでなく、サーバーと呼ばれるコンピュータの管理・運用を行う。本科目では、代表的なサーバーOSであるLinux系OSを科目の題材にし、より実践的な基礎知識を習得する。							
授業の概要							
受講者全員のPCに仮想端末としてのLinuxをインストールすることで、演習形式の授業として展開する。サーバーOSとしての基礎知識（ファイルシステム、プロセス、bash、パッケージ管理、ユーザ管理、サービス管理、ネットワーク接続）や、Webサーバーの構築・運用を行う。							
成績評価の方法							
授業の出席状況や態度、中間試験(筆記試験)、期末試験(筆記試験)を総合的に判断した上で決定する。					授業態度	20%	
					中間試験	30%	
					期末試験	50%	
使用テキスト・教材							
<ul style="list-style-type: none"> 小さな会社の新米サーバー/インフラ担当者のためのLinuxの常識 ソシム株式会社 課題 (自作) 							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. Linuxの基礎知識				6. Webサーバーの構築			
1-1. サーバーとは代表的なサーバー			2	6-1. DNS/FTPサーバーの設定			4
1-2. LinuxとはLinuxの使いみち			2	6-2. Web/DBサーバーの設定			6
2. CentOSのインストール			4	7. Linuxサーバー運用の基礎知識			
3. Linux操作の基本				7-1. ソフトウェアの管理			4
3-1. コマンドを使った操作			4	7-2. サーバー管理の知識			4
3-2. ファイルとディレクトリ			4	8. セキュリティの基礎知識			6
4. サーバー構築の基礎知識				9. サーバー管理とトラブル対応			
4-1. サーバーを公開する			4	9-1. 基本操作			6
4-2. サーバーを用意する手段			2	9-2. トラブル対応			4
5. 科目の中間整理			2	10. 科目の総まとめ			2
その他				関連科目			

シラバス (授業概要) 時間数は45分換算					年度	2020年度
					科目コード	G3-K49
授業科目名		授業形態		学科・コース		
Work Creation IV 作品制作IV		実習		ゲームクリエイト科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	120	4	夏目 岳彦	
授業の目的・目標						
2年次までに得たプログラミング、およびコンテンツ制作の知識や技術を基礎に、ゲーム制作を行う。後期に行う卒業制作に向けて、自分が得意とする分野を確認し、技術レベルを高めることを目標とする。						
授業の概要						
学生各自が志望する企業や職種など就職に合わせて、制作するテーマを選択させる。そのため、ゲーム全体の制作ではなく、シナリオ、コンテンツ、プログラミングなど、各職種・分野に特化した内容での制作も認める。						
成績評価の方法						
授業の出席状況や態度、制作の進捗、作品提出を総合的に判断した上で判断する。					授業態度	20%
					進捗	30%
					最終提出	50%
使用テキスト・教材						
・適宜、プリントを配布						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 作品制作IVの授業について			2	8. 制作発表		4
2. 作品のテーマを決定する 適宜、個別に面談を行い決定			8			
3. 企画 制作の具体的なゴールを決定			8			
4. スケジュール 企画をもとに、スケジュールを決定			2			
5. 制作開始			46			
6. 中間発表 学生が相互に意見交換			4			
7. 制作			46			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	G3-K50
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Graduation project 卒業研究		実習		ゲームクリエイト科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	210	7	夏目 岳彦
授業の目的・目標					
3年間で学んだゲーム制作の知識、技術の確認を目的とし、各自が、それぞれの専門性を活かしたゲームを制作することを目標とする。					
授業の概要					
企画から制作まで、一貫したゲーム制作を行う。制作する内容により、個人、またはグループで制作を行い、ゲーム作品の発表（プレゼンテーション）まで行う。					
成績評価の方法					
授業内の卒業研究への日々の取り組みと、制作されたゲームの完成度を総合的に評価する。				取り組み	50%
				作品提出	50%
使用テキスト・教材					
原則として、制作するゲームに応じて、学生が個人で用意する。 学校にある専門書籍については、貸し出しを行う。					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. コンセプトメイク (個人)		14			
2. 研究内容・グループの相談		8			
3. 研究内容・グループの決定		8			
4. スケジュールの設定		4			
5. 第一期制作		44			
6. 第一回中間発表		4			
7. 第二期制作		44			
8. 第二回中間発表		4			
9. 第三期制作		44			
10. 卒業研究発表会		6			
その他		関連科目			

2020年度

CAD科

1年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)				年度		
時間数は45分換算				2020年度		
				科目コード		
				D1-K06		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Presentation basics プレゼンテーション基礎			講義・演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	中村 住子	
授業の目的・目標						
PowerPoint の操作技術習得及びプレゼンの基礎知識を習得する。グループ発表と個人発表を設題テーマに沿ってプレゼンを作成、決められた時間内におこなう。						
授業の概要						
テキストに沿ってプレゼンの作り方、PowerPoint の基本操作を実習する。テキスト内容終了後にグループでの作成と発表、個人での作成と発表をおこなう。						
成績評価の方法						
提出課題及び発表で評価する。完成度と制作意欲を併せて判定する。テキスト実習課題の提出も加味する。					プレゼン1 プレゼン2 提出課題他	
使用テキスト・教材						
30時間でマスター プレゼンテーション+ PowerPoint2016 実教出版						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. プレゼンテーションとは(1) プレゼンテーション種類、概要、活用			2	7. プレゼン課題 グループ グループ作成・発表		4
2. プレゼンテーションとは(2) ストーリー作り、情報収集			2	8. プレゼン課題 個人		8
3. プレゼンテーションとは(3) 視覚資料の作成、プレゼンの実際			2			
4. PowerPoint の資料作成(1) 「クイズ」			2			
5. PowerPoint の資料作成(2) 「情報化が与える影響」			4			
6. プレゼンテーションのテクニック 「情報化が与える影響」、実習			6			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
資格講座 I		講義・演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修			佐津川 陽子
授業の目的・目標					
「CAD利用技術者試験 2次元 2級」における製図分野の知識と「CAD利用技術者試験 3次元 2級」の知識を身につけ、それぞれの資格合格を目指す。					
授業の概要					
CAD利用技術者にはCADシステムの知識とともに、製図や図形、モデリングなどの基本的な知識が不可欠である。 この講義では「CAD利用技術者試験 2次元 2級」の製図分野、および「CAD利用技術者試験 3次元 2級」について取り上げていく。					
成績評価の方法					
期末試験（前期・後期 各1回）の得点及び、随時行う過去問題による演習の得点、講義中の学習意欲を総合的に判断する。				期末試験	40%
				演習	50%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度版 CAD利用技術者試験 2次元 2級・基礎公式ガイドブック 日経BP社 ・2020年度版 CAD利用技術者試験 3次元公式ガイドブック 日経BP社 					
授業内容・授業計画					
1. 製図の知識		時間数	4. 3次元CADの概念		時間数
1-1. 製図の目的と規格			4-1. 3次元CADとは		
1-2. 図面の基本要件			4-2. 3次元CADの活用・歴史		
1-3. 図面の様式			4-3. 3次元モデルのデータ構造		
1-4. 製図における寸法記入法			4-4. 3次元モデルの構成・表示技術		
2. 製図の原理と表現方法			5. 3次元CADデータの管理と周辺知識		
2-1. 投影法とその分類			5-1. プロジェクト管理、PDM		
2-2. 投影図の選択・分析方法			5-2. コンピュータシステムの構成		
3. 製図における図形の表現方法			5-3. CADとネットワーク知識		
3-1. 投影図について			5-4. 情報セキュリティ		
3-2. 断面図について			6. 3次元CADデータの活用		
3-3. 省略図示法について			6-1. CAE、CAM、CAT		
3-4. 特殊な図示法について			6-2. CG、3Dプリンター		
			6-3. DMU、コラボレーション		
			6-4. 3次元CADデータの応用例		
			7. 期末試験		
その他		関連科目			

	・コンピュータ概論
--	-----------

浜松情報専門学校

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D1-K13
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Computer introduction ----- コンピューター概論		講義		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	4	佐津川 陽子
授業の目的・目標					
CADシステムの基本的な知識、コンピューター・ネットワークの知識、CADシステムを運用するための知識を習得し、「CAD利用技術者試験2級」合格を目指す。					
授業の概要					
CAD利用技術者には製図や図形の知識だけでなく、CADシステムの知識やそれらを運用していくためのコンピューター・ネットワークの知識も必要である。この講義では「CAD利用技術者試験2級」のシステム分野について取り上げていく。					
成績評価の方法					
期末試験（前期・後期 各1回）の得点及び、随時行う小テストの得点、講義中の学習意欲を総合的に判断する。				期末試験	40%
				小テスト	50%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
・2019年度版 CAD利用技術者試験 2次元2級・基礎公式ガイドブック 日経BP社					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. CADシステムの知識と利用			3. CADシステムの関連知識		
1-1. CADシステムの概要と機能		2	3-1. CADシステムの運用と管理		4
1-2. CADシステムの基本機能		6	3-2. 3次元CADの基礎知識		4
1-3. CADの作図データについて		2	4. 期末試験		4
2. CADシステムのプラットフォーム					
2-1. CADシステムとハードウェア		12			
2-2. CADシステムとソフトウェア		6			
2-3. ネットワークの知識		14			
2-4. 情報セキュリティと知的財産		6			
その他		関連科目			
		・資格講座 I			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D1-K14
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Manufacturing outline ものづくり概論		講義		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	吉岡 正博
授業の目的・目標					
CADを活用したものづくりについて、CAD利用技術者試験3次元公式ガイドブックに沿って、CADの活用、運用管理などを理解する。検定試験合格レベルの知識習得が目標である。					
授業の概要					
CAD利用技術者試験3次元公式ガイドブックをベースに進め、テーマごとにまとめる演習や小テストも行う。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、課題の評価点を総合評価したうえで決定する。課題制作中の意欲も併せて判定する。				期末試験	80%
				課題	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・CAD利用技術者試験3次元公式ガイドブック ・演習課題 (プリント) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	3次元CADの概要/活用/歴史	2	1 2.	情報セキュリティ	2
2.	3次元CADのデータ構造	2	1 3.	CAE/CAM/CAT	2
3.	表示技術	2	1 4.	CG/RP/DMU	2
4.	3次元CADによる設計	2	1 5.	まとめ	2
5.	複合コマンド	2			
6.	検査・計測・解析	2			
7.	アセンブリモデリング	2			
8.	実用上の注意点	2			
9.	プロジェクト管理/PDQ	2			
1 0.	コンピュータシステム	2			
1 1.	ネットワーク	2			
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			<ul style="list-style-type: none"> ・2次元CAD ・3次元CAD基礎 I、II 		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D1-K15
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Mechanical Drafting 機械製図		演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	4	吉岡 正博
授業の目的・目標					
機械製図の基礎的な知識・方法、および立体表現に必要な図学の基礎知識・図法などについて学び、演習を通じて理解を深める。					
授業の概要					
教科書に沿って機械製図の基礎的な知識・方法、および立体表現に必要な図学の基礎知識・図法などについて学習する。随時、製図演習や練習問題を行い、理解を深める。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、課題の評価点を総合評価したうえで決定する。課題制作中の意欲も併せて判定する。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・機械製図入門 ・機械製図練習ノート、練習課題（プリント） 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	ものづくりにおける製図の役割	2	1 2.	機械要素 ばね製図	2
2.	各種道具の使い方、図面構成	2	1 3.	機械要素 歯車製図	4
3.	第三確報を理解する模型演習	2	1 4.	機械要素 軸・軸受製図	2
4.	投影図法	6	1 5.	表面仕上げの図示法	4
5.	補助投影図	2	1 6.	溶接記号の図示法	2
6.	展開図	2	1 7.	図面管理、材料記号	2
7.	断面図	4	1 8.	実例による製図演習	8
8.	寸法記入法	2	1 9.	総合演習	4
9.	寸法公差とはめあい	2	2 0.	まとめ	2
1 0.	幾何公差の図示法	2			
1 1.	機械要素 ねじ製図	4			
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・2次元CAD ・機械要素		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D1-K16
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Mechanics of materials 材料力学			講義	CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	4	吉岡 正博
授業の目的・目標					
機械設計のもととなる材料力学について、基本的な材料力学計算の方法を理解する。そして演習問題を繰り返し解き、理解を深めていく。					
授業の概要					
教科書に沿って、機械設計のもととなる材料力学の各項目について、説明→例題問題→練習問題の順で進める。單元ごとに小テストを行い理解の定着を確認する。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、課題の評価点を総合評価したうえで決定する。課題制作中の意欲も併せて判定する。				期末試験	70%
				課題	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・入門 材料力学 ・練習課題 (プリント) 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 機械設計と材料力学			2		
2. 材料と強さ			6		
3. 荷重と応力、ひずみ			6		
4. 応力とひずみ			8		
5. 許容応力と安全率			4		
6. 疲労と応力集中			4		
7. はりの曲げ			12		
8. 軸のねじり			4		
9. 柱の座屈			4		
10. 復習			6		
11. まとめ			2		
その他			関連科目		
※單元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・機械製図		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D1-K17
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Product Design Overview プロダクトデザイン概論		講義・演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	新聞 功輝
授業の目的・目標					
商品開発に必要なデザインの要素を学習する。そのためのイメージ画や商品コンセプトを、CADを利用して制作し、オリジナルの商品を2次元と3次元の両方で第三者に分かりやすく展開することを目標とする。					
授業の概要					
工業製品の外観デザインを中心に、製品の造形表現にかかわる基礎知識を学習する。立体の基本形をベースにスケッチによって製品のフォルムを創り出していく方法などの実習を行う。					
成績評価の方法					
プレゼンテーション、課題の評価点を総合評価したうえで決定する。完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。				プレゼン 課題	50% 50%
使用テキスト・教材					
CATIA V5					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. イメージセンスのトレーニング			2		
2. イメージスケール			4		
3. デザイン画			4		
4. 商品試作サンプル制作			12		
5. 商品試作プレゼンテーション資料作成			6		
6. まとめ			2		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D1-K18
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Introduction to CAD CAD概論		講義・演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	阿部 淳平
授業の目的・目標					
今日の製造業で必須技術となっている構造解析について、その理論を知り、基礎的な課題を自力で解決できる能力を涵養する。					
授業の概要					
Inventorの構造解析機能を用いて、基礎的・具体的な課題について解析を行う。入社試験対策として、基礎的な図形・計算問題のトレーニングを行う。					
成績評価の方法					
課題の評価点、期末試験を総合評価したうえで決定する。				課題	20%
				期末試験	80%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・ Inventor ・ 自作テキスト 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 構造解析					
1-1. 基礎理論			6		
1-2. 静解析			12		
1-3. 固有値解析			4		
2. 図形・計算トレーニング (入社試験対策)			6		
3. まとめ			2		
その他			関連科目		
			<ul style="list-style-type: none"> ・ CAE概論 		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D1-K19
授業科目名		授業形態		学科・コース	
2D CAD 2次元CAD		講義・演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	佐津川 陽子
授業の目的・目標					
1. 2次元CADの使い方を習得し、正確に図面を描くことができる。 2. 図面の読み取り、理解ができ、CADソフトによる部品図及び組立図の製図を行うことができる。					
授業の概要					
現代のものづくりにおいてCADは設計・製図のツールとして重要な役割を果たしている。そこでPCで製図を可能とするCADの操作方法を習得し、これを用いてJIS規格に準拠した機械製図が作図できることを目的とする。					
成績評価の方法					
基本操作および図面の読み取り、製図が十分に習得されているかを評価する。 授業中の演習問題及び総合課題の完成度評価と課題制作中の学習意欲を合わせて判定する。課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。				演習課題	60%
				総合課題	30%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
・AutoCAD LT2016 機械製図 オーム社					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. AutoCADの操作		2	2-2. 編集コマンド		
1-1. AutoCADの概要とUIについて			2-2-1. 削除・移動・複写		1
1-2. 画面操作とオブジェクト選択方法			2-2-2. 回転・鏡像		1
1-3. 画層について			2-2-3. オフセット・配列複写		1
1-4. オブジェクトスナップについて			2-2-4. 面取り・フィレット		1
2. CADの基本操作			2-2-5. 尺度変更・ストレッチ		1
2-1. 作成コマンド			2-2-6. トリム・延長		1
2-1-1. 線分		1	2-3. テンプレートについて		2
2-1-2. 絶対座標・相対座標		1	2-4. ブロック図形の活用		2
2-1-3. 円・円弧・楕円		2	3. 作図演習		12
2-1-4. ポリゴン・長方形		1	4. 機械製図演習		20
2-1-5. スプライン・ハッチング		1	5. 総合課題		8
2-1-6. 文字記入と寸法記入		2			
その他			関連科目		
※提出課題については完成度と共に提出期限(納期)を意識して取り組むこと					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D1-K20
授業科目名		授業形態		学科・コース	
3D CAD basis I 3次元CAD基礎 I		演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	2	新聞 功輝
授業の目的・目標					
3次元CADの基本技術として、「スケッチ」「スケッチベースフィーチャー」「プーリアン演算」「ダイレクトモデリング」「測定」「アセンブリ」を学習する。					
授業の概要					
この講座では3次元 CAD「CATIA」を使用し、製図ベースの設計手法と異なるモデリングベースの設計手法の修得を目標に実習を通し学習していく。基本的なモデリング手法であるパラメトリックモデリングとダイレクトモデリングの手法を学習する。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
CATIA V5					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 基本操作			4		
2. スケッチ					
2-1. スケッチ作成			4		
2-2. 拘束			4		
3. スケッチベースフィーチャー			12		
4. プーリアン演算			12		
5. ダイレクトモデリング			8		
6. 測定			2		
7. アセンブリ			12		
8. まとめ			2		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・ 3次元CAD基礎Ⅱ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D1-K21
授業科目名		授業形態		学科・コース	
3D CAD basis II		演習		CAD科	
3次元CAD基礎II					
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	2	新聞 功輝
授業の目的・目標					
3次元CADの基本技術として「サーフェスモデリング」「ドローイング」を学習する。特にサーフェスモデリングではより複雑な形状を作成するための履歴操作を学習し、実用的なモデリング手法を修得する。					
授業の概要					
この講座では3次元 CAD「CATIA」を使用し、製図ベースの設計手法と異なるモデリングベースの設計手法の修得を目標に実習を通し学習していく。サーフェスを用いたモデリング手法を学習することで自由曲面などの複雑な形状も製作可能とする。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
CATIA V5					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. サーフェスモデリング					
1-1. ワイヤフレーム			6		
1-2. スプライン			6		
1-3. スイープ			8		
1-4. 複数セクションサーフェス			8		
1-5. サーフェスツール			8		
2. 履歴操作					
2-1. 基本履歴操作			6		
2-2. 置き換え			4		
3. ドローイング					
3-1. 形状作成			8		
3-2. 寸法管理			4		
4. まとめ			2		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・3次元CAD基礎I		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D1-K25
授業科目名		授業形態		学科・コース	
General exercise 総合演習		講義・演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	新聞 功輝
授業の目的・目標					
学習したCADの技術・知識を用いて、自らの力で作品制作を目指す。実物から測定を行い、CADで再現する技術を身に着ける。1年次の総まとめとして作品冊子を作成する。					
授業の概要					
身近な工業製品を個人ごとに選定し、それを3次元CAD上で再現する。モデリングのみでなく、図面化や動作アニメーションの作成、最終的にはそれらを作品冊子として仕上げる。					
成績評価の方法					
授業の態度、中間作品提出、最終作品提出を総合的に判断した上で決定する。				授業態度	20%
				中間提出	30%
				最終提出	50%
使用テキスト・教材					
CATIA V5					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 総合演習概要説明		2	6. 作品制作		
2. 課題設定		4	6-1. モデルデータ制作		10
3. 構想設計		4	6-2. ポートフォリオ制作		10
4. 計画作成		2	7. 最終作品提出		2
5. 作品制作I					
5-1. 測定説明		4			
5-2. モデルデータ制作		20			
5-3. 中間作品提出		2			
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・3次元CAD基礎II		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D1-K29
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Machine Tool 工作機械基礎		講義		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	堤 一益
授業の目的・目標					
工作機械を用いた機械加工を主として、機械工学の基本となる工業材料およびそれらの各種加工技術について学習し、実践的に役立つ知識を会得する。					
授業の概要					
身近な応用実例を紹介しながら、各種材料およびそれらの加工技術を解りやすく説明する。また演習を通して理解を深めていく。 講義では書き入れ式プリント (レジュメ) を用い、毎回それを講義レポートとして提出することとする。					
成績評価の方法					
期末試験の得点および講義レポートと演習課題の評価点を総合的に評価する。				期末試験	50%
				講義課題	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・プリント (オリジナル) ・演習課題 (オリジナル) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 工業材料と加工について			5. 塑性加工		
1-1. 金属材料とその加工概論		2	5-1. プレス加工		2
1-2. 非金属材料とその加工概論		2	5-2. 圧延・押出し・その他		2
2. 金属材料の種類と特徴		2	6. プラスチック加工		
3. プラスチック材料の種類と特徴		2	6-1. 射出成形加工		2
4. 工作機械			6-2. その他の成形加工		2
4-1. 旋盤とその加工		2	7. まとめ		2
4-2. フライス盤とその加工		2			
4-3. ボール盤とその加工		1			
4-4. 中ぐり盤とその加工		1			
4-5. 削り盤とその加工		1			
4-6. 研削盤とその加工		1			
4-7. NC/MC とその加工		4			
その他		関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D1-K30
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Technical Illustration テクニカルイラストレーション		演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	堤 一益
授業の目的・目標					
アイデアを的確に表現して、自分の意思を相手に伝えるというプレゼンテーション手法や、ものづくりの基礎となる各種立体図の表現法を学習する。					
授業の概要					
ものの形をとらえて正しく描くという基礎的な学習から始め、各種立体図の表現法を演習しながら習得する。実習課題としては、ボルト・ナットなど機械要素、機械ユニットの分解図、独自のアイデアに基づく自動車のイラストといったテーマで行なっていく。					
成績評価の方法					
講義レポートと実習課題の提出を基本として、その成果・内容に応じて総合的に成績評価を行なう。				講義	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・プリント (オリジナル) ・演習課題 (オリジナル) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 授業内容・目的の説明		1	6. 各種アイデア抽出の図法		
2. ものの形のとらえ方		1	6-1. アディショナル法		1
3. フリーハンドによる各種図法		2	6-2. カットアウト法		1
4. 立体図の描き方 (1)			6-3. その他図法		1
4-1. 等角投影図		1	7. 実習課題①ー曲管部品		1
4-2. 不等角投影図		1	8. 実習課題②ー段付シャフト部品		2
4-3. 斜投影図		1	9. 実習課題③ー機械要素部品		2
5. 立体図の描き方 (2)			10. 実習課題④ーユニット分解図		4
5-1. 平行透視図 (一点透視図)		1	11. 実習課題⑤ー自動車イラスト		8
5-2. 30-60度透視図		1			
5-3. 45度透視図		1			
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D1-K33
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Product Planning 製品企画		講義		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	堤 一益
授業の目的・目標					
身の回りの工業製品がどのように開発され供給されているかを「製品企画」という面を主として学習し、実習課題を通してその理解を深める。					
授業の概要					
企画・開発設計・生産・品質管理・販売といった「商品開発のプロセス」を分かりやすく具体的に解説。講義では書き入れ式プリント(レジュメ)を用い、毎回それを講義レポートとして提出することとする。実習課題では自分のアイデアを企画書・スケッチ・モックアップにまとめて提出する。					
成績評価の方法					
講義レポートと実習課題の提出を基本として、その成果・内容に応じて総合的に成績評価を行なう。				講義	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・プリント (オリジナル) ・演習課題 (オリジナル) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 授業内容・目的の説明		1	10. 生産技術部門の役割と業務内容		1
2. 製品開発のプロセス概略説明		1	11. 海外生産について		1
3. 製品企画の役割と重要性		1	12. 実習課題①ー企画書作成		4
4. 製品デザインについて		1	13. 実習課題②ースケッチ作図		4
5. 製品の開発と設計について		2	14. 実習課題③ーモックアップ作成		6
6. 製品開発における金型					
6-1. 金型の特徴と種類		2			
6-2. 金属とプラスチックの金型		2			
7. 製品のコストについて		1			
8. 購買部門の役割と業務内容		1			
9. 品質保証部門の役割と業務内容		2			
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D1-K34
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Presentation exercises プレゼンテーション演習		講義・演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	新聞 功輝
授業の目的・目標					
3次元CADの製品・作品を効果的に発表する技術を習得する。					
授業の概要					
この講座では3次元CAD「CATIA」を使用して制作したモデルを、シミュレーションやアニメーション作成機能を利用してCADを知らない人に分かりやすく見せる手法を学習する。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。				作品制作	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
CATIA V5					
授業内容・授業計画					
		時間数			
1. CADのプレゼンテーション概要		2			
2. 機構について		4			
3. 簡易シミュレーション		8			
4. アニメーション作成		6			
5. 作品制作		8			
6. まとめ		2			
その他		関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。		・3次元CAD基礎Ⅰ・Ⅱ ・プレゼンテーション基礎			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D1-K35
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Machine element ----- 機械要素		講義		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	吉岡 正博
授業の目的・目標					
機械設計に必要となる機械要素のうち、代表的なものを学習し理解する。					
授業の概要					
教科書に沿い、機械設計に必要となる代表的な機械要素を学習する。項目ごとに練習問題や確認テストを行う。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、課題の評価点を総合評価したうえで決定する。課題制作中の意欲も併せて判定する。				期末試験	80%
				課題	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・機械製図入門、工学必携 ・課題 (プリント) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	機械要素とは	2	1 2.	歯車の基本事項	2
2.	ねじの基本事項	2	1 3.	ばね	2
3.	ゆるみの原因と対策	2	1 4.	まとめ	2
4.	締め付けトルクと軸力	2			
5.	キーとピン	2			
6.	軸と継手	2			
7.	継手の種類と特徴	2			
8.	ジャーナルと軸受	2			
9.	軸受の種類と特徴	4			
1 0.	転がり軸受	2			
1 1.	歯車伝達装置	2			
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・機械製図		

2020年度

CAD科

2年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D2-K12
授業科目名		授業形態		学科・コース	
資格講座Ⅱ		講義・演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	180	6	佐津川 陽子
授業の目的・目標					
「CAD利用技術者試験」における機械製図の知識及び作図技術と、3次元CADのモデリング技術を身につけ、「CAD利用技術者試験 2次元 1級【機械】」と「CAD利用技術者試験 3次元」1級もしくは準1級の合格を目指す。					
授業の概要					
CAD利用技術者にはそれぞれの分野に特化した製図の知識とCADシステムの正確なオペレーションが必要である。この講義では、1年次に得た「CAD利用技術者試験 2級」の知識からさらに機械製図の知識を深め、2次元、及び3次元CADのオペレーション技術を磨いていく。					
成績評価の方法					
期末試験（前期・後期 各1回）の得点及び、随時行う過去問題による演習の得点、講義中の学習意欲を総合的に判断する。				期末試験	40%
				演習	50%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度版 CAD利用技術者試験 2次元1級【機械】公式ガイドブック 日経BP社 ・2020年度版 CAD利用技術者試験 3次元公式ガイドブック 日経BP社 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 機械製図の基礎知識			2-3. 適切な数値からの作図方法		10
1-1. 機械製図の基礎		4	2-4. 立体図からの作図方法		8
1-2. 機械材料		4	3. 3次元CADのモデリング		
1-3. 公差とはめあい		4	3-1. モデリング手法について		16
1-4. 表面性状		4	3-2. アセンブリモデリング		12
1-5. 加工方法		4	3-3. マスプロパティ計測の方法		6
1-6. 機械要素		4	4. 各種過去問題演習		60
2. 機械製図の実践			5. まとめ		4
2-1. 機構部品の作図方法		20			
2-2. 投影図からの作図方法		20			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D2-K22
授業科目名		授業形態		学科・コース	
NC and CAD/CAM ----- NCとCAD/CAM		演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	吉岡 正博
授業の目的・目標					
NC制御・工作機械の概要を理解する。また、NC工作機械を動かすためのプログラム（NCプログラム）を学習する。フライス盤と旋盤を例にNCプログラムのGコードMコード等について学習する。					
授業の概要					
教科書に沿って、NCの歴史、NC装置、NC工作機械の仕組み、フライス盤と旋盤のNCプログラムについて学習し、並行してNCプログラミングの実習を行う。プログラムはシミュレータで再現し、確認してレポートにする。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、課題の評価点を総合評価したうえで決定する。課題の評価は、要求された機能の完成度評価と課題制作中の意欲も併せて判定する。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・CAD利用技術者試験3次元公式ガイドブック ・演習課題（プリント） 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	NC工作機械の歴史	6	1 2.	補助機能	2
2.	NCプログラムの基本	2	1 3.	フライス盤のプログラム	2
3.	送り機工	2	1 4.	オフセット	4
4.	ボールねじ	2	1 5.	プログラムの実例	2
5.	サーボ機構	2	1 6.	固定サイクル	4
6.	軸の同時制御	2	1 7.	マシニングセンター	2
7.	右手直行座標系	2	1 8.	工具交換	2
8.	工作機械の各軸	2	1 9.	旋盤のプログラム	2
9.	NC装置	2	2 0.	プログラム演習	8
1 0.	NCテープフォーマット	2	2 1.	自由課題プログラム	4
1 1.	準備機能	2	2 2.	まとめ	2
その他			関連科目		
※講義に並行してプログラム演習を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			<ul style="list-style-type: none"> ・CAD関連科目 ・機械製図 		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D2-K23
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Mechanical CAD exercises 機械CAD演習		講義・演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	新聞 功輝
授業の目的・目標					
J I S規格を理解し、機械部品の設計を考慮した製図作成を行えるようにする。各部品の作図をより素早く作成する技術を習得する。					
授業の概要					
1年次の学習を活かし、J I S規格に基づいた機械図面を設計知識、機械設計を考慮して作成することで設計者としての意識を高める。					
成績評価の方法					
授業態度、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。				授業態度	30%
				課題	70%
使用テキスト・教材					
AutoCAD					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. J I S規格について		2	9. 圧力タンク		6
2. ねじ製図		4	10. 歯車ポンプ		6
3. 歯車製図		4	11. 油圧シリンダ		6
4. ばね製図		4	12. まとめ		2
5. 金型製図					
5-1. キャビティ部		4			
5-2. コア部		4			
6. Vブロック		6			
7. パッキン押え		4			
8. かみ合いクラッチ		8			
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				D2-K24	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Design CAD exercise デザインCAD演習		演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	新聞 功輝
授業の目的・目標					
商品開発に必要なデザインの要素を学習する。そのためのイメージ画や商品コンセプトを、CADを利用して制作し展示用のプレゼンパネルを製作する。より細かな形状表現するために、より応用を利かせたサーフェスマデリングを習得する。					
授業の概要					
商品開発に必要なデザインの要素を踏まえ、イメージ画や商品コンセプト、3DCAD、図面等をレイアウトして展示用のプレゼンパネルを作る。					
成績評価の方法					
授業態度、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。				授業態度	30%
				課題	70%
使用テキスト・教材					
CATIA V5					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 自由曲面			8		
2. 複数セクションサーフェス			8		
3. サーフェスの置き換え			6		
4. デザイン企画・立案			4		
5. デザイン作図			14		
6. 試作と評価			8		
7. 樹脂製品について			8		
8. まとめ			4		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D1-K26
授業科目名		授業形態		学科・コース	
graduation research 卒業研究		講義・演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	180	6	新聞 功輝
授業の目的・目標					
2年間の学習成果を残すための制作演習を行う。設計やCADについての学習を目に見えるものとして作品を残す。テーマは内定先企業に関わるものとし、企画、設計、製作、まとめの一連の作業を学習する。					
授業の概要					
個人またはグループごとに研究テーマを決め、決められた期間内に完成モデルや図面を製作する。1月下旬から2月上旬に研究発表会を学外の会場で実施する。					
成績評価の方法					
授業の態度、中間発表、卒業研究論文を総合的に判断した上で決定する。				授業態度	20%
				中間提出	20%
				卒業論文	60%
使用テキスト・教材					
研究テーマごとの参考文献等					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. テーマ選定			4		
2. 研究スケジュール作成			4		
3. テーマ研究			74		
4. 中間発表			4		
5. まとめ			4		
その他			関連科目		
			履修した全科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D2-K27
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Introduction to production 生産・製造概論		講義		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2年	通年	必修	60	4	小野 哲
授業の目的・目標					
<p>製品を設計・生産する上で必要となる関連知識を総合的に学習する。 特に、近年後工程を意識した製品設計、コストを意識した設計業務が求められており、益々幅広い知識が求められている。 製造業全般に関わる幅広い企画・設計・製造に関する知識を身につけ、地元産業界の要望に応えられる人材になることを目指す。</p>					
授業の概要					
<p>テキストに基づいて進めていくが、生産管理の各機能については講師の経験資料を基に幅広く内容を解説する授業になる。実習として論理的ものの考え方（フローチャートの作成）、生産計画の立案方法をグループ学習として取り上げている。また企業内教育についても実践資料を基に解説する。</p>					
成績評価の方法					
前期筆記試験結果・後期筆記試験結果、提出レポート（社会人としての資質）、グループ学習（フローチャート作成、生産計画作成）の学習態度を総合的に勘案して評価する				前期試験	30%
				後期試験	30%
				レポート	20%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
<p>工場のしくみ 日本実業出版社 自作講義資料</p>					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 工場とは何か		2	7. 開発設計		4
2. 企業内教育		2	8. 生産管理		
3. ものの作り方		2	8-1.生産計画		6
4. 工場全体			8-2.基礎情報		2
4-1.さまざまな生産のしくみ		4	8-3.在庫管理		4
4-2.工場全体のしくみ		4	9. 現場作業		2
5. 仕事の見える化			10. 原価計算		4
5-1.業務プロセス		4	11. 品質管理		4
5-2.フローチャート		6	12. IT化		4
6. 中間まとめ		2	13. まとめ		4
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D2-K28
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Car design カーデザイン		演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	戸塚 恵
授業の目的・目標					
CADでは製品を作る前段階で設計者の意図をくみ取って図面をおこすための技術を学ぶ。カーデザインでは車のデザインを通して、企画設計から製品化の流れをシミュレートしながら学習し、製品化までの流れをイメージとしてつかみ、設計図の重要性を学ぶ。					
授業の概要					
ユーザーペルソナを具体的かつ明確に設定し、ペルソナに即したデザイン画を三面図で描く。三面図をもとにカーデザインのミニチュアモデルを作成する。作成したモデルと三面図をプレゼンし評価しあう。					
成績評価の方法					
授業の中での演習、コンセプト設計、三面図、ミニチュアモデルなど作成した作品を完成度と政策への学習意欲と合わせて評価する。提出物がすべてそろっていることが評価の最低条件とする。				期末試験	%
				課題	%
				学習意欲	%
使用テキスト・教材					
アートナイフ、カッター、接着剤、ミニチュアモデルに必要な材料（段ボール、スタイロフォーム、樹脂粘土、木材など）					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 授業の内容・流れの把握		2	5. デザイン画		
2. 車の描き方			5-1. カーデザインを描く		4
2-1. スケッチ		2	5-2. 三面図を描く		10
2-2. グリッドを使った模写		6	6. ミニチュアモデル作成		
3. ユーザーペルソナの設計			6-1. ペーパークラフト作成		4
3-1. 自分をユーザーにして自己分析		2	6-2. 必要な材料を選定する		2
3-2. 自己分析をもとに車のデザインをイメージ (資料収集)		2	6-3. ミニチュアモデル作成		20
4. カーデザインのコンセプト設計			7. プレゼンテーション		2
4-1. ペルソナからデザインを考える		2			
4-2. ラフを描きながら文章化する		2			
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				D2-K31	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Introduction to CAE CAE概論		講義・演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	4	阿部 淳平
授業の目的・目標					
今日の製造業で必須技術となっている構造解析について、その理論を知り、基礎的な課題を自力で解決できる能力を涵養する。					
授業の概要					
Inventorの構造解析機能を用いて、基礎的・具体的な課題について解析を行う。入社試験対策として、基礎的な図形・計算問題のトレーニングを行う。					
成績評価の方法					
課題の評価点、期末試験を総合評価したうえで決定する。				課題	20%
				期末試験	80%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・ Inventor ・ 演習課題 (自作) 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 静解析			22		
2. 固有値解析			10		
3. 接触解析			6		
4. パラメトリック解析			6		
5. 図形・計算トレーニング			12		
6. まとめ			4		
その他				関連科目	
				<ul style="list-style-type: none"> ・ CAE概論 	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D2-K32
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Problem solving techniques 問題解決技法		講義		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	寺尾 寿樹
授業の目的・目標					
「問題解決の基本プロセス」・「問題解決力を高める思考術」・「自分の意見を伝える技術」・「プロジェクトで結果を出す力」・「プレゼンの技術」を学習して社会で直面する様々な問題・課題に対して、論理的思考を身に付け、「自分で答えを見つけ出せる人」になることを目指す。					
授業の概要					
生きていく上でものの見方・考え方はとても大切である。そこで、これまでの自分の考え方のクセや行動特性を確認して今後の生活上の問題解決方法の選択の幅を広げていく必要がある。したがって、自分の中にある枠（固定概念など）を外して、柔軟な発想や考え方を取り入れる訓練の一環として、自己が抱える問題・課題の解決に繋げて考えることが重要である。					
成績評価の方法					
期末試験の結果と課題の内容及び提出状況、授業の出席状況及び取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。				期末試験	50%
				提出課題	30%
				出席意欲	20%
使用テキスト・教材					
・ 図解 すぐやる人とやれない人の習慣			・ 演習課題等（自作含む）		
・ 問題解決トレーニング アタマがよくなるビジネス 50題					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 問題解決の思考		4			
2. 問題解決のために自分を動かす技術		4			
3. 問題解決のために周囲を動かす技術		4			
4. 問題解決のための感情コントロール		4			
5. 問題解決のための体調コントロール		4			
6. 問題解決のための時間・目標管理		4			
7. 問題解決のための行動		4			
8. 期末試験・まとめ		2			
その他			関連科目		
* 単元ごとに演習課題を実施する。 * 実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D2-K36
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Mechanical system design 機械システム設計		演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	4	新聞 功輝
授業の目的・目標					
機械システムの知識を理解し、実物モデルを参考にしながらCADデータを設計出来るようにする。実物モデルの測定・機構解析を行い、実物モデルに可能な限り近づけるモデリング手法を身に着ける。					
授業の概要					
自動車・機械部品などの分野を主として学び、かつ模型などを用いた実習を通じてより理解を深める。CADで作成したデータに基づき、実物を作成することでものづくりの流れを学習する。					
成績評価の方法					
授業態度、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。				授業態度	30%
				課題	70%
使用テキスト・教材					
CATIA V5					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 機械設計開発概要説明			2		
2. ねじの設計			4		
3. 軸について			6		
4. 各種モデル設計					
4-1. 過負荷軽減シャッター			10		
4-2. 平ベルトコンベヤ			10		
4-3. チェーンコンベヤ			12		
4-4. エンジンポンプ			12		
5. 機械設計の具体的事例			2		
6. まとめ			2		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・機械システム演習		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	D2-K37
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Mechanical system exercise 機械システム演習		演習		CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	新聞 功輝
授業の目的・目標					
機械システムの知識を理解し、実物モデルを参考にしながらCADデータを設計出来るようにする。CADデータを使い各種動作シミュレーションを可能とする。					
授業の概要					
自「ねじ・軸&軸受・歯車・ベルト・ばね」など機械要素の基本的知識を習得する。またその応用例を自動車・家電製品などの分野を主として学び、かつ模型などを用いた実習を通じてより理解を深める。					
成績評価の方法					
授業態度、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。				授業態度	30%
				課題	70%
使用テキスト・教材					
CATIA V5					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 機械システム設計概要説明			2		
2. ねじの設計			4		
3. 軸受け・軸継手			6		
4. 各種機構シミュレーション					
4-1. 回転機構			6		
4-2. シリンダ機構			6		
4-3. スライド機構			6		
4-4. ねじ機構機構			6		
4-5. 歯車機構			6		
4-6. 複合ジョイント			8		
5. 機械設計の具体的事例			8		
6. まとめ			2		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・機械システム設計		

2020年度

ビジネスライセンス科

1年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L1-K11
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Bookkeeping I 簿記□		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	90	6	朝倉 将貴
授業の目的・目標					
簿記の基本原理を学び、次いで企業財産の変動について記録・計算・整理する一連の手続き体系について学習する。					
授業の概要					
簿記の基本原理を学びながら、簿記の知識がどのように社会で活かされるか教育する。 簿記を初めて勉強する学生は毎日出席して授業内容をしっかりと理解することが求められ、課題提出が必要で復習が求められる。					
成績評価の方法					
中間試験・期末試験で評価される。授業の出欠席状況、授業態度等も考慮し、成績の評価を算出する。				中間試験	50%
				期末試験	50%
使用テキスト・教材					
・TAC みんなが欲しかった簿記の教科書					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 簿記の基礎		3	13. 買掛金		4
2. 資産		4	14. 売掛金		4
3. 負債・純資産		4	15. 現金(通貨代用証券)		2
4. 収益		4	16. 現金過不足		4
5. 費用		4	17. 当座預金		4
6. 貸借対照表と損益計算書		6	18. 当座借越		4
7. 仕訳		4	19. 小口現金		2
8. 転記		4	20. 支払手形		4
9. 三文法と分記法		2	21. 受取手形		4
10. 仕入		4	22. 手形割引		2
11. 売上		4	23. 有価証券		4
12. 中間試験		2	24. 固定資産		4
			25. まとめ		3
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・簿記Ⅱ ・コンピュータ会計		

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	L1-K12
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Bookkeeping II 簿記II			講義・演習		ビジネスライセンス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	90	6	朝倉 将貴		
授業の目的・目標							
簿記 I の継続授業。日商簿記検定試験 3 級合格レベルの修得を図る。							
授業の概要							
簿記 I において簿記の基礎原理を学んだことを基に日商簿記検定試験 3 級の合格を目指す。事務職に就職したい学生にとっては、貸借対照表や損益計算書といった財務諸表の基礎理解が求められ、2 年次のコンピュータ会計にて実践していく上で重要である。							
成績評価の方法							
中間試験・期末試験で評価される。授業の出欠席状況、授業態度等も考慮し、成績の評価を算出する。						中間試験	50%
						期末試験	50%
使用テキスト・教材							
・TAC みんなが欲しかった簿記の教科書							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 主要簿と補助簿	2	13. 試算表	6				
2. 仕訳帳	2	14. 合計表	6				
3. 総勘定元帳	2	15. 残高試算表	6				
4. 現金出納帳	2	16. 合計残高試算表	6				
5. 当座預金出納帳	2	17. 伝票会計①	2				
6. 小口現金出納帳	2	18. 損益計算書の作成	4				
7. 仕入帳	2	19. 貸借対照表の作成	4				
8. 売上帳	2	20. 損益計算書と貸借対照表の作成	6				
9. 受取手形記入帳	2	21. 決算	4				
10. 支払手形記入帳	2	22. まとめ①	10				
11. 売掛金元帳・買掛金元帳	2	23. まとめ②	10				
12. 中間試験	2	24. まとめ③	2				
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。				・コンピュータ会計 ・簿記 I			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L1-K15
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Company administration I 企業運営演習 I		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	朝倉 将貴
授業の目的・目標					
個人商店を想定した企業運営を通して、ビジネスマナー、パソコン操作、簿記会計について総合的に学習する。					
授業の概要					
企業運営を通して、政治・経済・社会についても学習し、社会にでたあとビジネスで活用できる知識を習得する。					
成績評価の方法					
ビジネスプランの企画書、発表の評価点を総合評価したうえで決定する。評価は、企画書や発表の完成度評価と制作中の学習意欲を併せて判定する。				発表	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
・プリント配布					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 起業とは			2		
2. 変動P/Lの考え方			2		
3. 企業計画			4		
4. 自社アピール発表			2		
5. 事業発表			2		
6. 創業計画書作成			8		
7. ビジネスプラン発表			8		
8. まとめ			2		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・企業運営演習 II		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L1-K19
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Introduction to financial planning ファイナンシャルプランニング概論		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	90	6	朝倉 将貴
授業の目的・目標					
ライフプランニングに即した資金計画やアドバイスを行う知識を学習する。ファイナンシャル・プランナー3級学科の合格を目指す。					
授業の概要					
社会保障、生命保険・損害保険の概要、金融商品、所得税、不動産、相続などの6分野の基礎知識を学習する。分野ごとに小テストを行い、理解の確認を行うとともにFP技能検定合格を目標に学習を進めていく。					
成績評価の方法					
前期試験・後期試験・小テストを実施。(年3回以上実施) 出席状況、授業態度等の総合評価で算出。				試験	80%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが欲しかったFPの教科書(TAC出版) ・プリント(自作) 					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
1. ライフイベント表とキャッシュフロー表	2	13. 所得税の基本	4		
2. ライフプランニング	2	14. 控除	4		
3. 社会保険	6	15. 法人税	4		
4. 公的年金	4	16. 消費税	4		
5. 企業年金	4	17. 不動産の基本	4		
6. 保険の基本	4	18. 不動産に関する法令	4		
7. 生命保険の基本と商品	6	19. 不動産の税金	4		
8. 損害保険の基本と商品	4	20. 不動産の有効活用	2		
9. 金融・経済の基本	4	21. 相続の基本	4		
10. 債権	2	22. 相続税	4		
11. 株式・投資信託	4	23. 贈与税	4		
12. 前期まとめ	3	24. 後期まとめ	3		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・ファイナンシャルプランニング演習		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L1-K21
授業科目名		授業形態		学科・コース	
An Introduction to the Secretary 秘書概論		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	4	夏目 靖子
授業の目的・目標					
秘書として必要な知識と技能を総合的に学習することを通して、社会人として必要な知識と技能を習得する。					
授業の概要					
ここで学習する知識・技能は、秘書にだけ必要な特殊なものではなく、一般の事務職員や社会人としても必要なものであることを認識する。就職面接やアルバイト、検定取得など具体的な場面を挙げながら、身近な問題として考えさせる。実社会で役立つような練習問題や演習問題を取り入れて、理解度を確認しながら進めていく。					
成績評価の方法					
単元ごとに「単元テスト」を実施。単元テストの得点に練習問題や演習問題の課題への取り組み方や完成度を加味して評価する。				単元テスト	80%
				課題	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・早稲田教育出版「新秘書実務」 ・資料プリント、練習問題、演習問題（自作） 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.秘書の役割			5.文書の受発信		
1-1	秘書とは	2	5-1	受信と発信、秘文書の扱い	2
1-2	秘書の資質と職務知識	4	5-2	郵便の知識	4
2.秘書のコミュニケーション			6.ファイリング		
2-1	身だしなみと立ち居振る舞い	2	6-1	ファイル用具	2
2-2	敬語と接遇用語	4	6-2	パーティカルファイリング	2
3.接遇			6-3	資料の整理	4
3-1	来客応対	4	7.会議 知識と運営		4
3-2	電話応対	4	8.環境整備		2
4.文書作成			9.スケジュール管理		2
4-1	用字の知識	2	10.出張業務		2
4-2	文書の構成	2	11.慶弔と贈答		
4-3	社内文書	2	11-1	慶事と弔事	4
4-4	社外文書・社交文書	4	11-2	贈答	2
その他		関連科目			
・秘書検定の実問題を取り入れる		<ul style="list-style-type: none"> ・秘書実践Ⅰ ・秘書実践Ⅱ 			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L1-K22
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Secretarial Practice I 秘書実践 I		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	夏目 靖子
授業の目的・目標					
「秘書検定」3・2級の合格を目標とし、その対策学習を行う。対策学習を通して、秘書としてだけでなく社会人としても必要な知識・技能を習得する。希望者には、更に上位級の対策学習を行う。					
授業の概要					
「秘書検定」の過去の出題問題を解きながら、出題の傾向を掴み、対策を行う。模擬試験を実施し、実際の試験方式に慣れ、各自の理解度を確認する。理解度が足りない部分は対策問題集など使い補充する。					
成績評価の方法					
模擬試験の得点と検定対策への取り組み姿勢を合わせて評価する。				模擬試験	50%
				姿勢	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・秘書検定 過去問題 ・資料プリント、練習問題、演習問題 (自作) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.理論編 復習と問題		2	5.理論編 不得意問題対策と問題		2
2.実技編 復習と問題			6.実技編 不得意問題対策と問題		2
2-1 マナー接遇 復習と問題		2	7.記述問題対策		2
2-2 技能 復習と問題		2	8.過去問題		4
2-3 記述問題		2	9.模擬試験		
3.過去問題		4	4-1 模擬試験問題		2
4.模擬試験			4-1 解説		2
4-1 模擬試験問題		2			
4-1 解説と不得意分野の確認		2			
その他		関連科目			
		・秘書概論			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L1-K24
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Psychology 心理学		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	中村 洋子
授業の目的・目標					
<p>社会人としてあらたに踏み出していくために必要な自己のあり方や自己課題のおさめ方、他者の気持ちに配慮しながら、円滑に物事をすすめていく対人スキルの能力を心理学の理論やカウンセリング技法をもとに習得していきます。</p>					
授業の概要					
<p>授業では、自己を振り返り、俯瞰できる力を養っていきます。そのうえで社会において必要とされる対人関係能力や自己統制力を養い、他者の気持ちを汲み取り適度な距離を保つ重要性を心理学の知識やワークを用いながら体得していきます。ワークが中心となりますので、他者の考え方や価値観の違いなどの「気づき」も体験していきます。</p>					
成績評価の方法					
<p>学期末に行うレポート課題 (50%)、授業態度や授業への積極的な取り組み (50%) など総合的に評価します。出席率は80%を前提に遅刻などは減点の対象とします。</p>				レポート	50%
				授業態度	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・授業毎に資料を配布します。 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 「他人から見た私」 他者理解と自己理解	2	9. 欲求とストレスについて			2
2. 自己の価値観の認識 「価値観シート」	2	欲求の段階説 防衛機制			
3. エゴグラム 5つの自我状態	2	10. 自分を表現してみよう②			2
4. 脚本分析	2	コラージュ療法			
自分のシナリオを書き換えよう		11. 自分を表現してみよう③			2
5. コーチング理論で見る自己のタイプ	2	物語統合法			
自己理解と他者受容		12. 話し方・聴き方の技術			2
6. チームビルディング 紙テープを使って	2	13. 肯定表現とリフレーミング			2
7. 対人関係で起こる複雑なメカニズム	2	14. 集団の合意形成ワーク①			2
伝言ゲーム		「集中豪雨だ、さあ逃げよう」			
8. 自分を表現してみよう① 描画	2	15. 集団の合意形成ワーク②			2
		価値観の優先順位 試験			
その他		関連科目			
<p>※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。</p>		<p>・心理学II</p>			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L1-K25
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Communication Techniques I コミュニケーション技法 I		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
I	後期	必修	30	1	安部珠恵
授業の目的・目標					
就職活動、インターンシップで企業の方と接する機会が増える中、社会人としての話し方や振る舞い方を学ぶ。また、電話応対では「正しい敬語で応対ができる」「内容を正確に聞き取ることができる」「状況に応じた確かな伝達ができる」など具体的な電話のスキルを磨き、即戦力としての人材を育てる。					
授業の概要					
電話応対では電話に対する苦手意識を克服するために、実際の電話機を使用したロールプレイング中心の授業を進める。電話のフレーズを型として学び、マニュアルにないシチュエーションでも対応できるように様々な状況設定で練習を行う。また、インターンシップや就活に向けたマナーを学ぶ。					
成績評価の方法					
学期末に二人一組のロールプレイングテストを行う。提示されたシチュエーションにそって電話の応対を行い、声の出し方、敬語、内容の3つの項目に分けて評価を行う。また、授業態度は誠実かつ積極的であることを高く評価する。				ロールプレイング	60%
				授業態度	40%
使用テキスト・教材					
電話応対マニュアル 電話機使用					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. ビジネスにおける第一印象について	2	12. 予約、受付電話対応			2
2. インターンシップの心得	2	お客様の名前、連絡先の聞き方			2
3. 就職活動での立ち居振る舞い	2	13. クレーム電話の対応			2
4. 電話の特性 声の印象について	2	14. ロールプレイングテスト			4
5. 電話の応対 第一声練習 録音	2				
6. 名前の聞き取り練習 メモの取り方	2				
7. 正しい敬語とアルバイト言葉	2				
8. 電話のかけ方、用件の伝え方、	2				
9. 電話の受け方、取り次ぎの練習	2				
10. 不在時、出張、外出時の取次ぎ方	2				
11. 就職対策、企業への電話のかけ方	2				
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である		コミュニケーション技法II			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L1-K27
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Sales person test measures ----- 販売士検定対策		講義		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	4	荻原 啓孝
授業の目的・目標					
小売業がおかれた社会的経済的環境、小売業の果たすべき役割と従事する者の心構えについて理解する。日商販売士リテールマーケティング検定3級合格レベルの修得を図り、流通業界を希望する学生の人材能力開発を行う。					
授業の概要					
小売業中心にとらえた中での卸売業、そして小売業の分類、マーチャンダイジングの基本、商品計画、在庫管理、販売管理、包装技術、ディスプレイの基本、顧客満足経営の基本、商圏の設定と出店、リージョナルプロモーション、販売員の法令知識、計数管理など身につける。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、模擬試験問題の平均得点、検定試験の可否について総合評価し決定する。				期末試験	50%
				模擬試験	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・販売士 リテールマーケティング検定 3級 ・模擬試験問題 					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
1. 小売業の分類		8	<ul style="list-style-type: none"> ・包装技術の基本 ・ディスプレイの基本 ・作業割当ての基本 		
<ul style="list-style-type: none"> ・流通における小売業の基本 ・組織形態別小売業の基本 ・店舗別形態別小売業の基本的役割 ・商業集積の基本 			4. マーケティング	8	
2. マーチャンダイジング		8	<ul style="list-style-type: none"> ・小売業のマーケティングの基本 ・顧客満足経営の基本 ・商圏の設定と出店の基本 ・リージョナルプロモーション ・顧客志向型売場づくりの基本 		
<ul style="list-style-type: none"> ・マーチャンダイジングの基本 ・商品計画の基本 ・販売計画および仕入計画などの基本 ・価格設定の基本 ・在庫管理の基本 ・販売管理の基本 			5. 販売・計数管理	8	
3. ストアオペレーション		8	<ul style="list-style-type: none"> ・販売員の法令知識 ・計数管理の基本 ・店舗管理の基本 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ストアオペレーションの基本 			6. まとめ	20	
その他		関連科目			
※单元ごと演習問題を設定し実施する。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L1-K28
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Marketing I マーケティング I			講義・演習	ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	山田穎二
授業の目的・目標					
企業および他の組織がグローバルな視野に立ち、顧客との相互理解を得ながら、公正な競争を通じて行う「市場創造」を学習する。					
授業の概要					
市場創造を身近な課題としてとらえるため、各自が考案したビジネスモデルをテーマにマーケティングの原理原則から実践マーケティングを考察します。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。 課題の評価は、要求された完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
・演習課題 (自作)					
授業内容・授業計画					
1. マーケティング基本			時間数	12. まとめ	
2. 起業化と事業化			1	1	
3. 市場調査			1		
4. 市場分析			1		
5. 市場動向			1		
6. ターゲット			1		
7. ポジショニング			1		
8. ビジネスモデルの検証			2		
9. 事業化の課題・問題点の検証			2		
10. リサーチ実習：調査課題を選定			2		
11. リサーチ実習：まとめ 調査結果をパワーポイントにて発表			1		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。				マーケティングⅡ	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L1-K31
授業科目名		授業形態		学科・コース	
PC literacy ----- パソコンリテラシー		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	牧野 律子
授業の目的・目標					
情報処理を学習する者にとって、ネットワークの利用に関する基礎的な知識の修得とそれを活用できるようになることは必須のことである。本講座では、学内のLAN設備とそこに提供されているイントラネット環境を大いに活用し、情報の有効利用をはかる。					
授業の概要					
各自のノートパソコンを、本校の授業に必要なアプリケーションのインストールや、ネットワークの設定をする。したがって、授業に必ず出席することが一番大切である。ノートパソコンを忘れた場合は、授業に参加できない。					
成績評価の方法					
授業態度、出席状況、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。				授業態度	40%
				出席状況	40%
				課題	20%
使用テキスト・教材					
・ノートパソコンの手引き					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. コンピュータの設定			4		
2. アプリケーションのインストール			4		
3. ウィルス対策			4		
4. ネットワークの設定			2		
5. プリンターの設定			2		
6. Webの閲覧、電子メール			2		
7. Windowsの使い方			12		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L1-K32
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Business Software I ----- ビジネスソフト I		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	2	森上 哲也
授業の目的・目標					
Word の主な機能を利用して、文書の作成・保存、文字への書式設定、段落の設定、箇条書きや段落番号の設定や変更、表の作成・編集、文書の印刷など、さまざまな目的や状況に応じた文書を作成・編集を学習する。					
授業の概要					
MOS Word2016 の出題範囲を講義し模擬試験を行う。普段使うことが少ない機能を使用するため、その機能がどこにあるのかを覚える必要がある。さらに問題文を読み解く力を必要とする試験のため、しっかりと読む力を養う。					
成績評価の方法					
授業態度、出席状況、検定結果の評価点を総合評価したうえで決定する。				授業態度	20%
				出席状況	40%
				検定結果	40%
使用テキスト・教材					
よくわかるマスター MOS Word 2016 FOM 出版					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 文書のオプションと設定の管理			4. ユーザー設定の Word 要素の作成		
● 文書とテンプレートの管理		4	● 文書パーツ、マクロ、コントロールの作成・管理		4
● 文書の変更を管理		2	● ユーザー設定のスタイルセットとテンプレートの作成		4
● 校閲用に文書を準備		2	● ほかの言語やユーザー補助機能に対応した文書を準備する		2
2. 高度な機能を使用した文書のデザイン			5. 模擬問題予習		10
● 高度な編集や書式設定を行う		2	6. 模擬問題		10
● スタイルを作成する		2	7. まとめ		10
3. 高度な機能を使用した参考資料の作成					
● 索引を作成・管理		2			
● 参考資料を作成・管理		2			
● フォーム・フィールド・差し込み印刷の管理		4			
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L1-K35
授業科目名		授業形態		学科・コース	
MOS Countermeasures Course I MOS対策講座 I		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	森上 哲也
授業の目的・目標					
Excel 2016 の高度な機能を利用して、ユーザー設定の入力規則や表示形式、高度な関数の利用や数式のネスト、What-if 分析ツール、複合グラフ、ピボットテーブル/グラフを活用したデータの分析や評価などを学習する。					
授業の概要					
MOS Excel 2016 Expert の出題範囲を講義し模擬試験を行う。関数だけでなく分析機能やマクロ・ピボットテーブルなどを理解する。さらに問題文を読み解く力を必要とする試験のためしっかりと読む力を養う。					
成績評価の方法					
資格本試験の得点、模擬試験の得点と授業態度を総合評価したうえで決定する。模擬試験の最初と本試験直前の点数を比較して努力度の確認も加味する。				資格得点	50%
				模試得点	30%
				努力度	10%
				授業態度	10%
使用テキスト・教材					
よくわかるマスター MOS Excel 2016 FOM 出版					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. ブックのオプションと設定の管理				● 関数を使用してデータを検索	3
● 文書とテンプレートの管理		4		● 高度な日付と時刻の関数	3
● ブックの校閲を管理		2		● データ分析・ビジネス分析	3
2. ユーザー定義の表示形式やレイアウト				● 数式トラブルシューティング	3
● ユーザー定義の表示形式と入力規則をデータに適用		2	4.	高度なグラフやテーブルの作成	
● 条件付き書式やフィルターを適用		2		● 高度な機能を使用したグラフの作成	2
● ユーザー設定のブック要素を作成		2		● ピボットテーブルの作成・管理	3
● ほかの言語に対応したブックを準備		2		● ピボットグラフの作成・管理	3
3. 高度な機能を使用した数式作成				5. 模擬試験予習	5
● 名前範囲とオブジェクトを定義		3		6. 模擬試験	10
● 数式に関数を適用		3		7. MOS Excel 2016 Expert 試験	5
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L1-K37
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Homepage creation ホームページ制作		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	30	1	牧野 律子
授業の目的・目標					
ホームページで情報発信している企業が増える中、社内のホームページの更新作業を逐次行っていくことが必要になる。パソコン用のホームページを作成するだけでなく、スマートフォンでも見やすいホームページ作成作りを目標とする。					
授業の概要					
情報発信の基本となるHTMLについて説明し、ホームページ作成ソフト「ホームページビルダー」を使用してホームページの作成方法を学び、ホームページ作成検定合格を目指す。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、演習課題を総合評価したうえで決定する。日々の授業の中での学習意欲、出席率を併せて判定する。演習課題が未提出の場合、成績の評価は行われない。				期末試験	30%
				演習課題	40%
				出席率	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・30時間でマスター ホームページビルダー ・検定問題集 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. ホームページ制作の基礎		4			
2. 課題制作1		4			
3. CSSを学習する		4			
4. 課題制作2		4			
5. 検定対策		12			
6. まとめ		2			
その他			関連科目		
授業は実習室を使用します。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L1-K39
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Pen calligraphy ペン習字			講義・演習	ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必須	30	1	青野 進
授業の目的・目標					
ボールペンを中心に実務性を重点に置き、ペン字により文字表現の基礎として、楷書・行書・仮名の書式を取り上げ、実技の解釈、個性に応じた文字表現で正しく、早く美しい文字を目標とする。					
授業の概要					
ペンの持ち方と姿勢 (美しい文字を書くには正しい姿勢と正しいペンの持ち方が大切)、美しい文字の条件 (四つの基本フォーム) があります。					
成績評価の方法					
作品の提出と授業態度				提出物	50%
				授業態度	50%
使用テキスト・教材					
ペン習字、美しい文字の条件					
授業内容・授業計画					
			時間数		
硬筆用具、ペンの持ち方と姿勢、美しい文字			4		
ひらがなの字源			6		
カタカナの字源			6		
漢字と熟語の練習			8		
仮名と感じの交じり文			6		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L1-K40
授業科目名		授業形態		学科・コース	
common sense I ----- 一般常識・時事 I		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	4	寺尾 寿樹
授業の目的・目標					
日頃の新聞やニュースで取り上げられている時事問題、経済、政策についてまとめ、自分の言葉として表すことを目標とする。					
授業の概要					
就職試験におけるSPI適性試験や一般常識問題及び面接試験等の対策として実施する。一般常識問題の復習を行い、SPI適性検査に慣れることにより、就職試験内定を目標に学習を進める。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。課題の評価は、要求された機能の完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
SPI対策問題集					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. オリエンテーション (自己紹介含む)			4		
2. 一般常識及びマナー基礎力確認テスト			8		
3. 就職活動と企業が求める人物像			4		
4. 就職関連資料映像視聴			6		
5. 自己分析			6		
6. 就職活動で実際に役立つビジネスマナー			6		
7. ライフプラン作成			12		
8. 書類選考通過のための履歴書			8		
9. 面接試験対策			2		
10. まとめ			4		
その他			関連科目		
面接試験対策は、就職活動用のスーツを着用し、実施します。					

2020年度

ビジネスライセンス科

2年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)				年度		
時間数は45分換算				2020年度		
				科目コード		
				L2-K13		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Bookkeeping 簿記会計			講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	90	6	山崎 文彦	
授業の目的・目標						
一年次の簿記Ⅰおよび簿記Ⅱの学習内容をふまえ、一般企業における商業簿記（諸取引、固定資産、有価証券、株式会社の会計、税金、財務諸表の作成、本支店会計）および工業簿記（原価計算）を修得する。						
授業の概要						
全経簿記検定試験2級の学習を通して、商業簿記および工業簿記(初歩的な原価計算を含む)を習得する。						
成績評価の方法						
期末試験の得点、模擬試験問題の平均得点、検定試験の合否について総合評価し決定する。					期末試験 50%	
					模擬試験 50%	
使用テキスト・教材						
滝澤ななみ著 『スッキリわかる日商簿記2級 傷病簿記・工業簿記』 TAC 出版 その他、演習に応じた教材を配布						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 現金・預金と債権債務			4	12. 生産業簿記の中の工業簿記		4
2. 商品売買			4	13. 工業簿記のアウトライン		4
3. 当座預金			4	14. 費目別計算		6
4. 手形等の処理			4	15. 総合原価計算		5
5. 有価証券			4	16. 個別原価計算		5
6. 固定資産			4	17. まとめ		16
7. 引当金			4			
8. 株式の発行			4			
9. 決算			6			
10. 本支店会計			6			
11. 帳簿組織・伝票会計			6			
その他				関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。				簿記Ⅰ・簿記Ⅱ		

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
時間数は45分換算				科目コード		
				L2-K14		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Computer accounting コンピュータ会計			講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	30	1	朝倉 将貴	
授業の目的・目標						
会計ソフトの知識・技能を習得し、取引データの入力、帳簿記帳、財務諸表の作成などを行う。全経コンピュータ会計3級取得を目標とする。						
授業の概要						
企業会計には財務会計と管理会計がある。財務会計は通常、複式簿記等の手法によって企業の資本および損益を正確に測定するとともに、企業の経営成績および財政状態を明らかにし、それを企業の外部利害関係者に報告する会計を言う。本講義では財務会計の基礎知識を学習するとともに、パソコンを使って会計ソフトの使い方を学ぶ。						
成績評価の方法						
コンピュータ会計対策試験計3回にて評価。 出席率・授業態度も評価に含める。					対策試験 100%	
使用テキスト・教材						
コンピュータ会計 基本テキスト 弥生株式会社 コンピュータ会計 能力検定試験過去問題集 全国経理教育協会						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 企業の経営活動と経理・財務、経営情報の活用と作成			2	10. 税金に関する基礎知識と会計処理		1
2. 会計データの入力操作と帳簿の体系			1	11. 証憑によるデータ入力		2
3. 基幹業務の内容とビジネス法務			1	12. 月次決算の手続き、現金預金のチェック		2
4. 現金預金に関する業務と会計処理			1	13. 売上原価の算定手続き、経費の月末整理		2
5. 売上に関連する業務と会計処理1			2	14. 減価償却費の計算、得意先と仕入先のチェック		2
6. 売上に関連する業務と会計処理2			2	15. まとめ		6
7. 経費に関連する業務と会計処理			2			
8. その他の債権・債務に関連する業務と会計処理			2			
9. 給与に関連する業務と会計処理			2			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。				※簿記Ⅰ・簿記Ⅱ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L2-K16
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Company administration II ----- 企業運営演習 II		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	朝倉 将貴
授業の目的・目標					
個人商店を想定した企業運営を通して、ビジネスプランを計画し、県内で開催されるビジネスプランコンテストに応募する。					
授業の概要					
企業運営演習 I で培った知識、技術を生かし、ビジネスプランを計画していく。ビジネスマナー、パソコン操作、簿記会計について総合的に学習する。					
成績評価の方法					
ビジネスプランの企画書、発表の評価点を総合評価したうえで決定する。評価は、企画書や発表の完成度評価と制作中の学習意欲を併せて判定する。				発表	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
・ビジネスプランコンテストに関するドキュメント一式					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ビジネスプランコンテストの過去の入賞作品調査1			6		
2. テーマ及びグループ決め			4		
3. ビジネスプランの検討(新規性、優位性、市場、販売戦略、リスクファクター、資金計画)			4		
4. 応募資料作成			12		
5. プレゼン資料作成			16		
6. プレゼン発表練習			12		
7. プレゼンテーション発表会			4		
8. まとめ			2		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。				・企業運営演習 I	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度	
				科目コード	L2-K17	
授業科目名		授業形態		学科・コース		
Stock trading exercise 株取引演習		講義・演習		ビジネスライセンス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	1	朝倉 将貴	
授業の目的・目標						
株式の基礎を学んだあと、株式の模擬売買を通して、経済・社会・企業の動きを学習する。						
授業の概要						
株式の模擬売買を通して、株価に影響を及ぼす要因である経済・政策・企業の動きを理解することを目的に証券会社の担当の下、演習を行う。株式学習ゲームではグループ毎に実際に模擬売買を行い、最終授業では株式学習ゲームの最終結果のプレゼンテーションを実施し、経済・社会・企業の連動性について理解させる。						
成績評価の方法						
期末試験で評価される。授業の出欠席状況、授業態度等も考慮し、成績の評価を算出する。					筆記試験 100% (発表含)	
使用テキスト・教材						
株式学習ゲーム 売買対象企業一覧 株式学習ゲーム 大学生のための証券市場と株式会社の基礎知識						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 金融リテラシ、株式の基礎			2	10. 売買シミュレーション、選定銘柄		2
2. 株式市況・銘柄選定について			2	レポート作成、株価変動要因に関するレポート作成		
3. 売買シミュレーション、選定銘柄レポート作成			2	11. 結果確認、株式市場		2
4. 証券会社(金融機関)招聘授業			4	12. 総括		2
5. 売買シミュレーション、選定銘柄レポート作成			2	13. プレゼンテーション		2
6. 保有銘柄確認			2	14. まとめ		2
7. 株式市場、銘柄選定について			2			
8. 保有銘柄確認			2			
9. 株式市場、選定銘柄について			2			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。				※時事□ ※ファイナンシャルプランニング概論・演習		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L2-K18
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Business practice legal ビジネス実務法務		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	2	朝倉 将貴
授業の目的・目標					
法律の基礎知識、企業活動における財産管理・取引に関する法律を学ぶ。社会に出たとき、法律がどのように関わってくるかを学習する。					
授業の概要					
現在、個人情報流出やコンプライアンス違反等が問題となっており、事前に防ぐために何が必要であるか考えていきたい。ビジネス活動では、個人や企業が様々な財産やサービスについて取引を行い、また財産を支配している。こうした取引や支配の秩序については、法律によって極めて細かい規制がなされている。社会進出した際に、ビジネスと法律のかかわりについて説明し、学習する。					
成績評価の方法					
期末試験の得点。出席率、授業態度等総合評価した上で決定する。 確認テスト等を単元毎に実施予定。					期末試験 100%
使用テキスト・教材					
・配布プリント(自作)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 社会生活と法、法の分類		2	11. 労働法①		2
2. 法の存在意義		2	12. 労働法②		2
3. コンプライアンス		2	13. 雇用・請負・委任 労働三法		2
4. 権利・義務		2	14. 労働契約		2
5. 物件と債権		2	15. まとめ		2
6. 知的財産権		2			
7. 契約の意義と種類		2			
8. 契約の効力		2			
9. 売買契約		2			
10. 債務不履行		2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				L2-K20	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Financial planning exercises ファイナンシャルプランニング演習			講義・演習		ビジネスライセンス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	120	4	朝倉 将貴
授業の目的・目標					
1年次からの継続授業。9月に実施されるファイナンシャル・プランナー3級(実技試験)合格を目指す。					
授業の概要					
FP技能検定3級(実技)の合格を目指し、FP技能士の資格を取得する。 社会保障、生命保険・損害保険の概要、金融商品、所得税、不動産、相続などの6分野の基礎知識を学習する。分野ごとに小テストを行い、理解の確認を行うとともにFP技能検定合格を目標に学習を進めていく。					
成績評価の方法					
前期試験・後期試験・小テストを実施。(年3回以上実施) 出席状況、授業態度等の総合評価で算出。					期末試験 80% 授業態度 20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> みんなが欲しかったFPの教科書(TAC出版) プリント(自作) 					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. ライフプランニングの考え方			4	13. 所得税の基礎知識	6
2. 公的年金			6	14. 所得控除	6
3. 社会保険			6	15. 各種所得金額の計算	4
4. 損害保険商品			6	16. 源泉徴収票	4
5. 生命保険商品			6	17. 建築基準法	6
6. 第3分野の保険商品			4	18. 売買契約	6
7. 生命保険・損害保険と税金			6	19. 譲渡と税金	4
8. 株式			6	20. 相続の基礎	6
9. 債権			6	21. 相続税の計算	6
10. 投資信託			4	22. 財産評価	4
11. ポートフォリオ			4	23. 贈与税の特例	6
12. 前期試験			2	24. 後期試験	2
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。				ファイナンシャルプランニング概論	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L2-K23
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Secretarial Practice II ----- 秘書実践II		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	夏目 靖子
授業の目的・目標					
「秘書概論」「秘書実践I」での学習内容を復習しながら、実際のオフィス実務をふまえた演習をすることで、より実践的な知識や技能を習得する。					
授業の概要					
机上の知識・技能とならないように、ロールプレイングやケーススタディーなどの演習を取り入れて進めていく。友達同士で実技演習を行うのは照れ臭いとは思いますが、実際にやってみることが習得への一番の近道と考えて取り組みたい。					
成績評価の方法					
演習問題・総合演習課題の評価					課題 100%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・早稲田教育出版「新秘書実務」 ・資料プリント、練習問題、演習問題（自作） 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.コミュニケーション			6.慶弔業務		
1-1	言葉遣いと敬語	2	6-1	慶事のマナー	2
1-2	来客応対	2	6-2	弔事のマナー	2
1-3	電話応対	2	7.演習問題		
1-4	指示の受け方と報告の仕方	2	7-1	新人秘書の場合	2
2.スケジュール管理		1	7-2	部長秘書の場合	2
3.出張業務		1	7-3	役員秘書の	2
4.会議の運営と議事録		2	8.総合演習問題		2
5.文書業務					
5-1	文書作成	2			
5-2	メールの知識	1			
5-3	文書の受発信と郵便の知識	2			
5-4	秘文書の扱い	1			
その他			関連科目		
			<ul style="list-style-type: none"> ・秘書概論 ・秘書実践I 		

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	L2-K26
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Communication Techniques II コミュニケーション技法II			講義・演習		ビジネスライセンス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	1	安部珠恵		
授業の目的・目標							
企業において一本の電話は会社のイメージを決めるほど重要なコミュニケーションツールである。社会人において必要不可欠な電話対応のスキルを身につけて、上司への取次ぎ、お客様からの問い合わせ、クレームなどに正確にかつ臨機応変に対応できる即戦力の人材を育成する							
授業の概要							
電話に対する苦手意識を克服するために、実際の電話機を使用したロールプレイング中心の授業を進める。電話のフレーズを型として学び、マニュアルにないシチュエーションでも対応できるように様々な状況設定でくりかえし練習を行う。クレーム対応をロールプレイングで行ない、お客様の心理を理解した対応を学ぶ。							
成績評価の方法							
学期末に二人一組のロールプレイングテストを行う。提示されたシチュエーションにそって電話の対応を行い、声の出し方、敬語、内容の3つの項目に分けて評価を行う。また、授業態度は誠実かつ積極的であることを高く評価する。						期末試験	50%
						課題	50%
使用テキスト・教材							
電話対応マニュアル 電話機使用							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. ビジネスにおける第一印象の重要性			2	11. クレーム電話への対処法			2
2. 電話の特性 声の印象について			2	12. ロールプレイングテスト			4
3. 電話の応対 第一声練習 録音			2				
4. 名前の聞き取り練習 メモの取り方			2				
5. 正しい敬語とアルバイト言葉			2				
6. 電話のかけ方、用件の伝え方、			2				
7. 電話の受け方、取り次ぎの練習			2				
8. 不在時、出張、外出時の取次ぎ方			2				
9. 受付電話 お客様情報の聞き出し方			2				
予約の受け方			2				
10. 問い合わせ電話への対応 道案内			4				
その他3				関連科目			
実務経験のある教員が担当する科目である				コミュニケーション技法 I			

シラバス (授業概要)					年度	
					2020年度	
					科目コード	
					L2-K29	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Marketing II マーケティングII			講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	2	山田穎二	
授業の目的・目標						
本講義では、1年次におけるマーケティングIを基に、マーケティング戦略の役割である会社や製品・サービスの認知度をあげて見込み客の興味関心を引き寄せ、売り上げアップにつながる活動を学ぶとともに、ブランディングの立案を行うことで理解を深める。						
授業の概要						
1年次の授業を受けて、さらに該当調査等のリサーチ学習や様々な調査分析結果を基にした製品開発と販売促進活動について習得する。						
成績評価の方法						
期末試験の得点、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。 課題の評価は、要求された完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。					期末試験	50%
					課題	50%
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> 各種プリント 課題演習(自作) 						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	プロダクト戦略		2	12.	ブランドに対する環境分析	2
2.	新製品開発手順		2	13.	ブランド戦略のまとめ	2
3.	ネーミングとパッケージ効果		2	14.	まとめ	4
4.	ブランド戦略の基本		2			
5.	プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント(PPM)分析		2			
6.	価格設定と消費者心理の関係		1			
7.	価格管理方法		1			
8.	流通チャンネル		2			
9.	プロモーション戦略		2			
10.	販売促進活動		2			
11.	ブランディング実習		4			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。				マーケティングI		

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	L2-K30
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Store Operations ストア・オペレーション			講義・演習		ビジネスライセンス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必修	30	1	山田穎二		
授業の目的・目標							
お客様がワクワクする感動・楽しい売り場の店舗造りを学習します。							
授業の概要							
来店の満足感を得る店舗、更に利益が出る店舗、三方よしの店舗運営に関する基礎知識を考察し、ビジネスマイモデルを構築します。							
成績評価の方法							
期末試験の得点、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。 課題の評価は、要求された完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。					期末試験	50%	
					課題	50%	
使用テキスト・教材							
・演習課題 (自作)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1、利益向上の仕組み			2	8、ワークスケジューリングの基本知識			2
2、日常の運営業務			2	9、ストアオペレーションの応用したビジネスマイモデル			4
3、開店準備の業務			2	10、まとめ			2
4、ビジネスモデルから売場づくりプランの作成			2				
5、売場づくり (集客力のある店頭)			4				
6、売場づくり (商品の魅力をひと目で伝える演出)			4				
7、売場づくり (売場の魅力を高める色・照明・POP)			4				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。				マーケティング I マーケティング II			

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	L2-K33
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Business software II ビジネスソフトII			講義・演習		ビジネスライセンス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必須	90	3	牧野 律子		
授業の目的・目標							
1年生で学んだワードやエクセルの基礎から発展し、実務で役立つ活用技術を習得する。 ワード・エクセルとも、ビジネスの現場で作成されることを前提とした書類作成を中心に学習する。 エクセルで使用される機会の多いVBAの基礎知識を学ぶ。							
授業の概要							
ワード・エクセルの基礎から実践的な活用技術を学習する。1年次からの継続授業。 各自のノートパソコンを利用して授業を実施する。 必ずノートパソコンを持参すること。							
成績評価の方法							
授業態度、出席状況、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。					授業態度	40%	
					出席状況	40%	
					課題	20%	
使用テキスト・教材							
FOM出版 ビジネス活用編 FOM出版 マクロ/VBA							
授業内容・授業計画							
			時間数		時間数		
出張旅費伝票の作成 表示形式			4	モジュールとプロシージャ	4		
出勤簿・賃金計算簿の作成			4	プロシージャの構成要素	4		
納品書の作成 文字列関数			4	シートの選択、削除、挿入	4		
売上集計と売上分析			4	変数	4		
段落単位で処理される機能			4	制御構造	4		
差込印刷			4	I F ~ T h e n 構文	4		
マニュアル作成			4	S e l e c t ~ C a s e 構文	4		
インストラクション			4	F o r ~ N e x t 構文	4		
マクロの概要、マクロの作成手順			4	D o ~ L o o p 構文	4		
VBAとVBE			4	販売管理プログラムの作成	14		
その他				関連科目			
ノートパソコンを使用します。							

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				L2-K34	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Business document ----- ビジネス文書技法		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必須	30	2	牧野 律子
授業の目的・目標					
ビジネス文書において、言いたいことが読み手にはっきり伝わり、納得させることができるかどうかが大変重要である。ビジネス文書の基本構成を理解し、決められたルールを守り、書式に則って文書を書けるようになることを目標とする。					
授業の概要					
Wordを使いこなして、文字・記号・画像の入力、編集、加工などを学習し、さらに、ビジネスに役立つ文書を作成する技術を習得し、文書デザイン検定合格を目指す。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、検定結果を総合評価したうえで決定する。日々の授業中での学習意欲、出席率を併せて判定する。出席率が悪ければ、成績の評価は行われない。				期末試験	30%
				検定結果	40%
				出席率	30%
使用テキスト・教材					
・検定問題集					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. フォントの変更(行書、楷書など)			4		
2. 文字の加工(ルビ、文字色など)			4		
3. 図形の加工(線種、塗りつぶし、影など)			4		
4. 図形の書式設定(レイアウト、順序など)			4		
5. ドロップキャップ、その他応用			4		
6. 検定対策			8		
7. まとめ			2		
その他				関連科目	
※授業内で作成した文書は全て提出する。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L2-K36
授業科目名		授業形態		学科・コース	
MOS Countermeasures Course II ----- MOS 対策講座 II		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	中村 住子
授業の目的・目標					
MOS Access 2016 受験対策のための操作練習と Access の知識を深める。 目標 「MOS Access 2016」 合格					
授業の概要					
Lesson 問題を丁寧に実習することにより、Access の操作方法を理解する。模擬問題を繰り返し実習することで検定の問題パターンに慣れる。					
成績評価の方法					
検定結果の点数を評価したうえで決定する。				検定試験	100%
				結果	
使用テキスト・教材					
『MOS Access2016 対策テキスト&問題集』(FOM 出版)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.試験概要		2	7.模擬問題 1		2
インストール			8.模擬問題 2		2
2.内容評価基準 1		4	9.模擬問題 3		2
データベースの作成と管理			10.模擬問題 4		2
3.内容評価基準 2		4	11.模擬問題 5		2
テーブルの作成			12.まとめ		2
4.内容評価基準 3		4			
クエリの作成					
5.内容評価基準 4		2			
フォームの作成					
6.内容評価基準 5		2			
レポートの作成					
その他					
※実務経験のある教員が担当する科目である。			データベース		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L2-K38
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Data Base データベース		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	松川 麻美
授業の目的・目標					
データベースの中で現在最も使われている関係データベースを活用し、データベースの構築及び活用技術を学習する。後期には、データベース検定対策授業を行う。					
授業の概要					
まず、データベースソフトの使い方とデータベースの構築方法や使いやすいインターフェースの作り方を学習する。その後、データベース検定対策を実施し、検定合格を目標とする。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、検定結果を総合評価したうえで決定する。日々の授業の中での学習意欲、出席率を併せて判定する。出席率が悪ければ、成績の評価は行われない。				期末試験	30%
				検定結果	40%
				出席率	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> よくわかるマスター ACCESS基礎 検定問題集 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. Accessの基本		8			
2. データベースのデータ編集		8			
3. テーブルの操作		8			
4. データベースの設計		8			
5. レポートの印刷		8			
6. 検定対策		18			
7. まとめ		2			
その他			関連科目		
※单元ごと課題を提出する。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L2-K41
授業科目名		授業形態		学科・コース	
common sense II 一般常識・時事II		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	4	荻原 啓孝
授業の目的・目標					
数学や就職試験におけるSPI適性試験や一般常識問題及び面接試験等の対策を行い、内定獲得を目指す。					
授業の概要					
就職試験の対策として、一般常識試験に出題される科目について復習を行い、その後模擬試験を繰り返すことで試験慣れを目指す。また、面接試験対策として日頃の新聞やニュースで取り上げられている時事問題等についてまとめ、面接試験において一般的な話ができる状態にする、					
成績評価の方法					
期末試験の得点、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。課題の評価は、要求された機能の完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
各種一般常識 模擬問題 一般常識&SPI 対策ワーク					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 一般常識復習 (国語)		2	11. 模擬問題 D		3
2. 一般常識復習 (数学)		7	12. 時事 A		2
3. 一般常識復習 (英語)		2	13. 時事 B		2
4. 一般常識復習 (社会)		4	14. 時事 C		2
5. 一般常識復習 (理科)		2	15. 時事 D		2
6. 一般常識復習 (常識)		4	16. まとめ解説		1
7. 一般常識復習 (SPI)		10			
8. 模擬問題 A		3			
9. 模擬問題 B		7			
10. 模擬問題 C		7			
その他			関連科目		
			一般常識・時事 I		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	L2-K42
授業科目名		授業形態		学科・コース	
graduation research 卒業研究		講義・演習		ビジネスライセンス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	90	3	朝倉 将貴・牧野 律子
授業の目的・目標					
2年間の学習成果をまとめるために、グループ毎に研究テーマを決め総合的な研究を行う。企画、設計、製作、発表、まとめの一連の作業を学習する。					
授業の概要					
授業で学んだEXCELやホームページビルダーなどを使い、実務に役立つプログラム作品を作る。さらに、その操作マニュアルや研究結果をレポートとしてまとめ、パワーポイントを使用し、学科内で発表を行う。 期日に間に合うよう、計画的に作業を進めることが大切である。					
成績評価の方法					
作品の企画書、制作過程、中間報告、プレゼンテーション、ドキュメントをもとに総合的に判断。提出期日に間に合わなければ、成績の評価は行われない。				発表	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
各自必要なテキスト等					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. グループ決め			4		
2. テーマ・役割分担決め、紀要作り			8		
3. グループ作業			20		
4. 中間報告			6		
5. グループ作業			14		
6. レポート作成			14		
7. 発表練習			12		
8. リハーサル			8		
9. 学科内発表			4		
その他			関連科目		
・中間発表、リハーサル等を行い、そのつど進捗状況を確認する。					

2020年度

医療事務科

1年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	I1-K07
授業科目名			授業形態		学科・コース		
International communication I 国際コミュニケーション I			講義・演習		医療事務科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必須	30	2	池谷 りさ		
授業の目的・目標							
英語の基礎を学び、医療機関の外国人患者の受け入れ窓口として必要最低限のコミュニケーションができる程度の英会話の基礎を習得し、実践できるようにする。							
授業の概要							
基本構文を理解、習得することで英語の基礎を築き、それを応用できるように練習する。その後、医療機関で使用する用語や会話例を学び、それらを実際に使えるように練習する。またコミュニケーションで重要なボディランゲージや発音も練習する。							
成績評価の方法							
筆記、実技の期末テストの得点、および授業態度の評価を併せて判定する。						期末試験	70%
						授業態度	30%
使用テキスト・教材							
Travelers' First Aid Kit (センゲージラーニング)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
英語の基礎			1	Lesson 11: Talking about an			2
Lesson 1: Emergencies (緊急の時に)			2	Examination (検査について)			
Lesson 4: Talking about Personal History (個人情報について)			2	Lesson 12: Talking about Treatment (治療について)			2
Lesson 5: Talking about Past History (今までかかったことのある病気について)			2	Lesson 13: Talking about Medication (薬について)			2
Lesson 6: Talking about Present Illness (現在の病気について)			2	Lesson 17: Talking with a Dentist (歯科医と話す)			2
Lesson 9: Talking about Pain (痛みについて)			2	Lesson 18: Paying for Your Visit (治療費を支払う)			2
Lesson 10: Talking after an Accident (事故の後に)			2	Lesson 19: At the Pharmacy (薬局で)			2
				まとめ (受付業務ロールプレイ)			2
その他				関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	I1-K13
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Insurance claim business I 保険請求事務 I		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	150	10	中嶋 和余
授業の目的・目標					
医療事務業務に従事する者の知識技能の程度を審査し、証明することにより、医療事務職の職業能力の向上と、社会的経済的地位の向上に資することを目的とした、保険請求事務技能検定試験の取得を目指す。					
授業の概要					
初めに、医療保険制度のしくみと役割について学習する。その後医療機関での会計窓口で、患者から徴収する一部負担金を算出する為に必要な知識として、各項目における算定の原則を学ぶ。正確さと併せてスピードも求められる為、授業の際の実習と課題による繰り返しの練習で理解を深め、技術の修得を目指す。					
成績評価の方法					
定期試験および検定結果、及び出欠席状況、授業態度等を勘案して総合評価とする。				期末試験	70%
				課題	20%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬点数早見表 医学通信社 ・医療事務講座 基礎編 日本医療事務協会 ・医療事務講座テキスト 日本医療事務協会 ・カルテ問題集 日本医療事務協会 					
授業内容・授業計画					
	時間数			時間数	
オリエンテーション、教材配布、見出し貼付	2	処置		4	
医療保険の概要、カルテについて	2	手術		2	
会計欄について、医療保険制度、受付、会計、請求	2	麻酔		2	
点数表の読み方	2	検査A		2	
基本診療料 初診・再診	2	検査B		2	
基本診療料 入院	2	画像診断		4	
医学管理等、在宅医療	2	入院 入院基本料・加算		2	
投薬	4	入院 具体的な算定		2	
注射	4	公費、高額医療費		2	
		総復習		6	
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である		保険請求事務Ⅱ・Ⅲ 医事コンピュータⅠ・Ⅱ			

		年 度		2020 年度	
シラバス (授 業 概 要)		時間数は45分換算		科目コード	
				I1-K13	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
Insurance claim business I 保険請求事務 I			講義・演習		医療事務科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	150	10	中嶋 和余
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
診療報酬請求事務能力認定試験の合格					
授 業 の 概 要					
前期で履修した会計窓口での一部負担金の徴収を踏まえて、月末時に作成される診療報酬明細書（レセプト）の基礎知識を順に追って学ぶ。認定試験では、実技（レセプト作成）だけではなく、文章問題の学科もあり、それにも対応できる様、練習を重ねる。					
成 績 評 価 の 方 法					
前頁と同様				同左	
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療報酬点数早見表 医学通信社 ・ 医療事務講座 基礎編 日本医療事務協会 ・ 医療事務講座テキスト 日本医療事務協会 ・ カルテ問題集 日本医療事務協会 ・ 受験対策と予想問題集 医学通信社 					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
点数表の読解術、請求事務、レセプトの上書き		2	検査（生体検査、病理診断）		2
基本診療料 初診・再診		6	画像診断		4
医学管理等		2	入院		4
投薬		2	過去問題説明 学科		7
注射		4	過去問題説明 外来		6
処置・リハビリテーション		4	過去問題説明 入院		7
手術		6	実習の振り返り		2
麻酔		4	総復習		6
検査（検体検査）		2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である			保険請求事務Ⅱ・Ⅲ 医事コンピュータⅠ・Ⅱ		

		年 度		2020 年度	
シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		科目コード	
				I1-K13	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
Insurance claim business I 保険請求事務 I			講義・演習		医療事務科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	150	10	中嶋 和余
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
月末に作成された、診療報酬明細書から、間違いを見つけ修正する能力を修得。 レセプト点検業務技能検定試験の合格を目指す。					
授 業 の 概 要					
12月までの授業では、診療録(カルテ)から、診療報酬明細書(レセプト)を作成してきたが、この授業では出来上がったレセプトを見て、間違い探しを行う。診療報酬算定の知識の積み重ねが必要となる為、1年間の学習の総まとめとなる。					
成 績 評 価 の 方 法					
前頁と同様				同左	
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
<ul style="list-style-type: none"> ・レセプトチェック講座テキスト 日本医療事務協会 ・レセプトチェック講座カルテ表 日本医療事務協会 ・薬効表、検査、病名辞典 日本医療事務協会 ・レセプトチェック講座問題集 日本医療事務協会 ・医療事務講座 基礎編 日本医療事務協会 					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
			時間数	時間数	
請求業務、レセプトチェックとは			2		
初診・再診			2		
投薬・注射			2		
検査・病理診断			4		
医学管理			4		
在宅医療			4		
処置・手術			4		
画像診断・リハビリテーション			2		
悪性腫瘍特異物質治療管理料			2		
入院			4		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である			保険請求事務Ⅱ・Ⅲ 医事コンピュータⅠ・Ⅱ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	I1-K16
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Medical secretary 医療秘書		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必須	60	4	牧野 律子
授業の目的・目標					
秘書概論で学んだ知識が日常生活の中で実践的に活用されてきたかを確認しながら、実習を中心に基本的マナーの定着を図る。					
授業の概要					
医療秘書検定合格を目指す。医療秘書検定は、医療事務や医療関連の法規に関する知識、病気や人体に関する知識などが幅広く問われます。この授業の中では、医療事務・医療関連の法規に関する知識を習得する。					
成績評価の方法					
出欠席状況、定期試験、検定試験の得点を総合判断した上で最終的な評価を決定する。				定期試験、	50%
				課題提出、	30%
				検定試験	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・医療秘書 ・検定問題集 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 日本の医療			4		
2. 期待される医師事務作業補助者			8		
3. 医療事務と文書作成			4		
4. 医療とIT			6		
5. 医療秘書の専門性の確立			8		
6. 医療秘書の役割と業務			6		
7. 秘書の業務			8		
8. 人間関係とコミュニケーション			8		
9. 医療機関が求める人材			2		
10. 検定対策			4		
11. まとめ解説			2		
その他				関連科目	
				保険請求事務Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 基礎医学	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	I1-K17
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Basic medicine 基礎医学論		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	4	渡辺 留美
授業の目的・目標					
医療秘書技能検定試験3級の合格を目標とする。					
授業の概要					
医療知識を学ぶため、生物の知識も必要となる。また、医療用語が頻出し、難しく理解しにくいと思う。前半はテキストを参考に、プリント資料を中心に講義を行う。講義の振り返りとして、単元終了ごとに小テストを実施する。 後半は過去問を中心に、演習と小テストを行い、試験合格に向けて知識習得に努める。					
成績評価の方法					
試験、小テスト、受講態度に基づき、総合的に評価する。				期末試験	60%
				小テスト	30%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
「基礎医学」井上肇共著 建帛社 2017年					

授業内容・授業計画			
1~30	時間数	31~60	時間数
1. 総論	2	1. 課題確認・過去問演習	2
① 医療用語について		2. 過去問演習	2
② 身体の方角・面・区分の表現方法		3. 過去問演習	2
③ 人体の構成要素		4. 過去問演習	2
2. 神経系の構造と働き (小テスト①)	2	5. 過去問演習	2
2-1 脳と脊髄		6. 過去問演習	2
2-2 脳神経と脊髄神経		7. 過去問演習	2
3. 感覚器の構造と働き (小テスト②)	2	8. 確認テスト	2
① 眼球		9. 過去問演習	2
② 耳		10. 過去問演習	2
③ 鼻		11. 過去問演習	2
4. 循環器系の構造と働き (小テスト③)	2	12. 過去問演習	2
4-1 心臓		13. 過去問演習	2
① 構造		14. 過去問演習	2
② 血液循環		15. まとめ	1
③ 心臓疾患		16. 解説	1
4-2 血管、リンパ系 (小テスト④)	2		
① 構造			
② 血管疾患			
5. 血液の組成と役割 (小テスト⑤)	2		

① 成分、役割			
② 組成			
6. 運動器系の構造と働き (小テスト⑥)			
6-1 骨格系			
① 骨の構造、種類	2		
② 骨の疾患			
6-2 筋系 (小テスト⑦)	2		
7. 泌尿器系の構造と働き (小テスト⑧)			
① 腎臓・尿路の形態と機能	2		
② 腎、泌尿器疾患			
8. 内分泌系の働き (小テスト⑨)	2		
① ホルモンの働き			
② 内分泌疾患			
9. 呼吸器系の構造と働き (小テスト⑩)	2		
① 呼吸器の解剖と機能			
② 呼吸器疾患			
10. 消化器系の構造と働き(小テスト⑪)			
9-1 消化器の解剖と機能①	2		
9-2 消化器の解剖と機能②	2		
消化器疾患 (小テスト⑫)			
10. 生殖器系の構造と働き (小テスト⑬)	2		
① 女性生殖器			
② 男性生殖器			
11. まとめ (小テスト⑭)	1		
12. 解説	1		
その他		関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。		医療秘書 保険請求事務Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	I1-K18
授業科目名		授業方法		学科・コース	
babysitter ベビーシッター		講義・演習		医療事務科	
配当年次	配当学期	必修・選択	授業時数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	4	清水 美津子
授業の目的・目標					
<p>子どもの発達・成長を見守る為に必要な基礎知識と、基本的なケア方法の習得を目的とする。</p> <p>子どもについての理解を深めることで、子どもや保護者とのコミュニケーションを円滑に行える知識とスキルを身につけ、現場での積極性を高めることを目標とする。</p>					
授業の概要					
<p>講義では、子どもに関する基礎知識を学習する。発達・成長、環境、コミュニケーション等、様々な側面から子どもへの理解を深める。</p> <p>実技では、抱っこ・おむつ交換・衣類の着脱等、子どもと接する際に必要となる基本技術を学習する。</p> <p>ベビー人形をモデルにケアの手順を実践し、技術の習得を図る。</p>					
成績評価の方法					
確認テスト、修了試験の得点、製作等課題の評価点を総合評価する。				報告書提出	50%
課題製作中の学習意欲と完成度評価も併せて判定をする。出欠席状況。				実習評価表	50%
使用テキスト・教材					
ベビーシッター養成講座テキスト1・2、パーフェクトシッティングブック					
授業内容・授業計画					
1.子ども・家庭・社会、子ども家庭福祉、保育の仕事と役割、保育に携わる者の心得、抱っこの仕方学ぶ(実技) 2.子育て支援の援助原理の理解、保育の原理、おむつ交換(実技) 3.子どもの発達、保護者とのコミュニケーション・マナー、子どもの虐待と社会的養護、自身が虐待者とならないために衣類の着脱(実技) 4.こどもの障がい、保育マインド三原則、ベビーシッターに求められること、事例検討(演習)、確認テスト① 5.乳幼児の発達と心理、地域保育の環境整備 6.乳幼児の食事と栄養[食育の考え方、食品衛生の基礎知識、食物アレルギー 他]、摂食機能・摂食行動の発達、食に関する問題、授乳・離乳食について学ぶ(実技) 7.乳幼児の生活とあそび、確認テスト(実技) 8.沐浴、壁面製作(実技) 9.小児保健Ⅰ [乳幼児の健康観察のポイント、衛生管理・消毒について、子どもに多い病気について 他] 小児保健Ⅱ [体と心から考える事故の原因、様々な事故と対応のしかた、乳幼児突然死症候群(SIDS) 他] 抱っこ、着脱等の復習(実技) 10.安全の確保とリスクマネジメント、保育者の職業倫理と配慮、おもちゃ作り計画(実技) 11.特別な配慮を要する子ども、グループ討議(演習)、おもちゃ作りと発表(実技)、確認テスト② 12.壁面製作(実技) 13.地域の保育関係機関を知る、まとめ解説					各回 2コマ
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度		
				科目コード	I1-K20		
授業科目名		授業形態		学科・コース			
Emergency and critical care course 救命救急講座		講義・演習		医療事務科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必須	30	2	日本赤十字社 指導員		
授業の目的・目標							
救急法の基礎として思わぬ災害や事故にあった人、急病にかかった人に対して悪化防止の手当を施し、医師または救急隊などに渡すまでの救命手当て及び応急手当の正しい知識を学ぶ。							
授業の概要							
救急法の基礎講習として赤十字救急法、手当の基本、一次救命処置（心配蘇生、AEDの使用法、気道異物除去）について学ぶ。実技として、手当の基本、一次救命措置、急病、怪我、傷の手当、骨折の手当、搬送、救護について総合的に学ぶ。							
成績評価の方法							
全授業参加者が評価対象の条件である。 評価対象者に対して基礎講習について学科検定を行う。また、救急員養成講習について実技検定、及び学科検定を行う。				報告書提出	50%		
				実習評価表	50%		
使用テキスト・教材							
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎講習テキスト ・救急員養成講習テキスト 							
授業内容・授業計画							
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎講習 学科 赤十字救急法について 手当の基本 一次救命処置 心配蘇生 AEDの使用法 気道異物除去 		時間数	2	<ul style="list-style-type: none"> ・救急員養成講習 学科 急病 けが きずの手当 骨折の手当 搬送 救護 		時間数	4
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎講習 実技 一次救命処置 心配蘇生 AEDの使用法 気道異物除去 		時間数	6	<ul style="list-style-type: none"> ・救急員養成講習 実技 急病 けが きずの手当 骨折の手当 搬送 救護 		時間数	14
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎講習 学科検定 		時間数	1	<ul style="list-style-type: none"> ・救急員養成講習 学科実技検定 		時間数	3
その他		関連科目					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	I1-K22
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Medical office computer I 医事コンピュータ I		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必須	60	2	牧野 律子
授業の目的・目標					
医師の書いたカルテから、診療報酬算定の対象となる医療行為を漏れなく算定し、誤りのない正確なレセプトを作成することは、医療機関における事務処理において最も重要な仕事である。短期間に正確な1枚のレセプトを仕上げることは、高度な専門知識とスピードが必要とされる。					
授業の概要					
コンピュータの関連知識や診療の入力方法を理解し、それに伴う保険請求関連知識が身につける。医事コンピュータ検定合格を目指す。					
成績評価の方法					
出欠席状況、演習課題の提出、定期試験の得点を総合判断した上で最終的な評価を決定する。				定期試験、	50%
				課題提出、	30%
				出欠席状	20%
使用テキスト・教材					
・検定問題集					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. コンピュータの種類		1	12. 診療入力 (投薬料)		1
2. コンピュータ情報表現		2	13. 診療入力 (注射料)		1
3. コンピュータの五大装置		2	14. 診療入力 (処置料)		1
4. 周辺装置		4	15. 診療入力 (手術料)		1
5. 入出力とインターフェース		2	16. 診療入力 (麻酔料)		1
6. ソフトウェアの分類		2	17. 診療入力 (検査料)		1
7. OS (Operating Sstem)		1	18. 診療入力 (画像診断)		1
8. OS の機能		2	20. 診療入力 (在宅療養)		1
9. ワープロソフトの活用		2	21. 検定対策		30
10. 診療入力 (初診・再診)		1	22. まとめ解説		2
11. 診療入力 (医学管理)		1			
その他		関連科目			
実習室を使用します。		保険請求事務 I 医事コンピュータ II			

シラバス (授業概要)					年度	2020年度
時間数は45分換算					科目コード	I1-K25
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Hospital training 病院実習			講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必須	60	2	荻原 啓孝	
授業の目的・目標						
医療界の協力を得て、これからの医療人を育成することを目的に実施する。病院の実際業務を幅広く体験し、知識を本物にし、医療人としての心構えを養う。さらには、仕事の場における人間関係などについて理解を深める。						
授業の概要						
実習を実施する総合病院では、内科や外科など様々な診療科があり、画像診断や内視鏡検査などの検査室もあります。総合受付では電話対応や保険証の確認や紹介状の確認などがあります。このような西部地区総合病院で実習体験をすることで医療の現場で役立つ知識を学びます。						
成績評価の方法						
病院実習先の評価者から提出される「実習評価表」と実習終了後に本人の作成する実習報告書の評価点を総合的に判断した上で決定する。					報告書提出	20%
					実習評価表	80%
使用テキスト・教材						
・各病院が用意する資料使用						
授業内容・授業計画						
・実習先の調査・検討・決定			時間数	・科内報告会		時間数
			4			4
・実習前 資料作成			8			
・実習の事前指導 実施			4			
・病院実習			40			
1日目			(8)			
2日目			(8)			
3日目			(8)			
4日目			(8)			
5日目			(8)			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。				保険請求事務 I 医事コンピュータ I 医療業界研究		

シラバス (授業概要)					年度	
					2020年度	
					科目コード	
					I1-K30	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Medical industry research 医療業界研究			講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必須	30	2	荻原 啓孝	
授業の目的・目標						
高齢化社会の進展や医療技術の向上などにより医療の分野は以前に比べて大きく変化してきている。そのような今日の状況を理解しながら、病院における医療行為や事務的業務の基本や常識について学ぶ。						
授業の概要						
病院職員としてのスタートに当たって必要な、病院の種類、病院組織の特徴、業務の流れ、職員としての基本動作、電話の応対、メンタルヘルスケア、患者の権利、インフォームドコンセント、クレーム対応、感染管理と院内感染、医療廃棄物などの知識を事前に修得する。						
成績評価の方法						
演習課題の評価、期末試験の得点を総合評価したうえで決定する。					報告書提出	50%
					実習評価表	50%
使用テキスト・教材						
病院 新人職員基礎研修						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 医療と病院の基礎知識 ・医療法、医療制度、病院の種類			2	5. 自己啓発でステップアップ ・医療人としての自己啓発		4
2. 組織と仕事の流れ ・病院組織の特徴、業務の流れ ・演習			4	6. メンタルヘルスケア ・6月病、職場のストレス、		4
3. 仕事のマナーと接遇の基本 ・職場の基本動作、接遇			2	7. 医療人としての心得 ・患者の権利、人権尊重		6
4. 電話の掛け方・受け方 ・受ける、かける演習			6	8. まとめ解説		2
その他				関連科目		
				病院実習		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	I1-K31
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Communication technique I コミュニケーション技法 I		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	中村 洋子
授業の目的・目標					
医療現場で働くために求められる、自らの意思で仕事に取り組む主体性、日々の出来事に対して深く考察する課題発見力、ネガティブな感情を抱え続けることができるストレス耐性を習得していきます。さらに心理学やカウンセリングスキルを用いたコミュニケーション技法を体得していきます。					
授業の概要					
授業では、コンセンサスワーク（集団の合意形成）を多く取り入れ、一人称で物事を考える力、疑問を持ち自律的な考え方ができる力、周囲の人々と協働できる力を体験していきます。また「自分」を見つめる機会を増やすことで、他者との関わりのパターンを振り返っていきます。					
成績評価の方法					
学期末に行うレポート課題（50%）、授業態度や授業への積極的な取り組みなど、総合的に評価します。出席率は80%を前提に遅刻などは減点の対象とします。				レポート	50%
				授業態度	50%
使用テキスト・教材					
・授業毎に配布資料あり					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	「他人から見た私」ワーク 自己理解と他者理解	2	8.	欲求とストレス フラストレーションと防衛機制	2
2.	自己価値観の気づき ワーク	2	9.	コンセンサスワーク① サバインバルゲーム	2
3.	医療現場でのコミュニケーション とは？ 聴く力・話す力・質問する力	2	10.	コンセンサスワーク② 価値観の優先順位	2
4.	コミュニケーションで起こる複雑な メカニズム 伝言ゲームを通して	2	11.	窓口での話し方、聴き方の技術	2
5.	エゴグラム「私の5つの自我状態」	2	12.	肯定表現とリフレーミング	2
6.	類型論で見る自己と他者のタイプ コーチング理論	2	13.	ストレスとレジリエンス	2
7.	職場に必要なPDCA とほうれんそう 紙テープを使って	2	14.	MSSM法 受け入れられる体験	2
			15.	コラージュを楽しもう	2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			コミュニケーション技法Ⅱ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	I1-K33
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Secretary's introduction 秘書概論		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	夏目 靖子
授業の目的・目標					
秘書として必要な知識と技能を総合的に学習することを通して、社会人として必要な知識と技能を習得する。					
授業の概要					
ここで学習する知識・技能は、秘書にだけ必要な特殊なものではなく、一般の事務職員や社会人としても必要なものであることを認識する。就職面接やアルバイト、検定取得など具体的な場面を挙げながら、身近な問題として考えさせる。実社会で役立つような練習問題や演習問題を取り入れて、理解度を確認しながら進めていく。					
成績評価の方法					
単元ごとに「単元テスト」を実施。単元テストの得点に練習問題や演習問題の課題への取り組み方や完成度を加味して評価する。				単元テスト	80%
				課題	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・早稲田教育出版「新秘書実務」 ・資料プリント、練習問題、演習問題（自作） 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.秘書の役割			5.文書の受発信		
1-1 秘書とは		2	5-1 受信と発信、秘文書の扱い		2
1-2 秘書の資質と職務知識		4	5-2 郵便の知識		4
2.秘書のコミュニケーション			6.ファイリング		
2-1 身だしなみと立ち居振る舞い		2	6-1 ファイル用具		2
2-2 敬語と接遇用語		4	6-2 パーティカルファイリング		2
3.接遇			6-3 資料の整理		4
3-1 来客応対		4	7.会議 知識と運営		4
3-2 電話応対		4	8.環境整備		2
4.文書作成			9.スケジュール管理		2
4-1 用字の知識		2	10.出張業務		2
4-2 文書の構成		2	11.慶弔と贈答		
4-3 社内文書		2	11-1 慶事と弔事		4
4-4 社外文書・社交文書		4	11-2 贈答		2
その他			関連科目		
・秘書検定の実問題を取り入れる			・秘書実践		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	I1-K34
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Secretary practice 秘書実践		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	4	夏目 靖子
授業の目的・目標					
「秘書検定」3・2級の合格を目標とし、その対策学習を行う。対策学習を通して、秘書としてだけでなく社会人としても必要な知識・技能を習得する。希望者には、更に上位級の対策学習を行う。					
授業の概要					
「秘書検定」の過去の出題問題を解きながら、出題の傾向を掴み、対策を行う。模擬試験を実施し、実際の試験方式に慣れ、各自の理解度を確認する。理解度が足りない部分は対策問題集など使い補充する。					
成績評価の方法					
模擬試験の得点と検定対策への取り組み姿勢を合わせて評価する。				模擬試験	50%
				姿勢	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・早稲田教育出版「クイックマスター」 ・秘書検定 過去問題 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.理論編 復習と問題		2	5.理論編 不得意問題対策と問題		2
2.実技編 復習と問題			6.実技編 不得意問題対策と問題		2
2-1 マナー接遇 復習と問題		2	7.記述問題対策		2
2-2 技能 復習と問題		2	8.過去問題		4
2-3 記述問題		2	9.模擬試験		
3.過去問題		4	4-1 模擬試験問題		2
4.模擬試験			4-1 解説		2
4-1 模擬試験問題		2			
4-1 解説と不得意分野の確認		2			
その他			関連科目		
			・秘書概論		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	I1-K35
授業科目名		授業形態		学科・コース	
PC literacy パソコンリテラシー		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	荻原 啓孝
授業の目的・目標					
学習を進める上で各自のパソコンを使い、ネットワークを利用するための基礎的な知識の修得とそれを活用できるようになることが必須である。本講座では、学内のLAN設備とそこに提供されているイントラネット環境を大いに活用し、医療事務コンピュータに役立つ情報の有効利用をはかる。					
授業の概要					
各自ノートパソコンを、本校の授業に必要なアプリケーションのインストール、ネットワークの設定、プリンターの設定をする。したがって、授業に必ず出席することが一番大切である。ノートパソコンを忘れた場合は、授業に参加できない。					
成績評価の方法					
授業態度、出席状況、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。				授業態度	40%
				出席状況	40%
				課題	20%
使用テキスト・教材					
・ノートパソコンの手引き					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. コンピュータの設定		4			
2. アプリケーションのインストール		4			
3. ウィルス対策		4			
4. ネットワークの設定		2			
5. プリンターの設定		2			
6. Webの閲覧、電子メール		2			
7. Windowsの使い方		8			
8. 医療事務コンピュータの知識		4			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である			医事コンピュータⅠ・Ⅱ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	I1-K36
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Microsoft Countermeasure Course I マイクロソフト対策講座 I		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	荻原 啓孝
授業の目的・目標					
マイクロソフト社がオフィスアプリケーションの Word に関する理解度や操作スキルを認定する世界共通の資格試験を取得することでビジネスシーンにおけるアプリケーションスキルを客観的に PR できるようにする。					
授業の概要					
MOS Word の出題範囲を講義し模擬試験を行う。 (文書の作成と管理、文字・段落・書式設定、表やリストの作成、参考資料、グラフィック要素) さらに問題文を読み解く力を必要とする試験のためしっかりと読む力を養う。					
成績評価の方法					
普段の授業の取組みの様子、模擬試験の平均点、検定試験の得点により評価を行う。				模擬試験	40%
				検定試験	60%
使用テキスト・教材					
よくわかるマスター MOS Word FOM 出版					
授業内容・授業計画					
1. 文書の作成と管理		時間数	3. 表やリストの作成		時間数
<ul style="list-style-type: none"> ● 文書を作成する ● 文書内を移動する ● 文書の書式を設定する ● 文書のオプションと表示をカスタマイズする ● 文書を印刷する、保存する 		5	<ul style="list-style-type: none"> ● 表を作成する ● 表を変更する ● リストを作成する、変更する 		5
2. 文字、段落、セクションの書式設定		5	4. 参考資料の作成と管理		5
<ul style="list-style-type: none"> ● 文字列や段落を挿入する ● 文字列や段落の書式を設定する ● 文字列や段落を並べ替える、グループ化する 			<ul style="list-style-type: none"> ● 参照のための情報や記号を作成する、管理する ● 標準の参考資料を作成する、管理する 		
2. 表やリストの作成		5	5. グラフィック要素の挿入と書式設定		5
<ul style="list-style-type: none"> ● 表を作成する ● 表を変更する ● リストを作成する、変更する 			<ul style="list-style-type: none"> ● グラフィック要素を挿入する ● グラフィック要素を書式設定する ● SmartArt を挿入する、書式設定する 		
			6. 模擬試験		30
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である			ワープロ・表計算基礎 就職活動準備講座 I		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	I1-K41
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Makeup fashion メイク・ファッション		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必須	30	1	安部 珠恵
授業の目的・目標					
ビジネスに必要な印象の重要性を学び、好感度の高いオフィス向けのメイク、ファッションを身につける。また、就職活動、インターンシップの際の身だしなみ、立ち居振る舞いを実践的に学ぶことで就職活動に向けた意識付けを行う。					
授業の概要					
第一印象の重要性を学び、好感度を上げるための色使い、清潔感のあるビジネスメイク、知性を感じさせる髪型を实践。また、後半ではスーツを着て、挨拶、返事、入退室の練習を行い、インターンシップで礼儀をわきまえた振る舞いができるように練習をする					
成績評価の方法					
期末試験ではレポート提出と実技試験を行い、身だしなみの重要性を体現できているか、人に伝えるだけの理解力を有しているかを図る。				レポート	50%
				実技	50%
使用テキスト・教材					
プリント					
授業内容・授業計画					
1. 第一印象とビジネスの関係	2	13. レポート&まとめ	4		
2. おしゃれと身だしなみの違い	2				
3. 似合う色を探す パーソナルカラー	4				
4. メイクカラーの選びかた	2				
5. 清潔感のあるベース、ファンデーション	2				
6. 眉の描き方と印象の違い	2				
7. ビジネス向けアイメイクのポイント	2				
8. グループプレスン (相メイク)	2				
9. きちんと感ヘアスタイルのポイント	2				
10. 就活用メイクスーツの着こなし方	2				
11. ビジネスマナー、表情と挨拶の印象管理	2				
12. 立ち居振る舞い練習	2				
その他	関連科目				
実務経験のある教員が担当する科目である	コミュニケーション技法 I				

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				I1-K42	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Pen calligraphy ペン習字			講義・演習		医療事務科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必須	30	1	青野 進
授業の目的・目標					
ボールペンを中心に実務性を重点に置き、ペン字により文字表現の基礎として、楷書・行書・仮名の書式を取り上げ、実技の解釈、個性に応じた文字表現で正しく、早く美しい文字を目標とする。					
授業の概要					
ペンの持ち方と姿勢 (美しい文字を書くには正しい姿勢と正しいペンの持ち方が大切)、美しい文字の条件 (四つの基本フォーム) があります。					
成績評価の方法					
作品の提出と授業態度				提出物	50%
				授業態度	50%
使用テキスト・教材					
ペン習字、美しい文字の条件					
授業内容・授業計画					
			時間数		
硬筆用具、ペンの持ち方と姿勢、美しい文字			4		
ひらがなの字源			6		
カタカナの字源			6		
漢字と熟語の練習			8		
かなと感じの交じり文			6		
その他				関連科目	
				就職活動準備講座 I・II 医療秘書	

2020年度

医療事務科

2年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)				年度					
時間数は45分換算				2020年度					
				科目コード					
				I2-K08					
授業科目名			授業形態		学科・コース				
International communication (Portuguese) 国際コミュニケーションⅡ(ポルトガル語)			講義・演習		医療事務科				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員				
2	前期	必修	30	2	椎木豊美マリナ				
授業の目的・目標									
日本で暮らしているブラジル人との簡単な挨拶と会話する事を目的としています。 日常生活でよく使われているフレーズや言葉などを学び、たくさん練習し、聞き取り、宿題等を実施しマスターを目指す。									
授業の概要									
毎回の授業を丁寧に行い理解力を高めます。習得すべきフレーズの1つ1つについて、復習したり、各問題に挑戦し知識を高めます。授業では、ペアやグループ単位でロールプレイの学習を行います。									
成績評価の方法									
期末試験の得点、演習問題の評価を総合判断したうえで決定する。また、毎回授業前に行う5分間の小テスト(前回の内容)の得点も考慮し、授業内の課題や、協力性や理解力の得点も考慮する。					<table border="1"> <tr> <td>期末試験</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>課題</td> <td>50%</td> </tr> </table>	期末試験	50%	課題	50%
期末試験	50%								
課題	50%								
使用テキスト・教材									
ブラジルによる生きたブラジルポルトガル語(初級) プリント(自作)									
授業内容・授業計画									
			時間数						
1. 挨拶。自己紹介			2	14. 時間					
2. 教室とのコミュニケーション			2	15. 場所を現す前置詞					
3. アルファベットとアクセント			2						
4. 主語(人代名詞、指示詞)			2						
5. 疑問詞、否定文、指示詞、所有詞			2						
6. 数字、序数			2						
7. 曜日、月、年			2						
8. 家族			2						
9. ser 動詞の活用			2						
10. 職業の名前			2						
11. 身体			2						
12. 症状と病気			2						
13. star 動詞の活用と用法			2						
その他				関連科目					
※実務経験のある教員が担当する科目である				国際コミュニケーションⅠ					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	12-K14
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Insurance claim business II 保険請求事務II		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必須	30	2	中嶋 和余
授業の目的・目標					
診療報酬請求事務能力認定試験の合格を目指す。					
授業の概要					
診療報酬制度は厚生労働省により改定が行われる。新しい算定ルールが盛り込まれ、診療点数が見直される。1年次に学習した内容を軸に、改正点を重点に学習し就職の際においても、最新の診療報酬制度を理解して現場に携わることができる。診療報酬請求事務能力認定試験にも挑戦する。					
成績評価の方法					
定期試験および検定結果、及び出欠席状況、授業態度等を勘案して総合評価とする。				期末試験	70%
				課題	20%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
・診療点数早見表		医学通信社			
・受験対策と予想問題集		医学通信社			
・医療事務講座 基礎編		日本医療事務協会			
・カルテ問題集・解答		日本医療事務協会			
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
レセプト作成の基礎知識を復習		2			
カルテ問題集 外来レセプト作成		4			
カルテ問題集 入院レセプト作成		6			
学科受験対策		2			
学科実習 ミニテスト		2			
過去問題実習		14			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である			保険請求事務Ⅰ・Ⅲ 医事コンピュータⅠ・Ⅱ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	I2-K15
授業科目名			授業形態		学科・コース
Insurance claim business III 保険請求事務III			講義・演習		医療事務科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必須	60	4	中嶋 和余
授業の目的・目標					
診療報酬請求事務能力認定試験の合格					
授業の概要					
診療報酬制度は厚生労働省により改定が行われる。新しい算定ルールが盛り込まれたり、診療点数が見直される。1年次に学習した内容を軸に、改正点を重点に学習し就職の際においても、最新の診療報酬制度を理解して現場に携わることができる。診療報酬請求事務能力認定試験にも挑戦する。					
成績評価の方法					
定期試験および検定結果、及び出欠席状況、授業態度等を勘案して総合評価とする。					期末試験 70% 課題 20% 学習意欲 10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・診療点数早見表 医学通信社 ・受験対策と予想問題集 医学通信社 ・医療事務講座 基礎編 日本医療事務協会 ・カルテ問題集・解答 日本医療事務協会 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
オリジナル学科問題			8		
オリジナル外来問題			6		
オリジナル入院問題			6		
過去問題実習			36		
まとめ解説			4		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である			保険請求事務Ⅰ・Ⅱ 医事コンピュータⅠ・Ⅱ		

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	I2-K19
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Practical care course 実践介護講座			講義・演習		医療事務科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必須	60	4	荻原 啓孝		
授業の目的・目標							
介護の正しい基礎知識や専門的な技術を身につけることで、介護する人・される人双方の負担を軽減することにつながる事を学びます。							
授業の概要							
医療機関に訪れる多くの利用者は高齢者である。不自由な患者さんには、待合室から診察室までの介助が必要である。講義では車いすの扱いを始め、実践的にお年寄りの介助について学習する。またサービスケア専門士検定試験にも挑戦する。							
成績評価の方法							
演習の評価、期末試験の得点、検定試験の合否を総合的に評価したうえで決定する。						演習	25%
						期末試験	50%
						検定試験	25%
使用テキスト・教材							
サービスケア専門士テキスト NPO法人日本介護福祉サービス協会							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 高齢社会の現状について			2	13. 障害の理解について			2
2. 介助の心構えとして			2	14. 身体障害者、障害者の現状			2
3. サービスケアの役割と理念			2	15. 障害者心理、具体的な援助方法			4
4. サービスケアの必要性、役割、倫理			2	16. 具体的介助方法、			2
5. 信頼関係を築くためにどうすべきか			2	高齢者擬以体験セットでの体験			6
6. コミュニケーションの基礎、共感			2	17. 視覚障害者、聴覚障害者の介助			2
7. 介助者として自分			2	18. 言語障害者、内部障害者の介助			2
8. QOL「生活の質」について、障害			2	19. 車いすについて、扱い方			4
9. 事例検証、発表、学習問題集の実習			4	20. 杖歩行の扱い方、GP、発表			4
10. 高齢者の理解			2	21. 関連法制度、事故のリスクマネジメント			2
11. 老化に伴う身体的特徴、疾患			2	22. まとめ			2
12. 脳梗塞、脳出血、関節リウマチ			2	23. 解説			2
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である				ケアクラーク			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	12-K21
授業科目名		授業形態		学科・コース	
sign language 手話		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必須	30	2	森岡 光秀
授業の目的・目標					
「聴覚障害者にとってのよりよい医療とは何か」を重要な柱として、聴覚障害者への対応について理解することを目的とする。また医療現場で手話を表現することによって、よりよい関係性を築くことに役立てることを目標とする。					
授業の概要					
医療現場（外来初診時、健康診断・人間ドック、内科、外科など）を想定した手話について学習する。					
成績評価の方法					
授業への取り組みと期末試験によって評価する。				期末試験	50%
				授業態度	50%
使用テキスト・教材					
手話で必見！医療のすべて＜外来編＞ 手話で必見！医療のすべて＜人間ドック・健診＞ 手話でわかりやすい体と病気					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
＜はじめに＞ 聴覚障害者とは		2	＜人間ドック・健診＞ ・人間ドック ・健診		4 4
＜外来＞ ・受付 ・問診 ・診察 ・検査 ・治療 ・薬局		2 4 2 2 2 2	＜単語＞ ・身体の部位・病気・症状 ＜まとめ＞ ・振り返りと解説		4 2
その他			関連科目		
			実践介護講座		

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				I2-K23	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Medical office computer II 医事コンピュータII			講義・演習		医療事務科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必須	60	2	荻原 啓孝
授業の目的・目標					
医師の書いたカルテから、診療報酬算定の対象となる医療行為を漏れなく算定し、誤りのない正確なレセプトを作成することは、医療機関における事務処理において最も重要な仕事である。短期間に正確な1枚のレセプトを仕上げることは、高度な専門知識とスピードが必要とされる。					
授業の概要					
コンピュータの関連知識や診療の入力方法を理解し、それに伴う保険請求関連知識が身につける。そして、医事コンピュータ検定合格を目指す。					
成績評価の方法					
出欠席状況、演習課題の提出、定期試験の得点を総合判断した上で最終的な評価を決定する。				定期試験、	50%
				課題提出、	30%
				出欠席状	20%
使用テキスト・教材					
・各病院が用意する資料使用					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ネットワークの基礎			2	12. 診療入力 (注射料)	
2. インターネット			2	13. 診療入力 (処置料)	
3. 表計算ソフト			2	14. 診療入力 (手術料)	
4. ファイルの種類と保存形式			2	15. 診療入力 (麻酔料)	
5. ファイルの構成とデータベース			2	16. 診療入力 (検査料)	
6. 保健医療情報システムの基礎知識			1	17. 診療入力 (画像診断)	
7. 病院情報システム			1	18. 診療入力 (在宅療養)	
8. 医療情報サービスシステム			1	19. 診療入力 (入院情報)	
9. 診療入力 (初診・再診)			2	20. 検定対策	
10. 診療入力 (医学管理)			2	21. まとめ解説	
11. 診療入力 (投薬料)			2	35	
その他				関連科目	
実習室を使用します。					

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	I2-K24
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Dental attendant デンタルアテンダント			講義・演習		医療事務科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必須	90	6	荻原 啓孝		
授業の目的・目標							
歯科医療に係る仕事を行う為には一通りの知識を身につける必要があります。そこで、歯科の一般的な用語や専門用語、診療内容を理解することで受付事務や保険点数をスムーズにコンピュータ入力ができるようになる為の知識を身につけます。							
授業の概要							
歯科における院内業務全般について、衛生管理から治療器具についての理解、歯牙・口腔の知識などアシスタント業務に必要な知識を修得する。また歯科助手技能認定試験にも挑戦する。							
成績評価の方法							
演習の評価、期末試験の得点、認定試験の合否を総合的に評価したうえで決定する。						演習	25%
						期末試験	50%
						認定試験	25%
使用テキスト・教材							
永末書店 イラストと写真でわかるデンタルスタッフ ハンドブック							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 歯科助手の心得：用語、歯科医院の設備			2	1 4. 矯正治療			2
2. 歯科の基礎知識：歯と歯面の名前、病気			4	1 5. 小児歯科：特徴と対応、フッ素			4
3. 診療の流れ：初診、保険証と問診票			2	1 6. 予防歯科：う蝕原因、う蝕予防			6
4. 感染予防：消毒と滅菌、歯科助手の仕事			6	1 7. ブラッシング指導：目的、種類			6
5. 衛生的な手洗い：手指消毒の手順			6	1 8. 審美歯科			2
6. 歯科X線：X線検査とは			2	1 9. 障害者歯科診療：ホームページ			2
7. バキュームテクニック：目的、種類			6	2 0. 高齢者歯科診療：高齢者の特徴			2
8. 局所麻酔：歯科局所麻酔とは			2	2 1. 訪問歯科医診療：要介護理由			2
9. 歯科器材の取り扱い：印象材、石膏			8	2 2. 有病者歯科治療：主な内科的疾患			2
1 0. 科用小器具の種類と取扱い			6	2 3. 摂食・嚥下：障害原因、リスク			2
1 1. 保存治療			2	2 4. 救急蘇生法：トラブルを防ぐ対応			2
1 2. 補綴治療：歯冠修復、種類、欠損補綴			2	2 5. 期末試験			2
1 3. 口腔外科：処置及び使用する機材			6	2 6. まとめ解説			2
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である							

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	I2-K26
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Dispensing office 調剤事務		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必須	30	2	中嶋 和余
授業の目的・目標					
調剤薬局における事務業務の従事者としての職業能力の向上、社会的地位の向上等に資すること、調剤報酬請求事務技能検定試験の合格を目的とする。					
授業の概要					
調剤報酬請求事務業務の従事者として必要な調剤報酬請求事務等の知識と技能のレベルを評価、認定する。保険調剤のしくみから学び、薬局で受け付ける処方箋の見方、薬の基礎知識として、医薬品の開発、薬が体の中で、どのような過程を経るのかなどを学ぶ。その上で、薬局での点数算定の原則を学び、月末の調剤報酬明細書（レセプト）を作成する。					
成績評価の方法					
定期試験および検定結果、及び出欠席状況、授業態度等を勘案して総合評価とする。				期末試験	70%
				課題	20%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
・調剤薬局事務講座テキスト（調剤報酬点数表付）		日本医療事務協会			
・調剤薬局事務講座処方せん問題集		日本医療事務協会			
・調剤薬局事務講座処方せん解答集		日本医療事務協会			
・調剤薬局事務講座自宅学習のための問題集		日本医療事務協会			
・調剤薬局事務講座レセプトセット教育用		日本医療事務協会			
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 教材配布、インデックス貼付、検定要項説明・申込		2	8. 薬学管理料、薬学管理料の加算		2
2. 医療保険概要、保険診療に関する法則、療養担当規則		2	9. その他の算定例		2
3. 処方せんの見方、薬剤の基礎知識、薬剤料の計算		2	10. 自宅学習のための問題集、実習		2
4. 1剤の考え方、薬剤計算		2	11. レセプト作成について		2
5. 調剤報酬算定、調剤基本料、調剤基本料の加算		2	12. レセプト作成実習		2
6. 調剤料、調剤料の加算		2	13. 過去問題実習		2
7. 調剤基本料、調剤料実習		2	14. 過去問題解説		2
			15. まとめ、試験対策		2
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	12-K27
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Care Clerk ケアクラーク		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必須	60	4	中嶋 和余
授業の目的・目標					
介護サービス提供事業所の事務業務の従事者としての職業能力の向上と、社会的地位の向上等に資することと、介護報酬請求事務技能検定の合格を目的とする。					
授業の概要					
介護事務職員として身につけておくべき介護保険制度の基礎知識、多種に渡る介護サービスの内容や介護報酬請求事務などに関する知識と技能を学ぶ。					
成績評価の方法					
定期試験および検定結果、及び出欠席状況、授業態度等を勘案して総合評価とする。				期末試験	70%
				課題	20%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
・介護事務講座テキスト		日本医療事務協会			
・介護給付費単位数サービスコード表		日本医療事務協会			
・練習問題集、解答		日本医療事務協会			
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
介護保険制度のしくみ		6	地域密着型サービス	2	
給付管理業務の実際		2	介護レセプトについて、居宅サービス演習	2	
他制度との関係		2	居宅サービスのレセプト作成	10	
介護報酬の基礎知識「居宅サービス」		1	「施設サービス」留意事項	2	
1. 訪問介護		1	福祉施設 演習7	2	
2. 訪問入浴		2	保健施設 演習4	2	
3. 訪問看護			療養施設 演習5	2	
4. 訪問リハ			施設サービスのレセプト作成	10	
5. 居宅診療管理指導		2	学科	2	
6. 通所介護			過去問実習、解説、総復習	4	
7. 通所リハ					
8. 短期入所生活介護		2			
9. 短期入所療養介護		2			
10. 特定施設		2			
11. 福祉用具、居宅介護支援					
その他		関連科目			
		実践介護講座			

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				I2-K28		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Doctors Clark ドクターズクラーク			講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2		必須	90	6	仲村 恵美	
授業の目的・目標						
診療録の記載や、各種診断書、証明書、処方箋等の医療文書の作成等、従来医師が行っていた業務を医師の指示のもとで行う業務の知識を学ぶ。そして、ドクターズクラークの資格取得を目指す。						
授業の概要						
医療機関で取り扱われる様々な医療文書について理解を深め、用途に合った文書を作成できるようになることが目標である。そのための基盤となる関連する法律や、医学、薬学の基本の知識を身につけていく。又、文書の作成の習得には、数をこなすことが必要なので、試験対策として多くの時間をとって力をつけていく。						
成績評価の方法						
期末試験の得点、課題の評価を主にする。又、授業態度や課題の提出状況等の学習態度も考慮する。				期末試験	60%	
				課題	30%	
				意欲	10%	
使用テキスト・教材						
テキスト 1～5 技能認定試験問題集、模擬試験問題						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 医師事務作業補助業務について			2	6. 診療録の記載、電子カルテ		2
2. 医療保険制度について				7. 個人情報保護法、安全管理		2
2-1 健康保険制度			5	8. 医療文書作成		20
2-2 労災保険、自賠責等			2	診断書、証明書、健康診断書、		
3. 医療保険法規				入院手術証明書、死亡診断書、		
3-1 医療法、医師法			2	出生証明書、診療情報証明書、		
3-2 感染症法、生活保護法			1	自賠責、医療要否意見書、主治医		
3-3 障害者法、介護保険法			1	意見書、他		
4. 薬学一般			4	9. ヒューマンスキル		2
5. 医学一般				10. まとめ解説		6
5-1 各器官の構造、生理、症例			7	11. 資格試験対策		32
5-2 各器官に作用する薬物			2			
その他			関連科目			
ドクターズクラークは、ドクターの仕事をサポートし、医療の質の向上に貢献するスペシャリストです。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			医療事務、調剤事務、介護事務			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	12-K29
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Electronic medical record 電子カルテ		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必須	30	1	荻原 啓孝
授業の目的・目標					
近年導入が進んでいる電子カルテシステムは、業務の各部門がそれぞれネットワークで結ばれています。診療記録は受付や会計・検査室・資料室などで閲覧でき、また必要な情報の入力もできます。これらのシステムの基礎知識を学ぶとともに基本的な操作方法を修得します。					
授業の概要					
一般的な電子カルテシステムの基本的な機能や記載方法の基本を学ぶ。 その後、操作権限の設定、患者の受付、問診票の入力、主訴、シェーマ、所見、評価、計画、診療内容の登録、各種オーダー処理の操作を修得し、診療所や病院向け各種演習問題を解く。					
成績評価の方法					
出欠席状況、演習課題の提出、定期試験の得点を総合判断した上で最終的な評価を決定する。				出欠席状	20%
				課題提出	20%
				定期試験、	60%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> 電子カルテ 操作操作テキスト 各種 演習問題 					
授業内容・授業計画					
・電子カルテ概要とインストール		時間数	2	・まとめ解説	
・基本操作			4		
・診療所 (外来)			4		
・病院 (外来)			4		
・例題演習 (実技)			8		
・演習 (実技)			6		
その他			関連科目		
			保険請求事務Ⅰ・Ⅱ 医事コンピュータⅠ・Ⅱ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	I2-K32
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Communication technique II コミュニケーション技法II		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必須	30	2	安部 珠恵
授業の目的・目標					
医療事務や受付に必要なコミュニケーションスキル「電話応対力」を身につける。 クリニックにかかってくると予想される予約電話、診療時間案内、ドクターへの取次ぎ等、どんな要件にでも確実に答え、臨機応変に対応できるスキルを身につける。 就職したその日から電話の応対ができる即戦力としての人材を育成する					
授業の概要					
実際の電話機を使った実践練習をすることで電話に対する苦手意識を克服。受付電話のフレーズを型として学び、マニュアルがないシチュエーションでも応用が利くように実践練習をこなす。クレーム対応をロールプレイングで行ない、患者様の心理を理解した対応を訓練する。					
成績評価の方法					
学期末に二人一組のロールプレイングテストを行う。提示されたシチュエーションにそって電話の応対を行い、声の出し方、敬語、内容の3つの項目に分けて評価を行う。また、授業態度は誠実かつ積極的であることを高く評価する。					実技 60% 授業態度 40%
使用テキスト・教材					
電話応対マニュアル 電話機使用					
授業内容・授業計画					
1. 電話の特性 声の印象について	2	13. ロールプレイング練習	2		
2. 電話の応対 第一声練習 録音	2	14. ロールプレイングテスト	4		
3. 名前の聞き取り練習 メモの取り方	2				
4. 正しい敬語とアルバイト言葉	2				
5. 電話のかけ方、用件の伝え方、	2				
6. 電話の受け方、取り次ぎの練習	2				
7. 不在時、出張、外出時の取次ぎ方	2				
8. 患者様からの問い合わせ電話の応対	2				
9. クリニック予約受付の電話応対	2				
10. 患者様宅への電話のかけ方、留守電	2				
11. クレームの仕組みと対応	2				
12. クレーム電話ロールプレイング	2				
その他	関連科目				
実務経験のある教員が担当する科目である	就職活動準備講座II				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	I2-K37
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Microsoft Countermeasure Course II マイクロソフト対策講座II		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	荻原 啓孝
授業の目的・目標					
マイクロソフト社がオフィスアプリケーションの Excel に関する理解度や操作スキルを認定する世界共通の資格試験を取得することでビジネスシーンにおけるアプリケーションスキルを客観的に PR できるようにする。					
授業の概要					
MOS Excel の出題範囲を講義し模擬試験を行う。 (ワークシートやブックの作成と管理、セル範囲のデータ管理、テーブルの作成、 数式や関数を使用した演算の実行、グラフやオブジェクトの作成) さらに問題文を読み解く力を必要とする試験のためしっかりと読む力を養う。					
成績評価の方法					
普段の授業の取組みの様子、模擬試験の平均点、検定試験の得点により評価を行う。				模擬試験	40%
				検定試験	60%
使用テキスト・教材					
よくわかるマスター MOS Excel FOM 出版					
授業内容・授業計画					
1.ワークシートやブックの作成と管理		時間数	4.数式や関数を使用した演算の実行		時間数
<ul style="list-style-type: none"> ● ワークシートやブックを作成する ● ワークシートやブック内を移動する ● ワークシートやブックの書式を設定する ● ワークシートやブックのオプションと表示をカスタマイズする ● 配布する為にワークシートやブックを設定 		5	<ul style="list-style-type: none"> ● 関数を使用しデータを集計する ● 関数を使用し条件付き計算 ● 関数を使用して書式を設定する、文字列を変更する 		5
2.セルやセル範囲のデータの管理		5	5.グラフやオブジェクトの作成		5
<ul style="list-style-type: none"> ● セルやセル範囲にデータを挿入する ● セルやセル範囲の書式を設定する ● データをまとめる、整理する 			<ul style="list-style-type: none"> ● グラフを作成する ● グラフを書式設定する ● オブジェクトを挿入、書式設定 		
3.テーブルの作成		5	6.模擬試験		35
<ul style="list-style-type: none"> ● テーブルを作成する、管理する ● テーブルのスタイルと設定オプション管理 ● テーブルをフィルターする、並べ替える 					
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である			ワープロ・表計算基礎 マイクロソフト対策講座 I		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	I2-K38
授業科目名			授業形態		学科・コース
Homepage creation ホームページ制作			講義・演習		医療事務科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必須	30	1	牧野 律子
授業の目的・目標					
ホームページで情報発信している病院が増える中、院内のホームページの更新作業を逐次行っていくことが必要となる。パソコン用のホームページを作成するだけではなく、スマートフォンでも見やすいホームページ作成作りを目標とする。					
授業の概要					
情報発信の基本となるHTMLについて説明し、ホームページ作成ソフト「ホームページビルダー」を使用してホームページの作成方法を学ぶ。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、演習課題を総合評価したうえで決定する。日々の授業の中での学習意欲、出席率を併せて判定する。演習課題が未提出の場合、成績の評価は行われない。				期末試験	30%
				演習課題	40%
				出席率	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・30時間でマスター ホームページビルダー ・検定問題集 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ホームページ制作の基礎			4		
2. 課題制作1			4		
3. CSSを学習する			4		
4. 課題制作2			4		
5. 検定対策			12		
6. まとめ解説			2		
その他			関連科目		
授業は実習室を使用します。 ※実務経験のある教員が担当する科目である			パソコンリテラシー データベース ビジネス文書技法		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	I2-K39
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Data Base データベース		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	荻原 啓孝
授業の目的・目標					
データベースの中で現在最も使われている関係データベースを活用し、データベースの構築及び活用技術を学習しパソコンリテラシーの幅を広げる。後期には、データベース検定対策授業を行い検定取得をめざす。					
授業の概要					
まず、データベースソフトの使い方とデータベースの構築方法や使いやすいインターフェースの作り方を学習する。後半は、データベース検定対策を実施し、検定合格を目標とする。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、検定結果を総合評価したうえで決定する。日々の授業の中での学習意欲、出席率を併せて判定する。出席率が悪ければ、成績の評価は行われない。				期末試験	30%
				検定結果	40%
				出席率	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・よくわかるマスター ACCESS基礎 ・検定問題集 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. Accessの基本		2			
2. データベースのデータ編集		2			
3. テーブルの操作		4			
4. データベースの設計		4			
5. レポートの印刷		3			
6. 検定対策		14			
7. まとめ解説		1			
その他			関連科目		
※单元ごと課題を提出する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である			パソコンリテラシー ホームページ制作 ビジネス文書技法		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	I2-K40
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Business document ----- ビジネス文書技法		講義・演習		医療事務科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必須	30	1	牧野 律子
授業の目的・目標					
ビジネス文書において、言いたいことが読み手にはっきり伝わり、納得させることができるかどうかが大変重要である。ビジネス文書の基本構成を理解し、決められたルールを守り、書式に則って文書を書けるようになることを目標とする。					
授業の概要					
Wordを使いこなして、文字・記号・画像の入力、編集、加工などを学習し、さらに、ビジネスに役立つ文書を作成する技術を習得し、文書デザイン検定合格を目指す。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、検定結果を総合評価した上で決定する。日々の授業の中での学習意欲、出席率を併せて判定する。出席率が悪ければ、成績の評価は行われない。				期末試験	30%
				検定結果	40%
				出席率	30%
使用テキスト・教材					
・検定問題集					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. フォントの変更(行書、楷書など)		4			
2. 文字の加工(ルビ、文字色など)		4			
3. 図形の加工(線種、塗りつぶし、影など)		4			
4. 図形の書式設定(レイアウト、順序など)		4			
5. ドロップキャップ、その他応用		4			
6. 検定対策		9			
7. まとめ解説		1			
その他			関連科目		
※授業内で作成した文書は全て提出する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である			パソコンリテラシー ホームページ制作 データベース		

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	I2-K43
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Aromatherapy アロマセラピー			講義・演習		医療事務科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必須	30	1	村上 さくら		
授業の目的・目標 近年医療の現場でも注目されているアロマセラピーを学ぶ。							
近年医療の現場でも注目されているアロマセラピーを学ぶ。 補完医療、代替医療の知識を得る。 自ら心と体の健康に役立つアロマセラピーを学び、職場で役立てる。							
授業の概要							
実際アロマオイルを使用し、効能を理解してホリスティックアロマセラピーを体験する。 感覚的な体験を言葉にして共有する。 アロマオイルを通して自らが癒される。							
成績評価の方法							
出席、提出物、レポート発表					出欠席	20%	
					提出物	40%	
					レポート	40%	
使用テキスト・教材							
配布資料、参考書籍、アロマオイル、各種体験用基材、容器、他材料							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
ホリスティックアロマセラピーとは			2	キャリアオイルについて			1
精油を使う際の注意			2	アロマトリートメント			2
精油の不思議なエネルギー			1	ハーブティー食について			1
よい精油の条件			1	テスト・プレゼンテーション			2
アロマセラピーの歴史			1				
精油の作られ方			1				
アロマセラピーの作用			1				
アロマセラピーの癒し			1				
精油のプロフィール			10				
アロマの美容法			3				
アロマの活用法			1				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である				メイク・ファッション カラーコーディネイト			

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				I2-K44	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Color coordinate カラーコーディネート			講義・演習		医療事務科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必須	15	1	厚地 由美子
授業の目的・目標					
「心の時代」「感性の時代」と言われている21世紀において、衣食住心の全てに役立つ色彩に興味を持ってほしいです。また、就職後も医療の現場において人に寄り添って色を扱える人材になってほしいと思っております。					
授業の概要					
基本的な色彩論をまずは理解した上で、次に具体的に扱う応用力を付けられるような流れで進めていきます。色の効果を意識して実践していける様なスキルを身につけます。					
成績評価の方法					
授業態度、出欠席、学習意欲を総合評価したうえで決定する。				授業態度	50%
				出欠席	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
配色カード 199a					
授業内容・授業計画					
1) 色彩を勉強する理由		時間数	5) 色彩心理		時間数
1-1 オリエンテーション		2	5-1 人間関係と仕事		3
1-2 自己分析			5-2 人生と仕事		
2) 色が見える仕組み		1	5-3 美容と健康		
目の働きと作り			6) パーソナルカラー		
3) PCCS 色相環			6-1 歴史と概要		3
3-1 虹の7色		2	6-2 パーソナルカラーのデモ		
3-2 暖色寒色中性色			6-3 〃		
4) PCCS トーン			7) 総まとめ		1
4-1 色の三属性		3	今後色を活かしていく方法		
4-2 トーンに合わせたイメージ					
4-3 〃 応用					
その他			関連科目		
持物：ハサミ のり ※実務経験のある教員が担当する科目である			メイク・ファッション アロマセラピー		

					年度	2020年度
シラバス (授業概要)					科目コード	I2-K45
授業科目名					授業形態	学科・コース
graduation research 卒業研究					講義・演習	医療事務科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必須	60	2	荻原 啓孝	
授業の目的・目標						
2年間の学習成果をまとめるために、個人毎に研究テーマを決め、自分の将来に役立つように医療に係る総合的な研究を行う。企画、調査・研究、論文・資料作り、発表を通して2年間の集大成とする。						
授業の概要						
2年間で学んだ医療分野の中からテーマを選択し、調査研究を行いまとめ、研究結果の論文を作成する。その論文に基づいて学内で在校生、高校生、内定先を対象にプレゼンテーションを実施する。また、提出期限までに論文や発表資料をレポートとしてまとめて提出し承認を得る。スケジュール表を作り、そのスケジュールに従い自分を管理することが重要である。						
成績評価の方法						
作品の企画書、研究過程、中間報告、プレゼンテーション、ドキュメントをもとに総合的に判断。学内においてプレゼンテーション実施、その後の提出物を提出期限内に提出しなければ、成績評価は行われない。					発表	50%
					提出物	50%
使用テキスト・教材						
インターネットを利用した情報収集						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. テーマ検討			8	6. 中間報告	2	
2. テーマ決め			2	7. 発表準備	10	
3. 調査			10	8. 発表練習	4	
4. 中間報告			2	9. リハーサル	4	
5. 論文作り			16	10. 学科内発表	2	
その他				関連科目		
・中間発表、リハーサル等を行い、そのつど進捗状況を確認する。				保険請求事務 I 医療秘書 基礎医学論 ワープロ・表計算基礎 プレゼンテーション基礎		

2020年度

こども保育科

1年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-K09
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Nursery School Manmanners I 保育者マナー I		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必須	30	2	安部 珠恵
授業の目的・目標					
保育実習を前に訪問先への電話のかけ方、挨拶の仕方、お礼の手紙の書き方などビジネスマナーの基本を学ぶ。実習にスムーズに移行できるように学生の意識を変え、社会の中で自分の振る舞いがどのように映るのかを理解させる。保育士、指導者として子供の前に立つ心構えを学ぶ					
授業の概要					
すべてのマナーをロールプレイング実践で行うことで、相手の立場でマナーを理解することができる。どこを変化させればきちんと見えるのかを指摘しながら授業を進めていく。また、実習先の教員、保護者と正しい言葉遣いで会話ができるように具体的な状況を設定して練習をすすめる。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、授業態度を総合的に評価したうえで決定する。 授業態度には出欠、課題の提出も含まれる。誠実かつ積極的な授業態度を高く評価する。				試験	50%
				授業態度	50%
使用テキスト・教材					
プリント配布					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 第一印象の重要性		2	6. 電話応対		2
2. 挨拶、返事の重要性		2	6-1 電話の受け方、メモの残し方		2
3. インターンシップマナー			6-2 電話の取り次ぎ方		2
3-1 自己紹介、挨拶、訪問のマナー		2	6-3 家庭への連絡、電話のかけ方		2
3-2 身だしなみ (スーツ着用)		2	7. メールの送り方 返信		2
3-3 話の聞き方		2	8. 手紙の書き方		2
4. 報告、連絡、相談の重要性		2	9. まとめ・解説		
5. 正しい敬語の使い方					
5-1 敬語の仕組み		2			
5-2 アルバイト言葉、間違い敬語		2			
5-3 クッション言葉で依頼、断り方		2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			保育者マナーII		

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				K1-K15	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Japanese language expression 国語表現			講義		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	本目 亜古
授業の目的・目標					
保育者、社会人として必要な言語力（読む・書く・聞く・話す）を学習する。特に保育の実習および現場で求められる「書く・話す」能力を身につけることを目標とする。そのために必要な文章表現のルールを理解する。語彙を増やし、豊かに表現する力を身につける。					
授業の概要					
特に「話す」「書く」能力の基本を身につけるために、授業では毎回文章の音読、グループで話し合い意見をまとめる、長文を要約する、状況を客観的に説明する、などを積極的に行います。地道な作業を積み重ねることで、言語による表現に慣れていきます。面倒がらずに取り組んでください。					
成績評価の方法					
授業態度、提出物、試験などを総合的に評価する。				授業態度	30%
				提出物	40%
				試験	30%
使用テキスト・教材					
田上貞一郎「保育者になるための国語表現」（萌文書林） ※その他必要に応じて講師作成の資料を配布する。					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 文字と表記の基本			2	11. 連絡帳の書き方	
2. 短文で書く			2	12. 園だよりを作成する	
3. 相手にわかるように表現する			2	13. メールの基本とルール	
4. 適切な表現（差別語・俗語を使わない）			2	14. 間違いを指摘する	
5. 状況を説明する			2	15. 「お礼を言う」「謝る」時の表現	
6. 誤解を与えない表現			2		
7. 実習記録の書き方①			2		
8. 実習記録の書き方②			2		
9. 自分の気持ちを表現する			2		
10. 相手の気持ちを理解する			2		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-K16
授業科目名			授業形態	学科・コース	
English conversation I ----- 英会話 I			講義	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必須	20	1	西田 晶恵
授業の目的・目標					
英語による会話に馴染み、結果として全体的に会話力が高まっていくことを目標とする。					
授業の概要					
保育施設での会話を基にしたテキストに沿って、先生や保護者、また園児との日常会話や語彙に親しみ、それらを使えるように練習します。英語の基礎構文を理解・習得するための演習や課題も取り入れ、自分の言葉で自分の思いが表現できることができるようになるための練習もします。					
成績評価の方法					
課題および授業に対する姿勢の評価を併せて判定する。				課題	50%
				授業	50%
使用テキスト・教材					
Happy English for Childcare					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. BrushUp 1			2	7. BrushUp7/Reading1/2	
2. BrushUp2			2	8. Reading3/4/5	
3. 問題 Dialog4/5/6			2	9. Writing	
4. 問題 Dialog7/8/9			2	10. まとめ	
5. 問題 Dialog10/11/12/BrushUp5			2		
6. BrushUp6			2		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			英会話 I S		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-K17
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Health Science 健康科学		講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	15	1	江川 博一
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> 健康維持や体力向上に対するスポーツ活動のもつ教育的意義について説明することができる 「生涯スポーツ」や「Sports for all」の理念を推進していく上での条件整備の在り方について批判的に考えることができる 					
授業の概要					
様々なスポーツ現象に関わる情報に触れ、自ら具体的に情報を収集し、適切な情報を選択し、自分の頭で考えながら実践していくために必要なスポーツや健康に関わった知識を獲得し、関心・意欲・態度を身に付ける					
成績評価の方法					
レポートの評価、試験の得点を総合評価したうえで決定する。レポートの評価は、記事の収集方法・活用能力と制作中の学習意欲を併せて判定する。				レポート	50%
				試験	50%
使用テキスト・教材					
・「生涯スポーツ・健康科学」					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 教育と体育			1	9. ヘルスプロモーション	
2. 発達の段階			1	10. 運動の生理	
3. 身体の発達			1	11. 運動と神経	
4. わが国の健康と社会			1	12. 体力の概念	
5. 平均余命			1	13. 生活習慣病	
6. 食生活の変化			1	14. ダイエット	
7. 健康の定義			1	15. 運動処方	
8. 現代社会の健康観			1		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-K18
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Constitution of Japan 日本国憲法		講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	中村 美智子
授業の目的・目標					
日本国憲法はわが国の最高法規であるが、身近な法律とは言い難い。しかし、保育を志す学生にとっては当然、知っておくべき内容が多い。権利意識の向上、憲法改正の是非、防衛機能の複雑化、国会、内閣、裁判所などの働きを知り、問題点を考えられる授業を行うことが目標である。					
授業の概要					
配布される教科書は学生にとってとても難しいため、大切な個所にアンダーラインを施し、またその出来事が起こった経緯などは特に板書し、時に応じて新聞を用い、より理解を深められるようにした。何より分かりやすい授業を心掛けた。					
成績評価の方法					
前期に指定された内容でのレポート2つ、試験は最終日に指定された3つの問題から2問を選び、レポート形式で時間内に終える。				期末試験	50%
				レポート	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・近畿大学九州短期大学「日本国憲法」 ・朝日新聞 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 近代憲法の歴史と明治憲法		2	6. 統治機能の原理		
2. 「国民主権」と「象徴天皇」		2	6-1 「国会」について		3
3. 「平和主義」第9条の解釈		2	6-2 「内閣」について		3
4. 第9条と集団的自衛権、国際貢献		2	6-3 「裁判所」について		3
5. 「幸福追求権」に基づく「基本的人権」			7. 憲法改正について		2
5-1 新しい人権		2	8. まとめ・解説		2
5-2 「表現の自由」とプライバシー		2			
5-3 「経済的自由権」		2			
5-4 「社会権」とは何か？		3			
「生存権」社会保障について					
その他			関連科目		
※レポートは教科書を書き写すだけでなく、自分の意見や経験も必ず記述してください。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-K19
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Introduction to Information Processing I 情報処理入門 I		講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	15	1	小澤 稔
授業の目的・目標					
<p>テキストの第1章「情報処理の基礎」～第3章「ソフトウェア」を学習範囲とする。 情報の意味とコンピュータの発達過程、ハードウェア/ソフトウェアについて概観する。</p>					
授業の概要					
<p>1コマ1コマの授業はそれほど難しくないが、内容を自分の言葉で説明できる程度にまで理解し検討や考察を加えることができるようする。 インターネットや雑誌などを併用し、最新技術や動向を調べる。</p>					
成績評価の方法					
レポートの得点と科目終末試験の得点を総合評価したうえで決定する。レポート/科目終末試験の評価は、インターネットや教科書、書籍、雑誌を活用して、自身の言葉で説明されたものを評価する。それらの丸写しは無条件に不合格とする。				レポート	50%
				科目終末	50%
使用テキスト・教材					
・情報処理入門					
授業内容・授業計画					
1.情報処理の基礎		時間数			時間数
1.1 情報とは		2	2.1.2 電子計算機の誕生と発展		}
・情報の意味とデータと情報と知識		4	2.2 コンピュータの5大装置		
1.2 データの表現方法			2.3 入力装置		
1.2.1 データの種類			2.4 出力装置		
1.2.2 データ表現の基本的な考え方			2.5 記憶装置		
1.2.3 アナログとデジタル			2.5.1 主記憶装置		
1.2.4 数値データの表現			2.5.2 補助記憶装置		
1.2.5 ビットとバイト			2.6 中央処理装置		
1.2.6 文字データの表現			3.ソフトウェア		2
1.2.7 画像データの表現		3.1 基本ソフトウェア			
1.2.8 音声データの表現		3.2 代表的な基本ソフトウェア			
2.コンピュータシステム		3.3 応用ソフトウェア			
2.1 コンピュータの歴史		3.4 市販ソフトウェアとフリーウェア・シェアウェア			
2.1.1 計算機の誕生		2			
その他		関連科目			
※单元ごとに理解度をチェックする。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。		情報処理入門 IS			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-K20
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Toddlers and words ----- 幼児と言葉			講義	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	15	1	江塚 会里
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・人間にとっての話し言葉や書き言葉などの言葉の意義と機能について、説明できる。 ・言葉遊びなどの言葉の感覚を豊かにする実践について、基礎的な知識を身に付ける。 ・児童文化財(絵本・物語・紙芝居等)について、基礎的な知識を身に付ける。 					
授業の概要					
領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために専門的事項に関する知識を身に付ける。					
成績評価の方法					
各授業内で提出するレポートで判定する。レポートが一つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。授業中の発言も考慮する。				レポート	80%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・「幼児と言葉」(萌文書林)・「幼稚園教育要領(最新版)」 ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領(最新版)」・「保育所保育指針(最新版)」 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 言葉の意義や機能			1		
2. 言葉の発達と理解			1		
3. 絵本を生かした保育と絵本の紹介			1		
4. お話作り			2		
5. 幼児における児童文化財の意義			1		
6. 子どもの言葉と表現力			1		
7. 読み聞かせの意義と魅力			2		
8. 読み聞かせの実践における工夫			2		
9. 言葉を楽しむための言葉遊び、文字遊び			2		
10. 言葉の発達と表現力			2		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・言葉(指導法) S		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-K21
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Toddlers and words ----- 幼児と人間関係		講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	15	1	田村 都弥
授業の目的・目標					
①幼児を取り巻く人間関係の現状を把握し、支援が必要なポイントを理解する。 ②子どものライフコースにおける人と関わる力の重要性を理解する。 ③子どもの自律性と集団のなかでの育ちについて理解し、支え合う仲間集団の条件を理解する。					
授業の概要					
領域「人間関係」に関する知を得、子ども個人の成長と、仲間集団の成長との双方に配慮しながら具体的な指導を行う実践力の基礎を培う。					
成績評価の方法					
各授業内で提出するレポートと試験で判定する。レポートが一つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。				レポート	50%
				期末試験	50%
使用テキスト・教材					
・『幼稚園教育要領(最新版)』 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領(最新版)』 ・『保育所保育指針(最新版)』					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 仲間集団と道徳性の育ち		1	10. 家庭環境の現状—家庭支援の必要性		2
2. 子どもが自己表現できる集団づくり—保育者の関わり方の基礎		1	11. 発達過程に応じた人との関わり		2
3. 集団のなかでの「特別な支援」—ジレンマを越えるには		1			
4. 保育者との信頼関係		2			
5. 地域社会の人々との交流		1			
6. 「人と関わる力」と子どもの成長		2			
7. 地域社会の変容—戦後~高度成長期		1			
8. 地域社会の現状—都市化・個人化・地域の自治組織		1			
9. 家庭環境の変容—核家族化としつけ		1			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・人間関係 (指導法) S		

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	K1-K22
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Infants and the Environment ----- 幼児と環境			講義		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	15	1	山崎 努		
授業の目的・目標							
<p>領域「環境」のねらいと内容を理解する。 様々な場所や事象に目を向けることができる。 子どもの興味関心に寄り添い、好奇心や探求心を引き出す環境を考える楽しさを体験する。</p>							
授業の概要							
<p>領域【環境】について解説し、子どもたちを取り巻く環境の現状や問題について考察する。 認定こども園での事例を基に、子ども達が遊び込める環境についてグループで検討し、理解を深める。</p>							
成績評価の方法							
<p>受講態度、授業内容をまとめたファイルの評価点、最終課題レポートを総合評価したうえで決定する。各回に配布する資料には、自身の気づきや学びを書き込み、教育・保育現場で活用することを視野に入れまとめる（ファイリングする）こと。</p>					受講態度	50%	
					ファイル	40%	
					レポート	10%	
使用テキスト・教材							
適宜プリントを配布する。							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. ガイダンス			2				
2. 領域【環境】のねらいと内容			2				
3. 子どもを観察するポイントについて			2				
4. 子どもを観察しよう			2				
5. グループ共有：子どもの様子と考察			2				
6. グループ検討：整えたい環境と予測			2				
7. 子どもを観察しよう			2				
8. 課題レポート			2				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。				環境（指導法）S			

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	K1-K24
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Social Welfare ----- 社会福祉			講義		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	30	2	栗田 高典		
授業の目的・目標							
これまでの歴史や現代社会の中で社会福祉の対象となる問題を取り上げ、社会福祉の意義を考えます。その上で、社会福祉の全体像をとらえ、福祉専門職の果たすべき役割について考えます。							
授業の概要							
社会福祉の課題を歴史上の出来事や現代社会の中から取り上げ、当事者の立場に立って考察します。テーマごとに小テストを行い、細かく振り返りをしながら知識を深めていきます。							
成績評価の方法							
レポート、受講時の参加態度、筆記試験で総合的に判断します。						レポート	20%
						受講態度	20%
						筆記試験	60%
使用テキスト・教材							
コメディカルのための社会福祉概論 第4版 鬼崎伸好・本郷秀和著 講談社 新聞記事・行政資料							
授業内容・授業計画				時間数			
1	.オリエンテーション 今後の授業のあり方とレポートの書き方を説明する。			2	8	児童福祉 児童とは 児童福祉の考え方の元になる条文	2
2	“福祉”という言葉の意味を考える。			2	9	児童福祉II	2
3	「社会福祉」の制度や実施期間について説明する。			2		児童をめぐる諸問題と環境 児童福祉施策	
4	世界の社会福祉の歴史 救貧法			2	10	障害者福祉 “障害”の定義 (WHO/障害者基本法)	2
5	世界の社会福祉の歴史II セツルメント			2	11	障害者福祉II 障害の分類 ICF (障害のとりえ方)	2
6	日本の社会福祉の歴史 感化院 民生委員 社会福祉主事			2	12	公的扶助 公的扶助とは (概念、原理、原則、種類、権利、義務)	2
7	前半の振り返り			2	13	高齢者福祉 高齢者をどうとらえるか 高齢者をめぐる諸問題と環境	2
					14	高齢者福祉II 現代の高齢者に関する課題をどう解決するか	2
					15	総括 筆記試験	2
その他				関連科目			
*单元ごとに演習課題を実施する。 *実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	K1-K25
授業科目名			授業形態		学科・コース		
principle of education 教育原理			講義		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	通年	必修	30	2	鈴木 まき子		
授業の目的・目標							
<p>教育の意義と目的 教育の制度及び歴史 保育幼児教育制度の変化及び現状を踏まえ、日本の子育ての未来について理解し、語る事ができる。</p> <p>※ 学生同士の話し合いを毎時行い、多様な考え方を交流し持論を確立し、子育ての未来について語る。</p>							
授業の概要							
<p>教育の意義、目的、方法、内容、制度、行政、また、教師の役割などに関する基本的な原理、及びそれらの歴史・思想・構造・機能の概要また、今日的な教育改革について学ぶ。</p> <p>後半では、保育及び幼児教育制度に特化し、乳幼児教育を志向した教育原理を学修する。</p>							
成績評価の方法							
<p>定期試験の得点、演習課題の評価点、及び日々の授業態度を総合評価したうえで決定する。課題の評価は、要求された機能の完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。</p>						<p>定期試験 60%</p> <p>課題提出 30%</p> <p>出席率 10%</p>	
使用テキスト・教材							
保育のための教育原理 垂見直樹 金俊華 大間敏行 三木一司 共著 ミネルヴァ書房							
授業内容・授業計画							
1	オリエンテーション授業の概要 教育とは何か① (教育の意義と目的)	時間数 2	7	教育の制度① (学校教育制度・幼稚園保育所・及び制度義務教育制度の歴史)	時間数 2		
2	教育とは何か② (教育と福祉)	2	8	教育の制度② (社会教育制度の概要・生涯学習の理論)	2		
3	教育とは何か③ (家庭・地域・社会等とのつながり)	2	9	教育の実践①	2		
4	教育の思想と歴史の変遷 ① (外国の教育思想と歴史:ルソー、フロイト、ヴィゴツキー フレーベル)	2	10	教育の実践②	2		
5	教育の思想と歴史の変遷 ② (日本の教育思想と歴史)	2	11	教育の実践③	2		
6	教育の思想と歴史の変遷 ③ (日本の教育思想と歴史:倉橋惣三「育ての心」から)	2	12	教育の実践④	2		
			13	教育とは何か① (教育の現状・課題: 今日的課題から提言①)	2		
			14	教育とは何か② 提言②	2		
			15	まとめ:子育ての未来について語り合う (グループ発表:パワポ活用)			
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	K1-K27
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Psychology of Infants ----- 幼児の心理学			講義		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	15	1	内田 博昭		
授業の目的・目標							
乳幼児の発達段階に合わせて効果的な教育活動を行うために必要な心理学の知識と実践方法を学ぶ。							
授業の概要							
具体的事例を個人で、そしてペア・グループで検討しながら、幼児の心理学の知識を深め、保育実践力を高めていく。							
成績評価の方法							
授業態度、期末試験で評価する。						期末試験	70%
						授業態度	30%
使用テキスト・教材							
保育に活かす教育心理学							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1	評価の仕方、教育心理学とは		1	9	知能		1
2	母子関係の成立		1	10	パーソナリティ		1
3	言語の発達		1	11	教育評価		1
4	自己意識の発達		1	12	発達障害		1
5	認知の発達		1	13	社会性の発達		1
6	学習理論①		1	14	心の健康		1
7	学習理論②		1	15	まとめ		1
8	動機づけ		1				
その他				関連科目			
				教育心理学 S			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-K28
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Shape Disfigured 造形表現 (指導法)		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	15	1	戸塚 恵
授業の目的・目標					
保育者が幼児一人一人の自己表現を受容・理解し、幼児の豊かな感性を養う援助者であるために、子供の能力・身体的発達と幼児の発達過程の特徴について理解し、子供一人一人の発達に応じた援助の必要性について学び、成長を見守れる保育者を目指す。					
授業の概要					
幼児の身体と心、能力の発達と造形表現の発達の関連を学び、それぞれの発達段階に対応した指導ができるように基礎的知識と技術の履修を目指す。材料や道具の使い方を習得し、造形の基礎知識を習得する。 本科目の一部は、認定絵本士養成講座カリキュラムに基づき行われる。					
成績評価の方法					
幼児の発達段階をまとめて発達表の制作。実技で製作する課題を総合的に評価する。 テストは実施せず提出物で評価する。 認定絵本士取得にあたり、該当する単元は全講義出席を条件とする。				期末試験	0%
				課題	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・近畿大学九州短期大学 「造形表現 (指導法)」 ・福音館 中村征子著 「絵本の本」 ・東京こども図書館 よみきかせのきほん ・アクリルガッシュ・スケッチブック・定規・ハサミ・カッター・のり・ボンド・ホットボンド (グルーガン) その他 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 幼児の発達		2	7. 絵本の世界を広げる技術②		2
2. 幼児の造形表現の発達			(ワークショップ)		
3. 発達表の制作		2	絵本の世界を表現する		1
4. 季節の行事をテーマに制作			8. 絵本の世界を広げる技術②		
① 年少用		2	(ワークショップ)		
② 年中用		2	絵本の世界を表現する		
③ 年長用		2			
5. 乳幼児向けの造形		2			
その他			関連科目		
※単元ごとの演習課題を実施する。			造形表現 (指導法) S 実技演習 I (絵本)・実践講座Ⅱ・こどもと絵本 児童文化 S・障害児保育 S・教育相談		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-K36
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Social conservation I		講義		こども保育科	
社会的養護 I					
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	徳田 義盛
授業の目的・目標					
社会的養護の意義・歴史的変遷の把握を基盤に、児童の権利擁護、社会的養護の制度、実施体系、自立支援等の現状と課題の理解を通して、保育士としての多様なニーズへの対応、児童の生活・成長・発達支援のあり方について考察する。					
授業の概要					
主要テキストに沿いながら、新聞やテレビなどの素材に触れたり、具体的な事例に触れたりしながら、理解を深める。また、社会的ニーズや社会的養護の課題について考察をする。					
成績評価の方法					
テキストの内容を中心とした理解度の確認と、日ごろの授業に臨む積極的な態度、レポートにより評価する。				期末試験	50%
				課題	25%
				態度	25%
使用テキスト・教材					
テキスト：相澤 仁・林博康編『社会的養護 I 新・基本保育シリーズ6』中央法規出版 2019年 参考文献：山縣文治・林博康編『よくわかる社会的養護』ミネルヴァ書房 2013年 吉田眞理編著『児童の福祉を支える社会的養護 第3版』萌文書林 2016年 大竹智・山田俊子編『保育と社会的養護原理』みらい 2013年 小池由佳・山縣文治編著『社会的養護 (第4版)』ミネルヴァ書房 2016年					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
□ 社会的養護の理念と概念		2	□ 社会的養護の対象と支援のあり方		2
□ 社会的養護の歴史的変遷		2	□ 家庭養護と施設養護		2
□ 子どもの人権擁護と社会的養護		2	□ 社会的養護にかかわる専門職		2
□ 社会的養護の基本原則		2	□ 社会的養護に関する社会的状況		2
□ 社会的養護における保育士等の倫理と責務		2	□ 施設等の運営管理の現状と課題		2
□ 社会的養護の制度と法体系		2	□ 被措置児童等の虐待防止の現状と課題		2
□ 社会的養護の仕組みと実施体系		2	□ 社会的養護と地域福祉の現状と課題		2
□ 社会的養護とファミリーソーシャルワーク		2			
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。 ※授業計画は、テキストの内容に沿ったものとしているが、時間数は目安である。		社会的養護Ⅱ			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-K38
授業科目名		授業形態		学科・コース	
C Language 教育課程総論		講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	朝元 麻紀
授業の目的・目標					
実習や就職に向けて将来のイメージを膨らませながら授業に参加し、保育計画を立てる大切さを学んでほしい。					
授業の概要					
幼稚園における教育課程・保育計画の意義を考えるとともに幼稚園教育要領の考え方を学ぶ。幼稚園実習・保育実習さらには就職に向けて、教育理念的内容と考える力を養う。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。課題の評価は、要求された機能の完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。				期末試験	40%
				課題	40%
				出席	20%
使用テキスト・教材					
「あたらしい幼児教育課程総論」「幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定子ども園・保育要領」					
授業内容・授業計画					
1. ガイダンス・保育所幼稚園子ども園の役割		時間数	8. 指導計画・ねらい		時間数
2. 教育課程の意義			9. 5領域まとめ・(心情・意欲・態度)		
3. 教育の基本的法律・導入とは			10. 教育課程を学ぶ		
4. 5領域・目的・目標・ねらい・保育計画の・意義・目的			11. 教育課程を学ぶ		
5. 教育要領			12. 指導案の作成		
6. 短期指導計画から学ぶ			13. 子どもの実態		
7. 長期指導計画から学ぶ・幼児の性格する姿			14. 指導案の発表		
		15. まとめ			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

		年 度		2020 年度	
		科目コード		K1-K39	
シラバス (授 業 概 要)			時間数は45分換算		
授 業 科 目 名		授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス	
Educational Methodology 教育方法論		講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	寺澤 達也
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
①幼児教育・保育に関する基礎的な基本的知識を理解する。 ②上記の点を踏まえ、保育現場における適切な活動を構想できるようにする。 ③教師・保育者の意図や工夫、子どもの学びについて考える。					
授 業 の 概 要					
前半：教科書中心に幼児教育の方法について講義をする。(環境を通した保育・主体的保育・遊びを通した保育・保育形態) 後半：乳児から幼児へのつながる保育を発達領域と保育環境から学ぶ。					
成 績 評 価 の 方 法					
記述テスト、課題の内容や提出方法、学習態度等を考慮し、総合的に判断し評価する。グループディスカッションには積極的な参加を望みます。				期末試験	50%
				課 題	30%
				学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
テキスト：「幼児教育の方法」小田 豊 青井典子 その他：必要に応じてプリント配布					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション 全講義の流れ・幼児期にふさわしい教育方法とは何か。		2	8. 遊びの中の学びをはぐくむ保育 友だちと関わってする遊び 共通の目的を見出し協同する遊び		2
2. 幼児教育と保育		2	9. 様々な保育形態を学ぶ 保育形態のタイプ		2
3. 環境を通しての保育		2	10. 保育における評価		2
4. 遊びを通しての保育		2	11. 保育の記録と省察		2
5. 子どもの主体性の育成		2	12. 小学校との接続と連携		2
6. 保育者の役割		2	13. 家庭と地域との連携		2
7. 遊びの中の学びをはぐくむ保育 感じる・表現する遊び 気づく・試す・考える遊び		2	14. 保育におけるカウンセリングマインド		2
			15. まとめ		2
その他			関連科目		
講義終了後、ワークシートにて自身の学びを振り返る。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				K1-K40	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Introduction to Teaching 教職概論			講義		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1年	前期	必修	30	2	鈴木 まき子
授業の目的・目標					
<p>◎乳幼児に愛情を持ち保育の質を高められる教職・保育専門職を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職、保育専門職の意義及び役割・職務内容について理解する。(研修、服務、身分保障含む) ・進路選択に資する各種の機会提供等を受け未来の教職・保育専門職に夢と期待をもつ。 					
授業の概要					
<p>教育現場・幼稚園での教職及び児童福祉施設や認定こども園での保育専門職の意義や職務内容・役割等について理解を深める。また、教員・保育者採用の実態や研修制度、更には教職、保育専門職と地域との関わり・社会貢献等について体系的に学修し、教育・保育現場における反省的実践者となるための準備教育を行う。</p>					
成績評価の方法					
<p>定期試験の得点、演習課題の評価点、及び日々の授業態度を総合評価したうえで決定する。課題の評価は、要求された機能の完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。</p>					<p>定期試験 60% 課題提出 30% 出席率 10%</p>
使用テキスト・教材					
新訂 教職入門 未来の教師に向けて 古橋和夫 著 萌文書林					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1 オリエンテーション、教育とは何か ～未来の教職、保育専門職に向けて～ ※学習課題の確認と形成(第15回に発表)DVD視聴 「命の尊厳」から「命を預かること」の理解			2	6 求められる専門性と人間性① 7 求められる専門性と人間性② 8 求められる専門性と人間性③ 9 幼稚園教諭・保育所・認定こども園の生活と遊び(担任の一日と一年)	
2 教職観:今まで出会った教師と理想像について話し合い整理し、自己が目指す教師像を形成する (幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校時代)			2	10 保育者をめぐる現代的諸問題① 11 保育者をめぐる現代的諸問題②	
3 教育観:教職・保育専門職についての適性について(エゴグラムを活用)			2	12 保育者の力量とは何か① 13 保育者の力量とは何か②	
4 教師の資質とは: アンガーマネジメントについて			2	14 保育者の力量とは何か③ 15 まとめ	
5 幼稚園教諭・保育士・保育教諭としての使命及び職務内容について				「未来の教職、保育専門職に向けて・私の保育観」 (パワポを活用した発表)	
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-K43
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Pre-training post-mortem instruction I 実習事前事後指導 I		講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	江塚 会里
授業の目的・目標					
実習の意義・目的を理解し、実習中の自らの課題を明確にする。実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。					
授業の概要					
近畿大学九州短期大学の連携科目である単位実習とは別に、保育所、幼稚園、認定こども園等の実際の保育の現場で体験的学習を学習するために必要な実習事前事後の準備、振り返りを行う。					
成績評価の方法					
出席状況、授業態度、学習意欲、課題、実習記録を総合評価したうえで決定する。				出席状況	20%
				授業態度	30%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド 教育・保育実習実技ガイド ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針 ・配布資料 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション 自主実習の意義 実習の心構え 実習先の理解 等		2	6. 実習前オリエンテーションについて		4
2. 乳幼児の発達		4	7. 自主実習に向けての直前指導 先輩の経験談		2
3. 自主実習の園選び方、電話の掛け方、実習生調査票の書き方 実習目標の立て方		4	8. 事後指導 実習の振り返り お礼状の作成		4
4. 実習目標の記入 実習に必要な書類		2			
5. 実習記録について 実習日誌の書き方ポイント 書き方の練習		8			
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。		<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習 ・保育実習 			

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				K1-K46		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
実技演習Ⅰ (児童文学)			演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	20	2	青木直子・平野久美子 小澤 稔・江塚 会里	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> これから目指していく認定絵本土の役割を理解する。 さまざまな分野や角度から絵本の基本的知識について深める。 						
授業の概要						
<p>本科目は、認定絵本土養成講座カリキュラムに基づき行われ、絵本論を通して知識を深め、主体的に学ぶことを通して、認定絵本土に必要な知識・技能・感性を身につける。</p>						
成績評価の方法						
授業態度、演習、小テスト、レポート等を総合的に評価する。 認定絵本土取得にあたり、全講義出席を条件とする。					授業態度 50% 演習 25% テスト・レポート 25%	
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> 福音館 中村征子著 「絵本の本」 ・東京こども図書館 「よみかかせのきほん」 月刊絵本 (福音館 こどものとも0. 1. 2) 						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション「我が国の読書推進活動に関する施策・絵本専門士の役割」			2	8. 絵本各論③ (子供の知的・社会的発達と絵本との関わり) 「子どもの発達と絵本との関わり・絵本が子どもの発達に及ぼす影響」		2
2. 絵本総論 (絵本とは何か) 「絵本をめぐる行為・絵本の定義」			2	9. 絵本各論④ (メディアとしての子供の知的・社会的発達と絵本との関わり) 「情報メディアとしての絵本の特性」		2
3. 絵本総論 (絵本とは何か) 「絵本の多面性・絵本の可能性や課題・絵本の思い」			2	10. 絵本各論④ (メディアとしての子供の知的・社会的発達と絵本との関わり) 「絵本と著作権・電子書籍と子どもの脳」		2
4. 絵本各論① (絵本の歴史、絵本賞について) 「世界及び日本の絵本の歴史」			2			
5. 絵本各論① (絵本の歴史、絵本賞について) 「絵本賞」			2			
6. 絵本各論② (視覚表現 言語表現から見た絵本) 「絵本の視覚表現特性」			2			
7. 絵本各論② (視覚表現 言語表現から見た絵本) 「絵本の言語表現特性」			2			
その他				関連科目		
※担当教員ごと演習課題または小テストを実施する。 ※他の実技演習を合わせて60時間2単位とする。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。				実践講座Ⅱ・こどもと絵本・造形表現 (指導法) 児童文化S・障害児保育S・教育相談		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				K1-K46	
授業科目名			授業形態		学科・コース
実技演習 I (児童文学)			演習		こども保育科
履修学年	履修学期1	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	10	2	青木 直子
授業の目的・目標					
・3年間を通して、赤ちゃん絵本・創作絵本・科学絵本・昔話絵本についての知識と見分を広める。					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの赤ちゃん絵本に接し、赤ちゃん絵本について理解する。 ・毎回の授業の中でストーリーテリングや絵本を聞く。 ・学生も「読む」演習を積極的にする。 					
成績評価の方法					
・授業態度、演習、レポート等を総合的に判断する。				授業態度	30%
				演習	30%
				レポート	40%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・「よみかかせのきほん」東京こども図書館 ・「絵本の本」中村征子著 ・月刊絵本 (こどものとも0・1・2) 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 子どもの発達過程における保育の視点			2		
2. 絵本の「チカラ」			2		
3. 赤ちゃん絵本の選び方			2		
4. 絵本は楽しいコミュニケーション			2		
5. 赤ちゃん絵本のまとめ			2		
その他				関連科目	
<ul style="list-style-type: none"> ※他の実技演習を合わせて60時間2単位とする。 ※実務経験のある教員が担当する科目である 					

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				K1-K46		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
実技演習 I			演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	2	笠原 めぐみ	
授業の目的・目標						
歌や手遊び、劇、身体表現等、保育の現場で必要となる保育技術を学び、今後の保育現場での実習で実践できる力を身につける。						
授業の概要						
乳幼児の成長発達を理解した上で、年齢や季節に応じた製作、歌や手遊び、身体活動などを学び、保育者としての基礎力を身につける。指導法、道具や材料の適切な扱い方等、実際の製作を通して学ぶ。						
成績評価の方法						
出席状況、授業態度、学習意欲、製作物や課題提出、実技試験等を総合評価したうえで決定する。					授業態度 50%	
					課題・試験 50%	
使用テキスト・教材						
「手あそび百科」ひかりのくに 「おりがみ よくばり百科」ひかりのくに						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 誕生表 製作			2	9. 手遊び・うた遊び		2
2. チラシのゴミ箱作り・画用紙(切り方)			2	10月の製作「ハロウィーン」		
3. 手遊び・折り紙(基本の折り方)			2	10. 手遊び・うた遊び		2
4月の製作「チューリップ」				11月の製作「ミノムシ」		
4. 手遊び・うた遊び			2	11. 手遊び・うた遊び		2
5月の製作「いちご」				12月の製作「サンタ・トナカイ」		
5. 手遊び・うた遊び			2	イ		2
6月の製作「あじさい・カタツムリ」				12. 手遊び・うた遊び		
6. 手遊び・うた遊び			2	1月の製作「羽子板・獅子」		2
7月の製作「うみ・クジラ」				13. 手遊び・うた遊び		
7. 手遊び・うた遊び			2	2月の製作「豆まき(おに)」		2
8月の製作「セミ・クワガタ」				14. 手遊び・うた遊び		
8. 手遊び 9月の製作「くだもの」			2	3月の製作「ひなまつり」		2
				15. 手遊び・うた遊び		
				おもいで製作の表紙作り		
				「変身どうぶつ」		
その他			関連科目			
※他の実技演習を合わせて60時間2単位とする。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				K1-K48	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Music play 音楽演奏 I			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	90	3	依田 真理子
授業の目的・目標					
保育者として必要な音楽演奏技術を身に付け、実践的な音楽教育を学習する。					
授業の概要					
個々によって過去の音楽経験はさまざまなので、自分の状況に合った曲を選びながら演奏技術を習得する。読譜の基礎を学び、初歩のソルフェージュを通して音楽の感覚を養う。					
成績評価の方法					
月ごとに共通の課題曲の簡易テストを実施し、学期末は自分で選択した曲の演奏会形式のテストを行う。また日々の練習態度等も含めて、総合的に判定する。				演奏 60% 授業態度 40%	
使用テキスト・教材					
近畿大学 音楽 ピアノ教本、及び 声楽教本 こどものうた 100					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 読譜指導				3-2. コード進行	
1-1. 音名、音階			2	3-3. コード付け	
1-2. 調号、調性			2	4. リズム学習	
1-3. 音符の種類			2	5. 演奏指導	
1-4. 拍子とリズム			2	6. まとめ・解説	
2. 弾き歌い					
2-1. 右手のメロディー弾き			6		
2-2. 両手による伴奏演奏			8		
2-3. 弾き歌いとバリエーション			10		
3. 和音(コード)					
3-1. コードの成り立ち			2		
その他			関連科目		
※各単元と演奏指導は並行して行う。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・幼児と音楽表現S ・音楽表現指導法S ・音楽演奏Ⅱ・Ⅲ		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				K1-K51	
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Practical Courses I 実践講座 I			演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	笠原 めぐみ
授業の目的・目標					
保育現場に必要な造形表現技術を学び、発達や年齢、時期に応じた材料や道具の扱い方を理解する。					
授業の概要					
乳幼児の成長発達を理解した上で、身近な材料を利用した製作活動を展開する。画用紙・紙コップ・牛乳パック・ペットボトルなどを材料として、製作上の留意点、配慮点等、実践を通して学んでいく。					
成績評価の方法					
出席状況、授業態度、学習意欲、製作物や課題提出、実技試験等を総合評価したうえで決定する。				授業態度	50%
				課題・試験	50%
使用テキスト・教材					
配布資料					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 画用紙製作、かんむり作り (△Ver.)			2	9. 画用紙製作	
2. ビニール袋製作 ビニールおぼけと凧揚げ (作って遊ぶ)			2	ハロウィーンのバッグ作り	
3. 紙コップ製作 顔が変わる動物 (笑・泣・怒) 「てをたたきましょう」に合わせて			2	10. 牛乳パック製作 プープーかえる	
4. 紙コップ製作・パッと咲く花			2	11. 画用紙製作 パンダうさぎコアラ 「パンダうさぎコアラ」に合わせて	
5. 紙コップ製作・首振りひな人形			2	12. ペットボトル製作 パクパクうさぎ (うさぎ本体)	
6. 画用紙製作、ちょうちん作り (2種類)			2	13. パクパクうさぎ (にんじん)	
7. ペーパーサート製作 びよんびよんカエル 「かえるのうた」に合わせて			2	14. 画用紙製作、立体カード①	
8. おりがみ製作、メダル (2種類)			2	15. 立体カード② ※家族へ作ったカードは家庭へ持ち帰りプレゼントする。	
その他			関連科目		
※他の実践講座 I を合わせて 60 時間 2 単位とする。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-K51
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Practical Courses I 実践講座 I			演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	前田 由美子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> 園で実践している保育内容について知り、様々な教材や遊びについて知る。 幼稚園教諭や保育士になるために必要なものを製作し、期待を高める。 					
授業の概要					
園で子ども達がどのように遊び、生活をしているのかを伝えながら、実際に遊びを体験する中で、子ども達の気持ちに共感させていきたい。また、幼稚園教諭や保育士になることへの期待を高めながら進めていきたい。					
成績評価の方法					
作品の完成度及び、製作過程の様子やそれを使った演じ方などを総合して判定する。課題の未提出が1つでもあれば、成績の評価は行われぬ。また、授業態度や準備物も加見する。				作品	70%
				授業態度	30%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ピコピコテレパシー製作			2	8. マフラー作り	
2. 名札製作			4	9. 壁面製作 雪だるま	
3. ノマキューブのお話作り			6	・ちぎり絵	
4. 色水遊び			2	10. お正月遊び	
5. 石鹸の泡クリーム遊び			2	11. すごろく作り	
6. 簡単スタンドグラス			2		
7. 毛糸遊び			4		
<ul style="list-style-type: none"> ・鎖編み ・指編み ・ボンボン ・あやとり 					
その他			関連科目		
※他の実践講座 I を合わせて 60 時間 2 単位とする。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-K57
授業科目名		授業形態		学科・コース	
General Seminar on Childcare I 保育総合演習 I		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	加茂 房子
授業の目的・目標					
<p>保育に必要とされる身体活動、遊び歌を数多く体得することで、自然な発声、喜怒哀楽などの表現ができるようになる。</p> <p>園児に発表（本番）することで保育者になる自覚を感じる。</p>					
授業の概要					
<p>身体活動を体得する。</p> <p>保育所訪問に向けて、「台本制作・劇練習・大道具・小道具・衣装」の作成をする。</p>					
成績評価の方法					
出席状況、授業態度、意欲、発表（保育所訪問）等を総合評価したうえで決定する。				授業態度	80%
				発表内容	20%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 手遊び・歌遊びを楽しむ			2		
2. 過去の訪問時DVD鑑賞			2		
3. 内容決定 (衣装・背景・大道具・小道具 等)			4		
4. 全体練習			18		
5. リハーサル・まとめ			4		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-S01
授業科目名			授業形態	学科・コース	
English conversation S ----- 英会話 I S			演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	20	1	西田 晶恵
授業の目的・目標					
日常生活の中でよく使われる身近な英語表現を学び、話し相手の意思を理解したり、自分の思いや考えを簡単な英語で伝えたりすることができるようになることを目指します。					
授業の概要					
保育施設での会話を基にしたテキストに沿って、先生や保護者、また園児との日常会話や語彙に親しみ、それらを使えるように練習します。英語の基礎構文を理解・習得するための演習や課題も取り入れ、自分の言葉で自分の思いが表現できることができるようになるための練習もします。					
成績評価の方法					
課題および授業に対する姿勢の評価を併せて判定する。				課題	50%
				授業	50%
使用テキスト・教材					
Happy English for Childcare					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
基礎文法 & Introduction			2	Hobbies	2
Family			2	Music 2	2
Music & Games			2	Writing	2
Foods			2	振り返り・まとめ	2
Shopping & Consolidation			2		
Introduction 2			2		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-S02
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Life Sports 生涯スポーツS		実技		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	富田 寿人
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期および青年期における運動・スポーツの意義や果たすべき役割を理解することができる。 ・子どもや障がい者を対象とした運動・スポーツ活動に関する基礎的な技能を習得する。 ・子どもや障がい者や高齢者を対象とした運動・スポーツ活動のレパートリーを増やすことができる。 					
授業の概要					
<p>グループ学習における集団的・組織的活動を重視しながら、保育者として指導計画を作成する際に必要な実践的な思考サイクルを身につけてもらいたい。</p> <p>授業で体験した運動あそび、レクリエーションゲームを自分なりに工夫して、発展させること。</p>					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・授業のまとめの感想文・レポート ・実技中のグループワークへの取り組み 				レポート	50%
				授業態度	50%
使用テキスト・教材					
・プリント					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション、アイスプレイングゲーム		2	11. 幼児期および青年期以降におけるスポーツの意義		2
2. コミュニケーションゲーム		2	12. まとめ		2
3. ボールを使ったあそび		2			
4. バレーボール		2			
5. ルール作り①		6			
6. 障がい者を対象としたバレーボール		2			
7. 高齢者を対象としたバレーボール		2			
8. レクリエーションゲーム		2			
9. バドミントン		2			
10. リーグ戦		4			
その他			関連科目		
<ul style="list-style-type: none"> ※実務経験のある教員が担当する科目である。 ※地域における様々なスポーツイベントに自主的に参加しよう。 			健康科学		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-S03
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Introduction to Information Processing I S 情報処理入門 I S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	20	1	小澤 稔
授業の目的・目標					
現在では、業種。職種を問わずほとんどの職場においてパソコンのスキルが求められる。特に利用頻度の高い事務系ソフト Word (ワープロ)・Excel (表計算)・PowerPoint (プレゼンテーション) の基礎的な利活用方法を、演習をとおして習得する。					
授業の概要					
代表的なオフィススイートである、Word (ワープロ)・Excel (表計算)・PowerPoint (プレゼンテーション) の3つのソフトウェアの基礎的な利活用方法を概観し、演習をとおして理解の定着を図る。					
成績評価の方法					
3つのソフトウェアでそれぞれに与えられた演習課題を作成し、総合評価する。要求された機能の完成度評価と授業中の毎時間の学習意欲を併せて評価する。課題の未提出が1つでもあれば成績の評価はしない。				総合演習	70%
				授業態度	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト 情報処理入門 ・演習課題 プリント 					
授業内容・授業計画					
<1日目>		時間数	<2日目>		時間数
1時限目	Wordの基本操作、文字入力、フォント設定	2	1時限目	Excelの基本操作、文字・セル・罫線の設定	2
2時限目	段落の設定、ページレイアウトの設定、印刷データの入力と出力	2	2時限目	計算式の入力、基礎的な関数、Excelの総合演習(家計簿の作成)	2
3時限目	画像(写真、クリップアート、ワードアート)の取り込みと編集	2	3時限目	PowerPointの基本操作、デザインの設定、スライドショーの利用	2
4時限目	図形描画機能の利用	2	4時限目	アニメーションの作成	2
5時限目	Word 総合演習(チラシの作成)	2	5時限目	PowerPoint n 総合演習(電子紙芝居)	2
その他			関連科目		
※ソフトウェアごとに演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・合同ワープロ/表計算		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-S04
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Toddlers and musical expressions 幼児と音楽表現S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	20	1	鈴木 千緒
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・器楽(ピアノ伴奏、楽器演奏)の基礎的な演奏法を理解し、演奏技術の向上を目指す。 ・基礎的な楽典を理解し、読譜ができる。 ・教育現場に必要な声楽曲や弾き歌いのレパートリーを増やし、歌い示すことができる。 ・器楽合奏におけるパート譜の作成ができる。 					
授業の概要					
<p>子どもの歌やコールキューブンゲンを歌うことでレパートリーを増やし、音程の感覚を養う。弾き歌いの取組と歌唱に伴うピアノ伴奏も行いアンサンブル力を養う。楽典を解説し読譜練習や作品解釈を行う。音楽表現の向上と表現方法についても検討する。</p>					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験成績 ・授業への積極的参加(質問など) ・演奏が途中で止まった場合でも、焦ることなく再度演奏して下さい。 				実技試験	80%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト:「音楽 (声楽教本)」「音楽 (ピアノ教本)」 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 発声のメカニズムと発声法			2		
2. コンコーネ・ピアノエチュード・と音名・音符			2		
3. コンコーネ・拍子とリズム			2		
4. コールキューブンゲン			2		
5. リズムの作成			2		
6. 長音階・リズム楽奏			6		
7. 行事の歌・和音とコード演奏			2		
8. わらべうた・弾き歌い			2		
9. 子どもと音楽活動の現在			2		
10. 全体の振り返り			2		
その他			関連科目		
<ul style="list-style-type: none"> ※授業中に適宜資料を配布する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。 			<ul style="list-style-type: none"> ・音楽演奏 ・音楽表現 (指導法) S ・音楽表現技術S 		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				K1-S07	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Educational Psychology S ----- 教育心理学 S			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	20	1	内田 博昭
授業の目的・目標					
乳幼児の発達段階に合わせて効果的な教育活動を行うために必要な心理学の知識と実践方法を学ぶ。					
授業の概要					
子どもを巡る教育的問題をグループで調査し、検討することで、問題の解決に結びつける。					
成績評価の方法					
レポート発表、授業態度で評価する。				レポート発表	70%
				授業態度	30%
使用テキスト・教材					
保育に活かす教育心理学					
授業内容・授業計画					
1日目			時間数	2日目	
子どもを巡る教育的問題の調査・研究①				子どもを巡る教育的問題②	
1	いじめ		2	1	発達障害
2	愛着障害		2	2	小1プロブレム
3	不登校・不登園		2	3	中1ギャップ
4	児童虐待		2	4	レポート発表①
5	早期教育		2	5	レポート発表②・まとめ
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-S08
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Health S 健康 (指導法) S			演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	20	1	平野 久美子
授業の目的・目標					
幼稚園教育要領および保育所保育指針に示される「ねらい」「内容」などの「健康」領域の構造を理解する。					
授業の概要					
幼稚園教育要領や保育所保育指針における「健康」領域の中核的な保育内容となる「運動あそび」と「基本的生活習慣」に関する保育者の指導・援助のあり方をテーマとして検討していく。					
成績評価の方法					
授業態度、レポート、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。				レポート	40%
				課題	60%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・事例で学ぶ保育内容 健康 ・文部科学省「幼稚園教育要領解説書」厚生労働省編「保育所保育指針解説書」フレーベル館 など 					
授業内容・授業計画					
1. 健康の概念、教育要領、保育所保育指針における「健康」領域について			時間数 2	10. まとめの課題	
2. 乳児の運動発達①反射的運動の段階			2		
3. 乳児の運動発達②初歩的運動の段階			2		
4. 幼児の運動発達①基本的運動の段階			2		
5. 運動あそびの指導計画の作成と指導法			2		
6. 事故防止と安全対策			2		
7. 食事に関する保育内容と指導法			2		
8. 排泄に関する保育内容と指導法			2		
9. 生活リズム(睡眠・休養)に関する保育内容と指導法			2		
その他			関連科目		
子ども、幼児、健康、子育て、からだ、スポーツ、体育などをキーワードとした新聞やインターネットの情報について日常的に興味・関心を持つようにすること。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係 (指導法) ・言葉 (指導法) ・環境 (指導法) ・造形表現 ・音楽表現 		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-S09
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Human relationS 人間関係 (指導法) S			演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	20	1	田村 都弥
授業の目的・目標					
領域「人間関係」に関する教育・保育内容および指導に関する知識・技術を習得する。 子どもの発達を領域「人Ⅲ」関係」の観点で捉え、子どもの理解を深める。					
授業の概要					
子どもの人間関係形成をめぐる諸課題について理解を深め、領域「人間関係」の内容および意義について学習する。					
成績評価の方法					
試験の得点、授業態度を総合評価したうえで決定する。課題の評価は、要求された内容の完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。授業中、指示された課題は必ず提出すること。				試験	70%
				授業態度	30%
使用テキスト・教材					
・幼稚園における道徳性の芽生えを培うための事例集					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 領域「人間関係」の観点			2		
2. 領域「人間関係」のねらいと内容			2		
3. 自己の形成と他者理解			2		
4. 集団における自己の発達			2		
5. 社会性の発達と遊び			2		
6. 協力・競争・排除			2		
7. 思いやりと道徳性の芽生え			2		
8. 子どものコミュニケーション			2		
9. 保育者の役割と指導について			2		
10. まとめ			2		
その他			関連科目		
幼稚園教育要領および保育者保育指針の領域「人間関係」を熟読すること。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			<ul style="list-style-type: none"> ・健康 (指導法) ・言葉 (指導法) ・環境 (指導法) ・造形表現 ・音楽表現 		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-S11
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Environment S 環境 (指導法) S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	20	1	山崎 努
授業の目的・目標					
<p>領域【環境】について学ぶと共に、子どもを取り巻く様々な環境について関心を持ち、理解を深める。身近な環境に気づくことができるようになる。</p> <p>子どもの好奇心や探求心を引き出す環境を考えることができるようになる。</p>					
授業の概要					
<p>子どもの好奇心や探求心に気づき、寄り添い、支える保育者としての専門性を育むために、自然体験活動等の実体験を通して環境について学びます。身近な環境の活用方や子どもの発達にとって望ましい環境、特に自然との関わりについて、グループで検討し、意見を共有し合い理解を深める。</p>					
成績評価の方法					
<p>受講態度、授業内容をまとめたファイルの評価点、最終課題レポートを総合評価したうえで決定する。各回に配布する資料には、自身の気づきや学びを書き込み、教育・保育現場で活用することを視野に入れまとめる（ファイリングする）こと。</p>				受講態度	50%
				ファイル	40%
				レポート	10%
使用テキスト・教材					
適宜プリントを配布する。					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ガイダンス			2		
2. 領域【環境】のねらいと内容			2		
3. リスクと価値について			2		
4. 身近な自然環境に触れてみよう			2		
5. 遊び込める環境を考える			2		
6. 子どもを観察する力			2		
7. 子どもを分析する力			2		
8. 興味関心に寄り添う環境設定			2		
9. 身近な人的環境・求められる保育者像			2		
10. レポート課題			2		
その他			関連科目		
<p>※自然活動が基本となるので、動きやすく季節に合った服装で受講すること。</p> <p>※実務経験のある教員が担当する科目である。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児と環境 ・ 言葉 (指導法) ・ 造形表現 ・ 人間関係 (指導法) ・ 環境 (指導法) ・ 音楽表現 		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-S12
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Language 言葉 (指導法) S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	20	1	江塚 会里
授業の目的・目標					
①人間にとっての言葉(言語)の役割・言語獲得の理論を理解し、説明できる。 ②子どもの言葉を育む適切な環境について理解し、保育者としての子どもとの関わり方を身につけ、実践できる。					
授業の概要					
幼稚園教諭2種免許状、保育士資格の必修科目であると共に、保育科卒業必修科目である。『保育所保育指針』幼稚園教育要領』における保育内容・言葉の「目標」「ねらい」「内容」を理解し、保育者としての子どもの関わり方についての具体的な実践方法について検討し、実践できる力を身につけることを目指す。講義形式・グループワークを実施する。					
成績評価の方法					
各授業内で提出するレポートで判定する。レポートが一つでも未提出であれば、成績の評価は行われぬ。授業中の発言も考慮する。				レポート	90%
				授業態度	10%
使用テキスト・教材					
・『保育所保育指針解説書』・『幼稚園教育要領解説』 ・演習課題 (自作)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 人間にとって言葉とは何か		2	8. 子どもの言葉をひきだす保育者の関わりー「内容」の理解④		2
2. 子どもの言語獲得		2	9. 物語と子どもの表現力・文字への気づき-「内容」の理解⑤		2
3. 保育内容・言葉を理解する視点としてのコミュニケーション		2	10. 子どもの言葉を育む保育実践の構想と実践		2
4. 保育内容・言葉「ねらい」の理解ー「目標」「内容」との関連を通して		2			
5. 応答的/積極的関わり・言葉以前のコミュニケーションー「内容」の理解		2			
6. 言葉を通した楽しい関わり-「内容」の理解②		2			
7. 基本的信頼関係の構築ー「内容」の理解③		2			
その他		関連科目			
※授業内で提示する参考文献等で理解を深めてほしい。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。		・幼児と言葉 ・人間関係 (指導法)・言葉 (指導法) ・環境 (指導法) ・造形表現 ・音楽表現			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-S13
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Shape Disfigured S 造形表現 (指導法) S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	20	1	戸塚 恵
授業の目的・目標					
作品制作を通じて創造性や表現力、作品鑑賞を楽しく、感性豊かに学び、幼児教育における造形表現の基礎知識を習得する。保育者として子供を援助し、他の生活領域や表現分野とのかかわりに気を配りながら、造形表現を通して感動を伝え合う喜びを大切にできる様、造形の基礎から応用まで体験する。					
授業の概要					
造形の基礎となる、平面 (デッサン・色彩) 立体 (工作・粘土) の作品制作を通して幼児の造形活動への理解を深める。制作した作品を使って実際に遊びをシミュレーションし、幼児の世界を体感しながらお互いの制作物についての理解も深める。					
成績評価の方法					
課題の完成度、共同制作への積極的協力と参加・関わり				課題	70%
				参加意欲	15%
				学習意欲	15%
使用テキスト・教材					
大型工作用耐水絵具、段ボール用大型カッター、ステンレス 60 センチ定規、接着剤 (マルチボンドやテープ類)、段ボール、工作用の素材廃品 (容器類・箱・包装紙など)					
授業内容・授業計画					
1. 段ボールハウスを制作し、お店屋さん遊びをしよう！		時間数	⑥ 制作物の発表プレゼン		時間数
① 制作概要		1			1
② チームに分かれて話し合い制作計画・設計		2			
③ 制作手順と分担		1			
④ 材料確認と段ボールハウス制作					
a. 材料採寸切り出し		4			
b. 組み立て塗装		4			
c. 装飾		2			
⑤ お店の小物づくり		5			
その他			関連科目		
※单元ごとの演習課題を実施する。			造形表現 (指導法)		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				K1-S20	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Music expression 音楽表現 (指導法) S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	20	1	鈴木 千緒
授業の目的・目標					
保育者として、子どもに歌い聴かせうるための声楽の基礎(発声法)を学ぶとともに、基本的な音楽理論を理解することを目標とします。また、弾き歌いに必要となる鍵盤楽器の基礎を身につけることを目標とします。					
授業の概要					
<p>声楽：グループレッスンの形態で行います。コールユーブンゲンでは音程とリズム、コンコーネでは歌唱表現を重視し、子どもの歌も使用し作品解釈を行います。</p> <p>ピアノ：個人レッスンの形態で行います。記録票のグレードに従い、学生の力量に合わせた指導を行います。</p>					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験成績 ・授業への積極的参加(質問など) ・演奏が途中で止まった場合でも、焦ることなく再度演奏して下さい。 				実技試験	80%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
・テキスト:「音楽 (声楽教本)」「音楽 (ピアノ教本)」					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ガイダンス基礎練習			2		
2. レッスン			2		
3. 声楽 (コールユーブンゲン1～8)			2		
4. ピアノ (マーチ)			4		
5. 声楽 (コールユーブンゲン9～15)			2		
6. ピアノ (32番～36番)			6		
7. 発表			2		
8. まとめ			2		
その他			関連科目		
<ul style="list-style-type: none"> ※お気に入りの曲を選び演奏してみましょう。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。 			<ul style="list-style-type: none"> ・幼児と音楽表現 ・音楽表現技術 ・音楽演奏 		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-S21
授業科目名		授業形態		学科・コース	
play a play S 劇遊び (指導法) S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	20	1	平野 久美子
授業の目的・目標					
園における表現活動や教育要領から、子どもにとっての表現の意義と、保育者の援助方法について学習する。領域「表現」のねらい、内容を理解し、実際に表現遊びの実践を行う。					
授業の概要					
保育所保育指針「表現」の学習。現場での劇遊びの実際を知り、グループで劇あそびの演習を楽しむ中で、保育指針改定で強調された「養護と教育が一体となった保育」について考察していく。					
成績評価の方法					
授業態度、レポートで評価する				授業態度	50%
				レポート	50%
使用テキスト・教材					
保育所保育指針・幼稚園教育要領 印刷物・絵本・小道具・大道具作りに使う教材					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 子どもにとって劇遊びとは 園での実践や教育要領との関連から		2	6. 内容「表現」「言葉」との関連 絵本を深く読む。		2
2. 年齢・月齢による表現活動のねらい		2	7. 表現活動の実践。テーマ性をもたせた表現活動。		2
3. 子どもとともにを行う表現活動 活動計画		2	8. 表現活動の実践。グループ活動。		2
4. 子どもとともにを行う表現活動 評価について		2	9. 表現活動発表。評価と反省。		2
5. 子どもとともにを行う表現活動 実践と中間発表		2	10. 課題解決学習。 反省を生かした表現活動の工夫。 レポート作成。		2
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K1-S32
授業科目名		授業形態		学科・コース	
The contents of childcareS 保育内容総論 S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	20	1	寺澤 達也
授業の目的・目標					
<p>①保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育内容」の関連を理解する。</p> <p>②子どもの発達特性や発達過程を踏まえて、観察や記録の観点を習得し、保育内容と子ども理解とのかわりについて学ぶ。</p> <p>③保育の多様な展開について具体的に理解する。</p>					
授業の概要					
<p>保育全体を理解するための資料及び具体的な実践事例等から学び合う。主体的な学びによって「子どもの発達や実態に即した保育内容を考え合う」保育内容の基本的な考え方を理解する。また、保育内容をより豊かにするための「テーマ」を考え、相互に発表し合う。</p>					
成績評価の方法					
授業への取り組み、課題の内容や提出方法、学習態度等を考慮し、総合的に判断し評価する。				期末試験	50%
				課題	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<p>必要に応じてプリント配布</p> <p>「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」</p>					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
①ガイダンス・授業内容の説明と予定		2	⑦テーマ保育の実際		2
②「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づいて保育全体の理解		2	～各自テーマ設定と立案		
③子どもの主体性を尊重する保育		2	⑧テーマ保育の発表⑨おもちゃ遊びが持つ力		2
④安心と楽しさと発見が息づく保育環境		2	～おもちゃを知る・選ぶ・遊ぶ		
⑤ピラミッドメゾットに学ぶ		2	⑩まとめ		2
⑥テーマ保育について		2	～保育の課題		
その他		関連科目			
<p>日常生活の中で、子どもの姿を意識して観察しましょう。常に柔軟な心で物事を捉える訓練を心がけてください。</p> <p>※実務経験のある教員が担当する科目である。</p>					

2020年度

こども保育科

2年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K2-K01
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Job Hunting Preparation Course I 就職活動準備講座 I			演習	全学科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	井本 美希
授業の目的・目標					
就職に向けて、自己に対する理解を深め、キャリア形成の土台となる自己概念を醸成する。					
授業の概要					
様々なツールを使いながら自己理解を深め、長所・短所の洗い出しをしながら。キャリア形成を進める。					
成績評価の方法					
授業を通じて感じた客観的な自己認識が出来ることと、そこからつながる進路の方向性が書かれていることを評価のポイントとする。				期末試験	30%
				演習課題	40%
				出席率	30%
使用テキスト・教材					
・就職活動 実践！ワークブック					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 自己紹介・ジョハリの窓		1	10. 働くことの意味		1
2. キャリアプランを考える		1	11. 社会人基礎力		1
3. 働くことについて考える		1	12. やりたいことを具体化する		1
4. エゴグラムを使った自己理解		1	13. 専門学校生活を計画する		1
5. コミュニケーションカードを使った自己理解と他者理解		2			
6. 金の糸を使った自己の棚卸		2			
7. 自己概念をひもとく		1			
8. 将来のことを考えるための自己理解		1			
9. 自分の強みと適職を考える		1			
その他			関連科目		
授業は実習室を使用します。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K2-K07
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Word processor, spreadsheet II ワープロ・表計算II		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	牧野 律子
授業の目的・目標					
保育現場では、パソコンを利用する機会が増えている。ワープロ・表計算Iで培った技術を踏まえ、より保育現場で役立つパソコンの技術を学習する。					
授業の概要					
幼稚園や保育所で作られている園だよりや発表会プログラムなどの文書類を、オフィスツール (Word) を活用し、作り上げることができる技術を習得する。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。課題の評価は、要求された機能の完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。				期末試験	40%
				課題	40%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
・保育者のためのパソコン講座					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. パソコンの仕組み		2			10
2. パソコンの基本的な操作		2			2
3. フォルダとファイル		2			
4. マウスとキーボード操作		2			4
5. ワードプロソフトの操作		2			4
6. プリプロセッサ		2			8
7. かんたんなお便り作成		2			4
8. 図表が入ったお便り作成		8			4
9. 実践演習		8			16
					4
					2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・ワープロ・表計算I ・ワープロ・表計算II		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K2-K10
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Childcare etiquette ----- 保育者マナー		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必須	30	1	安部 珠恵
授業の目的・目標					
<p>保育現場で必要とされる一般常識、ビジネスマナーを身につける。 保育士と保護者のコミュニケーションが円滑かつ正確に行われるために、敬語の使い方、報告、連絡、相談の仕方、電話応対を学び、実習現場で活かす。</p>					
授業の概要					
<p>すべてのマナーをロールプレイング実践で行うことで、相手の立場でマナーを理解することができる。どこを変化させればきちんと見えるのかを指摘しながら授業を進めていく。また、実習先の教員、保護者と正しい言葉遣いで会話ができるように具体的な状況を設定して練習をすすめる。</p>					
成績評価の方法					
<p>期末試験の得点、授業態度を総合的に評価したうえで決定する。 授業態度には出欠、課題の提出も含まれる。誠実かつ積極的な授業態度を高く評価する。</p>				試験	50%
				授業態度	50%
使用テキスト・教材					
これだけは身につけたい保育者の常識 67					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 第一印象の重要性	2	6. 電話応対			2
2. 挨拶、返事の重要性	2	6-1 電話の受け方、メモの残し方			2
3. インターシップマナー	2	6-2 電話の取り次ぎ方			2
3-1 自己紹介、挨拶、訪問のマナー		6-3 家庭への連絡、電話のかけ方			2
3-2 身だしなみ (スーツ着用)		7. メールの送り方 返信			2
3-3 話の聞き方		8. 手紙の書き方			2
4. 報告、連絡、相談の重要性	2	9. まとめ・解説			2
5. 正しい敬語の使い方	2				
5-1 敬語の仕組み	2				
5-2 アルバイト言葉、間違い敬語	2				
5-3 クッション言葉で依頼、断り方	2				
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である					

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	K2-K20
授業科目名			授業形態		学科・コース		
児童家庭福祉			講義		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必修	30	2	池田 信子		
授業の目的・目標							
子どもの養育する過程を取り巻く環境は、ますます厳しくなっている。特に子どもや子育て家庭をめぐる様々な問題が深刻化している。現代の家族や地域社会の状況や、その中で育つ子どものたちへの理解と対応ができるようになる。							
授業の概要							
学習する範囲は、子ども虐待、ドメスティックバイオレンス(DV)、いじめや不登校、社会的引きこもりなど。							
成績評価の方法							
査の得点、課題の評価点、授業態度、発言、学習意欲を総合評価したうえで決定する。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。					考査	40%	
					課題	30%	
					態度	40%	
使用テキスト・教材							
『児童家庭福祉』(ミネルヴァ書房)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. ガイダンス/現代社会と子ども家庭福祉①			2	13. 少子化対策と家庭支援②			2
2. 現代社会と子ども家庭福祉②			2	14. まとめ			2
3. 現代社会と子ども家庭福祉③			2	15. 考査			2
4. 子ども虐待①			2				
5. 子ども虐待②			2				
6. 子ども虐待③			2				
7. 社会的養護①(児童養護施設)			2				
8. 釈的養護②(乳児院・里親)			2				
9. 社会的養護③(ケース検討)			2				
10. ひとり親家庭①			2				
11. ひとり親家庭②			2				
12. 少子化対策と子育て支援①			2				
その他				関連科目			
・授業ごと、学習内容を振り返る。				・社会的養護 I ・社会的養護内容 S			

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	K2-K26
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Childcare principle 保育原理			講義		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	2	岡田 博次		
授業の目的・目標							
<p>保育の歴史的変遷について知ることができる。 要領等から見る保育の基本を学ぶことができる。 多様化する保育を理解し、実践につなげることができるようになる。</p>							
授業の概要							
<p>子ども子育て支援新制度施行以来、子どもに対する保育・教育のあり方や利用する保護者や子どもの状況は多様化している。「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育保育要領」を基本に、保育の基礎となる思想や歴史的変遷について理解し、保育のあり方について考察を深める。</p>							
成績評価の方法							
<p>期末試験の結果、授業中の態度や課題への取り組む姿勢などを総合的に評価する。</p>					期末試験	50%	
					学習意欲	30%	
					課題	20%	
使用テキスト・教材							
近畿大学九州短期大学発刊「保育原理」							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 保育の意義及び目的			1	1 2. 日本の保育			1
2. 子どもの最善の利益と保育			1	1 3. 保育の現状と課題①			1
3. 子どもを取り巻く環境			1	1 4. 保育の現状と課題②			1
4. 保育に関する法令			1	1 5. まとめ			1
5. 子ども子育て支援新制度			1				
6. 保育の実施体制			1				
7. 保育指針・教育要領			1				
8. 保育の目標			1				
9. 保育の内容			1				
1 0. 保育・教育課程			1				
1 1. 諸外国の保育			1				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。				教育原理			

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				K2-K29		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Psychology of Childcare 保育の心理学			講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	30	2	中村 洋子	
授業の目的・目標						
子どもの心理や精神保健、発達過程における特性を理解し、保育者としての見通しを持った援助が実践できるようになることを目標としていきます。また子どもが環境や人との関りを通じて発達、成長していくことを理解し、保育者としての役割を考察していきます。						
授業の概要						
心理学研究において見出されてきた数々の発達理論を紹介し、保育を実践するうえで必要な発達特性を理解していきます。授業では、習得した基礎的な知識を子どもや保護者との関わりの中でどのように役立ていけるかを考察し、具体的な事例を取り入れていくことで、以後の学びに繋げていきます。						
成績評価の方法						
学期末に行う筆記試験 (60%)、授業態度や取り組みの姿勢 (40%) など総合的に評価します。出席率は80%以上が評価の前提で遅刻などは減点の対象とします。				期末試験	60%	
				授業態度	40%	
使用テキスト・教材						
・授業毎に資料を配布します。						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. ガイダンス 発達とはなにか?			2	8. 発達障害について①		2
2. 子どもの遊びとは何か? 遊びの分類、絵本や童話を通して学ぶ			2	個人差に配慮した発達援助		
3. 認知の発達 ピアジェの認知発達理論			2	9. 発達障害について② 発達検査の種類と活かし方		2
4. 生涯発達とライフサイクル エリクソンのライフサイクル理論			2	10. ことばの発達について		2
5. 愛着の発達 ボウルビイの愛着理論ほか			2	11. 身体機能と運動機能の発達		2
6. 感情の発達と自我・情動の発達 自己の主体性の形成と発達援助			2	12. 知覚と認知の発達 感覚・知覚・思考・記憶の発達		2
7. 社会性・道徳性の発達 子どもの集団と保育の環境			2	13. 生涯発達を見据え得た発達支援 乳児期～幼児後期の発達課題		2
			2	14. 保護者との適切な関わりとは		2
			2	15. 発達理論の振り返り 保育の役割と課題 試験		2
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・子ども家庭支援の心理学			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K2-K30
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Psychology of Support for Children and Families 子ども家庭支援の心理学		講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	2	中村 洋子
授業の目的・目標					
現代の親子関係や家族関係のライフサイクルを理解し、子育てや家庭をめぐる諸問題について考えていきます。また子ども家庭福祉に関する心理学的知識や家庭の意義と機能を考察し、子育てを取り巻く社会の現状を理解していきます。					
授業の概要					
保育者として包括的な視点の中で、理論の理解と実践力が身につく授業を行います。また家庭を援助する保育者の役割についての考察を深めることができるように、ディスカッション取り入れていきます。そのうえで他者の考えや自らの志向性を意識しながら、援助者としての主体性を確立していきます。					
成績評価の方法					
学期末に行う筆記試験 (70%)、授業態度や取り組みの姿勢 (30%) など、総合的に評価します。出席率は、80%以上が前提で遅刻などは減点の対象とします。				期末試験	70%
				授業態度	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・白川佳子・福丸由佳『子ども家庭支援の心理学』中央法規 ・授業毎に資料を配布します。 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. ガイダンス 生涯発達とライフサイクル	2	9. 多様な家庭の理解と対応	2		
2. 乳幼児期から幼児期にかけての発達	2	10. 特別な配慮を要する家庭の理解と対応 虐待・障害・貧困	2		
3. 学童期の発達	2	11. 育児不安の理解と対応	2		
4. 青年期の発達	2	ペアレント・プログラムの概要	2		
5. 成人期・老年期の発達	2	12. 子どもの生育歴とその影響	2		
6. 家族・家庭の意義と機能 家庭を取り巻く社会の動向	2	13. 子どもの精神保健と対応	2		
7. 親子関係、家族関係の理解 現代家庭の多様化と課題	2	14. 保育者として子どもと家庭を支援することの意義	2		
8. 子育てを取り巻く現状と課題	2	15. 試験 振り返り	2		
その他		関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。		・保育の心理学			

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				K2-K31	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Child family support theory 子ども家庭支援論			講義		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	2	栗田 高典
授業の目的・目標					
子育て家庭への支援が必要とされる背景を認識し、家庭支援の必要性について学び、考察を深める。					
授業の概要					
家族支援が必要とされる社会的背景について、事例を通して理解を深めます。さらにソーシャルワークの理論をふまえ、効果的な支援のあり方や今後の課題について考えていきます。					
成績評価の方法					
レポート、受講時の参加態度、筆記試験で総合的に判断します。				レポート	20%
				受講態度	20%
				筆記試験	60%
使用テキスト・教材					
・橋本真紀・山縣文治編『よくわかる家庭支援論』ミネルヴァ書房					
授業内容・授業計画			時間数		
1.オリエンテーション 今後の授業のあり方とレポートの書き方を説明する。			2	8.保育・子育て支援における家庭支援②	2
2.家族の存在と意義 ①			2	9.保育・子育て支援における家庭支援③	2
3.家族の存在と意義 ②			2	10.育・子育て支援における家庭支援④	2
4.結婚・家庭生活とジェンダー①			2	11.障害児の家庭支援①	2
5.結婚・家庭生活とジェンダー②			2	12.障害児の家庭支援②	2
6.保育・子育て支援における家庭支援①			2	13.児童虐待の予防と家庭支援①	2
7.前半の振り返り			2	14.家庭支援の課題と今後の展望	2
				15.総括 筆記試験	2
その他			関連科目		
※单元ごとに演習課題を実施する。					

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				K2-K32	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Special support for young children 幼児への特別な支援			講義		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	15	1	池田 信子
授業の目的・目標					
1. 一人ひとりの発達上の課題に対する特別な教育・保育ニーズの観点から障害理解を促す。 2. 特別支援教育・保育を支える理念や歴史の変遷について学び、障害児及びその保育について理解する。 3. 特別な支援が必要な子どもへの支援と家族支援、関連機関との連携を学ぶ。					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・園に多く在籍する「発達障害」の子どもと家族の支援を中心に学ぶ。 ・テキストだけではなく、事例やケースを学び、実践力を身につける。 ・著書や視聴学習からも、障がいのある子どもと家族の支援についての学びを深める。 					
成績評価の方法					
考査の得点、課題の評価点、授業態度、発言、学習意欲を総合評価したうえで決定する。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。				考査	50%
				レポート題	25%
				授業態度	25%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・「よくわかる障害児保育」 ミネルヴァ書房 ・関連する新聞、手記など 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ガイダンス/障害児保育の概観			2		
2. 障害児保育の仕組み			2		
3. 発達障害について学ぶ①			2		
4. 発達障害について学ぶ②			2		
5. 統合保育			2		
6. 事例からの検討①			2		
7. 事例からの検討②			2		
8. まとめ			2		
その他			関連科目		
※授業ごと、学習内容を振り返る。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・障害児保育 S		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				K2-K34	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Children's Health 子どもの保健		講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	2	渡辺 留美
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心身の健康増進を図る保険活動の意義を理解する。 ・子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する。 ・子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する。 ・子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する。 					
授業の概要					
医療用語が多いため、難しく、理解しにくいと感じることも多いかと思う。テキスト、参考文献、資料を用い、最新の知識、情報を学べるように講義をすすめる。					
成績評価の方法					
レポート、試験に基づき、総合的に評価する。				試験	50%
				レポート	40%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
テキスト：「よくわかる子どもの保健 第3版」竹内義博・大矢紀昭編 ミネルヴァ書房 2012年 参考文献：「わかりやすい子どもの保健」西村昂三 同文書院 2012年 「子どもの保健Ⅰ」佐藤益子編著 ななみ書房 2019年 「子どもの保健Ⅰ・Ⅱ」小國美也子 日本小児医事出版社 2016年					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 子どもの心身の健康と保健の意義		1	3. 子どもの心身の健康状態とその把握		
①生命の保持と情緒の安定に係る保健活動の意義と目的			①健康状態の観察		2
②健康の概念と健康指標		1	②心身の不調等の早期発見		4
③現代社会における子どもの健康に関する現状と課題		2	③発育・発達の把握と健康診断		2
④地域における保健活動と子ども虐待防止		2	④保護者との情報共有		2
2. 子どもの身体的発育・発達と保健			4. 子どもの疾病の予防及び適切な対応		
①身体発育及び運動機能の発達と保健		2	①主な疾病の特徴		4
②生理機能の発達と保健		4	②子どもの疾病の予防と適切な対応		4
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・子どもの健康と安全S		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K2-K35
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Children's Food and Nutrition ----- 子どもの食と栄養			講義	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	15	1	末永 美雪
授業の目的・目標					
小児の発達・発育の特性、健康・栄養に関する基本的な知識を踏まえ、小児期における発達段階に応じた栄養法、食生活、集団給食（保育所給食）、食育の重要性を理解する。					
授業の概要					
保育者として、子どもに適切な食事環境を提供できるよう、それぞれの発達段階の特性や、栄養について理解させ、調理技能の習得を目指す。					
成績評価の方法					
期末試験と課題、平常点（学習意欲）を総合的に評価する				期末試験	50%
				課題	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
テキスト：二見大介・高野 陽 編著、『子どもの食と栄養』、北大路書店 2017 年版 参考文献：『食品成分表』 女子栄養大学出版部 菅原 園他『発育期の子どもの食生活と栄養』、学建書院					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1、栄養に関する基礎知識			2		
2、乳児期の授乳栄養について			4		
3、離乳栄養について			4		
4、幼児期の栄養について			2		
5、幼児期の栄養上の問題点と食育			2		
6、小児期の食生活について			2		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			子どもの食と栄養 S		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K2-K34
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Infant nursery 乳児保育			講義	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択	15	1	山田 美由貴
授業の目的・目標					
1. 乳児保育の理念と歴史の変遷及び役割について学ぶ 2. 乳児保育の現状と課題(家庭的保育・保育所・乳児院などの現状と課題) 3. 胎生期から、3歳未満時の成長と発達段階を学び、健やかな成長のための養護と生活、遊びについて理解をする。 4. 乳児保育の計画を作成し、個人差・年齢差を理解し、観察・評価の技術の習得をする。 5. 乳児保育における保護者や関係機関との連携について理解し保育を取り巻く環境について、学ぶ。					
授業の概要					
保育の専門職あるいは保護者として、そのかけがえのない生命の保護と健やかな成長発達を促すための保育・養護の知識と技術・態度を習得する。命を育むために、保育者自身の身体健康について理解を深める。各期の成長と発達段階を学び、対象への愛情深い養護や生活上の保育方法、子育て環境の変化・ニーズに即した育児支援ができるために必要な知識・技術・態度を学習する。					
成績評価の方法					
① 筆記試験(50%) ② 受講態度、演習やグループワークなどの積極的な取り組み姿勢を重視(30%) ③ 演習記録(20%)					
使用テキスト・教材					
はじめて学ぶ「乳児保育」 同文書院 新版『子どもの保健』 ななみ書房 子どもの健康と安全 ななみ書房					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
①コミュニケーションと自己紹介・乳児を保育することの意義		1	⑥乳幼児期の身体発育発達とその特徴(発育区分・身体発達・生理機能)		1
②「いのちのはなし」対話授業・助産師からのメッセージ		1	⑦乳幼児の安全管理(危機管理・ヒヤリハット・アナフィラキシーショック)		1
③生命を育むことⅠ		1			
④生命を育むことⅡ		1	⑧小児の看護(健康観察・疾病の特徴)・テスト		1
⑤乳幼児期の身体発育発達とその特徴(乳幼児期の発育)		1			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			子どもの保健 子どもの健康と安全 S[乳児保育Ⅱ S		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K2-K41
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Education Consultation 教育相談		講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	2	中川 松枝
授業の目的・目標					
保育者が保護者と子ども、保護者が子どもと、よりよい関わりを築いていくために役立つ心理学やカウンセリングの理論、対人間関係技術について学習する。					
授業の概要					
①保護者を支えることの基本的な考え方やそのために必要なカウンセリングや心理学の基本的な理論とカウンセリングの技法 ②日常の保護者との関わり方、支援の方法、精神疾患のある保護者の理解と対応 ③保護者支援のための知見、開発的な取り組み、保育者自身の自己成長 ④本科目の一部は、認定絵本士養成講座カリキュラムに基づき行われる。					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> 通常授業での積極性や理解度等の通常点 レポート課題に対する取り組み、作成 科目終末試験 認定絵本士取得にあたり、該当する単元は全講義出席を条件とする。 				通常点	10%
				レポート	45%
				試験	45%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援カウンセリング—幼稚園・保育所で行う保護者の心のサポート 石川洋子編集 図書文化社 2017年 福音館 中村征子著 「絵本の本」 ・東京こども図書館 「よみきかせのきほん」 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 基本的な考え方			・精神疾患の疑いのある保護者の理解と対応		2
・基本的な考え方の理解		2	・心に寄り添う絵本 (心のケアと絵本の可能性)		2
・保護者の心を支える子育て支援の必要性、ネットワークづくり		2	3. 開発的な取り組み		
・カウンセリング理論		4	・親としての成長を支える		2
・カウンセリング技法		2	・構成的グループエンカウンター		2
2 日常的な実践のポイントを理解			・親の会へのサポートの実際		2
・日常の保護者との関わり方		2	・保育者として自分と向き合う		2
・養育困難をかかえる保護者への支援		2	・まとめ		2
・障害のある子どもをもつ保護者への支援		2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			実技演習Ⅰ(絵本)・実践講座Ⅱ・こどもと絵本造形表現(指導法)・児童文化S・障害児保育S		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-K42
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Pre-training post-mortem instruction II 実習事前事後指導II		講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	2	江塚 会里
授業の目的・目標					
単位実習の全体的な枠組みを理解し、実習に挑む心構えを作るとともに、指導計画案の作成や実習日誌の書き方等にかかわる知識と技能を、身につけることを目的とする。					
授業の概要					
近畿大学九州短期大学の履修科目である実習事前事後指導Sの理解をさらに深めるために学校独自が設定した実習指導である。単位実習の意義を理解した上で、各実習に対応できるよう単位実習全般にかかわる内容を学習する。					
成績評価の方法					
出席状況、授業態度、学習意欲、課題、保育指導案を総合評価したうえで決定する。				出席状況	20%
				授業態度	30%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド 教育・保育実習実技ガイド ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針 ・配布資料 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	オリエンテーション 実習の意義	2	11.	保育指導案の発表と指導	4
2.	個人票の作成実習の目標 (抱負)	2	12.	実習の振り返り	2
3.	実習日誌記入上の注意	2	13.	お礼状作成 まとめ	2
4.	実習記録の書き方①～⑤	8			
5.	オリエンテーションの受け方 電話のかけ方	2			
6.	保育指導案の考え方	2			
7.	保育指導案の実際 (作成) 部分実習	4			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習 ・保育実習 		

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				K2-K47	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Practical Exercises II 実技演習II			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	20	1	前田 由美子
授業の目的・目標					
・幼稚園教諭や保育士になるために必要なペープサートやシアターなどを作り、子ども達を引き付ける話し方や演じ方を学ぶ。					
授業の概要					
子ども達の前に立つことを意識し、興味を引くものは何かを考えながら製作していく。また、それをどんな場面で活用していくのか、どう演じたら効果的になるのかを考え、創意工夫をさせていく。					
成績評価の方法					
作品の完成度及び、製作過程の様子や工夫、それを使った演じ方などを総合して判定する。課題の未提出が1つでもあれば、成績の評価は行われぬ。また、授業態度や準備物も加見する。					作品 70% 授業態度 30%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ペープサート製作			2		
2. ペープサートの発表			2		
3. 傘を使った人形劇製作			6		
・ あまのすけとでんたろう					
4. 人形劇の発表			2		
5. パネルシアター製作			6		
6. パネルシアターの発表			2		
その他			関連科目		
※他の実技演習IIを合わせて30時間1単位とする。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・実技演習I ・実技演習II		

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				K2-K47	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Practical Exercises II 実技演習II			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	10	1	平野 久美子
授業の目的・目標					
日本の季節（二十四節気）について学び、幼稚園、保育所、こども園で行われている季節ごとの行事を知る。					
授業の概要					
二十四節気の呼び名とともに名前の由来や風土の気候、園での取り扱われ方などを、画像や実物で触れていく。まとめとして、季節を取り入れた実習園へのメッセージカードを作成する。					
成績評価の方法					
毎時間の授業態度、まとめプリント提出状況。最後の時間の製作物をもって評価する。					作品 70% 授業態度 30%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 二十四節気紹介・春（立春から穀雨まで・春の行事と絵本・歌）			2		
2. 二十四節気紹介・夏（立夏から大暑まで・夏の行事や絵本・歌）			2		
3. 二十四節気紹介・秋（立秋から霜降まで・秋の行事や絵本・歌）			2		
4. 二十四節気紹介・冬（立冬から大寒まで・冬の行事や絵本・歌）			2		
5. 季節を取り入れたメッセージカードを作成する。			2		
その他				関連科目	
※他の実技演習IIを合わせて30時間1単位とする。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。				・実技演習I ・実技演習II	

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				K2-K45		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Music Playing 音楽演奏Ⅱ			演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	90	3	依田 真理子	
授業の目的・目標						
保育者として必要な音楽演術を身に付け、実践的な音楽教育を学習する。						
授業の概要						
1年時に学習した音楽の基礎を基に、更なる音楽技術の向上を図る。						
成績評価の方法						
月ごとに共通の課題曲の簡易テストを実施し、学期末は自分で選択した曲の演奏形式のテストを行う。また日々の練習態度等も含めて、総合的に判定する。				演奏	60%	
				授業態度	40%	
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ教本、声楽教本 近畿大学九州短期大学通信教育部 ・こどものうた100 株式会社チャイルド本社 						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. ソルフェージュ				③コード進行		4
①新曲視唱4			4	④コード付け		8
②聴音4			4	4. リズム学習		4
2. 弾き歌い				5. 演奏指導		36
①土右手のメロディー弾き			4	6. 期末試験		4
②両手によるイ半演奏			4			
③弾き歌いとバリエーション			10			
3. 伴奏付け						
①コード			4			
②バス進行			4			
その他			関連科目			
各単元と演奏指導は並行して行う ※実務経験のある教員が担当する科目である。			幼児と音楽表現S 音楽表現(指導法)S 音楽表現技術S			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K2-K52
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Practical Subjects II 実践講座II (絵本)			演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	14	1	青木直子・横井暁子 井澤真以子・江塚会里
授業の目的・目標					
・絵本の体系やジャンル、子どもをとりまく環境の中で絵本と出会う場所について学び、絵本に関する知識を深める。					
授業の概要					
本科目は、認定絵本土養成講座カリキュラムに基づき行われ、絵本の体系やジャンル、子どもと絵本との出会い等、主体的に学ぶことを通して、認定絵本土に必要な知識・技能・感性を身につける。					
成績評価の方法					
授業態度、演習、小テスト、レポート等を総合的に評価する。 認定絵本土取得にあたり、該当する単元は全講義出席を条件とする。				授業態度	50%
				演習	25%
				テスト・レポート	25%
使用テキスト・教材					
・福音館 中村征子著 「絵本の本」 ・東京こども図書館 「よみきかせのきほん」 ・月刊絵本 (福音館 こどものとも年中向き)					
授業内容・授業計画					
1. さまざまなジャンルの絵本① (物語絵本)			時間数	2	
2. さまざまなジャンルの絵本② (昔話、童話を基にした絵本)			時間数	2	
3. さまざまなジャンルの絵本③ (科学絵本)			時間数	2	
4. 絵本と出会う① (はじめての絵本との出会い)			時間数	2	
5. 絵本と出会う② (保育・教育の場での絵本との出会い)			時間数	2	
6. 絵本と出会う③ (図書館等での出会い～絵本の活用及び地域連携の可能性～)			時間数	2	
7. 絵本と出会う④ (書店での出会い)			時間数	2	
8. 絵本と出会う⑤ (絵本制作体験)			時間数	2	
その他			関連科目		
※担当教員ごと演習課題または小テストを実施する。 ※他の実践講座IIを合わせて30時間1単位とする。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			実技演習I (児童文学)・こどもと絵本 造形表現 (指導法)・児童文化S 障害児保育S・教育相談		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				K2-K52	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Practical Subjects II 実践講座II			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	10	1	青木 直子
授業の目的・目標					
・3年間を通して、赤ちゃん絵本・創作絵本・科学絵本・昔話絵本についての知識と見分を広める。					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの創作絵本・科学絵本に接し、それらの絵本について理解する。 ・毎回の授業の中でストーリーテリングや絵本を聞く。 ・学生も「読む」演習を積極的にする。 					
成績評価の方法					
・授業態度、演習、レポート等を総合的に判断する。				授業態度	30%
				演習	30%
				レポート	40%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・「よみきかせのきほん」東京こども図書館 ・「絵本の本」中村征子著 ・月刊絵本 (年少版) 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. オリエンテーション 1年の復習「絵本とは」			2		
2. 絵本の読み方・持ち方の実習 「絵本を読む」指導者よりアドバイス			2		
3. 良い絵本の条件「子どもが主人公に同化して楽しめる話」絵本の検証			2		
4. 良い絵本の条件「行って帰る話」絵本の検証			2		
5. 絵本の楽しみ方			2		
その他				関連科目	
<ul style="list-style-type: none"> ※実務経験のある教員が担当する科目である。 ※他の実践講座IIを合わせて30時間1単位とする。 				実技演習 I (児童文学)・こどもと絵本 造形表現 (指導法)・児童文化 S 障害児保育 S・教育相談	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K2-K52
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Practical Subjects II 実践講座II			演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	6	1	笠原 めぐみ
授業の目的・目標					
保育現場で行われる行事「誕生会」の目的や内容、保育者の援助について学ぶ。					
授業の概要					
「誕生会」をテーマに、保育現場で行われている誕生会を想定したプログラムの内容を体験的に学び、実践する。					
成績評価の方法					
出席状況、授業態度、学習意欲、製作物や課題提出、実技試験等を総合評価したうえで決定する。				授業態度	50%
				課題・試験	50%
使用テキスト・教材					
プリント 見本の製作物					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 誕生会製作「かんむり」2種類			2		
2. 誕生会製作「メダル」3種類			2		
3. 誕生会のプログラム			2		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。 ※他の実践講座IIを合わせて30時間1単位とする。			・実践講座I ・実践講座III		

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード		K2-K54	
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Infant Physical Education Instructor 幼児体育指導者			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必須	30	1	日本幼少年体育協会 指導員		
授業の目的・目標							
幼児体育に関する基礎知識や、運動指導法について、マット運動、ボール遊び、ゲーム遊びなどの実技を学ぶ。							
授業の概要							
講義・・・発育発達、幼児体育論、指導プログラム 実技・・・マット運動（手本と補助）、なわとび（手本と補助）、とび箱（手本と補助）							
成績評価の方法							
全授業参加者が評価対象の条件である。 実技及び筆記の検定を行う。					筆記	50%	
					実技	50%	
使用テキスト・教材							
・幼児体育（応用編）							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. オリエンテーション			2				
2. 学科講習			4				
3. 実技講習（ダンス）			6				
4. 学科テスト			4				
5. 実技講習（マット・跳び箱）			6				
6. アドバイス			2				
7. 自主練習			4				
8. 実技テスト			2				
その他				関連科目			

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				K2-K58	
授業科目名			授業形態		学科・コース
General Seminar on Childcare 保育総合演習Ⅱ			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	狩俣 進
授業の目的・目標					
人形劇制作からグループワークを体験し、人とのコミュニケーションや実際の保育現場における園児、保護者との信頼関係を作る力を身につける。					
授業の概要					
保育におけるさまざまな表現方法の中から、方法や題材を選び、保育現場における表現活動について制作を進め、一つの作品をつくりあげる。主に人形劇、影絵等の作品づくりに取り組む。					
成績評価の方法					
学習意欲・授業態度、作品内容、発表の総合評価とする。					意欲態度 40%
					作品内容 40%
					発表 30%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 影絵の仕組みと表現方法			2		
2. 影絵劇用セットの製作			4		
3. 手影絵をやってみよう			4		
4. 手影絵でストーリーのあるメッセージを表現しよう			4		
5. 影絵劇の製作			14		
6. 発表			2		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K2-K60
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Children and the Environment I 子どもと環境 I		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	山崎 努
授業の目的・目標					
<p>畑がなくてもできる野菜栽培方法や自然物を使った「遊び」を身につける。 教育・保育現場で子どもたちの興味関心に寄り添いながら自然に関する活動の環境設定ができるようになる。 四季（季節）を意識できるようになる。</p>					
授業の概要					
<p>私たちの身近にある自然に触れ、親しみ、遊び、食べること等を通して、教育・保育現場で役立つ知識・技能を、実際にカラダを動かしながら学びます。</p>					
成績評価の方法					
<p>受講態度、授業内容をまとめたファイルの評価点、期末試験の得点を総合評価したうえで決定する。 各回に配布する資料には、自身の気づきや学びを書き込み、教育・保育現場で活用することを視野に入れまとめる（ファイリングする）こと。</p>				受講態度	50%
				ファイル	40%
				期末試験	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜プリントを配布する。 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. ガイダンス		2	10. 身近な自然素材を使ったおもちゃ どんぐり初級編		2
2. 野菜の袋栽培について		2	11. 身近な自然素材を使ったおもちゃ どんぐり中級編		2
3. 袋栽培：サツマイモ		2	12. 身近な自然素材を使ったおもちゃ どんぐり上級編		2
4. 身近な素材：飛ぶおもちゃ		2	13. 野菜の収穫：大根・サツマイモ		2
5. 身近な素材：音がなるおもちゃ		2	14. おでん作り・焼き芋作り		2
6. 危険予知トレーニング		2	15. 期末試験		2
7. 袋栽培：大根		2			
8. 袋栽培：ラディッシュ・カブ		2			
9. 袋栽培：ジャガイモ		2			
その他		関連科目			
<p>※自然活動が基本となるので、動きやすく季節に合った服装で受講すること。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。</p>					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度	
				科目コード	K2-S20	
授業科目名		授業形態		学科・コース		
Music expression 音楽表現技術S		演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	20	1	依田 真理子	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・「幼児と音楽表現S」での学修を元に、より実践的な歌唱法、ピアノ演奏法、伴奏法、表現法を習得する。 ・教育現場に必要な声楽曲や弾き歌いのレパートリーを増やす。 						
授業の概要						
子どもの歌やコールキューブンゲンを歌うことでレパートリーを増やし音程の感覚を養う。楽典の作品解釈を行い、音楽表現の向上と音楽方法についても検討する。						
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験成績 ・授業への積極的参加(質問など) ・演奏が途中で止まった場合でも、焦ることなく再度演奏して下さい。 				実技試験	80%	
				授業態度	20%	
使用テキスト・教材						
・テキスト:「音楽 (声楽教本)」「音楽 (ピアノ教本)」						
授業内容・授業計画						
		時間数			時間数	
1. コールキューブンゲン : 18・19	2	6. 子どもの歌 : 3・4・5・7			2	
2. コールキューブンゲン : ~23 ピアノ弾き歌い : 3~5	2	ピアノ弾き歌い : 25・27・31・32・34				
3. コールキューブンゲン : 25・26・28 ピアノ弾き歌い : 6・7・8	2	7. 子どもの歌 : 8・12・13・16 ピアノ弾き歌い : 38・39・48・49			2	
4. コールキューブンゲン : 32・34 ピアノ弾き歌い : 10・12・15	2	8. 子どもの歌 : 18・20・21・36 ピアノ弾き歌い : 52・53・54・55			2	
5. コールキューブンゲン : 36・40 ピアノ弾き歌い : 17・19・20・22	2	9. 子どもの歌 : 38・39・42・44 ピアノ弾き歌い : 59・62・67 復習			2	
			10. 実技試験			2
その他		関連科目				
※実務経験のある教員が担当する科目である。		幼児と音楽表現S 音楽表現 (指導法) S 音楽演奏				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度	
				科目コード	K2-S06	
授業科目名		授業形態		学科・コース		
Infants and Formative Expressions S ----- 幼児と造形表現 S		演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	20	1	戸塚 恵	
授業の目的・目標						
様々な素材や表現方法を通して自己表現する楽しさを知り、表現者として主体的に取り組むことで、幼児の造形表現への理解を深め、豊かな創造性を育み、必要な援助と成長を見守れる保育者の育成と実践的造形教育指導の習得を目指す。						
授業の概要						
デカルコマニー、マーブリング、スクラッチ、スパッタリングなど図画の基礎的技術の習得とそれらに応用した作品制作。粘土や工作を通して、道具や材料の使い方安全指導を学びながら作品を制作。それぞれの作品作りの感想をまとめながら指導に生かすポイントを精査する。						
成績評価の方法						
基礎的技術の取得度合い、作品の完成度、感想や制作ポイントのまとめ学習意欲を総合的に評価する。				課題制作	70%	
				感想文	15%	
				学習意欲	15%	
使用テキスト・教材						
画用紙、絵の具、スパッタリング、割りばし、粘土、糊、ハサミ、カッター、接着剤、各自必要な工作材料など						
授業内容・授業計画						
1. お絵描き技法			時間数	② 実物大の手を作ろう!		時間数
① スクラッチ			1	4. 廃棄物を使った工作		3
② はじき絵			1	動物・乗り物・ロボットのうち二		6
③ ドリッピング			1	つ選んで制作する。		
④ たんぽ			1			
⑤ デカルコマニー			1			
⑥ マーブリング			1			
⑦ 技法の手順ポイントまとめ			1			
2. クレパスによる絵画			3			
3. 粘土						
① 基礎造形 (油粘土の使い方)			1			
その他			関連科目			
※単元ごとの演習課題を実施する。			・造形表現 (指導法) ・造形表現 (指導法) S			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K2-S10
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Infants and Health 幼児と健康S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必須	20	1	江川 博一
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・「今の時代を生きる子どもたち」に対する運動あそびのもつ教育的意義について説明できる ・各種の運動あそびを素材とした短期の指導計画を作成することができる ・運動あそびの「ねらい」を実現するために必要な効果的な指導技術を習得する 					
授業の概要					
幼児期の運動あそびを体験することを通して、保育者として必要な運動あそびのレパートリーを増やすこととバリエーションの広げかたを理解するとともに、運動遊びの指導に必要な保育技術についても検討する					
成績評価の方法					
実技中のグループワークへの取り組み				ワーク	30%
運動遊びの意義についてのレポート				レポート	35%
年長児を対象とした運動遊びの指導計画				指導計画	35%
使用テキスト・教材					
・配本テキスト					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. オリエンテーション			1	11. フープを使った運動あそび	
2. アイスブレイク			1	12. 新聞紙を使った運動あそび	
3. コミュニケーションゲーム			1	13. 鬼遊び (集団づくりの実践)	
4. 長縄を使った運動あそび			1	14. 反射的運動段階の指導・支援	
5. パラバルーンを使った運動遊び			1	15. 初歩的運動段階の指導・支援	
6. ボールを使った運動あそび			1	16. 基本的運動段階の指導・支援	
7. 短なわを使った運動あそび			1	17. 伝承あそび	
8. その他器具を使った運動あそび			1	18. ドッジボール指導法	
9. 運動あそびの安全管理			1	19. リズム運動の実践	
10. 幼児向けの準備運動			1	20. まとめ	
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する			<ul style="list-style-type: none"> ・健康科学 ・生涯スポーツS ・健康 (指導法) S 		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K2-S14
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Childcare for children with disabilities 障害児保育S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	20	1	池田信子
授業の目的・目標					
<p>①一人ひとりの発達上の課題に対する特別な教育・保育ニーズの観点から様々な障がいを理解する。</p> <p>②特別支援教育・保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障がい児及びその保育について理解する。</p> <p>③特別な支援が必要な子どもへの支援と家族支援、関連機関との連携を学ぶ。</p> <p>④障がい児者、病児に対しての、絵本の選択や紹介にあたり、配慮する人について理解する</p>					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある子どもを持つ家族に触れる体験をする ・保育現場で障がいのある子どもと関わる保育士や支援者から話を聞く ・障がい児者に絵本を紹介する技術を学ぶ ・本科目の一部は、認定絵本土養成講座カリキュラムに基づき行われる。 					
成績評価の方法					
考査の得点、課題の評価点、授業態度、発言、学習意欲を総合評価したうえで決定する。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。 認定絵本土取得にあたり、該当する単元は全講義出席を条件とする。				考査	20%
				課題	50%
				授業態度	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・関連する新聞、手記、DVD 視聴など ・福音館 中村征子著 「絵本の本」 ・東京こども図書館 よみきかせのきほん 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. ガイダンス/障害の概念		1	11. 絵本を紹介する技術③ (支援が必要な人々や高齢者への絵本の役割)		4
2. 障害のある子どもの権利		2			
3. インクルーシブ教育		1	12. まとめ		1
4. 肢体不自由児の理解と支援		1			
5. 視覚障害児・聴覚障害児の理解と支援		1			
6. 重症心身障害児・医療的ケア時の理解と支援		1			
7. 病弱児の理解と対応		2			
8. 発達障害児の理解と対応①		2			
9. 発達障害児の理解と対応②		2			
10. 特別な配慮を必要とする子どもの理解と対応①(虐待・貧困)		2			
その他			関連科目		
※授業ごと、学習内容を振り返る。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・幼児への特別な支援		

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	K2-S17
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Children's Food and Nutrition S 子どもの食と栄養S			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	20	1	末永 美雪		
授業の目的・目標							
小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、集団給食、食育の重要性を理解できる。							
授業の概要							
講義として基礎知識を学び、それを踏まえて調理実習と食育活動を体験することで、保育者として小児に適切な食事を提供できるよう、各時期の適切な栄養法を理解するとともに調理技能を習得する。また、効果的な食育を理解し実践できるスキルを習得する。							
成績評価の方法							
調理実習及び食育への学習意欲・取り組み状況、実習課題、実習記録等を総合的に評価する						実習記録	50%
						課題	30%
						学習意欲	20%
使用テキスト・教材							
テキスト：二見大介・高野 陽 編著、『子どもの食と栄養』、北大路書店 2017年版 参考文献：『食品成分表』 女子栄養大学出版部 菅原 園他『発育期の子どもの食生活と栄養』、学建書院							
授業内容・授業計画							
1 日目			時間数	2 日目			時間数
1 時間目 乳児期の授乳栄養について			1	1 時間目 幼児期の食育について			1
2 時間目 調乳実習			1	(絵本を使った効果的な食育)			
3 時間目 離乳栄養について			1	2 時間目 幼児食調理実習			1
4 時間目 離乳食実習			1	(出汁のとり方・食材の選び方)			
5 時間目 離乳食実習			1	3 時間目 幼児食調理実習			1
				(お弁当・アレルギー対応食)			
				4 時間目 幼児食調理実習			1
				(お弁当・アレルギー対応食)			
				5 時間目 間食の調理実習			1
				(水分補給と手作りおやつ)			
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。				子どもの食と栄養			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K2-S18
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Social conservation II S 社会的養護 II S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	20	1	徳田 義盛
授業の目的・目標					
<p>子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について社会的養護 I の内容を更に深め、施設養護と家庭養護の実際と課題、支援計画の立案や相談援助・ソーシャルワーク技術など社会的養護における保育士としての専門的技術についての基礎的な理解を深め、施設の小規模かつ地域分散化、施設と里親との連携、児童の権利擁護など今後の社会的養護の課題と展望について考察する。授業の後半では、実際の児童養護施設において社会的養護の現場を体験し、社会的養護の現状と課題を考察する。</p>					
授業の概要					
<p>1 日目は、テキストの内容に沿って基本的な内容を復習しながら、アセスメントや記録、モニタリング、相談援助、ソーシャルワーク等についての基礎的な理解を深め、実技・演習を行う。2 日目は、社会的養護の施設現場に出向き、実際の保育場を体験し、共有と振り返りを行うことで、これまでの学びを更に深める。</p>					
成績評価の方法					
<p>テキストの内容を中心とした理解度の確認と、授業に臨む積極的な態度、レポートにより評価する。</p>				<p>期末試験 50% 課題 25% 態度 25%</p>	
使用テキスト・教材					
<p>テキスト：小木曾宏他編『よくわかる社会的養護内容 第3版』ミネルヴァ書房 2015年 参考文献：吉田眞理著『児童の福祉を支える〈演習〉社会的養護内容 第3版』萌文書林 2016年 嶋中義久編『社会的養護内容総論 [その理論と実際]』同文書院 2014年 中野菜穂子／水田和江編『社会的養護の理念と実践』みらい 2012年</p>					
授業内容・授業計画					
<p>〈1 日目〉 講義形式</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> オリエンテーション <input type="checkbox"/> 社会的養護の実施体系 <input type="checkbox"/> 自立支援計画と多職種・他機関連携 <input type="checkbox"/> ファミリーソーシャルワーク <input type="checkbox"/> 里親支援ソーシャルワーク <input type="checkbox"/> 施設の小規模かつ地域分散化 <input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護と保育士の倫理 <input type="checkbox"/> 実習計画 		<p>時間数</p> <p>1 1 1 1 1 1 1 0.5</p>	<p>〈2 日目〉 実習形式</p> <p>児童養護施設「和光寮」における 実習 共有と振り返り</p>		<p>時間数</p> <p>5 2.5</p>
その他			関連科目		
<p>1 日目、2 日目とも会場は、講師の勤務先でもある「児童養護施設和光寮」（浜松市西区）にて実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。</p>			社会的養護 I		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K2-S19
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Infant nursery II S 乳児保育II S			演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	20	1	山田 美由貴
授業の目的・目標					
1. 乳児保育の理念と歴史の変遷及び役割について学ぶ 2. 乳児保育の現状と課題(家庭的保育・保育所・乳児院などの現状と課題) 3. 胎生期から、3歳未満時の成長と発達段階を学び、健やかな成長のための養護と生活、遊びについて理解をする。 4. 乳児保育の計画を作成し、個人差・年齢差を理解し、観察・評価の技術の習得をする。 5. 乳児保育における保護者や関係機関との連携について理解し保育を取り巻く環境について、学ぶ。					
授業の概要					
保育の専門職あるいは保護者として、そのかけがえのない生命の保護と健やかな成長発達を促すための保育・養護の知識と技術・態度を習得する。命を育むために、保育者自身の身体健康について理解を深める。各期の成長と発達段階を学び、対象への愛情深い養護や生活上の保育方法、子育て環境の変化・ニーズに即した育児支援ができるために必要な知識・技術・態度を学習する。					
成績評価の方法					
① 筆記試験(50%) ② 受講態度、演習やグループワークなどの積極的な取り組み姿勢を重視(30%) ③ 演習記録(20%)					
使用テキスト・教材					
はじめて学ぶ「乳児保育」 同文書院 新版『子どもの保健』 ななみ書房 子どもの健康と安全 ななみ書房					
授業内容・授業計画					
			時間数		
①乳幼児の生活援助(母乳育児など)			1	⑩まとめ	1
②乳児保育における家庭との連携			1		
③乳幼児の生活援助(手洗い、抱き方など)			1		
④乳幼児の生活援助(排泄、衣着脱など)			1		
⑤振り返り			1		
⑥乳幼児の身体発育の評価			1		
⑦乳幼児の健康観察と評価			1		
⑧乳幼児の生活援助(沐浴)			1		
⑨乳幼児の生活援助(栄養、沐浴)			1		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			子どもの保健 子どもの健康と安全S 乳児保育I		

		年 度		2020 年度	
		科目コード		K2-S22	
シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Child care support S 子育て支援S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	20	1	寺澤 達也
授業の目的・目標					
① 保護者支援を実践するにあたり、基礎的考えと展開過程を理解する。 ② 保護者理解や接し方の基本と支援を展開する上での基本技術や方法を習得する。 ③ 乳幼児期の発達を踏まえ、子どもや保護者が抱える問題がどのようなものであるか、援助方法を考える。 ④ 相談支援における保育士に必要なコミュニケーションスキルを身につける。					
授業の概要					
保育現場における相談支援・保育ソーシャルワークに焦点をあて、実践事例を多く取り入れながらその具体的な技術や方法を学びます。また、保育所における特性と専門性を生かした支援とは何か、演習や知識、理論を体系的に図解を示しながら考えていきます。					
成績評価の方法					
記述テスト、課題の内容や提出方法、学習態度等を考慮し、総合的に判断し評価する。グループディスカッションには積極的な参加を望みます。				期末試験	50%
				課題	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
必要に応じてプリント配布					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 保護者支援とは何かを考える ～今、なぜ保護者支援・子育て支援が重要なのか・保護者ニーズ		2	6. 保育士に必要なスキル ～保育士に必要なコミュニケーションスキル①		2
2. 保護者との適切なかわり ～信頼とは何か (保護者との信頼関係)		2	7. 保育士に必要なスキル ～保育士に必要なコミュニケーションスキル②		2
3. 保護者の心に寄り添う支援 ～保護者の感情とホンネ理解		2	8. 特別な支援が必要な保護者支援 ～支援が必要な子どもへのソーシャルワークの活用		2
4. 保育者のソーシャルワーク実践 ～ソーシャルワークとは何か		2	9. 事例分析 ～事例分析の必要性和意義・方法と手順		2
5. 保育者のソーシャルワーク実践 ～ソーシャルワークの方法と技法		2	10. 保育所保育指針から保護者支援を読み解く		2
その他			関連科目		
講義終了後、ワークシートにて自身の学びを振り返る。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K2-S24
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Childcare training instruction I 保育実習事前事後指導I (保育所) S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	20	1	江塚 会里
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えを作る。 ・指導計画書の作成や実習日誌の書き方などに関わる知識と技術を身に付ける。 ・実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。 					
授業の概要					
初めに保育実習の意義・目的・内容といった保育実習の全体的な枠組みを概説する。それに続いて、具体的な内容を通して保育所実習についての授業を行う。保育所実習前にすべき事柄・指導計画書の作り方・実習記録の作成および、実習後にすべき事柄などを中心に具体的な実例に基づきながら行っていく。					
成績評価の方法					
実習前・後に提出するレポートで判定する。レポートが一つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。授業中への積極的な参加も考慮する。				レポート	80%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・『幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』 ・『保育所保育指針解説書』 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 保育実習の全体の流れと諸注意			4		
2. 保育所実習の意義・目的・内容について			4		
3. 保育所の1日の流れとディリープログラムの理解			4		
4. 保育所実習の実習記録作成について(実習日誌の書き方)			4		
5. 保育所実習の指導案作成について(指導案の書き方)			4		
その他			関連科目		
※保育所の社会的役割、種類、内容などについての事前学習をしておく。 ※実務経験のある教員が担当する。			・保育実習 I (保育所実習) S ・保育実習 II S		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K2-S26
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Internship at preschool 保育実習 I (保育) S		実習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	2	江塚 会里
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育現場で保育を経験することにより、これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのように繋がるが理解することができる。 ・実践を通じて、保育の技術、能力を向上させる。 ・自分なりの保育観や子ども観を深め確立する。 					
授業の概要					
「保育実習」は、保育士資格を取得するために児童福祉施設で行う実習である。10日間の実習で、次の内容を体験的に学ぶ。①保育所における1日の流れ②子どもへの理解を深める③保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ④保育所等の技術や記録方法について実践的に学ぶ⑤保育士を志すものとして自覚を高める。					
成績評価の方法					
実習日誌・事後レポートなどの提出物、実習園の評価で判定する。				レポート	70%
				園評価	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 ・幼稚園教育要領 ・保育所保育指針 ・保育園・幼稚園の実習完全マニュアル ・幼稚園・保育所 ・児童福祉施設実習ガイド 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 保育所の内容、機能について理解する。 (保育所の1日の流れやプログラムの理解など)		10			
2. 保育所における子どもの理解。(年齢(月齢)ごとの子どもの発達とその特徴など)		10			
3. 保育所における保育者の職務内容、役割などを理解する。		10			
4. 日誌や指導案の書き方を学ぶ。		16			
5. 手遊び、歌遊びなどを実践する。		10			
6. まとめ		4			
その他		関連科目			
※担当保育者の指導や助言に従い、積極的に保育実習に参加すること。 ※実務経験のある教員が担当する。		<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習事前事後指導 I (保育所実習) S ・保育実習 II S 			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K2-S29
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Student teaching instruction 教育実習事前事後指導S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	20	1	江塚 会里
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習に向けた「事前」の心構えや準備に関する基礎的知識を理解する。 ・観察記録の作成、指導計画の立案の方法を理解する。 ・「事後」のまとめに関わった考察の視点を理解する。 					
授業の概要					
幼稚園教諭二種免許状取得に向けた教育実習が円滑かつ有意義に行われるよう、以下のような教育実習に関わった基礎的な知識の理解を深めていく。①幼児期の発達段階、②幼稚園の機能と役割、③幼稚園教諭の職務と役割、④観察記録の作成方法、⑤指導計画の立案方法。					
成績評価の方法					
実習前・後に提出するレポートで判定する。レポートが一つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。授業中への積極的な参加も考慮する。				レポート	80%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 ・幼稚園教育要領 ・保育所保育指針 ・保育園・幼稚園の実習完全マニュアル ・教育・保育実習実技ガイド 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 本学の教員養成の目標と教育課程、教育実習の意義		2	8. 指導計画の作成の方法②（「中心となる活動」の指導計画）		2
2. 幼稚園の機能と役割、法的根拠、幼稚園教育を取り巻く状況		2	9. 教育実習に向けた準備		2
3. 幼稚園教員の職務と役割		2	10. まとめの課題		2
4. 幼児期の発達課題と生活課題、家庭との連携		2			
5. 実習園選定に向けた情報収集の方法		2			
6. 観察・参加実習における記録作成の意義と方法		2			
7. 指導計画の作成の方法①（「朝の会」「昼食指導」の指導計画）		2			
その他		関連科目			
※子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深めるために、ボランティア活動に積極的に参加する。 ※実務経験のある教員が担当する。		<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習①S ・教育実習②S 			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K2-S30
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Internship at preschool 教育実習①S		実習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	江塚 会里
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園における教育内容や幼稚園の機能について、体験を通して理解する。 ・幼稚園教諭の職務および役割について、体験を通して理解する。 ・幼稚園での1日の教育活動を振り返り、観察記録を作成することができる。 ・部分実習または、全日実習の指導計画を立案することができる。 					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・実習で使用する手あそび、歌あそび、ゲームなどのレパートリーを増やす。 ・配属クラスの年齢に応じた指導計画案を作成する。 ・実習後の授業、保育実習、就職活動、さらに、就職後の活動に向けた課題が鮮明になるような事後レポートを作成する。 					
成績評価の方法					
実習日誌・事後レポートなどの提出物、実習園の評価で判定する。				実習日誌	50%
				指導計画	30%
				園評価	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド 教育・保育実習実技ガイド ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 幼稚園における1日の生活・活動の流れと生活・活動内容の概要の理解		4			
2. 遊び・生活場面での園児の行動の理解		4			
3. 園児の行動に対する幼稚園教諭の対応の理解		6			
4. 部分実習の指導計画の作成および指導の理解		4			
5. 幼稚園教諭としての保育技能の習得および態度の養成の理解		4			
6. 幼稚園と家庭との連携の内容と方法の理解		4			
7. まとめ		4			
その他		関連科目			
※担当保育者の指導や助言に従い、積極的に教育実習に参加すること。 ※実務経験のある教員が担当する。		<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習事前事後指導 S ・教育実習② S 			

2020年度

こども保育科

3年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-K02
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Job Preparation Course II 就職準備講座 II		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	2	江塚 会里
授業の目的・目標					
社会人としての一般常識の知識と、保育者としての専門分野の知識を習得することで、就職戦線を勝ち抜くための準備をすることを目標とする。					
授業の概要					
就職試験に向けて、就活に必要な書類の作成方法及び準備、一般常識の学習、面接、内定後の手続きなどを一通り学習する。就職活動に対する意識をもち、意欲的、積極的に授業に取り組むことが重要である。					
成績評価の方法					
学習意欲・授業態度、書類作成、一般常識テストの総合評価とする。				態度	40%
				作成書類	30%
				試験	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育者のための国語表現 ・一般常識問題 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション 就職活動の流れ		2	8. 企業説明②		2
2. 就職セミナーの参加について		2	9. 一般常識テスト①		2
3. 履歴書の書き方①		2	10. 一般常識テスト②		2
4. 履歴書の書き方②		2	11. 一般常識テスト③		2
5. 志望理由・自己PRの書き方		2	12. 書類の応募方法		2
6. 企業説明①		2	13. 面接について①		2
7. 就活ゼミ		2	14. 面接について②		2
			15. 内定後の手続き お礼状の書き方		2
その他			関連科目		
			就職準備講座 I		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-K02
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Job Preparation Course II 就職準備講座 II		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	2	本目 亜古
授業の目的・目標					
社会人としての一般常識の知識と、保育者としての専門分野の知識を習得することで、就職戦線を勝ち抜くための準備をすることを目標とする。					
授業の概要					
一般常識問題やSPI問題の他、保育の専門分野の問題を学習することで、公務員試験や浜松市私立幼稚園・こども園教員採用審査の筆記試験にも対応する内容である。保育者として身につけるべき保育用語の問題は、プリントを配布し学習する。各問題を自主学習で復習し、疑問点等は積極的に質問をするなど意欲的に取り組むことが重要である。					
成績評価の方法					
筆記試験の成績と学習意欲・授業態度の総合評価とする。				試験	80%
				意欲態度	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎から学ぶSPIベーシック問題集 ・一般常識チェック&トライ ・わかる書ける使える保育の基本用語[p.96~p.105] (配布プリント) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. ガイダンス、SPIp.36～、身近な英単語、漢字①		2	9. SPIp.70～、一般常識 p.20～、社会福祉、漢字⑨⑩		2
2. SPIp.38～、p.8～、保育内容、漢字②		2	10. SPIp.80～、一般常識 p.20～、p.62～、児童家庭福祉		2
3. SPIp.40～、一般常識 p.30～、保育の心理学、漢字③		2	11. 一般常識 p.60～、p.68～、子どもの保健		2
4. SPIp.42～、発達心理、漢字④		2	12. 一般常識 p.14～、p.22～、子どもの食と栄養		2
5. SPIp.12～、保育原理、漢字⑤		2	13. SPIp.92～、一般常識 p.24～、保育実習理論		2
6. SPIp.18～、教育学、漢字⑥		2	14. 一般常識 p.26～、試験対策		2
7. 一般常識 p.6～、p.8～、教育法規、漢字⑦		2	15. 試験		2
8. 一般常識 p.8～、p.32～、幼稚園教育要領、漢字⑧		2			
その他			関連科目		
			就職準備講座 I		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				K3-K08	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Word processor sand table calculationⅢ ワープロ・表計算Ⅲ		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	1	高橋 恵子
授業の目的・目標					
実務に必要な Word、Excel、PowerPoint の知識を習得する。 自ら考え、工夫し、作成・編集できるスキルを養う。					
授業の概要					
実習形式で行うため、出席及び制作課題が重要となる。					
成績評価の方法					
定期試験、授業態度、提出物により評価する。				定期試験	30%
				授業態度	40%
				提出物	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育者のためのパソコン講座 ・おたより文例&イラスト 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. PC と Windows	1	9. Excel 作表とグラフ			2
2. マウスとキーボード、ファイルの考え方	2	10. グラフ編集、絵グラフ			2
3. 基本操作、保存、印刷	2	11. データベース機能			2
4. Word ビジネス文書について	2	12. Word と Excel の融合			2
5. ビジュアルな文書作り	2	13. PowerPoint			2
6. 図表、イラスト、スマートアート	2	プレゼンテーションの作成			
7. Excel 表の作成と計算機能	2	14. 効果の付け方			2
8. 書式設定、編集機能	2	15. ネットワークの知識			2
		16. パソコンリテラシーと情報倫理			1
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			ワープロ・表計算Ⅱ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-K29
授業科目名			授業形態	学科・コース	
児童文化			講義	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	15	1	江塚 会里
授業の目的・目標					
児童文化は、大人が子どものために作ったり、子どもたち自身が作ったりしながら遊びの中で子どもたち共有され、楽しまれ、仲間や次の世代に伝えられていくものである。この児童文化の発達との関連に注目し、内容を把握し、児童文化の実践的指導ができることを目標とする。					
授業の概要					
遊びの分類、種類を学び、児童文化財が子どもたちにとってどのような影響を与えるかを理解する。そのために、伝承遊び、絵本、紙芝居、おもちゃ、遊び場と施設、遊具などを一つずつ丁寧に意義と与え方を学習する。					
成績評価の方法					
レポート。科目終末試験で評価する。設題で何が求められているかを理解し、内容がうまくまとめられているかを評価する。				レポート	50%
				試験	50%
使用テキスト・教材					
・近畿大学九州短期大学テキスト「児童文化」					
授業内容・授業計画					
1. オリエンテーション 児童文化とは何か 子ども達にとっての児童文化の必要性			時間数 2	7. 絵本と紙芝居の児童文化財としての特徴と相違	
2. 子どものつくる児童文化財			2	8. 特徴と相違遊びの施設の概要	
3. 子どものスポーツと遊びの関連			2	児童文化の組織と活動の概要	
4. 伝承遊び わらべうた・手遊び			2		
5. 折り紙とぬりえ			2		
6. 読み聞かせの意義と留意点 絵本の選び方、与え方の留意点			2		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・児童文化S		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-K34
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Infant nursery 乳児保育			講義	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	選択	15	1	山田 美由貴
授業の目的・目標					
1. 乳児保育の理念と歴史の変遷及び役割について学ぶ 2. 乳児保育の現状と課題(家庭的保育・保育所・乳児院などの現状と課題) 3. 胎生期から、3歳未満時の成長と発達段階を学び、健やかな成長のための養護と生活、遊びについて理解をする。 4. 乳児保育の計画を作成し、個人差・年齢差を理解し、観察・評価の技術の習得をする。 5. 乳児保育における保護者や関係機関との連携について理解し保育を取り巻く環境について、学ぶ。					
授業の概要					
保育の専門職あるいは保護者として、そのかけがえのない生命の保護と健やかな成長発達を促すための保育・養護の知識と技術・態度を習得する。命を育むために、保育者自身の身体健康について理解を深める。各期の成長と発達段階を学び、対象への愛情深い養護や生活上の保育方法、子育て環境の変化・ニーズに即した育児支援ができるために必要な知識・技術・態度を学習する。					
成績評価の方法					
① 筆記試験(50%) ② 受講態度、演習やグループワークなどの積極的な取り組み姿勢を重視(30%) ③ 演習記録(20%)					
使用テキスト・教材					
はじめて学ぶ「乳児保育」同文書院 2019 新版『子どもの保健Ⅰ』 佐藤益子編著 ななみ書房 2018年 新版『子どもの保健Ⅱ』 佐藤益子編著 ななみ書房 2018年					
授業内容・授業計画					
1. 乳児保育の理念と歴史の変遷及び役割		時間数			時間数
1) 乳児保育の役割と機能		1	4) 1.6歳～2歳児の発達と保育内容		1
2. 乳児保育の現状と課題			4. 乳児保育の計画と実際		
1) 家庭的保育における乳児保育		1	1) 生活リズムと養護		1
2) 保育所における乳児保育		1	2) 睡眠、排泄の養護と観察		1
3) 乳児院における乳児保育		1	3) 乳幼児の栄養		1
4) 乳児保育のための環境整備		1	4) 個々の発達を促す遊び		1
3. 3歳未満時の成長と発達段階と保育			5. 乳児保育における連携		
1) 6か月未満児の発達と保育内容		1	1) 保護者とのパートナーシップ		1
2) 6か月から1歳未満児の発達と保育内容		1	2) 関係機関、地域の子育て支援と連携		1
3) 1歳～1.6歳未満児の発達と保育内容		1			
その他			関連科目		
助産師として聖隷浜松病院 10年間・岡田クリニック 8年間勤務。その後みゆき助産院開業。浜松市委託事業母子訪問事業に25年間関わる。年間訪問数は450～550件/年。タッチケア講師、母乳育児支援、2002年より小中高にて「いのちの対話」講演20校/年 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			乳児保育 s 子どもの保健		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-K42
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Pre-training post-mortem instruction II 実習事前事後指導 II		講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	4	江塚 会里
授業の目的・目標					
単位実習の全体的な枠組みを理解し、実習に挑む心構えを作るとともに、指導計画案の作成や実習日誌の書き方等にかかわる知識と技能を、身につけることを目的とする。					
授業の概要					
近畿大学九州短期大学の履修科目である実習事前事後指導Sの理解をさらに深めるために学校独自が設定した実習指導である。単位実習の意義を理解した上で、各実習に対応できるよう単位実習全般にかかわる内容を学習する。					
成績評価の方法					
出席状況、授業態度、学習意欲、課題、保育指導案を総合評価したうえで決定する。				出席状況	20%
				授業態度	30%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド 教育・保育実習実技ガイド ・ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針 ・ 配布資料 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	オリエンテーション 実習の意義	2	11.	保育指導案の発表と指導	4
2.	乳幼児の発達	2	12.	事前学習、教材研究	8
3.	実習の振り返り (アンケート)	2	13.	巡回教員との面談	2
4.	個人票の作成実習の目標 (抱負)	2	14.	実習の振り返り	2
5.	実習日誌記入上の注意	2	15.	お礼状作成 まとめ	2
6.	実習記録の書き方①～⑤	10			
7.	オリエンテーションの受け方 電話のかけ方	2			
8.	歳児別保育指導案の立案	12			
9.	オリエンテーションのまとめ	2			
10.	保育指導案の作成	6			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育実習 ・ 保育実習 		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-K46
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Music PlayingⅢ 音楽演奏Ⅲ			演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	90	3	依田 真理子
授業の目的・目標					
保育者として必要な音楽演術を身に付け、実践的な音楽教育を学習する。					
授業の概要					
1、2年次に学習した音楽の基礎を基に、更なる音楽技術の向上を図る。					
成績評価の方法					
月ごとに共通の課題曲の簡易テストを実施し、学期末は自分で選択した曲の演奏形式のテストを行う。また日々の練習態度等も含めて、総合的に判定する。				演奏	60%
				授業態度	40%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ教本、声楽教本 近畿大学九州短期大学通信教育部 ・こどものうた100 株式会社チャイルド本社 					
授業内容・授業計画					
1. ミュージカル			時間数	3. 演奏指導	
①曲本制作			4	4. 期末試験	
②楽曲選び及び創作			6		
③演技練習			20		
④発表			4		
2. 弾き歌い					
①右手のメロディー弾き			4		
②両手によるイ半演奏			4		
③弾き歌いとバリエーション			8		
その他			関連科目		
各単元と演奏指導は並行して行う ※実務経験のある教員が担当する科目である。			音楽演奏Ⅰ、音楽演奏Ⅱ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-K49
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Practical CoursesⅢ 実践講座Ⅲ		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	4	前田 由美子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> 園での遊びを体験しながら、子どもの思いを理解すると共に、遊びの中にある学びについて学ぶ。 子ども達と一緒に遊ぶことを想定しながら、遊びの組み立て方や流れなどを学ぶ。 					
授業の概要					
自分が実習へ行くことを意識し、どんな時期にどんな遊びが子ども達に適しているのか、どのように流れを作っていくのかなどを考えさせていく。また、準備物や子ども達への言葉掛けなども考えていけるようにしたい。					
成績評価の方法					
自分が遊びの楽しさを感じなければ、子ども達にも伝わらないので、遊びに対する取り組み方や創意工夫、準備物などを重要視する。課題の未提出が1つでもあれば、成績の評価は行われない。				作品	50%
				授業態度	50%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 廃材を使った遊び		2	7. ひまわり製作		2
2. こいのぼり製作		2	・組み紐技法		
・紙のカール技法			8. 車製作		6
3. ハンカチ遊び		2	・街を作り走らせる		
4. 新聞紙を使った遊び		2	9. どんぐりゲーム		2
5. カエルくん製作		2	10. 毛糸遊び		4
・じゃばら折り			・くさり編み	・指編み	
6. 七夕飾り製作		2	・ボンボン	・あやとり	
・星			11. マフラー作り		2
・提灯			12. 壁面製作 雪だるま		2
・すくい網 など			・ちぎり絵		
その他			関連科目		
※他の実践講座Ⅲを合わせて120時間4単位とする。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-K49
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Practical Courses III 実践講座III		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	20	4	平野 久美子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> 園での遊びを体験しながら、子どもの思いを理解すると共に、遊びの中にある学びについて学ぶ。 子ども達と一緒に遊ぶことを想定しながら、遊びの組み立て方や流れなどを学ぶ。 					
授業の概要					
実習や就職後を意識し、どんな時期にどんな遊びが子ども達に適しているのか、どのように流れを作っていくのかなどを考えさせていく。また、準備物や子ども達への言葉掛けなども考えていけるようにしたい。					
成績評価の方法					
自分が遊びの楽しさを感じなければ、子ども達にも伝わらないので、遊びに対する取り組み方や創意工夫、準備物などを重要視する。課題の未提出が1つでもあれば、成績の評価は行われない。				授業態度	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
配布資料					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 教材研究① (3歳児)		4			
2. 教材研究② (4歳児)		4			
3. 教材研究③ (5歳児)		4			
4. 教材研究④ (2歳児)		2			
5. 教材研究⑤ (1歳児)		2			
6. 教材研究⑥ (0歳児)		2			
その他			関連科目		
※他の実践講座IIIを合わせて120時間4単位とする。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-K49
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Practical Courses III 実践講座Ⅲ (リトミック・教材研究)		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	20	4	加茂 房子
授業の目的・目標					
保育に必要とされる身体活動、あそびうたを数多く体得することにより、実習では年齢、状況に合わせ学んだことを活かすことができるようになる。 場面に必要な音量の声を出すことができるようになる。					
授業の概要					
オリジナルのあそびうたを体得し、更に年齢に合ったバリエーションを考えていく。 自分が楽しむことでその楽しさを子供にも伝えられるような表現力を磨く。 身近な素材を使って状況に合わせた遊びができるよう素材を提供していく。					
成績評価の方法					
授業内での活動意欲。参加態度。 授業記録ノートの提出。				授業 50% 課題 50%	
使用テキスト・教材					
てあそび百科 (ひかりのくに)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.あそびうたを覚える		4			
2.あそびうたのバリエーションを考える		4			
3.実習時期の遊びを数多く知る		12			
その他			関連科目		
※他の実践講座Ⅲを合わせて120時間4単位とする。 ※実務経験のある教員が担当する。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-K49
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Practical Courses III 実践講座III		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	20	4	桑原 健吾
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な運動遊びを実体験し、熱中しながら体を動かす楽しさとは何か学ぶ。 ・最近注目されているスポーツに触れ、コミュニケーション力の重要性を理解し深める。 ・運動遊びの指導計画と実演をし、指導する側のポイントや配慮点を学ぶ。 					
授業の概要					
<p>3歳以上児向けの様々な運動遊びを中心に展開していくが、幼児期運動指針のキーワードにもなっている「多様な動き」とは何か、各歳児ごとの運動発達の特徴にも触れながら演習形式で進めていく。</p> <p>また、学生自身が運動遊びの指導計画や実践も行うことで、子どもが楽しく体を動かす為に何が必要なのかを様々な視点から捉え、課題を明確にしていく。</p>					
成績評価の方法					
授業内の課題（オリジナル運動遊び制作課題）を成績評価の柱とし、授業態度や積極性も含めて総合的に評価する。				演習課題	70%
				授業態度	30%
使用テキスト・教材					
特になし					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
・オリエンテーション		1	・様々な鬼ごっこ遊び		1
・多様な動きを引き出す運動遊び① (マット遊び編)		1	・スポーツ鬼ごっこ		2
・多様な動きを引き出す運動遊び② (リレー遊び編)		1	・オリジナル運動遊び計画・制作		4
・多様な動きを引き出す運動遊び③ (ゲーム遊び編)		1	・運動遊び実技披露		4
・ゆるスポーツ体験 (スポーツかるた)		1	・スポーツ鬼ごっこ大会・まとめ		2
・オリジナルスポーツかるた作成		1			
・作成したかるたで遊ぼう		1			
その他			関連科目		
※他の実践講座IIIを合わせて120時間4単位とする。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。 <ul style="list-style-type: none"> ・運動に適した服装 ・タオル、水分補給は毎回持参 					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-K49
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Practical Courses III 実践講座III		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必須	30	4	笠原 めぐみ
授業の目的・目標					
子どもの発達段階を踏まえた製作活動について学ぶ。 3歳未満児の発達、興味関心を踏まえた手作り玩具について学ぶ。					
授業の概要					
3歳未満児の保育を想定した手作り玩具作り、画用紙・おりがみ等の紙類を用いた製作について、実際に製作することを通して、その意義や子どもの発達や興味・関心について理解する。また、目的に応じた材料の選び方、子どもへの指導方法、指導上の留意点などを考えていく。					
成績評価の方法					
出席状況、授業態度、学習意欲、製作物や課題提出、実技試験等を総合評価したうえで決定する。				授業態度	50%
				課題・試験	50%
使用テキスト・教材					
配布資料					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 画用紙製作、洗濯ばさみおもちゃ チラシのゴミ箱の折り方製作		2	8. タッパーを使った手作りおもちゃ ポットン落とし		2
2. 布おもちゃ製作、フェルトボタンはめ 「はらぺこあおむし」		2	9. 画用紙製作「ちょうちん作り」		2
3. 布おもちゃ製作、フェルトボタンはめ 「カラフルりぼん」		2	10. おりがみ製作 「メダル2種類」「変身どうぶつ」		2
4. 画用紙製作、春の製作 「ちゅーりっぷ(花・葉)、てんとう虫、 ハチ、ちょう」		2	11. 画用紙製作 「ハロウィーンのバッグ」		2
5. 画用紙製作、夏の製作 「せみ・クワガタ・スイカ」		2	12. 画用紙製作「星の手品」		2
6. 画用紙製作、秋の製作 「りす・どんぐり」		2	13. ペットボトル製作 「パクパクうさぎ」		2
7. 画用紙製作、冬の製作 「リース・サンタクロース・トナカイ」		2	14. 紙コップ製作 「顔が変わる動物」		2
			15. 画用紙製作、立体カード ※家族へ作ったカードは家庭へ 持ち帰りプレゼントする。		2
その他			関連科目		
※他の実践講座IIIを合わせて120時間4単位とする。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)					年度	
					2020年度	
					科目コード	
					K-K52	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Life-saving method 救命法			演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	後期	必須	30	1	日本赤十字社 指導員	
授業の目的・目標						
子どもに起こりやすい事故の予防と手当及び病気への対応について学ぶ。						
授業の概要						
幼児に対する救急法の基礎講習として、『子どもの成長発達と事故予防』、『子どもの応急手当』、『子どもの病気と看病のしかた』、『乳幼児の一時救命処置(乳児中心)』、『地域の子育て支援・災害時の乳幼児への支援』について総合的に学ぶ。						
成績評価の方法						
全授業参加者が評価対象の条件である。 評価対象者に対して基礎講習について学科検定を行う。また、救急員養成講習について実技検定、及び学科検定を行う。					報告書提出	50%
					実習評価表	50%
使用テキスト・教材						
・日本赤十字社「幼児安全法」テキスト						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 子どもの成長と発達			8			
2. 起こりやすい事故の予防と手当(子どもの心肺蘇生法と応急手当)			8			
3. 実技試験			2			
4. こどもの病気と看病の仕方			10			
5. まとめ			2			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)					年度	2020年度
時間数は45分換算					科目コード	K3-K53
授業科目名			授業形態	学科・コース		
Children and Picture Books こどもと絵本			講義	こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	30	2	青木 直子	
授業の目的・目標						
・3年間を通して、赤ちゃん絵本・創作絵本・科学絵本・昔話絵本についての知識と見分を広める。						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの昔話絵本に接し、昔話について理解する。 ・毎回の授業の中でストーリーテリングや昔話絵本を聞く。 ・学生も「読む」演習を積極的にする。 						
成績評価の方法						
・授業態度、演習、レポート等を総合的に判断する。					授業態度	30%
					演習	30%
					レポート	40%
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・「よみきかせのきほん」東京こども図書館 ・「絵本の本」中村征子著 ・月刊絵本（昔話絵本） 						
授業内容・授業計画						
1. オリエンテーション 1・2年の復習「絵本とは」	時間数	3	6. 昔話の読み方	時間数	3	
2. 昔話とは	3		7. 読み聞かせに向く話の条件	3		
3. 昔話からのメッセージ	3		8. 実習中に読んだ絵本の検証	3		
4. 昔話のよさ	3		9. 昔話の分析	3		
5. 昔話の選び方	3		10. 昔話のまとめ	3		
その他			関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である			児童文化 言葉			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-K54
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Forming 造形		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	2	戸塚 恵
授業の目的・目標					
幼児期に多様な表現活動の経験を経ることは、その後の論理的思考や抽象的思考の土台になることを踏まえ、幼児にあらゆる造形の表現方法を体験する機会を提供できるよう保育者自身の知識や技術の向上を目指す。					
授業の概要					
絵画・工作・粘土・おもちゃ作りなどの制作活動を通して道具の使い方、材料の活かし方を工夫し習得する。子供の発達に応じて造形活動をより楽しく経験できるよう援助するためのノウハウを身に付ける為に制作創作活動をしながらポイントをまとめて記録する。					
成績評価の方法					
基礎的技術の取得度合い、作品の完成度、感想や制作ポイントのまとめ学習意欲を総合的に評価する。				課題制作	70%
				制作記録	15%
				学習意欲	15%
使用テキスト・教材					
ハサミ、カッター、接着剤、テープ類、画用紙、描画用具、油粘土、紙粘土、その他個人の必要に応じて収集した材料					
授業内容・授業計画					
1. 絵画		時間数	3. 粘土		時間数
1-1 イラスト制作 知的リアリズムと視覚的リアリズム		8	3-1 油粘土の基礎造形		8
1-2 自画像「究極の変顔」			3-2 油粘土で手の造形		
1-3 クレパス絵画			3-3 紙粘土で色相環づくり		
2. 工作		8	3-4 紙粘土で小さな世界作り		6
2-1 自然物を使った王冠とメダル			4. 思い出のスクラップブック		
2-2 採集ボックス					
2-3 牛乳パックを使ったおもちゃ					
2-4 ストローを使ったおもちゃ					
2-4 教材研究の方法と実践					
その他			関連科目		
※单元ごとの演習課題を実施する。 ※他の造形を合わせて60時間2単位とする。					

シラバス (授業概要)					年度	2020年度
時間数は45分換算					科目コード	
授業科目名			授業形態	学科・コース		
Forming 造形			演習	こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	30	2	前田 由美子	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭や保育士になることを意識し、保育現場で必要なものを作る。 ・子ども達の卒園期の様子を知り、いろいろな教材について学ぶ。 						
授業の概要						
自分が受け持つクラスを想像しながら、必要な教材を作っていく。また、子ども達の卒園を迎える様子を知り、園でどのような取り組みをしているのか体験を通して、子ども達の心情などを理解していく。						
成績評価の方法						
作品の完成度及び、製作過程の様子や工夫、それを使った演じ方などを総合して判定する。課題の未提出が1つでもあれば、成績の評価は行われぬ。また、授業態度や準備物も加見する。					作品	70%
					授業態度	30%
使用テキスト・教材						
なし						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. ノマキューブのお話作り			8			
2. ノマキューブのお話発表			2			
3. 画用紙シアター			4			
・こぐまのクーくんシリーズ						
4. 画用紙シアター発表			2			
5. 日めくりカレンダー製作			8			
6. 牛乳パックの小物入れ			4			
・ランドセル						
7. 卒園式用コサージュ作り			2			
その他				関連科目		
※他の造形を合わせて60時間2単位とする。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-K56
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Children's Clothing II こども服II		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	2	江塚 会里
授業の目的・目標					
シアタースタイルの児童文化財等の製作～実践を通して、教材の特徴や保育現場での取り入れ方、演じ方、絵本や紙芝居との違い等を学ぶ。					
授業の概要					
こども服Iで学んだ技法を活かし、エプロンシアター、手作り玩具等の児童文化財を製作し、製作した作品を演じられる実践力を身に付ける。また、手縫いでの製作が中心となるため、丁寧に作品を仕上げる。					
成績評価の方法					
出席状況、授業態度、学習意欲、製作課題、実技試験を総合評価したうえで決定する。				態度	30%
				製作課題	40%
				実技試験	30%
使用テキスト・教材					
配布資料					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. エプロンシアターとは、題材決め		1	9. エプロンシアターの演じ方		4
2. 基本の縫い方 マスコットを作る上での留意点		1	エプロンシアターの発表		
3. エプロンシアター製作		2	10. 手作り玩具		2
4. エプロンシアター製作		2	11. 手作り玩具		2
5. エプロンシアター製作		2	12. 手作り玩具		2
6. エプロンシアター製作		2	13. 手作り玩具		2
7. エプロンシアター製作		2	14. 手作り玩具		2
8. エプロンシアター製作		2	15. まとめ		2
その他		関連科目			
※他のこども服IIを合わせて60時間2単位とする。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。		・こども服I			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度	
				科目コード	K3-K56	
授業科目名		授業形態		学科・コース		
Children's Clothing II こども服II		演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	30		前田 由美子	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・紙などの教材とは違う、感触の良さや優しい雰囲気などで子ども達に穏やかな感じを与える布の教材の良さを知る。 ・作った教材の演じ方を学んだり、遊び方を考えたりする。 						
授業の概要						
1つ1つ丁寧に縫い、作品を仕上げるのが重要になる。雑になるとほどけてしまいやり直しになるので、集中して取り組んで欲しい。作った作品を子ども達が喜んで遊ぶ姿を想像し、自分なりに工夫していけるとよい。						
成績評価の方法						
作品の出来栄や創意工夫をしている点、縫い方や糸止めの仕方などを総合的に判定する。エプロンシアターの演じ方や作品の遊ばせ方などを判定する。課題の未提出が1つでもあれば、成績の評価は行われない。					作品 50% 演じ方 50%	
使用テキスト・教材						
なし						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. エプロンシアター製作			10			
2. エプロンシアター発表			2			
3. 布絵本			8			
・お花						
・車						
4. 絵合わせサイコロ			10			
その他			関連科目			
※他のこども服IIを合わせて60時間2単位とする。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・こども服I			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-K58
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Nature Play II 自然遊びII		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	1	江塚 会里
授業の目的・目標					
教育・保育現場で子どもたちに自信を持って自然に関する活動を展開できる。 四季(季節)を意識した保育活動ができる。					
授業の概要					
自然遊びIに引き続き、領域「環境」及び保育現場における環境設定について学ぶ。また、さまざまな自然体験を通して、自然への理解や関心を深める。					
成績評価の方法					
出席状況、授業態度、学習意欲、課題、期末試験を総合評価したうえで決定する。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
配布資料					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 春の自然春の自然		2	11. 凧作り		2
2. シロツメクサの花かんむりづくり		2	12. 凧作り		2
3. 春の自然を使った食育活動 ヨモギの蒸しケーキ作り		2	13. 凧作り		2
4. 春の自然を使った食育活動 ヨモギの蒸しケーキ作り		2	14. 凧作り		2
5. 夏の自然遊び		2	15. 振り返り、まとめ		2
6. 夏の自然遊び		2			
7. 秋の自然(自然散策)		2			
8. 秋の自然(自然散策)		2			
9. クリスマス飾り作り		2			
10. クリスマス飾り作り		2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・自然遊びI		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-K59
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Graduation Research 卒業研究		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	3	江塚 会里
授業の目的・目標					
3年間の集大成として、授業や実習等で学んだことを基に、就職先でも生かせるテーマを各自で設定する。テーマに沿って各自で研究を進め、理解を深める。最後に研究成果を発表する。					
授業の概要					
各自設定したテーマに沿って研究を進める。また、研究を進めるうえで、理論と3年間の実習等の実践と結びつけて論文をまとめる。					
成績評価の方法					
出欠席、授業態度、卒業研究論文、研究発表				研究論文	50%
				発表	50%
使用テキスト・教材					
各自卒業研究テーマに必要な参考文献 等					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション、概要、予定、評価方法等について、研究の見通し（目次）の設定		2	4. 発表原稿作成、パワーポイント作成		8
2. 研究の見通し（目次）の設定		4	5. 発表練習、抄録作成、役割分担・流れの確認		8
3. 本論・結論の作成		8			
その他			関連科目		
※他の卒業研究を合わせて90時間3単位とする。			全科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2019年度
				科目コード	K3-K59
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Graduation Research 卒業研究		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	30		江塚 会里
授業の目的・目標					
<p>保育における様々な表現方法を学び、保育現場における表現活動について研究する。また、表現における技術や知識を身につけ、感性を豊かにする。</p> <p>同じ目標に向かって、クラスや同じグループの仲間と協力したり、意見を出し合ったりしながら、協調性をもって活動する。</p>					
授業の概要					
<p>こども保育科での学びの成果として、保育におけるさまざまな表現方法の中から、方法や題材を選び、保育現場における表現活動について研究を進め、一つの作品をつくりあげる。人体劇(人物劇)、人形劇、パネルシアター、ペープサート、紙芝居、歌、楽器演奏、踊り等、これまでの学びの中から学年単位またはグループ単位で一つの作品を作る。</p>					
成績評価の方法					
出席状況、授業態度、意欲、発表内容等を総合評価したうえで決定する。				授業態度	50%
				発表内容	50%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. 表現発表会趣旨・内容説明 発表内容、役割り決め			2		
2. 発表内容(題材・ストーリー)の検討			4		
3. グループ活動(担当ごとに準備を進める) (衣装・背景・大道具・小道具 等)			10		
4. 全体練習			8		
5. リハーサル・まとめ			4		
その他			関連科目		
<p>※他の卒業研究を合わせて90時間3単位とする。</p> <p>※実務経験のある教員が担当する科目である。</p>			<p>・実技演習 実践講座</p>		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-S15
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Children's Culture S 児童文化S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	20	1	江塚 会里
授業の目的・目標					
児童文化は、文化全般の中で子どもたちに関わる領域の文化であり、子どもたちの生活や発達に必要なものである。子どもたちの「生きる力」の発達のための非認知能力を育む児童文化を作成し、実演しあうことで深く理解する。					
授業の概要					
講義と製作実習と演習を行う。 講義 — 児童文化の実例をもとに子どものための児童文化を理解する。 製作実習— グループで話し合い、児童文化財を作る。 演習 — グループ発表をする。					
成績評価の方法					
グループでの話し合いの結果と考察、互いのグループの評価が正しいものかを評価する。(時間・グループ・完成度)				授業態度	20%
				製作物	40%
				発表	40%
使用テキスト・教材					
・近畿大学九州短期大学テキスト「児童文化」					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 児童文化の実例と子どもの反応		2	6. グループでの児童文化財の製作①		2
2. 子どもの発達の違いによる児童文化財の与え方		2	7. グループでの児童文化財の製作②		2
3. グループ作成と話し合い①		2	8. グループでの児童文化財の製作③		2
4. グループ作成と話し合い②		2	9. グループ発表		2
5. グループ作成と話し合い③		2	10. グループ発表評価		2
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・児童文化		

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				K3-S17	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Children's Health II S 子どもの保健IIS			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	20	1	渡辺 留美
授業の目的・目標					
身近なケガや疾患、事故に対して適切な応急処置及び救急処置に対応できる技能を習得する。					
授業の概要					
グループワーク、グループ討議を行い、学生同士でモデル人形を使用し、身近なケガ、疾患、事故に対処できるよう講義を進める。					
成績評価の方法					
講義終了後の課題レポート、演習、受講態度に基づき総合的に評価する。				レポート	50%
				演習	40%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
「子どもの保健演習ガイド」高内正子編著 建帛社 2011年					
「子どもの健康と応急処置」川原裕子編 海鳥社 2008年					
授業内容・授業計画					
<1日目>		時間数	<2日目>		時間数
1. 子どもの保健についての概念		2	1. バイタルサインの測定法		2
2. ベッドメイキング		2	2. 救急時の対応		4
3. 心肺蘇生法、 AED (モデル人形での演習)		2	3. 感染症の対処方法 (ケガ、事故、発熱等)		
4. 身体測定(モデル人形での演習)		2	3. 感染症の対処方法 (ノロウイルス等)		2
5. 沐浴(モデル人形での演習)		2	4. まとめ		2
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			子どもの保健 I		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-S20
授業科目名			授業形態	学科・コース	
Infant nursery 乳児保育S			演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	選択	20	1	山田 美由貴
授業の目的・目標					
1. 乳児保育の理念と歴史的変遷及び役割について学ぶ 2. 乳児期の成長と発達段階を学び、健やかな成長のための養護と生活、遊びについて理解をする。 3. 乳児の沐浴や着替え、排泄などの対応について学ぶ。 4. 保育者、保護者や関係機関との望ましい連携について考える。					
授業の概要					
乳児保育の歴史や、役割、乳児期の発達や子育て支援などの基礎知識を学ぶ。 乳児期の子どもへの対応や、保護者への支援等、保育者としての基本姿勢を学ぶ。 沐浴人形などを使用して、養護の実際を演習する。					
成績評価の方法					
① レポート課題(50%) ② 受講態度、演習やグループワークなどの積極的な取り組み姿勢を重視(30%) ③演習記録(20%)					
使用テキスト・教材					
はじめて学ぶ「乳児保育」同文書院 2019 新版『子どもの保健Ⅰ』 佐藤益子編著 ななみ書房 2018年 新版『子どもの保健Ⅱ』 佐藤益子編著 ななみ書房 2018年					
授業内容・授業計画					
1日目	時間数	2日目	演習・グループワーク	時間数	
1. 乳児保育における保育者の役割	2	1. 乳児保育の基本・生活養護(睡眠・排泄)		2	
2. 乳児期の発達	2	2. 清潔(沐浴演習)		2	
3. 乳児保育の基本・健やかな発達のために	2	3. 乳児期の栄養		2	
4. 乳児保育の基本・安全対策	2	4. 発育発達の評価(発達の遅れ)		2	
5. 言葉の発達と保育者の対応	2	5. 保育者と保護者の連携と子育て支援のあり方グループワーク		2	
その他			関連科目		
助産師として聖隷浜松病院10年間・岡田クリニック8年間勤務。その後みゆき助産院開業。浜松市委託事業母子訪問事業に25年間関わる。年間訪問数は450～550件/年。タッチケア講師、母乳育児支援、2002年より小中高にて「いのちの対話」講演20校/年 ※実務経験のある教員が担当する科目である			子どもの保健		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-S27
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Facilities Instruction 保育実習事前事後指導 I (施設) S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	20	1	江塚 会里
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習(施設実習)の全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えを作る。 ・指導計画書の作成や実習日誌の書き方などに関わる知識と技術を身に付ける。 ・実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。 					
授業の概要					
この科目では、初めに保育実習(施設)の意義・目的・内容といった保育実習(施設)の全体的な枠組みを概説する。それに続いて、具体的な内容を通して児童福祉施設実習(保育所以外)についての授業を行う。					
成績評価の方法					
実習前・後に提出するレポートで判定する。レポートが一つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。授業中への積極的な参加も考慮する。				レポート	80%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
・『幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 施設実習に関する基礎的理解と諸注意			4		
2. 施設における保育内容と養護			4		
3. 施設の役割と機能について			4		
4. 施設実習の実習記録作成について(実習日誌の書き方)			4		
5. 施設実習の指導案作成について(指導案の書き方)			4		
その他			関連科目		
※児童福祉施設の社会的役割、種類、内容などについての事前学習をしておく。			・保育実習 I (施設実習) S		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-S29
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Internship at preschool 保育実習 I (施設) S		実習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	60	2	江塚 会里
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> 施設現場で養護と療育を経験することにより、これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのように繋がるか理解することができる。 実践を通じて、保育の技術、能力を向上させる。 自分なりの保育観や子ども観を深め確立する。 					
授業の概要					
「保育実習」は、保育士資格を取得するために児童福祉施設(保育所以外)で行う実習である。10日間の実習で、次の内容を体験的に学ぶ。①施設における1日の流れ②子どもや障害者への理解を深める③施設保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ④施設の技術や記録方法について実践的に学ぶ⑤保育士を志すものとして自覚を高める。					
成績評価の方法					
実習日誌・事後レポートなどの提出物、実習施設の評価で判定する。				実習日誌	50%
				施設評価	30%
				実習態度	20%
使用テキスト・教材					
・幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 施設の内容、機能などを理解する。(1日の流れ、子どもや障害者の活動など)		10			
2. 施設保育士の職務内容および役割、また他の職員とのチームワークなどの理解		10			
3. 子どもや害者を取り巻く社会や家族の問題について理解する。		20			
4. 日誌の書き方を学ぶ。		16			
5. まとめ		4			
その他		関連科目			
※担当保育者の指導や助言に従い、積極的に保育実習に参加すること。 ※実務経験のある教員が担当する。		・保育実習事前事後指導 I (施設) S			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-S30
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Internship at preschool IIS 保育実習 IIS		実習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	60	2	江塚 会里
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・「保育実習 I」を通して学んだ技術と理論を基礎として、保育士として必要な資質、能力、技術を向上させる。 ・子育て支援をするために必要な知識・技術とニーズに対する理解力・判断力を養うことができる。 					
授業の概要					
<p>「保育実習 II」では、前回の保育所実習を生かし、子どもの年齢や発達に応じた保育展開、状況に応じた保育の実践、さらに子育て支援としての保育所の役割を踏まえた保育実践に努める。</p> <p>「保育実習 II」を履修するためには、「保育実習参加資格」の条件を満たさなければならない。また、「保育実習 I」を終えておかななければならない。</p>					
成績評価の方法					
実習日誌・事後レポートなどの提出物、実習園の評価で判定する。				実習日誌	50%
				園評価	30%
				実習態度	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針 ・保育園・幼稚園の実習完全マニュアル ・幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. .子どもの年齢や発達に応じた保育や遊びの展開を行う。		10			
2 その場の状況に応じた子どもへの対応と保育について理解する。		10			
3 問題のある子どもや保護者に対する対応について理解する。		10			
4 延長保育や休日保育、育児相談など子育て支援事業の理解。		16			
5 保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等の実践と理解。(部分実習、全日実習、査定実習)		10			
6 保育士としての自己の課題を明確化する。		4			
その他			関連科目		
<ul style="list-style-type: none"> ※担当保育者の指導や助言に従い、積極的に保育実習に参加すること。 ※実務経験のある教員が担当する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習事前事後指導 I (保育所実習) S ・保育実習 I S 		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-S33
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Internship at preschool 教育実習②S		実習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	90	3	江塚 会里
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園における教育内容や幼稚園の機能について、体験を通して理解する。 ・幼稚園教諭の職務および役割について、体験を通して理解する。 ・幼稚園での1日の教育活動を振り返り、観察記録を作成することができる。 ・部分実習または、全日実習の指導計画を立案することができる。 					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・実習で使用する手あそび、歌あそび、ゲームなどのレパートリーを増やしておくこと。 ・配属クラスの年齢に応じた指導計画案を作成すること。 ・実習後の授業、保育実習、就職活動、さらに、就職後の活動に向けた課題が鮮明になるような事後レポートを作成すること。 					
成績評価の方法					
実習日誌・事後レポートなどの提出物、実習園の評価で判定する。				実習日誌	50%
				指導計画	30%
				園評価	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド 教育・保育実習実技ガイド ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 幼稚園における1日の生活・活動の流れと生活・活動内容の概要の理解		10			
2. 遊び・生活場面での園児の行動の理解		20			
3. 園児の行動に対する幼稚園教諭の対応の理解		20			
4. 部分実習、全日実習の指導計画の作成および指導の理解		20			
5. 幼稚園教諭としての保育技能の習得および態度の養成の理解		10			
6. 幼稚園と家庭との連携の内容と方法の理解		5			
7. まとめ		5			
その他		関連科目			
※担当保育者の指導や助言に従い、積極的に教育実習に参加すること。 ※実務経験のある教員が担当する。		<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習事前事後指導 S ・教育実習① S 			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	K3-S37
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Childcare training instruction IIS 保育実習事前事後指導IIS		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	20	1	江塚 会里
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・「保育実習事前事後指導」「保育実習(保育所)」、またその他の教科で学習した内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支援について理解を深める。 ・指導計画の作成や記録など保育の実践力を養う。 ・保育士として自己の課題を明確化する。 					
授業の概要					
「保育実習(保育所)」での自己評価と課題・今後の学習目標について再度確認する。それに基づき、具体的な内容を通して、実習計画作成、実践、日誌の記録など、より実践的な内容を学習する。さらに、「保育実習Ⅱ」に関する目的を明確にし、「保育実習Ⅱ」の終了後には、自己評価と保育士としての自己課題について考察する。					
成績評価の方法					
「保育実習Ⅱ」にむけた各自の実習目標、課題、学習計画、授業中への積極的な参加も考慮する。				課題	50%
				授業態度	20%
				報告会	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・『幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』 ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 ・幼稚園教育要領 ・保育所保育指針 ・『保育所保育指針解説書』 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 保育実習(保育所)の振り返り(報告会)		4			
2. 保育実習Ⅱの目的・意義について。		4			
3. 保護者・家庭への支援と地域社会への連携について		4			
4. 教材研究・指導計画の作成		4			
5. 保育実習Ⅱに向けた、各自の実習目的、課題、学習計画の作成		4			
その他			関連科目		
※保育所の社会的役割、種類、内容などについての事前学習をしておく。 ※実務経験のある教員が担当する。			<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習Ⅰ (保育) S ・保育実習Ⅱ S 		

2020年度

国際ITビジネス科

1年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R1-K18
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Word processing skill ワープロ		講義・演習		国際ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	森岡 光秀 笹瀬由香・中村住子
授業の目的・目標					
日本語環境でのパソコンの基本操作（起動、シャットダウン、ファイル作成、コピー、削除等）が行えるようにする。また、日本語でのタイピングを習得し、Microsoft Word を使った、簡単な文書が作れるようにする。					
授業の概要					
前期では、正確に、素早く日本語が打てるように主にタイピングの練習を行う。 後期では、Microsoft Word を使用して、簡単な文書が作成できるようにする。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、課題提出、出欠席状況、授業態度を総合評価したうえで決定する。 課題の評価は、提出期限と完成度、自己努力を併せて判定する。 課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。				期末試験	50%
				課題	40%
				出席率	10%
使用テキスト・教材					
・留学生のためのかんたん Word/Excel/PowerPoint 入門					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
1. パソコン操作と日本語入力 アプリケーションの立ち上げと終了 ファイルの作成、保存、削除、コピー キーボードの名称と機能		2	4. Word の基本 4-1. 文字と段落の書式	2	
2. ひらがな、カタカナの入力と漢字変換 フォルダの作成、削除、コピー		2	4-2. 箇条書き	2	
3. タイピング練習			4-3. 表の作成	4	
3-1. ひらがな		4	4-4. 画像を入れる	4	
3-2. カタカナ		4	4-5. テキストボックス	2	
3-3. 漢字		6	4-6. 背景の設定	2	
3-4. 様々な文字が混ざった単語		6	4-7. はがきを作ろう	4	
3-5. 文章		6	4-8. 長文を打とう	6	
			5. 応用練習問題	4	
その他		関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。		・			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R1-K20
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Excel 表計算		演習		国際ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	笹瀬由香・中村住子
授業の目的・目標					
Excelの基本操作を日本語で習得し、知識を深める。日本情報処理検定協会 表計算3級以上合格を目標として操作技術の向上をはかる。					
授業の概要					
日本語のテキストを使用し、Excel基本操作方法を理解、日本語の知識を深める。模擬問題を繰り返し実習することで検定の問題パターン、日本語の会計用語に慣れる。					
成績評価の方法					
期末試験の得点及び随時おこなう課題提出の評価を加味する。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。					試験 (課題) 100%
使用テキスト・教材					
留学生のためのかんたん Word/Excel/PowerPoint 入門 技術評論社 情報処理技能検定試験 表計算 模擬問題集 日本情報処理検定協会					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.第4章 Excel		2	7.4-5 グラフ機能と素材の挿入 (2) 画像、図形の挿入		2
4-1Excelの基本			8.4-6 関数 (1)		2
4-2 セル操作の基本			合計・平均・最大・最小関数		
2.4-3 表の作成と編集 (1)		2	9.4-6 関数 (2)		4
配置・罫線・塗りつぶし・表のスタイル			IF 関数		
3.4-3 表の作成と編集 (2)		2	10.4-6 関数 (3)		2
表の検索と置換・並び替えとテーブル			IFS 関数		
4.4-4 数式と参照 (1)		2	11.3 級模擬問題		20
四則計算・SUM、AVERAGE 関数			12.準2級模擬問題		16
5.4-4 数式と参照 (2)		4			
絶対参照					
6.4-5 グラフ機能と素材の挿入 (1)		2			
円・棒グラフ作成、編集					
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R1-K26
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Qualification test measures 資格検体対策		講義・演習		国際ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	210	7	神谷 由佳、三浦 千尋 松本 三知代、青嶋 晶子 金田 雅美、木村安代 森岡 光秀
授業の目的・目標					
日本語能力試験の模擬試験および対策を行う。N3を取得している者は、文字語彙、文法、読解、聴解をバランスよく強化し、N2合格を目指す。N3が未習得の者は、練習問題を繰り返し行うことにより、N3合格を目指す。					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・通常授業では、日本語と同じテキストを使用し、語彙、文法の強化を図っていく。 ・模擬試験は前期2回、後期2回行う。 					
成績評価の方法					
通常授業の小テスト、通常点（課題、授業への参加度、忘れ物等）によって評価する。				通常点	70%
				小テスト	20%
				本試験	10%
使用テキスト・教材					
・出会い・THE GREAT JAPANESE					
授業内容・授業計画					
■通常授業		時間数	■進め方		時間数
①出会い		60	<ul style="list-style-type: none"> ・基本は日本語の授業と組み合わせて行っていく。JLPT前には問題集を使用し、毎日15分～30分ほどで進めていく。 		
②THE GREAT JAPANESE		142	■模擬試験		8
その他			関連科目		
※日本語教師資格がある教員が担当する科目である。			・日本語		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R1-A12
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Japanese Language 日本語		講義・演習		国際ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	450	15	三浦 千尋、松本 三知代 神谷 由佳、木村 安代 森岡 光秀、青嶋 晶子 金田 雅美
授業の目的・目標					
2年次から専門科目を学習するのに十分な日本語能力を身につける。外国人向けのテキストを使用し、書く、読む、聞く、話す、の4技能をバランスよく習得していく。					
授業の概要					
日本語能力検定 N3 程度の内容から始め、1年次終了時には N2 程度のレベルに達するように授業を進める。座学だけでなく、グループワーク、発表等も織り交ぜ、学生が主体的に授業に臨むことを求める。					
成績評価の方法					
期末試験、通常試験（授業内における小テストの平均点）、通常点（課題、授業への参加度、忘れ物等）によって評価する。				期末試験	50%
				小テスト	30%
				通常点	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・出会い ・新完全マスター漢字N2 ・クローズアップ日本事情 15 ・THE GREAT JAPANESE 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
<前期>			<通年>		
・出会い（全6課、4タスク）		100	・新完全マスター漢字N2 ⇒授業最初の30分を使用し、 1日1課ごと進めて行く。		
<後期>					
・クローズアップ日本事情 （全15課）		100			
・THE GREAT JAPANESE （初中級・中上級 全29課）		250			
その他			関連科目		
※日本語教員資格のある教員が担当する科目である。			・資格検定対策		

シラバス (授業概要)	時間数は45分換算	年度	2020年度
		科目コード	R1-B15

授業科目名		授業形態		学科・コース	
English and certification test 英会話と検定		講義・演習		国際ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	450	15	杉森 沙奈恵
授業の目的・目標					
海外でも活躍できる人材育成のため、そのコミュニケーションツールの一つとして英語を習得する。TOEIC400点以上を目指す。					
授業の概要					
基礎的な英語の習得を行った後、TOEIC対策を行っていく。					
成績評価の方法					
授業中に行う小テスト、および、期末試験の点数によって評価する。 また、TOEICの1回以上の受験を必須とする。				期末試験	70%
				小テスト	30%
使用テキスト・教材					
・TOEIC L&R テスト 文法問題で1000問					

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
■基本文型の復習①		■TOEIC リーディング	
・主語+動詞+目的語	10	・短文	10
・目的節	10	・長文	20
■基本文型②		・読解	30
・時制	10	■TOEIC リスニング	
・単数・複数	10	・写真描写	10
■TOEIC 文法		・応答	10
・名詞	10	・会話	20
・動名詞	20	・説明文	20
・前置詞、接続詞	30	■TOEIC 過去問題[120
・動詞	30	■TOEIC 模擬試験	30
・代名詞	10	■発音練習	30
・関係詞	20		
その他		関連科目	

2020年度

国際ITビジネス科

2年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-K04
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Business writing I ----- ビジネス文書 I		講義・演習		国際ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	三浦 千尋
授業の目的・目標					
日本語を学習中の留学生にとって、正確で伝わる文書を作成することは非常に困難である。本授業では、必要な情報を正しい表現で確実に伝える文章作成能力を身に着けることを目的とする。また、各種報告書類のフォーマットについても理解する。					
授業の概要					
授業では、メモの取り方、表現等を習得した後、日報の作成と提出をとおして、文書作成能力を向上させる。提出された日報については添削とレビューを行い、クラス全体で共有していく。また、文書は手書きだけでなく Word でも作成し、メールによる提出も行う。					
成績評価の方法					
課題、期末試験により評価を行う。 課題に関しては「自分の言葉で書いていること」をもっとも重視する。				課題	40%
				試験	50%
				態度	10%
使用テキスト・教材					
・「サクッと正しく書ける 報告書レポートの作り方」(日本能率協会マネジメントセンター)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション		2	5. 報告書の書き方		6
2. 報告書・レポートとは ー報告書・レポートの役割 ー基本フォーム		2	ー描写とそれに伴う表現 ー事実の書き方		
3. 日報・週報・月報の書き方 ー手書きの文書、Word での文書 ーメールでの課題の提出方法		4	6. レポートの書き方 ー考え・主張の書き方		4
4. 文書作りに必要な日本語表現 ー読み手に合わせる ー正しく伝える ー5W2H		6	7. 議事録の書き方 ー情報の取捨選択 ーまとめ方		4
			8まとめ		2
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-K04
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Business writing I ----- ビジネス文書 I		講義・演習		国際ITビジネス科 観光ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	神谷 由佳
授業の目的・目標					
留学生にとって日本独自のビジネス文書やビジネスメールは日本人以上に自然習得が難しいと予想されるため、就労前にフォーマット等を知識として得ておく。また、就職活動でメールのやり取りをすることから、その際必要なことを習得する。					
授業の概要					
まずはビジネス文書、ビジネスメールとは何かを理解する。その後、独特なフォーマット、言い回し等を学び、簡潔な文章で伝えることはもちろん、相手に配慮した内容で書けるようになる。特に観光ではお客様とやり取りすることを念頭に置いて授業を進める。					
成績評価の方法					
課題、期末試験により評価を行う。				課題	40%
				試験	50%
				態度	10%
使用テキスト・教材					
「できる！ビジネス文書の作り方が身に付く本」自作プリント					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ビジネス文書とは ー目的、種別等			2		
2. ビジネスメールとは ー私用メールとの違い			2		
3. ビジネスメール ーメールのマナー			12		
4. 効率よく伝わる文書			12		
5. 文書を作成してみよう！			2		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-K06
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Business manner I ビジネスマナーI		講義・演習		国際ITビジネス科・観光コース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	寺尾 寿樹
授業の目的・目標					
<p>授業の目的：ビジネスマナーの基本を身に付け、より円滑なコミュニケーション能力を向上させるため 授業の目標：日本独自の慣習を理解・習得し、気遣いができる人・相手に感謝され喜ばれる人になる</p>					
授業の概要					
<p>日本で働く上で必要なビジネスマナーの基本を身に付けて、周囲に好印象を与え、気配り・目配り・心配りのできる職場で感謝され喜ばれる人へ成長するために必要なスキルを磨いていく。ビジネス現場で役立つ会話練習や実技練習もロールプレイで繰り返し行い、定着を目指す。</p>					
成績評価の方法					
<p>期末試験の結果と課題内容及び実施・提出状況、授業の出席状況及び取り組む姿勢を加味して成績評価を行う。</p>				期末試験	50%
				課題内容	30%
				出欠状況	20%
使用テキスト・教材					
<p>要点をギュッ！はじめてのビジネスマナー図鑑：読むより見てわかる！ しごとの日本語 ビジネスマナー編 マンガで体験！につぼんのカイシャ ～ビジネス日本語を実践する～ その他 プリント教材等</p>					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	オリエンテーション	授業の目的・目標	2		
2.	ビジネスマナーの基礎知識		2		
3.	身だしなみのビジネスマナー		2		
4.	ふるまいのビジネスマナー		3		
5.	来客応対・訪問のビジネスマナー		3		
6.	電話応対のビジネスマナー		6		
7.	メール・文書のビジネスマナー		4		
8.	接待・会食のビジネスマナー		2		
9.	慶事・弔事のビジネスマナー		2		
10.	期末試験		2		
11.	ふりかえり・その他		2		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				R2-K19	
授業科目名			授業形態		学科・コース
IT BasicSkills IT 基礎技術			演習		国際 IT ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	笹瀬由香・中村住子
授業の目的・目標					
Excel の基本操作を日本語で習得し、知識を深める。日本情報処理検定協会 表計算 3 級以上合格を目標として操作技術の向上をはかる。					
授業の概要					
日本語のテキストを使用して、Excel 操作方法を学習し、日本語の表作成実務の知識を深める。模擬問題を繰り返し実習することで検定の問題パターン、日本語の会計用語に慣れる。各自習得技術により受検級を決定し、学習する。					
成績評価の方法					
試験結果の得点及び随時おこなう課題提出の評価を加味する。					試験 (課題) 100%
使用テキスト・教材					
情報処理技能検定試験 表計算 模擬問題集 日本情報処理検定協会					
授業内容・授業計画					
1. 復習 3 級模擬問題 1-10 SUM・AVERAGE・MAX・MIN 関数 ROUND 関数 (切り上げ、切り捨て) IF 関数 RANK 関数 絶対参照			時間数 20	3. 過去問題	
2. 準 2 級模擬問題 1-12 IF 関数 ネスト VLOOKUP 関数 グラフ作成 セル証明			32	時間数 8	
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度	
				科目コード	R2-K21	
授業科目名		授業形態		学科・コース		
information literacy 情報リテラシー		演習		国際 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	60	2	笹瀬由香・中村住子	
授業の目的・目標						
Word の基本操作を日本語で習得し、知識を深める。日本情報処理検定協会 文書デザイン4級以上合格を目標として操作技術の向上をはかる。						
授業の概要						
日本語のテキストを使用して Word 操作方法を学習し、日本語の知識を深める。模擬問題を繰り返し実習することで検定の問題パターン、日本語の文書作成に慣れる。 各自習得技術により受検級を決定し、学習する。						
成績評価の方法						
試験結果の得点及び随時おこなう課題提出の評価を加味する。					試験 (課題) 100%	
使用テキスト・教材						
情報処理技能検定試験 文書デザイン 模擬問題集 日本情報処理検定協会						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 復習 文書デザイン検定4級1-8 ページ設定 テキストボックス 文字・段落の編集			22			
2. 文書デザイン検定3級1-12 テキストボックス 色設定 画像挿入 表挿入			30			
3. 過去問題			8			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-K22
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Presentation skill I プレゼンテーション技法 I		演習		国際IT科 観光ビジネス	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	三浦 千尋 神谷 由佳
授業の目的・目標					
プレゼンテーションは、専門科目の授業や就職活動、仕事等、ありとあらゆる場所で必要となる能力である。本科目では、自分の考えをまとめ、わかりやすく相手に伝えるためのプレゼンテーションスキルを習得する。情報収集能力、資料作成能力、そして、パフォーマンス力を総合的に向上させる。					
授業の概要					
テーマ提示、情報収集、資料作成、プレゼンテーション、レビュー、を繰り返していく。資料作成にはMicrosoft Power Point を使い、基本的な操作と見やすい資料作りも学ぶ。また、お互いに資料を添削したり発表を聞き合うピアラーニングも取り入れたり等、プレゼンテーションをするだけでなく、聞く側のスキルも養う。後期には他の科目とコラボレーションし、学んだことを実際に生かしていく。					
成績評価の方法					
授業内で行うプレゼンテーション、作成した資料によって評価をする。 また授業内や課題における積極性も評価の対象とする。					課題90% 態度10%
使用テキスト・教材					
プリント					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション		2	6. 意見を伝えよう		2
2. 効果的な資料を作ろう		4	①「説得力」とは		
①PPT 基本操作			②「伝わる」話し方		
②原稿と PPT のリンク			7. 【プレゼン3】商品売り込み		6
③PPT に使用する日本語			8. 【プレゼン4】科目コラボ1		10
3. 【プレゼン1】自己紹介		4	9. 【プレゼン5】科目コラボ2		10
4. 資料をまとめよう		6	10. 【プレゼン5】就活用自己紹介		10
①情報収集					
②必要な情報、不必要な情報					
③どの情報を PPT に載せるか					
④効果的な PPT					
5. 【プレゼン2】母国 or バイト紹介		6			
その他			関連科目		
※企業でのプレゼンの実務経験がある講師が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-K24
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Homepage Creation 1 ----- ホームページ制作 I		講義・演習		国際ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必須	60	2	牧野 律子
授業の目的・目標					
ホームページで情報発信している企業が増える中、社内のホームページの更新作業を逐次行っていくことが必要になる。そのため、ソースコードをみて修正箇所を見つけ出し、修正・更新をすることができるようにする。					
授業の概要					
ホームページ作成ソフトを使えば簡単にホームページを作成することができる時代である。しかし、ちょっとした修正ができるためには、記述されているHTML言語について理解している必要がある。ホームページの基本言語であるHTML言語での作成方法を学び、ホームページを理解することを目指す。					
成績評価の方法					
期末試験の得点、演習課題を総合評価したうえで決定する。日々の授業の中での学習意欲、出席率を併せて判定する。演習課題が未提出の場合、成績の評価は行われない。				期末試験	50%
				演習課題	40%
				出席率	10%
使用テキスト・教材					
・自分でつくるホームページHTML/CSS編					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ホームページ作成準備			6		
2. HTMLの基礎			6		
3. CSSの基礎			6		
4. リスト・水平線・画像の利用			6		
5. 表の利用			6		
6. リンクの利用			6		
7. 制作の仕上げ			6		
8. フレームの利用			6		
9. 課題「Web制作」			6		
10. 課題発表			6		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・ホームページ制作II		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-A13
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Japanese culture I ----- 日本文化 I		講義・演習		国際ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	120	4	神谷 由佳、三浦 千尋 青嶋 晶子
授業の目的・目標					
中上級～上級レベルの日本語能力を身に付けながら、日本文化について理解することを目標とする。日本語能力は、読む、聞く、書く、話す、の4技能をバランスよく向上させる。また、日本語能力対策として、N1、N2の上級文法を整理し、習得する。					
授業の概要					
テキストを利用し、速読、リスニングによって大意を把握したあと、精読を通し、内容理解、文法や表現の習得を行う。また、各課で取り上げられている人物や時代背景を調査し、理解を深める。さらに、レポートや発表を行い、アウトプットのトレーニングも行う。					
成績評価の方法					
授業内で行う小テスト、期末テストに加え、通常点として課題や授業への参加度(積極性)も評価する。				期末試験	50%
				小テスト	30%
				通常点	20%
使用テキスト・教材					
『The Great Japanese 30の物語 [中上級]』(くろしお出版)					
授業内容・授業計画					
<前期>	時間数	<後期>	時間数		
1. 卑弥呼	2	10. 三遊亭園町	2	11. 千利休	2
2. 聖徳太子	2	12. 黒沢明	2	13. 草間彌生	2
3. 紫式部/清少納言	2	14. 五嶋みどり	2	15. 夏目漱石	2
4. 織田信長	2	16. 村上春樹	2	17. 俵万智	2
5. 本田宗一郎	2	18. 長谷川町子	2	19. 宮崎駿	2
6. 和田かつ	2	20. 石ノ森章太郎	1		
文法復習	1	文法復習	1		
7. 白石義明	2	21. 高橋尚子	2	22. イチロー	2
8. 孫正義	2	23. 野口健	2	24. 杉原千畝	2
9. 秋元康	2	25. 佐藤栄作	2	26. 萱野茂	2
期末テスト	1	27. 新渡戸稲造	2	28. 藤田哲也	2
		29. 山中伸弥	2	30. 石黒浩	2
日本語能力試験対策(模試含む)	16	期末テスト	2		
その他			関連科目		
※日本語教員資格のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-C27
授業科目名		授業形態		学科・コース	
algorithm アルゴリズム		講義・演習		国際ITビジネス科 IT・CADコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必須	30	1	三浦 千尋
授業の目的・目標					
プログラミングを行う上で基礎となるアルゴリズムを学ぶ。 ルールに従って手順を考える力を養い、また、考えたものを可視化し、周りに共有できるようになることが目標である。					
授業の概要					
Scratchを使用し、実際にプログラムを動かしながら、どのような構造で動いているのかを学ぶ。 授業では、基本的な処理の流れを学んだ上で、自分自身でプログラムを作っていく。トライ&エラーを繰り返すことで理解を深め、アルゴリズムを体得する。					
成績評価の方法					
期末試験と授業内で行う課題によって評価する。 また授業に対する積極性も評価の対象とする。				期末試験	50%
				課題	40%
				取り組み	10%
使用テキスト・教材					
・「Scratchで学ぶプログラミングとアルゴリズムの基本」(日経BP社)					
授業内容・授業計画					
第1章 Scratchの基本を知ろう		時間数	第5章 関数の使い方をマスターしよう		時間数
・Scratchの基本操作の習得		2	・関数、引数、再起処理		2
・フローチャート					
第2章 プログラムの流れをつかもう		1	第6章 アルゴリズム① サーチ		1
・スクリプト同士のやりとり			第7章 アルゴリズム② 基本的なソート		1
第3章 変数と配列の使い方をマスターしよう		2	第8章 アルゴリズム③ すすんだソート		1
・変数の仕組み			第9章 クローン		1
・入力処理、配列(リスト)			第10章 期末試験		1
第4章 構造化プログラミングを学ぼう		2			
・条件分岐、繰り返し					
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・プログラム言語Ⅰ、Ⅱ ・システム設計Ⅰ、Ⅱ ・システム開発演習Ⅰ、Ⅱ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-C28
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Programming Language 1 プログラム言語 I		講義・演習		国際ITビジネス科 IT・CADコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必須	90	3	山田 友作
授業の目的・目標					
アルゴリズムの授業で学んだフローチャートの技術をプログラミングにより実現する。プログラミングの基本を学びながら、ものづくりに活かせるプログラム作成を学習する。創造性を発揮するプログラミングが体験できるSTEM教育を目指す。					
授業の概要					
教育用ブロックプログラミング環境「JavaScript ブロックエディタ」を用いて、micro:bit によるプログラミングを学ぶ。各種センサーを用いてプログラムによって動きをコントロールするものづくり演習を行ない、身の回りで日常化されている組込みプログラミングの理解を深めていく。					
成績評価の方法					
制作した課題で評価する。ただし、授業態度、出席率が悪い場合はマイナス評価とする。				課題	80%
				授業態度	10%
				出席率	10%
使用テキスト・教材					
・micro:bit ではじめるプログラミング (オライリー・ジャパン)					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	micro:bit の基本を知ろう		2		
2.	micro:bit の各部の説明		2		
3.	micro:bit を使う準備		2		
4.	micro:bit でプログラミング		4		
5.	ボタンスイッチ		4		
6.	タッチセンサー		4		
7.	加速度センサー		4		
8.	地磁気センサー		4		
9.	無線通信機能		4		
10.	温度センサー		4		
11.	光センサー		4		
12.	micro:bit で作品を作る		10		
13.	micro:bit で通信する		10		
14.	ものづくり演習		20		
15.	作品発表		12		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・アルゴリズム		

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				R2-C30	
授業科目名			授業形態		学科・コース
システム設計 I			講義・演習		国際ITビジネス科 IT・CADコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	岡田 靖志
授業の目的・目標					
リレーやタイマーを使ったリレーシーケンス制御を学ぶ。基礎的なシーケンス回路が設計出来、シーケンス図を見ながら配線できる知識を学習する。					
授業の概要					
リレーシーケンスの基本回路を実習を行いながら学習する。一人1台の実習ボードを使用し、配線して動作確認をする実習を行う。					
成績評価の方法					
筆記試験・実技試験など				筆記試験	50%
				実技試験	50%
使用テキスト・教材					
リレーとシーケンサ (オーム社) 実習ボード					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. シーケンス制御の基礎 リレーの原理と構造		2	4. エアーシリンダの制御回路		
2. リレーシーケンス基礎回路演習			(1) シリンダ1本の制御		4
(1) 論理回路と自己保持回路		4	(2) シリンダ2本の制御		6
(2) インターロック回路		4			
3. タイマーを使った回路					
(1) 基本回路		2			
(2) 点滅回路		2			
(3) 信号機の回路		4			
その他			関連科目		
*実務経験のある教員が担当する科目である					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-C32
授業科目名		授業形態		学科・コース	
System Development Practice 1 システム開発演習 I		講義・演習		国際ITビジネス科 IT・CADコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必須	30	1	山田 友作
授業の目的・目標					
<p>会社の職場で一番利用されているExcel（表計算）ソフトだが、活用レベルは簡単なものにとどまっている傾向がある。Excelの機能を使いこなせば、仕事の効率化・標準化につながる。本講座では、Excelの機能の一つであるマクロ/VBAを活用した方法を実践できるようにする。</p>					
授業の概要					
<p>テキストに沿って、あらかじめ用意されたエクセルシートに、プロシージャを作成してVBAの動作を確認することで、VBAを理解していく。また、プログラミングの正解は一つではないので、他の方法も考えて演習させることで、さらに理解度を高める。</p>					
成績評価の方法					
<p>期末試験の得点の他、日々の授業の中での学習意欲を、出席率を含む授業態度で評価し、総合評価したうえで決定する。</p>				期末試験	80%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
<p>・よくわかる Excel2016 マクロ/VBA</p>					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 授業ガイダンス		2	11. 罫線の種類と色の設定		2
2. マクロの作成		2	12. 図形の表示・非表示		2
3. 複数の処理のマクロ作成		2	13. セルの設定		4
4. マクロ有効化の設定		2	(Range,End,Offset プロパティ)		
5. マクロの実行・削除		2	14. プロシージャをボタンに登録		2
6. マクロの編集とコンパイル		2			
7. モジュールの概要		2			
8. プロシージャの概要		2			
9. オブジェクト・プロパティ		2			
10. シートの作成・削除		2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・システム開発演習II		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-C34
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Basic Drafting 基礎製図		講義・演習		国際ITビジネス科 IT・CADコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必須	30	1	山田 友作
授業の目的・目標					
CAD技術者は図面を描き、読むことができる知識が必要不可欠である。 ここでは、機械製図の基礎的な知識・方法、及び立体表現に必要な図学の基礎知識・図法などについて学ぶ。					
授業の概要					
機械製図の基礎的な知識・方法、及び立体表現に必要な図学の基礎知識・図法などについて学び、CAD技術者の基礎を学ぶ。随時、製図演習や練習問題を行い、理解を深める。					
成績評価の方法					
期末試験の得点により決定する。ただし、授業態度、出席率が悪い場合はマイナス評価とする。				期末試験	80%
				授業態度	10%
				出席率	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> やさしい機械図面の見方・描き方 (オーム社) CAD利用技術者試験2次元公式ガイドブック、三角定規とコンパス 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 図面の役割		2			
2. 図面の見方と描き方					
・製図用具・用品と使い方		2			
・図面の描き方の基礎 (線の種類)		2			
・図面の描き方の基礎 (線の描き方)		2			
・図面の描き方の基礎 (投影法)		4			
・いろいろな立体図の投影図		6			
3. 製図の図形の表現方法					
・部分・補助投影図		2			
・断面図		2			
・省略図示法		2			
・特殊な図示法		2			
4. 投影図からの立体図		4			
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。		<ul style="list-style-type: none"> CAD概論 ・機械CAD演習 機械2次元CAD I 			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-C35
授業科目名			授業形態		学科・コース
CAD Introduction CAD概論			講義・演習		国際ITビジネス科 IT・CADコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必須	30	1	山田 友作
授業の目的・目標					
JIS規格に従い、各種の図形の表し方、寸法・はめあいの記入、表面形状の図示など製作図の作成についての知識を習得し、CAD技術者の基礎を身につける。					
授業の概要					
JIS規格に従い、各種の図形の表し方、寸法・はめあいの記入、表面形状の図示など、CADによる作図において必要な知識を習得し、CAD技術者の基礎を身につける。随時、製図演習や練習問題を行い、理解を深める。					
成績評価の方法					
期末試験の得点により決定する。ただし、授業態度、出席率が悪い場合はマイナス評価とする。				期末試験	80%
				授業態度	10%
				出席率	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> やさしい機械図面の見方・描き方 (オーム社) CAD利用技術者試験2次元公式ガイドブック、三角定規とコンパス 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. CADの役割		2	3. 機械要素		
2. 機械図面のよみ方・描き方			・ねじ		2
・理解しやすい図示法		2	・ボルト・ナット		2
・いろいろな図示の工夫		4	・座金		2
・寸法の記入法		4	・キーとキー溝		2
・寸法補助記号の使い方		2	・ばね		2
・特殊な形状の寸法記入		2	・歯車		2
・表面粗さ		2	・転がり軸受		2
・寸法公差とはめあい		4			
・幾何公差		4			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			<ul style="list-style-type: none"> 基礎製図 機械2次元CAD I 機械CAD演習 		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-C36
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Mechanical 2D CAD 1 機械2次元CAD I		講義・演習		国際ITビジネス科 IT・CAD コース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	岩田 とも子
授業の目的・目標					
2次元CAD (AutoCAD) の基本的な操作を習得する。 図面作成に必要な三面図の考え方を理解し、実際に描けるようにする。 基本的な機械製図の読み方を習得する。					
授業の概要					
授業中日本語での説明を理解し質問がきちんとできるようにする。CADの基本的な操作を正しく理解する。また、CADの仕事をするうえで最低限必要な図面の読み方もいっしょに説明する。 演習課題については必ず自分で描く。ということを約束する。					
成績評価の方法					
きちんと授業を受けていること。(出席率、忘れ物、居眠りなどを含め) 提出課題については完成度と共に提出期限(納期)を意識して取り組むこと。				授業態度	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
これからはじめる AutoCAD の本 株式会社技術評論社 演習課題 (自作)					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. AutoCAD のインストール、基本操作			4	14. 確認プリント	2
2. コマンドとは			1	15. 配列複写 (矩形、円形) コマンド	1
3. 線分コマンド (絶対、相対、極座標)			2	16. 尺度変更、ストレッチコマンド	1
4. オブジェクトスナップ			1	17. 確認プリント	2
5. 確認プリント			2	18. グリップを使ったコマンド	1
6. 円コマンド			1	19. 画層について	1
7. 移動、複写コマンド			1	20. 各種設定 (寸法、文字)	1
8. 確認プリント			2	21. 三面図について (フリーハンド)	2
9. 長方形、ポリゴン、分解コマンド			1	22. 三面図作図をCADで作図する方法	1
10. ディバイダ、オフセットコマンド			1	23. 三面作図	6
11. 確認プリント			2	24. 基本的な機械図面の見方 (製図)	2
12. トリム、延長コマンド			1	25. 寸法、文字の記入方法	2
13. 回転、鏡像、長さ変更コマンド			1	26. 機械図面作図	18
その他			関連科目		
コマンドごとに演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・基礎製図 ・CAD概論 ・機械3次元CAD I		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-C38
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Mechanical 3D CAD 1 機械3次元CAD I		講義・演習		国際ITビジネス科 IT・CAD コース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	岩田 とも子
授業の目的・目標					
3次元CAD (AutoInventor) の基本的な操作を習得する。 図面作成に必要な三面図の考え方を理解し、立体図がイメージできるようにする。 基本的な機械製図の読み方を習得する。					
授業の概要					
日本語での説明を理解し質問がきちんとできるようにする。3次元CADの基本的な操作を正しく理解する。2次元図面から3次元を作図することができるようにする。 演習課題については必ず自分で描く。ということを約束する。					
成績評価の方法					
きちんと授業を受けていること。(出席率、忘れ物、居眠りなどを含め) 提出課題については完成度と共に提出期限(納期)を意識して取り組むこと。				授業態度	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
図解 Inventor 実習 ゼロからわかる3次元CAD 演習課題(自作)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. Inventor のインストール、基本操作		1	10. ブラウザの操作		4
2. 3次元で作図するための考え方		1	修正/表示/操作手順変更		
3. 三面図から立体図作成(フリーハンド)		2	11. 回転		2
4. 拘束の種類、使い方をマスター		2	・回転の説明/演習		
5. 完全拘束について		2	12. フィレット・面取りの説明/演習		1
6. スケッチについて		4	13. シェルの説明/演習		1
・基準平面について/選択の仕方			14. 穴の種類・描き方の説明/演習		1
・線/円/長方形			15. 勾配の説明/演習		1
・削除/トリム			16. 矩形・円形状の説明/演習		1
・作図方法/演習			17. 平面の作り方		1
・完全拘束			18. 実践モデリング		12
7. パーツモデリングの考え方説明		1	19. 基本的なサーフェスについて		4
8. 押し出し(切り取り)		3	・解説/演習		
・種類/ダイアログの説明			20. 基本的なアセンブリについて		6
9. 演習		6	・解説/演習		
			21. 基本的な図面化について		4
			・解説/演習		
その他		関連科目			
コマンドごとに演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。		・機械2次元CAD I ・機械3次元CAD II			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-D41
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Geography for sightseeing I 観光地理 I		講義・演習		国際IT科観光ビジネス	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	黒川敦子
授業の目的・目標					
静岡県各地の「観光」と「地理」について理解し、日本人との会話に取り入れることができるようになる。また、観光客に対して静岡県の魅力（観光地・特産物など）を説明できるようになる。					
授業の概要					
日本の中での静岡県の地理的な位置と、静岡県の地域ごと（西部・中部・東部・伊豆）の違いや特徴を生かした産業や特産物などと「観光」との結びつきについて学ぶ。その背景にある気候や地形などについて調べ、わかりやすく説明する。 来年度の観光地理Ⅱ（全国）に備え、観光地理Ⅰでは学生自身が住んでいる「静岡県」についての知識を深めておく。					
成績評価の方法					
発表、演習課題、授業貢献度を総合評価したうえで決定する。静岡県地理に関する理解を、自力でどれだけ調べることができるか、情報として発信できるかで測るため、課題発表を重視する。				発表：40% 課題：30% 授業貢献度：30%	
使用テキスト・教材					
学研「読んで見て楽しむ日本地図帳」 パンフレット、DVD、見学					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ガイダンス／日本全土について			2		
2. 日本の中での静岡県と静岡県概要			2		
3. 自然と気候			2		
4. 地形			2		
5. 静岡県の産業（見学）			4		
6. 地域別特産物・観光の特徴			2		
7. 静岡県オリジナルMAP作り準備			10		
8. 発表			4		
9. まとめ（静岡県の観光のトレンド）			2		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。 ※オリジナルの静岡県MAPを作成する。 ※教員免許取得者が担当する科目である。 （中学社会科・高校地歴公民）			・観光地理Ⅱ ・ツアープランニング		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-D43
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Service and reception skills I サービス・接客I		講義・演習		国際ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	120	4	山添 有香子
授業の目的・目標					
接客ホスピタリティーの意義を学び、サービス業でプロとしてのおもてなしを実践できるように立ち居振る舞い、マナー、一般常識を身に付ける。最終目標としてサービス接客検定3級並びに準1級を取得する。					
授業の概要					
サービスマンとしての挨拶、姿勢、敬語の使い方など基本的な項目を徹底して学び、授業の中でも実践する。また、サービス接客検定に向けてマナーや一般常識を学び、ロールプレイで適宜実践練習を積む。					
成績評価の方法					
期末試験の得点に、サービス接客検定の可否結果と授業態度を点数化し、総合的に判断する。また、授業や課題において積極的で誠実な態度は接客者として高く評価する。					期末試験 80 % その他 20 %
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・就職に効くサービス接客検定3・2級 テキスト&問題集 ・サービス接客検定3級実問題集 					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
1. サービススタッフの資質			3-1 サービス業務の基本手順		6
1-1 身だしなみ・おじぎ		8	3-2 クレーム対応・問題処理		6
1-2 表情・言葉遣い		4	3-3 社交業務		10
1-3 求められる行動・明るさと誠実さ		4	4. 専門知識		
1-4 いたわりのある・信頼される対応		4	4-1 サービスの意義		4
2. 対人技能			4-2 お客様対応のコツ		6
2-1 人間関係の対処法		2	5. 一般知識		
2-2 接客者としての話し方		2	5-1 ことわざ・慣用句		10
2-3 適切な服装と態度		2	5-2 サービス業用語		10
2-4 敬語		10	5-3 難読漢字		6
2-5 丁寧な言葉遣い		10	検定対策 (過去問実施・解説)		16
3. 実務技能					
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			「サービス・接客II」		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-D45
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Tour Planning I ツアープランニング I		講義・演習		国際ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2年生	通年	必修	120	4	黒川敦子
授業の目的・目標					
<p>・授業前半では、日本に関する基礎知識を身に付け、現代の日本のインバウンドの現状を学び、後期に行う浜松浜名湖地域の着地型ツアーの造成に必要な知識を身に付けることを目指す。</p> <p>・授業後半では、浜松・浜名湖地域の着地型ツアーを改善しながら造成することを通じ、情報収集・発信の力の向上を目的とする。</p>					
授業の概要					
現代観光や日本に関する知識を習得する講義と、ツアープランニングに必要な基礎知識と旅行商品造成のプロセスを講義と演習方式で授業を進める。講義の翌週には小テストで定着度を測るため、復習を中心に取り組むこと。演習時は自宅での作業も必要となる。『読んで見て楽しむ日本地図帳』は常に持参・参照し、長期休暇や休日には観光地を訪れたり、TV番組を見たりするなど、見聞を広めること。					
成績評価の方法					
小テスト、発表・課題、予習・復習などの授業参加度や授業貢献度を総合評価したうえで決定する。				発表/課題	40%
				試験	30%
				授業貢献度	30%
使用テキスト・教材					
前半の講義では配布するレジュメを使用する。ファイルに閉じて毎回持参すること。 『インバウンドビジネス入門講座』翔泳社 『読んで見て楽しむ日本地図帳』学研					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1 ガイダンスと自己紹介		2	1 1 取り組み事例 (P174-213)		4
1-1 自己紹介			1 2 日本の伝統芸能・武道・娯楽		2
1-2 プランニングのステップ (P100-107)			1 3 浜松の概要復習		2
2 日本に関する基礎知識		2	1 4 浜松の観光について調べる		8
3 日本の歴史		2	1 5 浜松の観光の現状調べた事発表		2
4 日本各地の特色		2	1 6 浜松の受け入れ現状 (浜松TB)		2
5 観光の歴史と現状 (P24-39)		2	1 7 プランニング①		
6 インバウンドの可能性 (P40-54)		2	1 7-1 グループ作りリサーチと資料作成		16
7 外国人観光客の動向 (P56-65)		2	1 7-2 中間発表とフィードバック		4
8 外国人観光客の特徴 (P66-97)		2	1 8 プランニング② ③		
9 インバウンドの受け入れに向けての対策 (P150-171)		2	1 8-1 ツアー改善と資料作成×2		8
			1 8-2 練習とフィードバック×2		8
10 前期まとめ		2	1 9 最終発表		4
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			ツアープランニングⅡ 観光地理		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-D47
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Basic study of hotel ホテル概論		講義・演習		国際 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前	必修	30	1	杉森 沙奈恵
授業の目的・目標 ① ホテルについて簡単な知識、歴史を身に着けることができる。 ホテルについて簡単な知識、歴史を身に着けることができる。 ホテルで働くことについて具体的に考えることができる。					
授業の概要 ホテルの宿泊経験がない学生が多くいるため、ごく一般的な知識の習得から導入し、その後、専門用語を含めた、専門知識へと学習を進めて行く。					
成績評価の方法					
期末試験の点、授業態度で決定する。態度には、出席率、積極性、授業態度が含まれる。				期末試験	50%
				態度	40%
				出席	10%
使用テキスト・教材					
・ホテルテキスト 基礎から学ぶホテルの概論 ウィネット					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. ホテルとは					
2. 分類		2	1 1 安全管理	2	
3. 歴史		2	1 2 これからのホテル	2	
4. 産業の特徴		2	1 3 総復習	2	
5. 職種		2			
6. 宿泊部門		2	(可能であればホテル見学-を行う)		2
7. 料飲部門		4			
8. 宴会 基礎		4			
9. スタッフに求められる能力		2			
10. とりまく環境		1			
		1			
その他			関連科目		
※2020年1月にホテル実務技能検定試験を受験する。 ※ホテルに勤務経験のある教員が担当する。			・「サービス・接遇Ⅰ」、「サービス・接遇Ⅱ」 ・「ホテル総論」、「ホテル実務」、「ホテル研究」、		

シラバス (授業概要) 時間数は45分換算					年度	2020年度
					科目コード	R2-D48
授業科目名		授業形態			学科・コース	
Hotel practice ホテル実務		講義・演習			国際ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	30	1	杉森 沙奈恵	
授業の目的・目標 各セクションの仕事内容を理解することができる。						
各セクションの仕事内容を理解することができる。 ホテル実務技能検定試験 初級に合格することができる。						
授業の概要						
ホテルでの各セクションの仕事内容を動画なので説明し、想像しやすいように工夫する。また、仕事内容を説明すると同時にテスト対策も行っていく。						
成績評価の方法						
期末試験の点、授業態度で決定する。態度には、出席率、積極性、授業態度が含まれる。					期末試験	50%
					態度	40%
					出席	10%
使用テキスト・教材						
ホテル実務技能検定試験 初級問題集 サーティファイ						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 接遇			4			
2. 料飲 (レストラン、宴会)			6			
3. 宿泊 (ドアマン、ベルマン、予約、受付 ハウスキーピング)			6			
4. ホテル用語外国語理解			2			
5. 関連分野			4			
6. 過去問対策			6			
7. 総復習			2			
その他				関連科目		
<ul style="list-style-type: none"> ・2021年1月にホテル実務技能検定試験受験予定 ・ホテルでの就労経験がある教員が担当する 				<ul style="list-style-type: none"> ・サービス接遇 ・ホテル概論 		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-D51
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Service English I ----- ホテル専門用語活用 I		講義・演習		国際 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	杉森 沙奈恵
授業の目的・目標 英語応対能力検定 宿泊 A判定を目指す。履歴書に書け、就職活動でアピールできるように					
英語応対能力検定 宿泊 A判定を目指す。履歴書に書け、就職活動でアピールできるように英語を勉強した/英語ができる証として受験させる。					
授業の概要					
前半は、各項目別に説明し、問題を解く。後半は過去問を時間を測りながら行う。					
成績評価の方法					
期末試験の点、授業態度で決定する。態度には、出席率、積極性、授業態度が含まれる。				期末試験	50%
				態度	40%
				出欠	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> 英語応対能力検定公認教材 とにかくひとこと接客英会話 宿泊編 旺文社 接客英会話ワークブック基礎編 					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. 予約			4		
2. チェックイン			4		
3. ホテル内でのリクエスト			4		
4. チェックアウト			4		
5. トラブル			4		
6. 過去問			8		
7. 総復習			2		
その他			関連科目		
<ul style="list-style-type: none"> ※個々の能力に合わせ時期は変わるが、英語応対能力検定を受験させる。 ※ホテルでの実務経験がある講師が担当する。 					

2020年度

国際ITビジネス科

3年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				R3-K05		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
Business writing II ビジネス文書 II		講義・演習		国際 IT ビジネス科 IT/CAD コース		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	30	1	三浦 千尋	
授業の目的・目標						
本授業では、製造業の現場で必要となる報告書の書き方を習得することを目的とする。会社で使われる文書にはどのような種類があるのかを学び、日報・週報などの定期型文書、議事録、事故報告書などの非定期型文書が書けるようになることが目標である。						
授業の概要						
さまざまな文書を読み、ビジネス文書の内容を正しく理解する読解力を身に着ける。そのうえで、日報・週報などの日常的な文書や議事録、事故報告書などのイレギュラーな文書を作成する。授業は実際の業務を想定し、Word で文書作成し、メールで提出する。						
成績評価の方法						
課題および試験で評価する。 課題は「自分で考えた文章かどうか」をもっとも重視する。				課題	40%	
				試験	50%	
				その他	10%	
使用テキスト・教材						
「サクッと正しく書ける報告書レポートの作り方」(日本能率協会マネジメントセンター)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション			2	7. ビジネスメール		4
2. 報告書・レポートとは?			4			
3. 会社で扱われる文書① ー日報、週報、月報			4			
4. 会社で扱われる文書② ー報告書、研修報告書			6			
5. 会社で扱われる文書③ ー提案書、企画書、調査報告書、稟議書			4			
6. 会社で扱われる文書④ ー事故報告書、クレーム報告書、始末書			6			
その他				関連科目		
※外国人の採用を担当した経験のある教員が行う						

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R3-K05
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Business writing II ビジネス文書 II		講義・演習		国際ITビジネス科 観光ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	1	三浦 千尋
授業の目的・目標					
電子メールは、学校生活でも仕事上でも必須のコミュニケーションツールである。本授業では、仕事上で起こりうるさまざまな状況に対応できるメールスキルを習得する。ビジネスメールにおける「型」だけを習得するのではなく、相手を不快にさせず、円滑に人間関係を継続していけるスキルを身に着けることを目標とする。					
授業の概要					
ケーススタディを軸に授業を進めていく。さまざまな状況を解決するメール文を考え、クラス内で検討を行う。正解を暗記するのではなく、自分で文章を作っていくことで、アウトプットに慣れ、質を向上させていく。					
成績評価の方法					
授業ごとに出される課題（作文）で評価を行う。 日本語的な間違いの有無より、よく考えられた内容かどうかを重視する。				課題	40%
				試験	50%
				その他	10%
使用テキスト・教材					
『改訂新版 ビジネスメールの書き方・送り方』（あさ出版）					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. オリエンテーション			2	4. トラブル解決法	
2. ビジネスメールのルール ー基本な型			4	ー書きかけメールの送信 ー会社名、氏名の記載ミス	
3. シチュエーション別 ー面識の相手にメールを書く ー返事の催促 ー謝罪 ー上司へのトラブル報告 ークレーム ー断りのメール			12	ーメールの送り忘れ ー人違い ー重要文書の流出	
				5. まとめ	2
その他			関連科目		
※外国人の採用を担当した経験のある教員が行う			ビジネス文書 I		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R3-K07
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Business manner II ビジネスマナーII		講義・演習		国際ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	30	1	夏目 靖子
授業の目的・目標					
ビジネスマナー I で学んだ社会人としての心得(一般常識・マナー)を確認し、更に日本の社会を理解し活躍できる人材育成をする。					
授業の概要					
「マンガ」を利用し日本のビジネス現場のリアルに触れながら、ビジネスマナーを確認する。さらに、ロールプレイングで実践力を養う。					
成績評価の方法					
単元ごとに「確認テスト」を実施。授業態度やロールプレイングへ取り組む姿勢を加味し総合的に判断する。				確認テスト	50%
				その他	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人 日本漢字能力検定協会「マンガで体験! にっぽんのカイシャ」 ・資料プリント、練習問題、演習問題 (自作) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. ビジネス社会の常識			4. ビジネス文書		
1-1	社会人としての考え方	1	4-1	ビジネス文書の書き方	2
1-2	社会のルール	1	4-2	ビジネスメールの書き方	2
1-3	職場のルール	1	4-3	文書の受発信	1
2. 仕事をするための基礎知識			5. 社会人としての付き合い		
2-1	好感を持たれる立ち居振る舞い	2	5-1	慶事のマナー	2
2-2	確実な仕事をする基本とルール	2	5-2	弔事のマナー	2
2-3	自己啓発と健康管理	1	5-3	食事のマナー	2
3. ビジネスマナー			6. 演習		3
3-1	敬語と言葉遣い	2			
3-2	電話応対	2			
3-3	来客応対	2			
3-4	訪問のマナー	2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R3-K08
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Business administration 経営学概論		講義・演習		国際ITビジネス科 IT/CAD コース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	30	1	小野哲
授業の目的・目標					
<p>製品を設計・生産する上で必要となる関連知識を総合的に学習する。 特に、近年後工程を意識した製品設計、コストを意識した設計業務が求められており、益々幅広い知識が求められている。 製造業全般に関わる「言葉」を理解し、世界で通用する業務知識を習得する</p>					
授業の概要					
<p>テキストに基づいて進めていくが、生産管理の各機能については講師の経験資料を基に幅広く内容を解説する授業になる。特に製造業に於ける生産に関わる「言葉」を理解させるように解説し、生産に関する理解を深める</p>					
成績評価の方法					
後期筆記試験結果、提出レポート(社会人としての資質)、授業中の態度を中心に習熟度を確認し、評価する				後期試験	40%
				レポート	30%
				授業態度	30%
使用テキスト・教材					
<p>工場のしくみ 日本実業出版社 自作講義資料</p>					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
1. 工場とは何か		1	7. 生産管理		
2. 企業内教育		2	7-1.生産計画		2
3. ものの作り方		2	7-2.基礎情報		1
4. 工場全体			7-3.在庫管理		3
4-1.さまざまな生産のしくみ		1	8. 現場作業		3
4-2.工場全体のしくみ		2	9. 原価計算		2
5. 仕事の見える化			10. 品質管理		2
5-1.業務プロセス		1	11. IT化		2
5-2.フローチャート		1	12. 後期テスト		2
6. 開発設計		3			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R3-K08
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Business administration 経営学概論		講義・演習		国際ITビジネス科 観光ビジネス	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	中村真
授業の目的・目標					
<p>企業活動をする上で必要となる関連知識を総合的に学習する。 特に、生産管理やプロジェクトマネジメント、コスト意識や業務改善提案力など、職域内の知識に留まらない人材が企業現場で求められている状況に対応できるよう学んでいく。 サービス業にとどまらない、世界で通用する業務知識を習得する。</p>					
授業の概要					
<p>1コマ1コマの授業はそれほど難しくないが、授業内容が正しく理解できていないと次回の授業が非常に難しくなる。習得すべき項目の1つ1つについて、講義とグループ実習で。実習課題については、苦労しても自分で作成することが重要である。</p>					
成績評価の方法					
<p>提出レポート、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。課題の評価は、要求された機能の完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。</p>				提出レポート	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
・プリント資料、演習課題 (自作)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1	オリエンテーション	2	8.	「モチベーション (やる気)」の正体と集中力の高め方	2
1.1	学習する内容		9	事実と現実の違い	2
2	お金と時間を定義する	2	9.1	チャンクダウン能力を身につける。	
3	商品企画と企業の仕組み	2	10	できない思い込みを外す	2
4	上質と改善		11	Win-Win と三方良し	
5	計画立案		11.1	赤黒の実習	2
5.1	パレートの法則	2	12	共同作業ワークショップ	
5.2	プライオリティマネジメント	2	12.1	マップ作成ゲーム	2
5.3	最適目標勾配	2	13	セルフカウンセリングと問題解決話法	2
6	中長期・短期の目標設定と計画化	2	14	まとめとレポート (後期試験)	2
7	計画の管理方法	2			
7.1	手帳を使った管理				
7.2	PDCA/RWPDEC サイクル				
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R3-K09
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Marketing マーケティング		講義・演習		国際ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	中村 真
授業の目的・目標					
<p>企業活動をする上で必要となる関連知識を総合的に学習する。 特に、生産管理やプロジェクトマネジメント、コスト意識や業務改善提案力など、職域内の知識に留まらない人材が企業現場で求められている状況に対応できるよう学んでいく。 製造業にとどまらない、世界で通用する業務知識を習得する。</p>					
授業の概要					
<p>配布テキストに基づいて進めていく。1授業の難易度は低いが、授業内容が正しく理解できていないと次授業を理解するのに難易度が上がるので、各授業内容の関連を理解して身につける必要がある。習得すべき項目の1つ1つについて、講義とグループ実習を行う。実習課題については、苦勞しても自分で作成することが重要である。</p>					
成績評価の方法					
提出レポート、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。課題の評価は、要求された機能の完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。				提出レポート	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
・プリント資料、演習課題 (自作)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1	オリエンテーション	2	9	「モチベーション (やる気)」の正体と集中力の高め方	2
1.1	学習する内容				
2	お金と時間を定義する	2	10	事実と現実の違い	2
3	成果をあげる計画	2	10.1	チャンクダウン能力を身につける。	
3.1	パレートの法則				
3.2	プライオリティマネジメント		11	できない思い込みを外す	2
4	商品企画と企業の仕組み	2	12	企画の考え方 Win-Win・三方よし	
5	上質と改善・品質管理手法	2	12.1	赤黒の実習	2
6	最適目標と計画の立て方	2	13	共同作業ワークショップ	
7	中長期・短期の目標設定と計画化	2	13.1	マップ作成ゲーム	2
8	計画の管理方法	2	14	セルフカウンセリングと問題解決話法	2
8.1	手帳を使った管理				
8.2	PDCA/RWPDEC サイクル		15	まとめとレポート (試験)	2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				R1-K10	
授業科目名			授業形態		学科・コース
Financial management 財務管理			講義・演習		国際ITビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	30	1	朝倉 将貴
授業の目的・目標					
日本の企業に就職する際にライフプランニング、タックスプランニング等の基礎知識を理解していることが求められる。まずは、自分の将来設計について考え、税金、社会保険料、控除等について理解することが目的である。					
授業の概要					
給料明細を参考に、税金、社会保険、各種控除等の意味を理解する。					
成績評価の方法					
出席率と期末試験を総合的に判断して決定する。					出席率 後期末試験 100%
使用テキスト・教材					
随時プリント配布					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ライフプランニング			6	時間数	
2. 給与明細の見方			4		
3. 社会保険と税金の仕組みについて			6		
4. 各所得の基本			6		
5. 所得控除			6		
6. まとめ			2		
その他				関連科目	
※金融業に勤務経験のある教員が担当する。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R3-K11
授業科目名		授業形態		学科・コース	
human resources 人的マネジメントと組織		講義・演習		国際ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	中村真
授業の目的・目標					
ビジネスのシステム及び人間の脳と行動の仕組みを理解することで、社会人に求められる基礎的な力の習得を目指し、日常生活におけるセルフコントロールと、企業内の人間関係や身近な人との関わり方を効果的なものにする方法を学び身に付けていくことで、早期離職につながる思い違いや人間関係のトラブルに対応する能力を養う。					
授業の概要					
配布テキストに基づいて進めていく。1授業の難易度は低いが、授業内容が正しく理解できていないと次授業を理解するのに難易度が上がるので、各授業内容の関連を理解して身につける必要がある。講義とグループ実習でビジネスに必要なシステム思考を理解し実践する。					
成績評価の方法					
提出レポート、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。課題の評価は、要求された機能の完成度評価と課題制作中の学習意欲を併せて判定する。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。				提出レポート	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
・プリント資料、演習課題（自作）					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1	オリエンテーション	2	9	心の天秤の釣り合わせ方	2
	1.1 チームビルディングワーク		10	人間のシステム・まとめ	2
2	互いを知る・自分を知る	2	11	セルフカウンセリングと問題解決	2
3	自分を満たす	2		話法	
	3.1 5つの基本的欲求と責任の概念		12	ケーススタディ(ロールプレイング)	6
4	欲求充足度の高めかた	2		12.1 同僚の話を聞く、自分の問題解決をする	
	4.1 欲求充足のプランニング			12.2 同僚の話を聞く、同僚の問題解決を支援する	
5	上質世界	2		12.3 後輩の話を聞く、部下の問題解決をする	
	5.1 自分の願望・相手の願望				
6	行動のシステムと全行動	2			
	6.1 気分左右されないセルフコントロール				
7	人間関係破壊の習慣・構築の習慣	2			
8	自分の取扱説明書作り	2	13	自分の未来図作成とまとめ	2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R3-A14
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Japanese culture II ----- 日本文化II		講義・演習		国際ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	120	4	松本 三知代
授業の目的・目標					
日本人と共に働き、生きて行くために必要となる日本文化、風習等を身につける。特にビジネスコミュニケーション能力を身につけることを大きな目標とし、日本人の考え方を理解した上での問題解決が図れるような知識と日本語能力を身につける。					
授業の概要					
ビジネスのさまざまな場面を想定したタスクを行っていくことで、問題を正確に把握し、自分で解決していける日本語知識とコミュニケーション能力を身につける。授業では、読む、書く、聞く、話すの4技能をバランスよく伸ばすため、読解、聴解だけでなく、ロールプレイも行っていく。					
成績評価の方法					
授業内で行う小テスト、期末テストに加え、通常点として課題や授業への参加度(積極性)も評価する。				期末試験	50%
				小テスト	30%
				通常点	20%
使用テキスト・教材					
『ビジネス日本語 オール・イン・ワン問題集』(the Japan times)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
<通常>			⑬販売員増員の提案		2
①社内一斉メール		3	⑭パッケージ案		2
②会議準備		3	⑮インタビュー		4
③電話とお詫び		3	⑯日程調整		3
④お知らせ文書		3	⑰衣料品業界		2
⑤キャッチコピー		3	⑱展示会		2
⑥同僚との雑談		2	⑲業務フローチャート		3
⑦値下げ交渉		3			
⑧営業		3			
⑨売り上げ		4	<日本語能力試験対策>		
⑩個人情報		4	・模擬試験(5月、6月)		4
⑪顧客満足度調査		4			
⑫出張		3			
その他		関連科目			
※日本語教員資格のある教員が担当する科目である。		・日本文化I			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R3-K23
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Presentation skill II プレゼンテーション技法II		講義・演習		国際ITビジネス科 IT・CAD	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	2	松本 三知代
授業の目的・目標					
現代は、専門科目の授業や就職活動、仕事等、多くの場面でプレゼンテーション能力が問われます。本科目では、プレゼンテーションに必要な基礎的表現から、調査方法、分析、考察、発表の方法を実践的に学び、専門科目のプレゼンテーションができるまでを目的とします。					
授業の概要					
まず、前期ではプレゼンテーションの概要・基礎・表現を学びます。次に課題別によるプレゼンテーションの実例を学び、その後、実際に課題について、プレゼンテーションのための準備、アンケート調査、データ入力、データ分析、考察、プレゼンテーションをしていきます。資料作成には Microsoft Power Point を使います。後期には、自ら専門科目のテーマをみつけ、プレゼンテーションの準備、調査、分析、考察、発表をします。前期・後期を通じて、学生間の意見交換や質疑応答を積極的に行います。					
成績評価の方法					
授業内で行うプレゼンテーション、作成した資料によって評価をします。 また授業内や課題における積極性も評価の対象とします。					課題90% 態度10%
使用テキスト・教材					
『最初の一步から始める日本語学習者と日本人学生のためのアカデミックプレゼンテーション入門』 ひつじ書房					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. プレゼンテーションの基礎		1	6. 【プレゼン3】科目コラボ1		10
2. プレゼンテーションに必要な表現		6	7. 【プレゼン4】科目コラボ2		10
3. いろいろなプレゼンテーション 「私の専門」【プレゼン ケース1】		8	8. 【プレゼン5】自由課題		10
4. いろいろなプレゼンテーション 「アンケート調査プロジェクト」 【プレゼン ケース2】		10			
5. プレゼンテーションをしてみよう 【プレゼン ケース2】		5			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			プレゼンテーション技法I		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R3-K25
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Homepage Creation 2 ホームページ制作Ⅱ		講義・演習		国際ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必須	60	2	山田 友作
授業の目的・目標					
<p>昨今ホームページの作成は、テンプレート利用により簡単に作成できるものとなっている。しかし、その出来の良し悪しは、どんな情報を提供するかで決まってくる。</p> <p>本授業では、サイトに訪れた人が満足するコンテンツを設計することができるための技術を身に付けることを目標とする。</p>					
授業の概要					
<p>Web サイトで重要なのは、コンテンツである。ペルソナの想定からどのような情報を伝えるべきかを考え、ターゲットに効果的なコンテンツを練り上げる。ここでは、伝えたい内容を、インターネットを通じて相手に伝えるための技術を習得し、すでに学んだHTML&CSSを活用して、Web サイトを作成することを目指す。</p>					
成績評価の方法					
制作課題を総合評価したうえで決定する。日々の授業の中での学習意欲、出席率を併せて判定する。制作課題が未提出の場合、成績の評価は行われない。					制作課題 100%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・スラスラわかる HTML&CSS の基本 ・資料プリント 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 授業ガイダンス		2	10. Web サイト制作実習 (サイト作成ツールのインストール)		2
2. Web 基礎用語 (URL・要素・タグ)		4	11. Web サイト制作 実習		16
3. Web 制作の流れ		2	12. Web サイト制作 発表・評価		4
4. Web 基本設計1 (マーケティング)		2	13. Web サイト制作 修正		12
5. Web 基本設計2 (キーワード)		2			
6. Web 基本設計3 (見える化で競合分析)		2			
7. Web 基本設計4 (コンテンツとは何か)		2			
8. Web 基本設計5 (コンテンツ設計)		2			
9. 各自コンテンツ設計		10			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・ホームページ制作Ⅰ		

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	R3-C29
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Programming Language 2 プログラム言語II			講義・演習		国際ITビジネス科 IT・CADコース		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	60	2	岡田 靖志		
授業の目的・目標							
NC工作機械を動かすためのプログラム作成法について学習する。フライス系(マシニングセンタ)工作機械を制御するGコード、M機能等についてシミュレーションと試作を行いながら習得していく。							
授業の概要							
課題図面からNCプログラムを作成し、シミュレーションを行いながら動作の確認を行う。自動工具交換の課題演習やオリジナルのネームプレート加工プログラムの制作を行う。最後に、試作を行う。							
成績評価の方法							
筆記試験・レポート・課題提出など					期末試験	50%	
					課題	50%	
使用テキスト・教材							
入門NCプログラミング							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. NC工作機械と座標系			4	13. プログラム演習9			2
2. 位置決めG00と直線切削G01			4	14. プログラム演習10			2
3. プログラム演習1			2	15. プログラム演習11			2
4. プログラム演習2			2	16. プログラム演習12			2
5. 円弧切削G02、G03			4	17. ネームプレートの作成			
6. プログラム演習3			2	(1) CAD図面設計			8
7. プログラム演習4			2	(2) プログラム作成			8
8. プログラム演習5			2	(3) シミュレーション			4
9. プログラム演習6			2				
10. 工具径補正G40、G41、G42			4				
11. プログラム演習7			2				
12. プログラム演習8			2				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。				機械2次元CAD1			

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				R3-C31	
授業科目名			授業形態		学科・コース
システム設計Ⅱ			講義・演習		国際ITビジネス科 IT・CADコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	岡田 靖志
授業の目的・目標					
2年次に学習したリレーシーケンスを基に、制御用コンピュータ「シーケンサ」のプログラムと制御方法の基本技術をシミュレーションを行いながら学習する。					
授業の概要					
いろいろなシステムの制御プログラムを設計し、制御回路の動作をシミュレーションを行いながら修得していく。					
成績評価の方法					
筆記試験・課題試験など				期末試験	50%
				課題試験	50%
使用テキスト・教材					
リレーとシーケンサ (オーム社) パソコン					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 自己保持回路			2		
2. インターロック回路			2		
3. カウンタ回路			2		
4. 信号機の制御			6		
5. センサと搬送機の制御			8		
6. 自動シャッターの制御			6		
7. 大中小判別システムの制御			4		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。				システム設計1 機械2次元CAD2	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R3-C33
授業科目名		授業形態		学科・コース	
System Development Practice 2 システム開発演習Ⅱ		講義・演習		国際ITビジネス科 IT・CADコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必須	90	3	山田 友作
授業の目的・目標					
<p>会社の職場で一番利用されているExcel（表計算）ソフトだが、活用レベルは簡単なものにとどまっている傾向がある。Excelの機能を使いこなせば、仕事の効率化・標準化につながる。本講座では、Excelの機能の一つであるマクロ/VBAを活用した方法を実践できるようにする。</p>					
授業の概要					
<p>システム開発演習Ⅰの続編。テキストに沿って、あらかじめ用意されたエクセルシートに、プロシージャを作成してVBAの動作を確認することで、VBAを理解していく。また、プログラミングの正解は一つではないので、他の方法も考えて演習させることで、さらに理解度を高める。</p>					
成績評価の方法					
<p>期末試験の得点の他、日々の授業の中での学習意欲を、出席率を含む授業態度で評価し、総合評価したうえで決定する。</p>				期末試験	80%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
<p>・よくわかる Excel2016 マクロ/VBA</p>					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 変数		2	15. モジュールのインポート・エクスポート		2
2. 制御構造と演算子		2	16. 販売データの入力		2
3. 条件分岐 (If~Then, ~Else)		4	17. 警告メッセージの非表示とエラー処理		2
4. If文のネスト		2	18. 新規シートの作成		2
5. 条件分岐 (If~Then~Elseif)		2	19. アプリケーションの仕上げ		2
6. 条件分岐 (Select~Case)		4	20. 練習問題		4
7. 繰り返し処理 (For~Next)		6	21. デバッグ		2
8. 繰り返し処理 (Do~Loop)		6	22. 総合問題		16
9. 練習問題		8			
10. 管理販売プログラム		4			
11. 対話形式のプログラム Msgbox 関数, InputBox 関数		4			
12. フィルターの実行・解除		6			
13. ページ印刷		4			
14. ユーザー定義関数		4			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			・システム開発演習Ⅰ		

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	R3-C37
授業科目名			授業形態		学科・コース		
Mechanical 2D CAD 2 機械2次元CAD II			講義・演習		国際ITビジネス科 IT・CADコース		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	30	1	岡田 靖志		
授業の目的・目標							
2年次に学習したリレーシーケンスを基に、制御用コンピュータ「シーケンサ」のプログラムと制御方法の基本技術を実習を行いながら学習する。							
授業の概要							
パソコンを使用して、ラダー図やプログラムの作成を行う。作成したプログラムをシーケンサに転送し、制御対象の機器を制御する実習を行う。							
成績評価の方法							
筆記試験・実技試験など					筆記試験	50%	
					実技試験	50%	
使用テキスト・教材							
リレーとシーケンサ (オーム社) 三菱シーケンサ							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. シーケンサについて 機器と構成、ラダー図、内部の仕組み			2	5. 演習問題 歩行者用信号機回路の作成と シミュレーション			4
2. 基本命令 LD、LDI、OUT、END AND、ANI、OR、ORI			2	6. 信号機の制御 車道用信号機と歩行者用信号機 の制御			4
3. タイマ回路 オン・オフディレイ回路 ワンショット回路			2	7. エアシリンダの制御 (1) 1本シリンダの往復運転			2
4. カウンタ回路 フリッカ回路と組み合わせて、 カウンタを動作させる			2	(2) 2本シリンダの交互運転			6
			4				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。				システム設計1 システム設計2			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R3-C39
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Mechanical 3D CAD 2 機械3次元CAD II		講義・演習		国際ITビジネス科 IT・CADコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	2	岩田 とも子
授業の目的・目標					
3次元CAD (AutoInventor) の高度な操作を習得する。 より実践に近い3次元モデルを作図する。					
授業の概要					
2年生で学習した3次元CADの操作、考え方をもとにしてより実践的な機械図面を立体にしていく。 立体を二次元図面にしていく。					
成績評価の方法					
きちんと授業を受けていること。(出席率、忘れ物、居眠りなどを含め) 提出課題については完成度と共に提出期限(納期)を意識して取り組むこと。				授業態度	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
図解 Inventor 実習 ゼロからわかる3次元CAD 演習課題(自作)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	2年で学習した操作を確認	2	9.	演習	4
2.	複雑なスケッチの拘束方法 (パラメータ使用)	2	10.	複雑なアセンブリモデル作成	10
3.	複雑なソリッドモデルの作図方法	2	11.	2次元で作図した図面を3D化	10
4.	演習	4	12.	2次元図面の作成	
5.	サーフェスモデルの作図方法 ・スイープ/ロフト/ トリム/境界パッチ/スカルプ	3		・片側断面図、部分拡大図など特殊な図面作成	4
	サーフェスの交差	3		・寸法公差、幾何公差の入力方法	2
	・3Dスケッチの使用法	2			
6.	演習	1			
7.	ソリッドとサーフェスを使ったモデリング演習	3			
8.	アセンブリ	2			
	・トップダウン/ボトムアップの考え方	1			
	・操作方法	1			
	・拘束の確認	4			
その他			関連科目		
コマンドごとに演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			・機械3次元CAD I		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R3-C40
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Mechanical CAD Exercises 機械CAD演習		講義・演習		国際ITビジネス科 IT・CADコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	90	3	岩田 とも子
授業の目的・目標					
2次元CAD (AutoCAD) の操作を習得する。(応用) 2年生で学習した図面を元に組立図、バラシ図などを作図。 複雑な機械製図の読み方を習得する。					
授業の概要					
交差が入っている図面や、特殊な描き方をしている図面などの読み方を理解し、作図する。 組立図の作成、バラシ図の作図などを習得する。					
成績評価の方法					
きちんと授業を受けていること。(出席率、忘れ物、居眠りなどを含め)				授業態度	50%
提出課題については完成度と共に提出期限(納期)を意識して取り組むこと。				課題	50%
使用テキスト・教材					
演習課題(自作)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 習得したコマンドの確認・プリント	2	10.寸法公差のある図面の描き方			
2. 応用的なコマンド使用方法習得	2	・交差について/作図方法		1	
3. 確認プリント	2	・演習		4	
4. 線種の使い分けの説明	1	10. 幾何公差のある図面の描き方			
5. 断面図がある図面の描き方		・幾何公差について/作図方法		1	
・全断面図(ハッチング)/部分断面図	6	・演習		6	
・片側断面図/多数の断面図	6	11. 表面性状のある図面の描き方			
6. 補助投影図のある図面の描き方		・表面性状について/作図方法		1	
・部分/局部/回転投影図	6	・演習		4	
7. 省略のある図面の描き方		12. 組立図の描き方			
・対称図形	4	・組立図について/作図方法		2	
・中間部分の省略	4	13. 組立図作図		14	
8. ねじの図面の描き方		(品表、部品番号の説明と作図も)			
・ねじについて/図面の描き方	1	14. バラシ図の描き方			
寸法記入方法	1	・バラシ図について/作図方法		2	
・演習	2	・作図		10	
9. 歯車図面の描き方		15. まとめ		3	
・歯車について/図面の描き方	1				
・演習	4				
その他	関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。	・機械2次元CAD I, II ・機械3次元CAD I, II				

シラバス (授業概要)				年度		
時間数は45分換算				2020年度		
				科目コード		
				R3-D42		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Geography for sightseeing II 観光地理II			講義		国際ITビジネス科 観光ビジネス	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	30	1	黒川敦子	
授業の目的・目標						
日本各地の「観光」と「地理」について理解し、観光地や特産物を知り、ツアープランニングIIで行う国内ツアーのプランニングに必要な基礎的知識の習得につなげる。						
授業の概要						
日本の地理的背景、また地域ごとの特徴を生かした産業や特産物などと「観光」との結びつきについて学ぶ。観光地、特産物などの観光資源とその背景にある地理的要因について知る。						
成績評価の方法						
それぞれの授業内容をまとめ、翌週に提出を求める。また、基礎的知識については小テストを行う。小テスト及び課題の完成度と積極性で7割評価を行う。残り3割は、授業参加度で評価する。					課題・小テスト：70% 授業参加度：30%	
使用テキスト・教材						
『読んで見て楽しむ日本地図帳』学研 『旅に出たくなる日本地図』帝国書院						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 日本全土について			2	11. 中国地方		2
2. 北海道地方			2	(鳥取・島根・岡山・広島・山口)		
3. 東北地方 (青森・秋田・岩手)			2	12. 四国地方 (香川・徳島・愛媛・高知)		2
4. 東北地方 (山形・宮城・福島)			2	13. 九州地方 (福岡・大分・佐賀・長崎)		2
5. 関東地方 (群馬・栃木・茨木・埼玉)			2	14. 九州地方		2
6. 関東地方 (千葉・東京・神奈川)			2	(熊本・宮崎・鹿児島・沖縄)		
7. 中部地方 (山梨・長野・静岡・愛知)			2	15. まとめ		2
8. 中部地方 (岐阜・新潟・富山・石川・福井)			2			
9. 近畿地方 (滋賀・京都・奈良)			2			
10. 近畿地方 (三重・和歌山・大阪・兵庫)			2			
その他			関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。 ※教員免許取得者が担当する科目である。 (中学社会科・高校地歴公民)			ツアープランニングII			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R3-D44
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Service and reception skills II サービス・接客Ⅱ		講義・演習		国際ITビジネス科 観光ビジネス	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必須	120	4	安部珠恵
授業の目的・目標					
日本のサービス業界で求められる知識、日本式の接客を学び、その証明となる「サービス接客検定」の取得を目指す。ホテル、観光業界での就職を有利にするために検定は準1級を目指す。自らがホテル並みのサービスを体験し、言葉遣い、立ち居振る舞いをワンランクアップさせる。					
授業の概要					
前期では面接のロールプレイングを行い、表情、立ち居振る舞い、言葉遣いを練習する。前期に検定3級、後期に2級を受験、検定取得後はビジネスマナー、電話対応の練習を行う。また、テーブルマナー実習ではレストランでおもてなしの心、サービスマンの立ち居振る舞いを体験して学ぶ。					
成績評価の方法					
検定の取得 50パーセント 授業態度、出欠率、課題提出 50%					
使用テキスト・教材					
サービス接客過去問題集 配布プリント					
授業内容・授業計画					
【前期】				②掲示文など記述問題	8
1. オリエンテーション	2			③過去問題解説	12
2. 就職面接練習	6			10. ビジネス電話応対	16
3. サービス接客検定対策3級 記述問題練習 過去問題解説	16			11. クレーム対応	8
4. 検定答え合わせ 自己採点	2			12. クッション言葉の使い方	4
5. 準1級 接客ロールプレイング	8			13. ビジネスメールの書き方	4
6. 接客用語練習	4			14. 訪問、名刺交換のマナー	2
7. テスト	2			15. テスト準備	4
8. テーブルマナー研修	8			16. テスト	2
【後期】				17. テスト振り返り	2
9. 検定2級対策 ①アナウンス練習	8			18. まとめ 日本の接客	2
その他		関連科目			
実務経験のある教員が担当する科目である					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R3-D46
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Tour Planning II ツアープランニングII		講義・演習		国際ITビジネス科 観光ビジネス	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3年生	通年	必修	120	4	黒川敦子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・授業前半では、日本に関する基礎知識、現代の日本のインバウンドの現状を学び、後期に行う国内ツアーの造成に必要な知識を身に付けることを目指す。 ・授業後半では、日本各地のツアーを造成することを目指す。ターゲットを絞ったうえで、情報の収集・発信をする力の向上を目的とする。 					
授業の概要					
現代観光や日本に関する知識を習得する講義と、ツアープランニングに必要な基礎知識と旅行商品造成のプロセスを講義と演習方式で授業を進める。予習では教科書を読み、講義の翌週には小テストで定着度を測るため、復習はしっかりと取り組むこと。演習時は自宅での作業も必要となる。『旅に出たくなる日本地図』は常に持参・参照し、長期休暇や休日には観光地を訪れたり、TV番組を見たりするなど見聞を広めること。教科書とあわせて、旅行パンフレットなど実際の資料も利用する。					
成績評価の方法					
小テスト、発表・課題、予習・復習などの授業参加度、授業貢献度を総合評価したうえで決定する。				発表/課題	40%
				小テスト	30%
				授業貢献度	30%
使用テキスト・教材					
前半の講義では配布するレジュメを使用する。ファイルに閉じて毎回持参すること。 『インバウンドビジネス入門講座』翔泳社、『旅に出たくなる日本地図』帝国書院 『読んで見て楽しむ日本地図帳』学研					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. ガイダンス		2	11. 旅行パンフレット研究と発表		
1.1. プランニングのステップ (P100-107)			11.1. 概要説明		2
1.2. 日本に関する基礎知識			11.2. 北海道		2
2. 日本の歴史		2	11.3. 東北		4
3. 観光の歴史と現状 (P24-39)		2	11.4. 関東		4
4. インバウンドの可能性 (P40-54)		2	11.5. 中部		6
5. 外国人観光客の動向 (P56-65)		2	11.6. 近畿		4
6. 外国人観光客の特徴 (P66-97)		2	11.7. 中国・四国		4
7. インバウンドの受け入れに向けての対策 (P150-171)		2	11.8. 九州		6
8. 取り組み事例 (P174-213)		4	12. プランニング		
9. 日本の伝統芸能・武道・娯楽		2	12.1. グループ作りとリサーチ資料作成		10
10. 講義まとめ		2	12.2. 中間発表とフィードバック		4
			12.3. 改善と資料作成×2		8
			13. 卒業発表		4
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			観光地理II		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R3-D49
授業科目名		授業形態		学科・コース	
General theory of hotel ----- ホテル総論		講義・演習		国際 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	杉森 沙奈恵
授業の目的・目標 ① ホテルでのフロントオフィス業務について理解でき、チェックイン、チェックアウト、予約電話の対応ができる。					
ホテルでのフロントオフィス業務について理解でき、チェックイン、チェックアウト、予約電話の対応ができる。					
授業の概要					
リザーベーション、レセプションについての業務と必要な知識を学び、実際にチェックイン、アウト、予約のデモを行う。					
成績評価の方法					
期末試験の点、授業態度で決定する。態度には、出席率、積極性、授業態度が含まれる。				期末試験	50%
				態度	40%
				出欠	10%
使用テキスト・教材					
・ホテルテキスト宿泊Ⅰ フロントオフィス編 ウイネット					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. フロントオフィスとは			3		
2. 客室と料金			4		
3. リザーベーション業務&予約電話デモ			5		
4. レセプション業務&チェックインデモ			5		
5. フロントキャッシャー業務& チェックアウトデモ			5		
6. インフォメーション業務			3		
7. 二年生/先生を客と見立て全デモ			5		
その他			関連科目		
※ホテル実務技能認定試験を再度希望者に受験させる ※ホテルに勤務経験のある教員が担当する。			・「サービス・接遇Ⅰ」、「サービス・接遇Ⅱ」 ・「ホテル概論」、「ホテル実務」、「ホテル研究」、		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R3-D50
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Hotel research ----- ホテル研究		講義・演習		国際 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	30	1	杉森 沙奈恵
授業の目的・目標 主要なホテル(国内、外資) についての情報を簡単に説明ができる。					
主要なホテル(国内、外資) についての情報を簡単に説明ができる。 浜松駅近くのホテルを知り、個々のニーズにあったホテルを案内できる。					
授業の概要					
2年から勉強してきた最終クラスのため、今までのまとめを含め、自らホテルについて調べ説明ができるようにさせる。また、浜松駅近くにはどんなホテルがどこにあるのか説明ができる。					
成績評価の方法					
プレゼンテーション×2回、期末テスト、授業態度で決定する。態度には、出席率、積極性、授業態度が含まれる。				期末試験	30%
				プレゼン	40%
				態度	20%
				出欠	10%
使用テキスト・教材					
・ホテル業界大研究 産学社 (講師が必要な箇所をコピーして対応)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 主要ホテルについて		2	4. 浜松駅近ホテル (実際に歩いて場所確認、調べる、 PPT作成、発表)		12
2. ホテル業界企業データ		2			
3. 世界主要ホテル (調べる、PPT作成、発表)		12	5. 総復習		2
その他			関連科目		
※7月のホテル実務技能認定試験が不合格だった学生は1月にもう一度受験させる ※ホテルでの就労経験がある教員が担当する。			・ホテル概論 ・ホテル実務 ・ホテル研究		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	R2-D52
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Service English II ホテル専門用語活用II		講義・演習		国際ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	30	1	杉森 沙奈恵
授業の目的・目標 英語応対能力検定 宿泊 A判定を目指す。また個々のレベルによるがTOEIC 600点を目指す。					
英語応対能力検定 宿泊 A判定を目指す。また個々のレベルによるがTOEIC 600点を目指す。履歴書に書け、就職活動でアピールできるように英語を勉強した/英語ができる証として受験させる。					
授業の概要					
前半は、各項目別に説明し、問題を解く。後半は過去問を時間を測りながら行う。					
成績評価の方法					
期末試験の点、授業態度で決定する。態度には、出席率、積極性、授業態度が含まれる。				期末試験	50%
				態度	40%
				出欠	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・英語応対能力検定公認教材 とにかくひとこと接客英会話 宿泊編 旺文社 ・接客英会話ワークブック基礎編 ・TOEICテスト 公式問題集 					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. 予約			2		
2. チェックイン			2		
3. ホテル内でのリクエスト			2		
4. チェックアウト			2		
5. トラブル			2		
6. 英語応対検定対策			5		
7. TOEIC リスニング			5		
8. TOEIC リーディング			5		
9. TOEIC 過去問			5		
その他				関連科目	
※英語応対能力検定を受験させる。個々の能力に合わせ時期は変わるがTOEIC受験させる。 ※ホテルでの実務経験がある講師が担当する。					